

# 幼児教育学科教育課程

(平成30年度入学生に適用)

区分	授業科目	講義 演習 実習 の別	単位数		担当教員名 ( )内は 非常勤講師	毎週授業時間数				資格取得 に必要な 単位数		備考				
			必修	選択		1 学 年		2 学 年		幼免	保育士					
						前期	後期	前期	後期							
						必 選	必 選	必 選	必 選							
教 養 科 目	日本国憲法	講	2		(彼谷)	2					2	2				
	国際情勢	講		2	(才田)								A			
	生活と科学	講		2	石塚						2	4	B			
	自然と人間	講		2	(岩坪)						2	4	C			
	コミュニケーションと情報	講	2		吉牟田				2		2	2				
	現代社会と人間	講		1	梅本・高木綾	1										
	英語 I	演	1		望月		2				1	1				
	英語 II	演	1		望月 (ジュリースキャンラン)				2		1	1				
	体育講義	講	1		大森	1					2	1				
	生涯スポーツ	実技	1		大門・立島	2						1				
基礎演習	演	1		高木	2											
計			9	7		7	1	2	0	4	0	0	6	12	12	
専 門 科 目	保育の本質・目的	保育原理	講	2		石動	2					2	2			
		教育原理	講	2		高木	2					2	2			
		児童家庭福祉	講	2		明柴	2					2	2			
		社会福祉	講	2		(村上)	2					2	2			
		相談援助	演		1	明柴					2			1		
		社会的養護	講	2		明柴		2				2	2			
		保育者論	講	2		明柴・山川・高木						2	2	2		
		児童社会	講		2	高木・梅本							2	2	2	
	保育の対象理解	保育の心理学 I	講	2		山川	2					2	2			
		保育の心理学 II	演		1	山川			2					1		
		教育心理学	講		2	樋口				2		2	2			
		幼児理解と教育相談 I	演		1	山川				2		1	1			
		幼児理解と教育相談 II	演		1	山川					2	1	1			
		子どもの保健 I-1	講	2		松居	2					2	2			
		子どもの保健 I-2	講		2	松居			2					2		
		子どもの保健 II	演		1	松居			2					1		
		子どもの食と栄養 I	演	1		深井	2					1	1			
		子どもの食と栄養 II	演	1		(大掛)		2				1	1			
	保育の内容・方法	家庭支援論	講		2	石動						2		2		
		保育課程論	講	2		石動		2				2	2			
		保育内容総論	演		1	梅本			2			1	1			
		保育内容(健康 I)	演	1		大森				2		1	1			
		保育内容(健康 II)	演		1	大森					2	1	1			
		保育内容(人間関係)	演	1		石動				2		1	1			
		保育内容(環境)	演	1		(長尾)				2		1	1			
		保育内容(言葉 I)	演	1		梅本		2				1	1			
		保育内容(言葉 II)	演		1	梅本				2		1	1			
		保育内容(音楽表現 I)	演	1		難波		2				1	1			
保育内容(音楽表現 II)	演		1	(大村)				2		1	1					
保育内容(造形表現 I)	演	1		中山		2				1	1					
保育内容(造形表現 II)	演		1	中山				2		1	1					
乳児保育 I	演		1	石動		2						1				
乳児保育 II	演		1	石動			2					1				
障害児保育 I	演		1	(河崎)					2			1				
障害児保育 II	演		1	(稲垣)・松居							2	1				
社会的養護内容	演		1	明柴						2		1				
保育相談支援	演		1	明柴						2		1				
教育方法論	講		1	高木						1	1	1				

区分	授業科目	講義 演習 実習 の別	単位数		担当教員名 ( )内は 非常勤講師	毎週授業時間数				資格取得 に必要な 単位数		備考			
			必修	選択		1 学 年		2 学 年		幼免	保育士				
						前期	後期	前期	後期						
						必 選	必 選	必 選	必 選						
専 門	音楽Ⅰ-1	演	1		難波(武岡・大林・武藤・大村)	2					1	1	○付き数字は、資格取得に必要な選択科目である。 幼稚園教諭免許は、 D(音楽Ⅱ-1,Ⅱ-2) E(図画工作Ⅱ-1,Ⅱ-2) F(国語表現Ⅰ,Ⅱ) の3つから2つを選択する。 保育士資格は、 D(音楽Ⅱ-1,Ⅱ-2)、 E(図画工作Ⅱ-1,Ⅱ-2) の2つから1つを選択する。		
	音楽Ⅰ-2	演	1		難波(武岡・大林・武藤・大村)		2				1	1			
	音楽Ⅱ-1	演		1	難波(大村・堀江・大林)				2		①	①			
	音楽Ⅱ-2	演		1	難波(大村・堀江・大林)					2	①	①			
	図画工作Ⅰ-1	演	1		中山	2					1	1			
	図画工作Ⅰ-2	演	1		中山		2				1	1			
	図画工作Ⅱ-1	演		1	中山				2		①	①			
	図画工作Ⅱ-2	演		1	中山					2	①	①			
	体育Ⅰ	演	1		大森	2					1	1			
	体育Ⅱ	演	1		大森		2				1	1			
国語表現Ⅰ	演		1	(奥野)				2		①	1				
国語表現Ⅱ	演		1	梅本					2	①	1				
科 目	教育実習Ⅰ	実		2	難波・山川 松居・石動	5※					2		※ 学内幼稚園実習 ※ 学外幼稚園実習 「教育実習Ⅰ・Ⅱ」終了後に認定		
	教育実習Ⅱ	実		2	山川・難波				※		2				
	教育実習指導	実		1	専任教員全員				1	1	1				
	保育実習Ⅰ-1	実		2	梅本・中山			※				2	※ 保育所実習 ※ 施設実習 「保育実習Ⅰ」終了後に認定		
	保育実習Ⅰ-2	実		2	大森・明柴・松居			※				2			
	保育実習指導Ⅰ	演		2	専任教員全員	2	2					2			
	保育実習Ⅱ	実		2	中山・梅本				※			2	G ※ 保育所実習 「保育実習Ⅱ」終了後に認定		
	保育実習指導Ⅱ	演		1	中山・梅本				1※			1			
	保育実習Ⅲ	実		2	大森・明柴・松居				※			2	G※ 施設実習 「保育実習Ⅲ」終了後に認定		
	保育実習指導Ⅲ	演		1	大森・明柴・松居				1※			1			
総合演習	演		2	梅本・山川 高木・明柴					2	2	2				
総合演習	演		2	専任教員全員					2	2	2	通年			
計			32	52		20	9	18	12	6	23	2	26	57	74
総計			41	59		27	10	20	12	10	23	2	32	69	86

(注) 1. 上記教養科目のA, B, C, 3科目の中から2科目以上(計2科目4単位以上)を選択するものとする。  
(注) 2. 幼稚園教諭免許取得希望者はD, E, Fの中から2つ以上、保育士資格取得希望者はD, Eの中から1つ以上を選択するものとする。  
(注) 3. 保育士資格取得希望者はG・G'いずれか1科目を履修すること。  
(注) 4. 「保育士資格取得に必要な単位数」欄に単位数が記入されている授業科目については、学則第12条の6(外国の短期大学における授業科目の履修等)の規定は適用しない。  
なお、学則第12条の3(他の短期大学又は大学における授業科目の履修等)、第12条の4(短期大学又は大学以外の教育施設等における授業科目の履修等)、第12条の5(入学前の既修得単位の認定)及び第21条(転学)の規定については、「指定保育士養成施設指定基準」(平成15年12月9日雇児発第1209001号厚生労働省雇用均等・児童家庭局長通知)に定める範囲内において通用することがある。

授業科目名	保育原理			科目コード	C111-10				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 教育・保育	担当教員名	石動 瑞代						
開講時期	1年前期	授業の方法	講義						
必修・選択	必修	単位数	2単位						
前提科目(知識)		後継科目	保育者論						
関連科目	保育課程論 保育内容総論 教育原理 児童社会								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	保育の特性や保育内容・方法に関する知識を学びながら、保育の基本的考え方を理解する。また、保育思想や歴史、諸外国での保育について学ぶとともに、日本の保育の現状を見つめ、現代の課題とその解決について考える。課題シートやグループ討議等を通して学び、自らの子ども観や保育観の形成につなげていくことをめざす。								
学習目標	保育の意義及び保育の基本理念について理解する。 保育の内容と方法の基本構造を学び、実際の保育場面を通して理解する。 保育の思想や歴史的変遷を学び、現代の保育について考察する。								
キーワード	子ども観と保育観、養護と教育、子どもの最善の利益								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『実践を創造する保育原理 第二版』豊田和子編（みらい） 参考図書：『保育所保育指針解説書』厚生労働省編（フレーベル館）、『幼稚園教育要領解説』文部科学省編（フレーベル								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 保育の基本的な事項や制度に関する用語等を理解し、筆記試験で正しく回答することができる。保育の意義を説明することができる。								
LO-2	【技能】 保育事例を、保育の基本的視点に沿って読み取ることができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 保育の基本理念を通して、自らの子ども観・保育観について、考えを深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 保育の現状を的確に把握し、社会のニーズをふまえた保育のあり方・課題について、自ら考えようとする。								
LO-5	【人間性・社会性】 他者の意見（子ども観・保育観等）を受容し、自らの意見に反映しようとする。自らの保育観や子ども観を、他者に表明することができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70	10	10			10			100
LO-1	50	10							60
LO-2	10								10
LO-3	10								10
LO-4			10			5			15
LO-5						5			5
備考	その他 A は、受講態度とする。 提出課題に対しては口頭及び紙面にてコメントを行う。小テストは返却、定期試験は模範解答を示す。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション(授業のねらい、方法、評価等の説明) 保育とは何か ~ 保育、教育という語が意味する内容を知り、保育の要素をさぐる。	
	【予習】シラバスに目を通し、授業のねらいや内容を確認する。	10分
	【復習】講義内容をノートにまとめる。 テキスト第1章を読み、内容を理解する。	60分
第2回	保育とは何か ~ 養護と教育の具体的な意味を知る。 保育が養護と教育が一体的に展開されるものであることを理解する。	
	【予習】P11の内容をノートに書いておく。 テキスト第2章『現代社会と子どもの育ち』のp29まで読んでおく。	100分
	【復習】講義内容をノートにまとめる。 テキスト第8章の関連部分を読み、内容を理解する。	80分
第3回	子ども観と保育観 子ども観の変遷を知る。自らの子ども観をふりかえる。	
	【予習】前回の講義中に提示されたテーマについて、自分の考えをまとめて、文章で表す。	80分
	【復習】講義内容をノートにまとめる。 他者の意見を聞いて感じたことをまとめて、文章化する。	60分
第4回	子ども観と保育観 子ども観と発達観、保育観の関連について理解する。	
	【予習】 テキスト第7章を読み、内容をまとめる。	40分
	【復習】参考文献、資料等を読んで、子ども観・発達観・保育観についてまとめる。	120分
第5回	集団施設保育の意義と役割 保育所・幼稚園・認定こども園等の機能を理解し、その社会的役割を考える。	
	【予習】テキスト 第3章の制度と現状を読み、分かりにくい語句などを調べておく。	60分
	【復習】集団保育施設の制度等を整理してまとめる。 教科書第2章現代社会と子どもの育ちのp30~ を読んで、まとめる。	120分
第6回	保育のめざす姿とは 保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領のねらいを理解する。	
	【予習】保育所保育指針第1章総則、幼稚園教育要領 第1章幼稚園教育の基本を読んでおく。	30分
	【復習】指針や要領等に書かれている内容と保育のめざす姿との関連を再確認しておく。 教科書第8章『保育の基本』を読み、内容をまとめておく	30分
第7回	保育の内容及方法 保育所保育指針・幼稚園教育要領の構造を理解する。保育の内容及方法について知る。	
	【予習】指針や要領、教育・保育要領を読み、章立てを理解する。 指針第3章、要領第2章、教育・保育要領第2章を読む。	40分
	【復習】講義内容をノートにまとめるとともに、指針・要領等の重要語句を覚える。 小テストにむけて、準備のための学習をする。	240分
第8回	保育の内容及方法 保育の内容及方法の関連を、具体的な事例を通して学ぶ。 小テスト実施	
	【予習】前回のノートや指針・要領の重要語句を再確認しておく。	60分
	【復習】小テストの結果を確認し、理解が不十分な点について、テキスト・ノート等で確認する。 教科書第10章『保育の方法と進め方』第11章『保育の計画と保育の質の向上』を読む。	50分
第9回	保育の歴史と思想 西欧の保育の歴史を学ぶ コメニウス-フレーベルの思想から	
	【予習】テキスト第5章『世界の保育の歴史に学ぼう』を読む。	40分
	【復習】コメニウス-フレーベルまでの主要な思想家の思想と著書等を整理してまとめる。	150分
第10回	保育の歴史と思想 西欧の保育の歴史を学ぶ モンテッソーリとシュタイナーの思想から	
	【予習】配布資料を読んでおく。	30分
	【復習】モンテッソーリ保育について、理念や保育方法の特徴をまとめる。 シュタイナー保育について、理念や保育方法の特徴をまとめる。	120分

第11回	保育の歴史と思想 日本における保育の歴史と思想	
	【予習】配布資料を十分に読んでおく。 テキスト第6章を読む。	40分
	【復習】講義内容をまとめる。主要な人物とその背景を整理する。	120分
第12回	保育の歴史と思想 倉橋惣三の保育論を中心に、保育者像を考える	
	【予習】配布資料を十分に読んでおく。 テキスト第4章『保育者に求められるもの - 資質と専門性 -』を読む。	40分
	【復習】講義中に提示されたテーマについて、自らの意見をまとめて文章化する。 小テストにむけて、これまでの学習内容を整理してまとめる。	240分
第13回	諸外国における保育の取り組み 諸外国の保育制度について学び、日本における保育制度の課題を探る。 <span style="float: right;">小テスト実施</span>	
	【予習】テキスト第13章『海外の保育に目を向けてみよう』を読み、疑問や質問を文章化しておく。 インターネットで、諸外国の保育制度について調べる。	60分
	【復習】課題プリントを仕上げる（海外の取り組みから、日本の保育制度の課題を考え、レポート用紙に書く） 小テストの出題内容について、再確認しておく。	180分
第14回	家庭における保育 家庭における保育の実情を知る。家庭生活と子どもの発達との関連について考える。	
	【予習】テキスト12章『大切な保護者支援と地域連携』を読む。	40分
	【復習】テキスト、資料などの内容から保育所等における子育て支援の在り方について、レポートを作成する。	180分
第15回	現在の保育における課題 小学校との連携、保育の質の向上	
	【予習】テキスト第14章『保育をめぐるこれからの課題について』を読む。	40分
	【復習】これまでの講義内容のまとめ 定期試験のための準備学習	240分

授業科目名	保育者論			科目コード	C111-11				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 教育・保育	担当教員名	明柴 聡史 山川 賀世子 高木 三郎						
開講時期	2年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	必修	単位数	2単位						
前提科目(知識)	保育原理 教育原理 児童家庭福祉 社会的養護	後継科目							
関連科目	(専門科目全般)								
資格等 取得との関連	保育士資格 幼稚園教諭二種免許状								
授業の概要	保育者の役割や専門性、職務内容等について、保育現場(幼稚園・保育所・施設・その他)の実践者等の講義も交えて学び、進路選択に役立てるとともに、めざす保育者像を探究する。								
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育者の役割と倫理(職務・子どもや保護者との関わりなど)について理解する。</li> <li>2. 保育者の制度的な位置づけ(資格・養成など)について理解する。</li> <li>3. 保育者の専門性について考察し、理解する。</li> <li>4. 保育者の協働(職場の人間関係など)について理解する。</li> <li>5. 保育者の専門職的成長(研修・生きがいなど)について理解する。</li> </ol>								
キーワード	保育者 役割 倫理 制度 専門性 協働 専門職 成長								
テキスト・ 参考書等	(適宜、資料を配布します)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 保育者の役割と倫理、制度的位置づけ、専門性、職務内容、協働、専門的成長等、保育者のあり方について理解している。								
LO-2	【技能】 (特になし)								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 社会のニーズを踏まえ、保育者としてのあり方や保育専門職の課題解決のための方策について、考察を深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 保育者として成長し続けるために、自らを省察し、資質の向上に努めようとする。								
LO-5	【社会性・人間性】 価値観の多様性を認め、他者の意見を尊重しながら、自己の意見を適切に主張することができる。課題解決のために、他者と協働することができる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			50			50			100
LO-1			20			5			25
LO-2									
LO-3			20			5			25
LO-4			5			20			25
LO-5			5			20			25
備考	その他Aは平常点(授業参加態度及び適宜提出する小レポートの評価)評価の内容等について個別質問に対応する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「オリエンテーション」：授業方針・計画の説明 本授業の概要を把握し、授業のねらいや授業計画を理解する 保育者のあり方の基本について学ぶ	
	【予習】シラバスを読み、本授業内容を把握する	30分
	【復習】授業の全体像について確認する / 保育者のあり方の基本について、授業内容を確認し、理解を深める	60分
第2回	「保育者の意義・役割・課題などについて(1)」 実習経験を振り返り、保育者のあり方について検討する（「実習ガイドブック」原稿検討のためのグループ討議）	
	【予習】「実習ガイドブック」の担当箇所の原稿下書きを作成する	30分
	【復習】保育者のあり方について、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第3回	「保育者の意義・役割・課題などについて(2)」 実習経験を振り返り、保育者のあり方についてまとめる（「実習ガイドブック」原稿の作成）	
	【予習】「実習ガイドブック」の原稿を清書する	30分
	【復習】保育者のあり方のグループでの検討結果、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第4回	「保育者の意義・役割・課題などについて(3)」 実習経験を振り返り、保育者のあり方について、まとめた内容を発表する（「実習ガイドブック」グループ発表）	
	【予習】「実習ガイドブック」の担当部分の発表の準備・練習をする	30分
	【復習】保育者のあり方の検討結果の全体について、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第5回	「保育所保育士の現状と課題」 （外部講師予定） 保育所保育士の職務内容を理解するとともに進路選択に役立てる	
	【予習】保育所保育士の職務内容等について、これまでの学びを振り返る	30分
	【復習】保育所保育士の現状と課題について、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第6回	「幼稚園教諭の現状と課題」 （外部講師予定） 幼稚園教諭の職務内容を理解するとともに進路選択に役立てる	
	【予習】幼稚園教諭の職務内容等について、これまでの学びを振り返る	30分
	【復習】幼稚園教諭の現状と課題について、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第7回	「施設保育士の現状と課題」 （外部講師予定） 施設保育士の職務内容を理解するとともに進路選択に役立てる	
	【予習】施設保育士の職務内容等について、これまでの学びを振り返る	30分
	【復習】施設保育士の現状と課題について、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第8回	「子どもを取り巻く環境の現状と課題」 （外部講師予定）	
	【予習】子どもを取り巻く環境について、これまでの学びを振り返る	0分
	【復習】子どもを取り巻く環境の現状と課題について、授業内容を振り返り、理解を深める	0分
第9回	「乳児保育の現状と課題」 （外部講師予定）	
	【予習】乳児保育について、これまでの学びを振り返る	0分
	【復習】乳児保育の現状と課題について、授業内容を振り返り、理解を深める	0分
第10回	「障害児保育の現状と課題」 （外部講師予定）	
	【予習】障害児保育について、これまでの学びを振り返る	0分
	【復習】障害児保育の現状と課題について、授業内容を振り返り、理解を深める	0分

第11回	「子育て支援の現状と課題」 (外部講師予定)	
	【予習】子育て支援について、これまでの学びを振り返る	30分
	【復習】子育て支援の現状と課題について、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第12回	「保育者の役割と倫理」	
	【予習】保育者の役割と倫理について、これまでの学びを振り返る	30分
	【復習】保育者の役割と倫理について、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第13回	「保育者の専門性と専門職的成長」	
	【予習】保育者の専門性について、これまでの学びを振り返る	30分
	【復習】保育者の専門性と専門職的成長について、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第14回	「保育者の制度的位置づけ、保育制度の動向と課題」	
	【予習】保育者の制度的位置づけについて、これまでの学びを振り返る	30分
	【復習】保育者の制度的位置づけ、保育制度の動向と課題について、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第15回	「まとめ - めざす保育者像」	
	【予習】めざす保育者像を考えるために、これまでの学びを振り返る	30分
	【復習】授業全体を踏まえて、めざす保育者像について考察を深める	60分

授業科目名	教育原理			科目コード	C111-20				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 教育・保育		担当教員名	高木 三郎					
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	なし		後継科目	児童社会					
関連科目	保育原理 児童家庭福祉 社会福祉								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	(幼児)教育の基礎・基本的な理論・歴史・制度等から、現代学校教育の成り立ちと変遷を理解し、現代の教育の課題や教師(保育士)のあり方等の教育の本質に関する理論的・実践的知識の基礎を学ぶ。								
学習目標	1 (幼児)教育の歴史や思想を基に、教育(保育)に関する基礎的な理論を理解する。 2 幼稚園教育と小学校教育の連続性を視点に、教育課程の内容・意義・編成の方法を理解する。 3 日本や諸外国の教育制度について理解する。								
キーワード	子ども観、教育観、発達観、教育史、教育思想、教育方法、教育内容、教育課程、教育制度、教育行政、生涯学習、特別支援教育								
テキスト・ 参考書等	テキスト:『子どもの教育の原理～保育の明日をひらくために～』編著 古橋和夫 萌文書林								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	(幼児)教育の基礎・基本的な理論・歴史・制度等について理解を深め、教育に関する基礎的な知識を身につけている。								
LO-2	(該当しない)								
LO-3	学修した知識を総合して、教育の基本について適切な判断ができ、説明することができる。								
LO-4	教育の課題について関心をもって意欲的に把握することに努め、学びを深めることができる。								
LO-5	(該当しない)								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70		10			20			100
LO-1	50								50
LO-2									
LO-3	20								20
LO-4			10			20			30
LO-5									
備考	その他 A は平常点(受講態度等) 提出を求めるレポートについては、コメントをつけて返却する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 授業の目的、評価などについて	
	【予習】シラバスを読み、授業内容を把握する。	45分
	【復習】授業の全体像を確認する。	45分
第2回	教育の理念と子ども観	
	【予習】テキストの該当部分（p 1 2 - p 2 7）を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】「教育とは何か」「子どもとは何か」について確認し、自分の子ども観や教育観について考える。	90分
第3回	幼児教育を築いた人々	
	【予習】テキストの該当部分（p 2 8 - p 3 9）を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】西洋の主な教育理論や日本の教師（保育士）に影響を与えた教育者とその理論を確認する。	90分
第4回	幼児教育を築いた人々	
	【予習】テキストの該当部分（p 4 0 - p 5 1）を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】西洋の主な教育理論や日本の教師（保育士）に影響を与えた教育者とその理論を確認する。	90分
第5回	わが国の教育史の概要	
	【予習】テキストの該当部分（p 5 2 - p 6 8）、及び子育てに関わる諺や伝承を調べておく	90分
	【復習】日本の近代以前の教育の特徴、及び近代以降の教育の変遷について確認する	90分
第6回	わが国の幼児教育と保育の歴史	
	【予習】テキストの該当部分（p 5 9 - p 6 9）を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】わが国戦後における幼児教育と保育の変遷を確認する	90分
第7回	教育と児童福祉における目的と目標（その1）	
	【予習】テキストの該当部分（p 1 0 6 - p 1 1 4）を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】幼稚園及び保育所の目的と目標を確認する	90分
第8回	教育と児童福祉における目的と目標（その2） 具体的事例を通して理解を深める	
	【予習】テキストの該当部分（p 1 1 4 - p 1 1 9）を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】幼稚園及び保育所の目的と目標を確認する	90分
第9回	わが国の幼児教育・保育の制度	
	【予習】テキストの該当部分（p 1 2 0 - p 1 2 6）を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】日本の幼児教育・保育の制度を確認する。	90分
第10回	外国の幼児教育・保育の制度	
	【予習】テキストの該当部分（p 1 2 7 - p 1 4 0）を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】外国の幼児教育・保育の制度を確認する。	90分

第11回	子どもの発達の特徴と遊び(その1)	
	【予習】テキストの該当部分(p162～p174)を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】0～2歳児の各年齢の発達の特徴と遊びを整理し、保育者のかかわりのポイントを確認する	90分
第12回	子どもの発達の特徴と遊び(その2)	
	【予習】テキストの該当部分(p175～p189)を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】3～5歳児の各年齢の発達の特徴と遊びを整理し、保育者のかかわりのポイントを確認する	90分
第13回	教育課程・保育課程の編成と教育評価	
	【予習】テキストの該当部分(p142～p161、p190～211)を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】教育課程・保育課程の意義と作成方法、および教育評価の方法を確認する	90分
第14回	現代の教育課題について(生涯学習社会、家庭、地域との関わり、特別支援教育)	
	【予習】テキストの該当部分(p226～p237)を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】生涯学習社会における幼児教育の意義、家庭や地域が教育に果たす役割、及び特別支援教育の考え方を確認する	90分
第15回	これからの保育者に求められるもの	
	【予習】自分の理想とする保育士像を確認する	90分
	【復習】自分の理想とする保育士像について改めて確認する	90分

授業科目名	児童社会			科目コード	C111-21				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 教育・保育	担当教員名	高木 三郎 梅本 恵						
開講時期	2年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)	保育原理 教育原理 児童家庭福祉 社会的養護	後継科目							
関連科目	保育者論 相談援助								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	子どもを取り巻く社会環境における現代的なトピックをとりあげ、その現状と課題について考える。また、そのような社会の中で、子どもの人権・福祉が守られ、心身ともに健やかに育つために必要とされる、教育・福祉に関する理念や法制度、さらには行財政の仕組みなどへの理解を深める。講義の中には外部講師による解説や、グループによる課題探究活動、討議・発表を織り込む。								
学習目標	保育者として、現代の子どもを取り巻く社会的問題への総合的な認識を深めるとともに、個々の問題への解決力を身につける。								
キーワード	法・制度 人権 福祉 社会的弱者 子ども								
テキスト・ 参考書等	資料プリント								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	幼児教育をめぐる社会情勢や子どもをめぐる理念・法制度についての専門的な知識を持っている。								
LO-2	社会にかかわる専門的な知識を子ども・保護者支援に活かすためのコミュニケーション技術や、専門的な技能を持っている。								
LO-3	子どもや幼児教育をめぐる社会情勢について、体系的・論理的に考察し、その課題を自ら設定・解決することにより、保育にかかわる実践力を身につけている。								
LO-4	子ども・子育てをめぐる社会情勢に関する高い興味・関心を持ち、社会のニーズ・問題点を意識した保育・教育実践に主体的にかかわろうとしている。								
LO-5	子どもや社会的弱者・少数者への共感に基づいて、協働・共助の社会、持続可能性に満ちた地域の形成者としてありつづけようとしている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		20	60		20				100
LO-1		20	20						40
LO-2			20						20
LO-3			20		10				30
LO-4					5				5
LO-5					5				5
備考	提出物、レポート等については、成績評価やコメントを付して返却する、解答例や解説を配布する場合もある。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<p>子どもと法・制度 1 子どもをとりまく法と制度（子どもの権利や保護にかかわる条約、宣言、法令などを体系的に取り上げるとともに、それらに伴う具体的な制度について概観する。）</p>	
	【予習】分担して、指示された法令をコピーし、その要点を個々でまとめる。	40分
	【復習】幼児教育の基本理念を条約・宣言などに照らしてまとめ、レポートする。	50分
第2回	<p>子どもと法・制度 2 新しい保育・幼児教育制度（国の子ども・子育て支援政策のなかで取られている、具体的な幼児教育の量的拡大、質の向上について理解を深める。）</p>	
	【予習】新しい子ども・子育て支援制度にかかわる新聞記事を切り抜き、その要点をまとめる。	40分
	【復習】子ども・子育て支援策のねらいと内容を箇条書きにする。	50分
第3回	<p>子どもと法・制度 3 富山市の子ども支援策（講話を聞き、富山市の保育の重点施策や特色ある取り組みについて理解を深める。）</p>	
	【予習】富山市のHPから子ども子育て支援策の方針と特徴的な内容を調べ、まとめる。	40分
	【復習】講話の内容をレポートする。	50分
第4回	<p>子どもと危機管理 1 子育て事故・クレーム社会（幼児教育をめぐる事故の実際や、法的な対策、防止策について理解を深める。また、幼児教育をめぐるトラブル・苦情への対応についての理解を深める。）</p>	
	【予習】保育事故にかかわる新聞記事を切り抜き、その要点をまとめる。	40分
	【復習】保護者と子育てを共有する保育者のあり方について仲間と意見交換をする。	50分
第5回	<p>子どもと危機管理 2 防災対策（洪水、地震、津波などの災害への対応事例を考察し、安心・安全の場としての保育所のあり方について理解を深める。）</p>	
	【予習】東日本大震災での保育所・学校の対応について文献で調べ、まとめる。	50分
	【復習】幼児教育施設の安心・安全および保育者のあり方のテーマでレポートする。	50分
第6回	<p>子どもと危機管理 3 富山県の危機管理（講話を聞き、富山県の危機管理対策について理解を深める。）</p>	
	【予習】富山県のホームページから危機管理対策について調べる。	40分
	【復習】講話の内容をレポートする。	50分
第7回	<p>子どもと人権 1 ジェンダーと性的マイノリティー（保育の場におけるジェンダーについて、事例を上げて考察する。また、多様性を尊重する社会のあり方、保育のあり方について理解を深める。）</p>	
	【予習】ジェンダー、性的マイノリティーに関する新聞記事を探す。	40分
	【復習】仲間とのディスカッションを経て得られた感想をまとめる。	30分
第8回	<p>子どもと人権 2 性的マイノリティーに関わる講話を聞き、共生社会について考える。</p>	
	【予習】配布された資料を読み、問題意識を持って講話が聞けるようにしておく。	30分
	【復習】講話の内容を受けて、気付きと学んだことをレポートする。	40分
第9回	<p>子どもと家庭・家族 1 多様化する家族と子ども（子どもを取り巻く保護者の問題に目を向け、ひとり親家族、夫婦別姓など多様な家族のあり方を理解する。）</p>	
	【予習】配布された資料を読んでおく。	30分
	【復習】授業で配布された資料とプリントを見直し、整理する。	40分
第10回	<p>子どもと家庭・家族 2 選択的夫婦別姓に取り組んできた方の講話を聞き、男女共同参画社会について考える。</p>	
	【予習】配布された資料を読み、問題意識を持って講話が聞けるようにしておく。	30分
	【復習】講話の内容を受けて、気付きと学んだことをレポートする。	40分

第11回	子どもと家庭・家族 3 不登校・引きこもりの支援（NPO法人の講話を聞き、インクルーシブ社会の実現について考える。）	
	【予習】配布された資料を読み、問題意識を持って講話が聞けるようにしておく。	0分
	【復習】講話の内容を受けて、気付きと学んだことをレポートする。	0分
第12回	テーマ別探究 次の4つのテーマから1つを選び、班別学習で理解を深め発表する。 1 児童虐待（虐待の現状、その原因、防止の手立てなどを事例を上げて考察するとともに、法令での扱いを確認・理解する。 2 子どもの貧困化（格差社会、貧困がもたらす子どもへの影響、貧困の連鎖・循環などについて具体例を上げつつ考察するとともに、不平等社会の実現を目指す社会のあり方	
	【予習】各テーマについての新聞切抜きを探す。	40分
	【復習】班別学習の分担や資料、方向をまとめる。	50分
第13回	テーマ別探究 選択したテーマに基づいて、発表用の資料を検索、整理する。	
	【予習】必要な資料を探す。	40分
	【復習】班別学習の結果を整理し、まとめる。	50分
第14回	テーマ別探究 班内討議 発表用原稿をまとめる。	
	【予習】前回の班別学習を踏まえ、さらに必要な資料を探す。	50分
	【復習】発表原稿を完成させ、情報機器を用いた発表に備える。	100分
第15回	テーマ別探究 テーマ別発表会 発表用資料を整理するとともに、班ごとに探究成果を発表する。	
	【予習】発表の練習をする。	50分
	【復習】発表資料をファイルに整理し、レポートをまとめる。	100分

授業科目名	児童家庭福祉			科目コード	C113-10				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 福祉		担当教員名	明柴 聡史					
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	社会福祉		後継科目	社会的養護					
関連科目	社会福祉								
資格等 取得との関連	保育士資格 幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	「児童家庭福祉の意義と歴史」「児童家庭福祉の制度と実施体制」「児童家庭福祉の現状と課題」を柱として、児童家庭福祉全体について現実を踏まえながら考察を進める。テキストを基本としつつ、最新の資料や参考文献等を随時提示する。履修者一人ひとりが、現状の課題とその克服のための方策について、自ら考察を深めることを希望する。								
学習目標	児童のウェルビーイング（幸せ）を実現するための活動の総体である児童家庭福祉の理念・制度・方法について学び、児童家庭福祉専門職としての保育士に必要な基本的事項について理解することを目標とする。								
キーワード									
テキスト・ 参考書等	テキスト：立花直樹・波田埜英治編著『児童家庭福祉論』（ミネルヴァ書房） 参考書：『保育福祉小六法』（みらい）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 児童家庭福祉の理念や制度について基本的事項を理解し、主な施策分野毎の現状と課題を説明することができる。								
LO-2	【技能】 児童福祉の対象者にかかわる技能(寄り添うなど)を学ぶ								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 児童家庭福祉の動向や展望を踏まえ、問題解決のための方策について、考察を深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 児童のウェルビーイング（幸せ）や権利保障に高い関心を持ち、自らもその実現に向けて努力しようとする。								
LO-5	【社会性・人間性】 価値観の多様性を認め、他者の意見を尊重しながら、自己の意見を適切に主張することができる。課題解決のために、他者と協働することができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		30			20			100
LO-1	30		10						40
LO-2			10						10
LO-3	20								20
LO-4						10			10
LO-5			10			10			20
備考	その他Aは平常点（授業参加態度及び毎回の出席カードによる質問・意見・感想の評価） 定期試験については、実施後模範解答を示し、設問について解説する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「オリエンテーション」：授業方針の説明 本授業の概要を把握し、授業のねらいや授業計画を理解する 児童家庭福祉の基本構造について学ぶ	
	【予習】シラバスを読み、本授業内容を把握する / テキスト序章を読み、児童家庭福祉の視点について確認する	30分
	【復習】授業の全体像について確認する / 児童家庭福祉の基本構造や視点について、授業内容を確認し、理解を深める	60分
第2回	児童家庭福祉とは 子ども・家庭・福祉とは何か	
	【予習】児童と家庭を取り巻く現状の概要をテキスト第1章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童と家庭を取り巻く現状について、授業内容を確認し、理解を深める / 第1章<まとめてみよう>	90分
第3回	児童と家庭・社会～子育てのいま・未来	
	【予習】児童と家庭を取り巻く現状の概要をテキスト第1章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】	90分
第4回	児童の権利に関する条約について 権利保障、権利擁護の取り組みを理解する。 添付：児童の権利に関する条約全文	
	【予習】児童家庭福祉の理念の中核である「子どもの権利保障」の概要をテキスト第2章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】子どもの権利保障について、授業内容を確認し、理解を深める / 第2章<まとめてみよう>	90分
第5回	児童家庭福祉の意義と歴史 児童家庭福祉の歴史 欧米の児童家庭福祉 日本の児童家庭福祉	
	【予習】児童家庭福祉の歴史の概要をテキスト第3章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童家庭福祉の歴史について、授業内容を確認し、理解を深める / 第3章<まとめてみよう>	90分
第6回	「児童家庭福祉の制度と実施体制」(1)：児童家庭福祉の制度と法体系 児童福祉法 / 児童家庭福祉に関する法律	
	【予習】児童福祉法と児童家庭福祉関係法律の概要をテキスト第4章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】少子化対策大綱資料 児童福祉法及び関係法律と制度について、授業内容を確認し、理解を深める / 第4章<まとめてみよう>	90分
第7回	「児童家庭福祉の制度と実施体制」(2)：児童家庭福祉行政と実施機関 児童家庭福祉の行政 / 児童家庭福祉の実施機関と施設 児童家庭福祉参考資料	
	【予習】児童家庭福祉行政と実施機関の概要をテキスト第5章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】児童福祉に関する法律 児童家庭福祉行政と実施機関について、授業内容を確認し、理解を深める / 第5章<まとめてみよう>	90分
第8回	児童家庭福祉の行政と実施機関 富山県家庭児童相談室	
	【予習】子育て支援サービスと健全育成施策の概要をテキスト第6章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】 授業資料 子育て支援サービスと健全育成施策の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第6章<まとめてみよう> 小テスト解答・解説	90分
第9回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：母子保健サービス 母子保健の理念 / 母子保健サービスの実施と体系 / 母子保健の取り組み	
	【予習】母子保健サービスの概要をテキスト第7章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】母子保健サービスの現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第7章<まとめてみよう>	90分
第10回	「児童家庭福祉施設の利用と措置、保育・教育施設と幼保一体化」保育サービス 少子化と働き方改革 保育サービス・子育て支援サービス 少子化対策の背景と働き方改革の背景	
	【予習】保育サービスの概要をテキスト、参考文献等で確認する	60分
	【復習】保育サービスの現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / <まとめてみよう> 保育所の設備及び運営に関する基準(最低基準)を見定める。	90分

第11回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：児童虐待とDV（ドメスティック・バイオレンス） 児童虐待 DV（ドメスティック・バイオレンス）	
	【予習】児童虐待とDV（ドメスティック・バイオレンス）の概要をテキスト第9章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】児童虐待とDV（ドメスティック・バイオレンス）の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第9章 <まとめてみよう>	90分
第12回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：社会的養護 社会的養護とは 代替的養護 社会的養護の状況と今後 <配布資料> <スライド1> <スライド2> 社会的養護：厚生労働省ホームページ	
	【予習】社会的養護の概要をテキスト第10章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】社会的養護の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第10章 <まとめてみよう>	90分
第13回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：ひとり親家庭への福祉 ひとり親家庭の現状と生活状況 ひとり親家庭福祉サービスの概要 <配布資料> <参考配布>	
	【予習】ひとり親家庭への福祉の概要をテキスト第11章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】ひとり親家庭への福祉の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第11章 <まとめてみよう>	90分
第14回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：障害のある子どもの福祉 「障害」観 障害児の定義と現状 障害児への福祉施策 <配布資料> <参考配布> <スライド>	
	【予習】障害のある子どもの福祉の概要をテキスト第12章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】情緒障害・少年非行問題の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第13章 <まとめてみよう>	90分
第15回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：情緒障害・少年非行問題 情緒障害 少年非行 <配布資料> <スライド>	
	【予習】情緒障害・少年非行問題の概要をテキスト第13章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】情緒障害・少年非行問題の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第13章 <まとめてみよう>	90分

授業科目名	社会的養護			科目コード	C113-11				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 福祉		担当教員名	明柴 聡史					
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	児童家庭福祉		後継科目	なし					
関連科目	社会福祉 保育実習 -2								
資格等 取得との関連	保育士資格、幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	社会的養護について、「意義と歴史」「児童家庭福祉との関連性及び児童の権利擁護」「制度と実施体系」「施設養護の実際」を柱に、現実を踏まえながら理解を深めます。テキストを基本としつつ、最新の資料や参考文献等を随時提示します。履修者一人ひとりが、現状の課題とその克服のための方策について、自ら考察を深めることを希望します。								
学習目標	社会的養護の意義と歴史、制度、施設養護の実際、現状と課題について理解するとともに、児童福祉施設における援助者としての保育士の役割や援助について理解し、保育実習 の2(施設)に備えることを目標とします。								
キーワード	社会的養護 家庭養護 家庭的養護 施設養護 児童福祉施設 児童養護施設 乳児院 里親								
テキスト・ 参考書等	テキスト：大竹智・山田利子編『保育と社会的養護原理』（みらい） 参考書：『保育福祉小六法』（みらい）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 社会的養護の意義や歴史、制度、施設養護の実際について基本的事項を理解するとともに、施設養護における保育士の役割や援助について理解している。								
LO-2	【技能】								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 社会的養護の動向や方向性を踏まえ、問題解決のための方策について、考察を深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 社会的養護における児童の権利擁護や発達援助、自立支援について高い関心をもち、施設養護の援助者としての実践力の向上に努める。								
LO-5	【社会性・人間性】 価値観の多様性を認め、他者の意見を尊重しながら、自己の意見を適切に主張することができる。課題解決のために、他者と協働することができる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	80					20			100
LO-1	60								60
LO-2									
LO-3	20								20
LO-4						10			10
LO-5						10			10
備考	その他Aは平常点（授業参加態度及び毎回の出席カードによる質問・意見・感想の評価） 定期試験：教科書は持ち込み不可 / 小六法・ノート・配布プリントは持ち込み可 定期試験実施後、模範解答を示し、誤答の多い設問について解説する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「オリエンテーション」「社会的養護の意義」 本授業の概要を把握し、授業のねらいや授業計画を理解する / 社会的養護の意義について学ぶ <レジュメ> <参考資料> <スライド>	
	【予習】シラバスを読み、本授業内容を把握する / テキスト第1章を読み、社会的養護の意義について確認する	90分
	【復習】授業の全体像について確認する 社会的養護の意義、理念、視点について、授業内容を把握し、理解を深める / 第1章<まとめてみよう> <厚生労働省   社会的養護より：「社会的養護の課題と将来像の実現に向けて（平成28年7月）」>	90分
第2回	「児童家庭福祉と社会的養護」 子どもと家庭を取り巻く環境 / 児童養護問題（時代の変化と社会的養護のニーズ） <レジュメ> <スライド>	
	【予習】児童家庭福祉と社会的養護について、テキスト第2章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童家庭福祉と社会的養護について、授業内容を把握し、理解を深める / 第2章<まとめてみよう> 補充：児童家庭福祉「ひとり親家庭の福祉」 レジュメ 参考資料	90分
第3回	「社会的養護の歴史の変遷」 日本における社会的養護の歴史 / 欧米諸国における社会的養護の歴史と現状 / 子ども観の変遷 <配布資料> <授業スライド>	
	【予習】社会的養護の歴史の変遷について、テキスト第3章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】社会的養護の歴史の変遷について、授業内容を把握し、理解を深める / 第3章<まとめてみよう>	90分
第4回	「児童の権利擁護と社会的養護」 基本的人権と子どもの権利 / 「児童の権利に関する条約」 / 権利擁護 <配布資料> <授業スライド>	
	【予習】児童の権利擁護と社会的養護について、テキスト第4章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童の権利擁護と社会的養護について、授業内容を把握し、理解を深める / 第4章<まとめてみよう>	90分
第5回	「社会的養護の制度と法体系」 社会的養護に係る法律 / 児童福祉施設の設備及び運営に関する基準 <配布資料> <授業スライド>	
	【予習】社会的養護の制度と法体系について、テキスト第5章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】社会的養護の制度と法体系について、授業内容を把握し、理解を深める / 第5章<まとめてみよう> 参考：厚生労働省ホームページ「社会的養護に関する法令・通知等一覧」へリンク	90分
第6回	「社会的養護の仕組みと実施体制」 社会的養護の体系 / 施設養護 / 家庭養護 / 相談機関と支援体制 <配布資料> <授業スライド>	
	【予習】社会的養護の仕組みと実施体制について、テキスト第6章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】社会的養護の仕組みと実施体制について授業内容を把握し理解を深める / 第6章<まとめてみよう> 次の動画を見て、社会的養護のあり方について考えてみよう 動画リンク：夢がもてない：養護施設や里親の下で暮らす子どもたち	90分
第7回	「施設養護の特質と基本原則」 施設養護とは（基本原理） / 施設養護の展開過程 / 施設養護のインケアの実際 <配布資料> <授業スライド> 参考：児童養護施設運営指針	
	【予習】施設養護の特質と基本原則について、テキスト第7章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】施設養護の特質と基本原則について、授業内容を把握し、理解を深める / 第7章<まとめてみよう>	90分
第8回	「施設養護の実際」(1)：児童養護系施設 乳児院 / 母子生活支援施設 / 児童養護施設 <配布資料> <参考：児童養護施設入所児童等調査結果>	
	【予習】児童養護系施設における施設養護の実際について、テキスト第8章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童養護系施設における施設養護の実際について、授業内容を把握し、理解を深める / 第8章<まとめてみよう> <参考資料> 乳児院運営指針 児童養護施設運営指針	90分
第9回	「施設養護の実際」(2)：障害児系施設 その1 ～肢体不自由児・重症心身障害児～ 障害児入所施設 / 児童発達支援センター <配布資料>	
	【予習】障害児系施設における施設養護の実際について、テキスト第9章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】障害児系施設における施設養護の実際について、授業内容を把握し、理解を深める / 第9章<まとめてみよう>	90分
第10回	「施設養護の実際」(2)：障害児系施設 その2 ～知的障害児～ 障害児入所施設 / 児童発達支援センター <配布資料> 前回と同じ	
	【予習】障害児系施設における施設養護の実際について、テキスト第9章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】障害児系施設における施設養護の実際について、授業内容を把握し、理解を深める / 第9章<まとめてみよう>	90分

第11回	「知的障害者のための施設」 知的障害の理解 / 知的障害者のための施設と支援 <配布資料(抜粋)>	
	【予習】知的障害者のための施設における支援について、参考文献等で確認する	90分
	【復習】知的障害者のための施設における支援について、授業内容を把握し、理解を深める	90分
第12回	「施設養護の実際」(3):治療・行動系施設 情緒障害児短期治療施設 / 児童自立支援施設 <配布資料>	
	【予習】治療・行動系施設における施設養護の実際について、テキスト第10章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】治療・行動系施設における施設養護の実際について、授業内容を把握し、理解を深める / 第10章<まとめてみよう> <参考資料> 情緒障害児短期治療施設運営指針 児童自立支援施設運営指針	90分
第13回	「里親養育の基本原則と実際」 里親制度 / 養子縁組 / ファミリーホーム" <配布資料>	
	【予習】里親養育の基本原則と実際について、テキスト第11章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】里親養育の基本原則と実際について、授業内容を把握し、理解を深める / 第11章<まとめてみよう> <参考資料> 里親ファミリーホーム養育指針 里親委託ガイドライン 里親制度運営要綱	90分
第14回	「社会的養護とソーシャルワーク」 社会的養護にかかわる専門職 / 社会的養護にかかわる専門機関 <配布資料>	
	【予習】社会的養護とソーシャルワークについて、テキスト第13章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】社会的養護とソーシャルワークについて、授業内容を把握し、理解を深める / 第13章<まとめてみよう>	90分
第15回	「社会的養護の動向と方向性」 社会的養護の施策の動向 / 社会的養護の課題 <配布資料>	
	【予習】社会的養護の動向と方向性について、テキスト第15章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】社会的養護の動向と方向性について、授業内容を把握し、理解を深める / 第15章<まとめてみよう> 参考資料:厚生労働省「社会的養護の課題と将来像の実現に向けて(平成27年11月)」	90分

授業科目名	社会福祉			科目コード	C113-20				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 福祉		担当教員名	村上 満					
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	児童家庭福祉		後継科目	保育実習指導 相談援助					
関連科目	日本国憲法 保育実習指導								
資格等 取得との関連	保育士資格、幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	「社会福祉の理念・概念」「社会福祉の対象理解」「社会福祉の法制度」「社会福祉の実践方法」を柱として、それぞれの各論を説明しながら、社会福祉全体について現実を踏まえて授業を進める。その際、テキストを基本としながら、最新の資料や参考文献等を随時提示していく。履修者一人ひとりが、現状の課題とその克服のための方策について独自に考察できるよう授業を組み立てていく。								
学習目標	「人々の幸せを目指す社会的努力」としての社会福祉の理念・概念、対象理解、法制度・実践方法を理解する。 保育と社会福祉の関係について、保育者の視点から具体的に説明できるようになる。 社会福祉を自分の身近な問題として捉えることができるとともに、特に保育や子育てをめぐる生活課題について具体的に取り上げることができる。								
キーワード	ノーマライゼーション、ソーシャルワーク、保育ソーシャルワーク、相談援助								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『保育と社会福祉』橋本好市・宮田徹編 みらい 参考書：『保育福祉小六法』みらい								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 社会福祉の理念・概念、対象理解、法制度・実践方法について理解できるとともに、特に保育と社会福祉の関係について、保育者の視点から具体的に説明できるようになる。								
LO-2	該当しない								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】社会福祉を自分の身近な問題として捉えるだけでなく、その社会的背景や解決すべき方策について論理的に考察し、学びを深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】社会福祉は生活に極めて密着した学問であることを的確に把握できるとともに、特に保育者としての視点から、子どもをめぐる生活課題等に関心を持って過ごすことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】バイステックの原則を理解しながら、福祉マインドあふれる関わり方や他者との適切なコミュニケーションをすることが、保育者として持つべき資質であると理解して過ごすことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	80		20						100
LO-1	20								20
LO-2									
LO-3	20		10						30
LO-4	20								20
LO-5	20		10						30
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション( 講義のねらいや授業計画について、 社会福祉の理念と概念、 社会福祉の分野で働く専門職とは、 ソーシャルワークについて、 我が国における社会福祉の特徴と課題)	
	【予習】保育と社会福祉：テキストの16ページから25ページまでを読んでみることににより、我が国の社会福祉の現状について興味を持つ。	20分
	【復習】保育と社会福祉：社会福祉とは何かについて自分の言葉で説明できるとともに、テキストの16ページから25ページまでを改めて読んでみることににより、我が国の社会福祉の現状について、レジュメを確認する。	30分
第2回	社会福祉の考え方と役割(1)：社会福祉の意味・定義(社会福祉の概念・構造や基本的な考え方について、その理念・目標、範囲など)	
	【予習】社会福祉の意味・定義：テキストの16ページから36ページまでを読んでみることににより、我が国の社会福祉の現状から社会福祉の考え方と役割について興味を持つ。	30分
	【復習】社会福祉の意味・定義：社会福祉とは何かについて自分の言葉で説明できるとともに、テキストの16ページから36ページまでを改めて読んでみることににより、我が国の社会福祉の現状と社会福祉の考え方と役割について、レジュメを確認する。	50分
第3回	社会福祉の考え方と役割(2)：保育と社会福祉の関係(保育の意味と社会福祉を学ぶ意義について)	
	【予習】保育と社会福祉の関係：テキストの16ページから38ページまでを読んでみることににより、我が国の社会福祉の現状から保育の意味と社会福祉を学ぶ意義について興味を持つ。	30分
	【復習】保育と社会福祉の関係：保育の意味と社会福祉を学ぶ意義とは何かについて自分の言葉で説明できるとともに、テキストの16ページから38ページまでを改めて読んでみることににより、我が国の社会福祉の現状から保育の意味と社会福祉を学ぶ意義について、レジュメを確認する。	50分
第4回	社会福祉の歴史(1)：欧米の社会福祉の歴史（イギリス・アメリカ・スウェーデンにおける社会福祉の歴史）	
	【予習】欧米の社会福祉の歴史：テキストの42ページから48ページまでを読んでみることににより、我が国の社会福祉だけでなく、海外の社会福祉について興味を持つ。	30分
	【復習】欧米の社会福祉の歴史：海外の社会福祉、特にイギリス、アメリカ、スウェーデンの歴史について自分の言葉で説明できるとともに、テキストの42ページから48ページまでを改めて読んでみることににより、我が国の社会福祉の現状だけでなく、海外の社会福祉について、レジュメを確認する。	50分
第5回	社会福祉の歴史(2)：日本の社会福祉の歴史（戦前と戦後における社会福祉の展開、新しい社会福祉の理念と新しい展開、慈善事業、社会事業、戦後の福祉施策の流れ）	
	【予習】日本の社会福祉の歴史：テキストの48ページから53ページまでを読んでみることににより、我が国の社会福祉について興味を持つ。	40分
	【復習】我が国の社会福祉の歴史：我が国の社会福祉の歴史について自分の言葉で説明できるとともに、テキストの48ページから53ページまでを改めて読んでみることににより、我が国の社会福祉の歴史について、レジュメを確認する。	50分
第6回	社会福祉の法と実施運営体制(1)：我が国における社会保障の概念と体系（社会保険・公的扶助）の概念と体系について	
	【予習】社会保障の概念と体系：前回の日本の社会福祉の歴史をふまえたながら、テキストの56ページから68ページまでを読んでみることににより、我が国における社会保障の概念と体系について興味を持つ。	40分
	【復習】社会保障の概念と体系：我が国における社会保障の概念と体系について自分の言葉で説明できるとともに、テキストの56ページから68ページまでを改めて読んでみることににより、我が国における社会保障の概念と体系について、レジュメを確認する。	50分
第7回	社会福祉の法と実施運営体制(2)：社会福祉の制度・法体系（日本国憲法・社会福祉法、高齢者福祉・障がい者福祉の法制度）	
	【予習】社会福祉の制度・法体系：前回の我が国における社会保障制度をふまえながら、テキストの72ページから84ページまでを読んでみることににより、我が国における社会福祉の制度・法体系について興味を持つ。	50分
	【復習】社会福祉の制度・法体系：我が国における社会福祉の制度・法体系、特に高齢者、障がい者福祉制度について自分の言葉で説明できるとともに、テキストの72ページから84ページまでを改めて読んでみることににより、我が国における社会福祉の制度・法体系について、レジュメを確認する。	60分
第8回	社会福祉の法と実施運営体制(3)：社会福祉施設の実施機関と行財政（国・都道府県、市町村の福祉行政機関、福祉の計画・財源について）	
	【予習】社会福祉施設の実施機関と行財政：前回の我が国における社会福祉の制度・法体系をふまえながら、テキストの86ページから96ページまでを読んでみることににより、我が国における社会福祉施設の実施機関と行財政について興味を持つ。	50分
	【復習】社会福祉施設の実施機関と行財政：我が国における社会福祉施設の実施機関と行財政について自分の言葉で説明できるとともに、テキストの86ページから96ページまでを改めて読んでみることににより、我が国における社会福祉施設の実施機関と行財政について、レジュメを確認する。	60分
第9回	社会福祉の法と実施運営体制(4)：社会福祉の施設（社会福祉施設の概要、社会福祉施設の運営）	
	【予習】社会福祉の施設：前回の我が国における社会福祉の実施機関と行財政をふまえながら、テキストの98ページから104ページまでを読んでみることににより、我が国における社会福祉の施設、特に社会福祉施設の概要と社会福祉施設の運営について興味を持つ。	50分
	【復習】社会福祉の施設：我が国における社会福祉の施設について自分の言葉で説明できるとともに、テキストの98ページから104ページまでを改めて読んでみることににより、我が国における社会福祉の施設、特に社会福祉施設の概要と社会福祉施設の運営について、レジュメを確認する。	60分
第10回	児童家庭福祉：子どもの人権と児童福祉の理念（児童家庭福祉の実施と動向、保育施策の動向）	
	【予習】子どもの人権と児童福祉の理念：前回の我が国における社会福祉の実施機関（特に児童家庭福祉に関する実施機関）をふまえながら、テキストの106ページから119ページまでを読んでみることににより、我が国における子どもの人権と児童福祉の理念について興味を持つ。	60分
	【復習】子どもの人権と児童福祉の理念：我が国における子どもの人権と児童福祉の理念について自分の言葉で説明できるとともに、テキストの106ページから119ページまでを改めて読んでみることににより、我が国における子どもの人権と児童福祉の理念について、レジュメを確認する。	60分

第11回	社会福祉の専門職と倫理：社会福祉専門職の専門性（社会福祉の専門職、社会福祉専門職の専門性と倫理）	
	【予習】社会福祉専門職の専門性：前回の我が国における子どもの人権と児童福祉の理念をふまえながら、テキストの122ページから137ページまでを読んでみることに により、我が国における社会福祉専門職の専門性について興味を持つ。	60分
	【復習】社会福祉専門職の専門性：我が国における社会福祉専門職の専門性について自分の言葉で説明できるとともに、テキストの122ページから137ページまでを改 めて読んでみることににより、我が国における社会福祉専門職の専門性について、レジュメを確認する。	60分
第12回	相談援助の意味と方法：相談援助・ソーシャルワークの意味（相談援助・ソーシャルワークの視点、相談援助・ソーシャルワークの動向）	
	【予習】相談援助・ソーシャルワークの意味：前回の我が国における社会福祉専門職の専門性をふまえながら、テキストの140ページから155ページまでを読んでみる ことににより、我が国における相談援助・ソーシャルワークの意味について興味を持つ。	60分
	【復習】相談援助・ソーシャルワークの意味：我が国における相談援助・ソーシャルワークの意味について自分の言葉で説明できるとともに、テキストの140ページ から155ページまでを改めて読んでみることににより、我が国における相談援助・ソーシャルワークの意味について、レジュメを確認する。	60分
第13回	福祉サービスの利用支援と第三者評価：措置制度から契約・利用制度へ（福祉サービスの適切な利用支援、第三者評価・権利擁護・苦情解決）	
	【予習】措置制度から契約・利用制度へ：前回の我が国における相談援助・ソーシャルワークの意味をふまえながら、テキストの158ページから184ページまでを読 んでみることににより、我が国における福祉サービスの適切な利用支援、第三者評価・権利擁護・苦情解決制度について興味を持つ。	60分
	【復習】措置制度から契約・利用制度へ：我が国における契約・利用制度について自分の言葉で説明できるとともに、テキストの158ページから184ページまでを改 めて読んでみることににより、我が国における福祉サービスの適切な利用支援、第三者評価・権利擁護・苦情解決制度について、レジュメを確認する。	60分
第14回	地域の福祉の意味と推進方法：地域福祉の理念（地域福祉の担い手、地域福祉の方法）	
	【予習】地域福祉の理念：前回の我が国における福祉サービスの適切な利用支援、第三者評価・権利擁護・苦情解決制度をふまえながら、テキストの186ページから1 95ページまでを読んでみることににより、我が国における地域福祉の担い手、地域福祉の方法について興味を持つ。	60分
	【復習】地域福祉の理念：我が国における地域福祉の理念について自分の言葉で説明できるとともに、テキストの186ページから195ページまでを改めて読 んでみることににより、我が国における地域福祉の担い手、地域福祉の方法について、レジュメを確認する。	60分
第15回	まとめ：他分野との連携とネットワーク、社会福祉と保育士のこれから（社会福祉と主な関係分野との連携、社会福祉専門職としての保育士のあり方）	
	【予習】まとめ：これまでの学習内容を確認しながら、他分野との連携とネットワーク、社会福祉と保育士のこれからについて、テキストの198ページから218ペー ジまでを読んでみることににより、我が国における社会福祉と主な関係分野との連携、社会福祉専門職としての保育士のあり方について興味を持つ。	60分
	【復習】まとめ：我が国における他分野との連携とネットワークや社会福祉と保育士のこれからについて自分の言葉で説明できるとともに、テキストの198ページ から218ページまでを改めて読んでみることににより、我が国における社会福祉専門職としての保育士のあり方について、レジュメを確認する。	60分

授業科目名	相談援助			科目コード	C113-30				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 福祉			担当教員名	明柴 聡史				
開講時期	2年前期			授業の方法	演習				
必修・選択	選択			単位数	1単位				
前提科目(知識)	児童家庭福祉 社会的養護 社会福祉			後継科目	保育相談支援				
関連科目	家庭支援論 幼児理解と教育相談 幼児理解と教育相談								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	保育実践やその他の社会福祉実践における相談援助について、「概要」「方法と技術」「具体的展開」「事例分析」を柱として学び、ケアワークに加えてソーシャルワークの力をもった保育士となるための基礎を養う。								
学習目標	相談援助の概要、方法と技術、具体的展開の基礎的事項について理解する。 保育におけるソーシャルワークの応用と事例分析を通して対象への理解を深める。								
キーワード									
テキスト・ 参考書等	テキスト：西尾祐吾監修『保育実践を深める相談援助・相談支援』（晃洋書房） 参考書：厚生労働省編『保育所保育指針解説書』（フレーベル館）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 相談援助の概要、方法と技術、具体的展開など、保育士として必要な相談援助の基礎知識を身につける。								
LO-2	【技能】 自己覚知、共感的理解、援助的コミュニケーションなど、相談援助に必要な基本的技術を身につける。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 事例等の検討を通して、対象への理解を深めるとともに相談援助の知識や技術について学びを深める。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 保育における相談援助の必要性を把握し、ニーズに応じた相談援助の実践力の向上に努める。								
LO-5	【社会性・人間性】 ディスカッションやグループワークに積極的に参加し、他者との協働を図ることができる。相談援助者に必要な心構えや態度、価値を身につける。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		30			20			100
LO-1	30					10			40
LO-2						5			5
LO-3	20		10			5			35
LO-4			10						10
LO-5			10						10
備考	その他Aは、授業参加態度及びワーク等の際に提出する「ふりかえりシート」等の評価 定期試験実施後、模範解答を示し、誤答の多い問題については解説する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「オリエンテーション」：授業方針の説明 本授業の概要を把握し、授業のねらいや授業計画を理解する 実習事例提出	
	【予習】シラバスを読み、本授業内容を把握する	15分
	【復習】授業の全体像について確認する	30分
第2回	「実習事例検討」 実習事例（児童養護施設等）のグループ討議	
	【予習】事例検討の流れについて確認しておく	15分
	【復習】事例検討を振り返り、まとめる	30分
第3回	「実習事例検討」 実習事例（障害児入所施設等）のグループ討議	
	【予習】事例検討の流れについて確認しておく	15分
	【復習】事例検討を振り返り、まとめる	30分
第4回	「保育と相談援助」 生活課題の解決と援助 保育と相談援助	
	【予習】保育と相談援助のかかわりやその役割などについて、テキスト第1章、参考文献等で確認する	15分
	【復習】進路指導 保育士試験解答 保育と相談援助の関係について、授業内容を確認し、理解を深める	30分
第5回	「相談援助とは何か」(1) 相談援助の意味と視点 相談援助の機能と方法	
	【予習】相談援助の基本的な内容について、テキスト第2章、参考文献等で確認する	15分
	【復習】相談援助の基本的な内容について、授業内容を確認し、理解を深める	30分
第6回	「相談援助とは何か」(2) 相談援助の原則と倫理	
	【予習】相談援助の原則と倫理について、テキスト第2章、参考文献等で確認する	15分
	【復習】相談援助の原則と倫理について、授業内容を確認し、理解を深める	30分
第7回	「相談援助の過程と連携」 相談援助の過程 関係機関との連携、ネットワーク	
	【予習】相談援助の過程と連携について、テキスト第3章、参考文献等で確認する	15分
	【復習】相談援助の過程と連携について、授業内容を確認し、理解を深める	30分
第8回	「相談援助者になるために1（自己覚知）」(1) 自己覚知とは ワーク 自分のイメージ	
	【予習】自己覚知について、テキスト第4章、参考文献等で確認する	15分
	【復習】自己覚知について、ワーク「自分のイメージ」をふりかえり、理解を深める	30分
第9回	「相談援助者になるために1（自己覚知）」(2) ワーク 私を知る - 私という「私」 -	
	【予習】自己覚知について、テキスト第4章、参考文献等で確認する	15分
	【復習】自己覚知について、ワーク「私という「私」」をふりかえり、理解を深める	30分
第10回	6月11日相談援助の過程 「相談援助者になるために1（自己覚知）」(3) ワーク 私の価値観	
	【予習】自己覚知について、テキスト第4章、参考文献等で確認する	15分
	【復習】自己覚知について、ワーク「私の価値観」をふりかえり、理解を深める	30分

第11回	「相談援助者になるために2（他者理解）」(1) 他者を理解すること（価値観の多様性） ワーク 価値観について	
	【予習】他者理解について、テキスト第5章、参考文献等で確認する	15分
	【復習】他者理解について、ワーク「価値観について」をふりかえり、理解を深める	30分
第12回	「相談援助者になるために2（他者理解）」(2) 共感的理解 ワーク 共感の体験・傾聴すること、されること	
	【予習】他者理解について、テキスト第5章、参考文献等で確認する	15分
	【復習】他者理解について、ワーク「共感の体験」をふりかえり、理解を深める	30分
第13回	「相談援助者になるために3（コミュニケーション）」(1) 保育におけるコミュニケーションとは ワーク コミュニケーションと体の感覚	
	【予習】保育におけるコミュニケーションについて、テキスト第6章、参考文献等で確認する	15分
	【復習】保育におけるコミュニケーションについて、ワーク「コミュニケーションと体の感覚」をふりかえり、理解を深める	30分
第14回	「相談援助者になるために3（コミュニケーション）」(2) 非言語コミュニケーションとは ワーク 非言語コミュニケーション（姿勢・態度・距離）	
	【予習】非言語コミュニケーションについて、テキスト第6章、参考文献等で確認する	15分
	【復習】非言語コミュニケーションについて、ワーク「非言語コミュニケーション」をふりかえり、理解を深める	30分
第15回	「相談援助者になるために3（コミュニケーション）」(3) 援助的コミュニケーションとは - 基本的応答技法 - ワーク コミュニケーションの理解	
	【予習】援助的コミュニケーションについて、テキスト第6章、参考文献等で確認する	15分
	【復習】援助的コミュニケーションについて、ワーク「コミュニケーション（言語・非言語）の理解」をふりかえり、理解を深める	30分

授業科目名	保育の心理学			科目コード	C121-10				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 心理		担当教員名	山川 賀世子					
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	保育の心理学					
関連科目	教育心理学 幼児理解と教育相談、								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許・保育士免許								
授業の概要	人の心の発達について、乳幼児期を中心に広く学んでいく。発達心理学の基礎知識の習得に加え、それらをふまえて「保育・教育現場で、自分自身が子どもにどのように関わるべきか」を学生自身が常に問い続け、考え続けることを重視する。								
学習目標	人の心、特に、保育の対象（乳幼児）となる子どもの心について理解する。そのために、乳幼児期に焦点をあてながら、発達心理学の主要領域を概観し、基礎的理解を深めることを目的とする。								
キーワード	発達心理学、乳幼児、保育								
テキスト・ 参考書等	毎回プリントを配布する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	保育現場で子どもに関わる際に必要となる、子どもの心の仕組みや働き、その発達のプロセスをきちんと理解していること。								
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100								100
LO-1	100								100
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション	
	【予習】シラバスを見て、授業内容を確認する。	15分
	【復習】オリエンテーション内容を振り返り、半期間の授業予定を確認する。	15分
第2回	発達を促す	
	【予習】「発達」と「成長」の意味を調べておく。子どもの発達を促すためには何が重要だと思うか、考えをまとめておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習し、授業内容を踏まえた上で、子どもの発達を促すために重要なことを自分なりにまとめる。	120分
第3回	乳幼児期のからだの発達（からだ）	
	【予習】乳児と幼児のからだの発達について調べておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習する。	120分
第4回	乳幼児期のからだの発達（食事）	
	【予習】乳幼児期の食事の特徴について調べておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習する。	120分
第5回	乳幼児期のからだの発達（排泄行動）	
	【予習】「排泄訓練」の意味を調べておく。自分の排泄訓練について、親に話を聞きまとめておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習する。	120分
第6回	乳幼児期・児童期の知的能力の発達	
	【予習】乳幼児期の知的能力の特徴について調べておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習する。テストの正答を確認する。	120分
第7回	児童期の学校生活	
	【予習】園生活から小学校生活に変化することにより、子どもや親にどのような変化が生じると思うか、自分の考えをまとめておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習する。	120分
第8回	思春期・青年期	
	【予習】「思春期」・「青年期」・「アイデンティティ」の意味を調べた上で、思春期や青年期の特徴はどのようなものであるか、自分の考えをまとめておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習する。	120分
第9回	成人期	
	【予習】「成人期」の意味を調べてた上で、この時期の特徴はどのようなものであるか、自分の考えをまとめておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習する。	120分
第10回	高齢期	
	【予習】「高齢期」の意味を調べた上で、この時期の特徴はどのようなものであるか、自分の考えをまとめておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習する。	120分

第11回	さまざまな発達理論	
	【予習】特になし	0分
	【復習】プリントの内容を復習する。また、最終テストに向けて総復習を始める。	150分
第12回	障害（さまざまな障害）	
	【予習】「障害」の意味を調べる。子どもが抱える可能性のある障害には、どのようなものがあるか、調べておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習する。また、最終テストに向けて総復習を行う。	165分
第13回	障害（保育士の役割）	
	【予習】第12回で学んだことを踏まえ、保育の対象である子どもに障害が見られた時、保育者は子どもや保護者に対して何をなすべきであるか、自分の考えをまとめておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習する。また、最終テストに向けて総復習を行う。	165分
第14回	家族の発達	
	【予習】特になし	0分
	【復習】プリントの内容を復習する。また、最終テストに向けて総復習を行う。次回の質問時間に向けて、自分のわからない部分を整理する。	195分
第15回	総まとめ・最終テストに向けての質問	
	【予習】テスト範囲となるところを中心に、これまで学んだことをしっかりと理解しておく。	420分
	【復習】これまでの授業を振り返る。	120分

授業科目名	保育の心理学			科目コード	C121-11				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 心理	担当教員名	山川 賀世子						
開講時期	1年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	保育の心理学	後継科目							
関連科目	教育心理学 幼児理解と教育相談 、								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許・保育士資格								
授業の概要	人の心の発達について、乳幼児期を中心に広く学んでいく。発達心理学の基礎知識の習得に加え、それらをふまえて「保育・教育現場で、自分自身が子どもにどのように関わるべきか」を学生自身が常に問い続け、考え続けることを重視する。								
学習目標	人の心、特に、保育の対象（乳幼児）となる子どもの心について理解する。そのために、乳幼児期に焦点をあてながら、発達心理学の主要領域を概観し、基礎的理解を深めることを目的とする。								
キーワード	発達心理学、乳幼児、保育								
テキスト・ 参考書等	毎回プリントを配布する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	保育現場で子どもに関わる際に必要となる、子どもの心の仕組みや働き、その発達のプロセスをきちんと理解していること。								
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100								100
LO-1	100								100
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション	
	【予習】シラバスを見て、授業内容を確認する。	15分
	【復習】オリエンテーション内容を振り返り、半期間の授業予定を確認する。	15分
第2回	親としての発達	
	【予習】子どもの誕生から自立までに、親の側にはどのような変化があると思うか、考えをまとめておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習し、授業内容を踏まえた上で、子どもの発達に伴う親の側の変化について、自分なりにまとめる。	120分
第3回	親の役割	
	【予習】幼い子どもを持つ親の役割にはどのようなものがあると思うか、考えをまとめておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習し、授業内容を踏まえた上で、幼い子どもを持つ親の役割について、自分なりにまとめる。	120分
第4回	保育士の子どもへのまなざし	
	【予習】特になし	0分
	【復習】プリントの内容を復習し、授業内容を踏まえた上で、保育士の子どもへのまなざしの子どもに与える影響の大きさについて、自分なりにまとめる。	150分
第5回	他者の心の理解の発達	
	【予習】人の気持ちがわかる子どもに育てるためには、どのようなことが必要だと思うか、考えをまとめておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習する。	120分
第6回	道徳性の発達	
	【予習】「道徳」の意味を調べ、子どもの道徳性を育てるためには、どのようなことが必要だと思うか、考えをまとめておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習する。	120分
第7回	言葉の発達と文字の獲得	
	【予習】子どもが言葉を獲得するためには、どのようなことが必要だと思うか、考えをまとめておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習する。	120分
第8回	あそびの発達	
	【予習】「あそび」の意味を調べる。また、幼い頃に楽しく行ったあそびに、どのようなものがあるか、またそれらはなぜ楽しかったのか、まとめておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習する。	120分
第9回	仲間関係	
	【予習】子どもにとって、仲間とはどのような意味があると思うか、自分の考えをまとめておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習する。	120分
第10回	ジェンダー意識の発達	
	【予習】「ジェンダー」の意味を調べる。また、「女の子らしさ」、「男の子らしさ」とは、それぞれどのようなことであると思うか、自分の考えをまとめておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習する。	120分

第11回	子どもをとりまくメディア	
	【予習】特になし	0分
	【復習】プリントの内容を復習する。また、最終テストに向けて総復習を始める。	150分
第12回	自己の発達	
	【予習】特になし	0分
	【復習】プリントの内容を復習する。また、最終テストに向けて総復習を行う。	195分
第13回	親子関係（4つの愛着の型）	
	【予習】特になし	0分
	【復習】プリントの内容を復習する。また、最終テストに向けて総復習を行う。	195分
第14回	親子関係（愛着の型を規定する要因とさまざまな愛着研究）	
	【予習】特になし	0分
	【復習】プリントの内容を復習する。また、最終テストに向けて総復習を行う。次回の質問時間に向けて、自分のわからない部分を整理する。	195分
第15回	総まとめ・最終テストに向けての質問	
	【予習】テスト範囲となるところを中心に、これまで学んだことをしっかりと理解しておく。	420分
	【復習】これまでの授業を振り返る。	120分

授業科目名	教育心理学			科目コード	C121-20				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 心理		担当教員名	樋口 康彦					
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	高校卒業程度の一般的知識		後継科目	教育相談					
関連科目	教師論、教育原理、教育課程総論								
資格等 取得との関連	栄養教諭二種免許に必須								
授業の概要	人間の学習のメカニズムや学習指導の理論、知的発達や人格発達、教育の評価、教師と子どもの関係などについて、広く学んでいく。また、基礎知識の習得に加え、それらをふまえて「教育現場で、自分自身が子どもにどのように関わるべきか」を学生自身が常に問い続け、考え続けることを重視する。								
学習目標	教育活動に携わる上で重要な、人間の心のしくみや働き、また、その発達のプロセスを理解する。そのために、教育心理学の主要領域を概観し、基礎的理解を深めることを目的とする。教育に携わる際に必要となる、人間の心の仕組みや働き、その発達のプロセスをきちんと理解していること。								
キーワード	心理学、子ども、学校								
テキスト・ 参考書等	テキストは特になし。 参考書は、「やさしい教育心理学」(有斐閣)、「教育心理学 第3版 ベーシック現代心理学6」(有斐閣)。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	教育に携わる際に必要となる、人間の心の仕組みや働き、その発達のプロセスをきちんと理解していること。								
LO-2	(該当しない)								
LO-3	(該当しない)								
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70					30			100
LO-1	70					30			100
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考	定期試験70%、その他A(30)は、積極性などの授業態度で評価する。 レポートは採点后、コメントをつけて返却する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション。教育心理とは何か。幼児期における心身の発達に対する外的・内的要因の相互作用。発達に関する代表的理論について。	
	【予習】シラバスを見て、授業内容を確認する。	15分
	【復習】オリエンテーション内容を振り返り、半期間の授業予定を確認する。	15分
第2回	発達を促す。児童期における心身の発達に対する外的・内的要因の相互作用。	
	【予習】「発達」と「成長」の意味を調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。テストの正答を確認する。	135分
第3回	発達概念および教育における発達理解の意義。	
	【予習】教育心理学における発達について調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。	135分
第4回	乳幼児期から青年期における運動発達、言語発達について。	
	【予習】言語能力の発達について調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。	135分
第5回	乳幼児期から青年期における認知発達、社会性発達について。	
	【予習】対象永続性、保存の概念の意味を調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。テストの正答を確認する。	135分
第6回	レスポナント条件づけ、オペラント条件づけ、試行錯誤、モデリング、洞察について理解する。	
	【予習】「学習」の意味を調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。	135分
第7回	様々な学習の形態や概念およびその過程を説明する代表的な理論について。	
	【予習】モデリング、学習の能率について調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。	135分
第8回	動機づけ、集団づくり、学習評価の在り方について発達の特徴と関連付けて理解する。	
	【予習】内発的動機づけ、外発的動機づけ、学級経営の意味を調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。テストの正答を確認する。	135分
第9回	やる気を高める工夫。学級集団の機能、学級集団の理解、学級集団の指導。学級集団の構造と教師の影響について。	
	【予習】効果的な学級経営について調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。	135分
第10回	幼児・児童・生徒の心身の発達を踏まえ、主体的な学習活動を支える指導の基礎となる考え方について理解する。	
	【予習】内発的動機づけを高めるための方法について調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。	135分

第11回	レディネス、学習の転移、様々な学習法について理解する。	
	【予習】レディネスの意味を調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。また、最終テストに向けて総復習を始める。	180分
第12回	知能の理論。知能の発達。流動性知能と結晶性知能。知能の恒常性。知能の週末低下。	
	【予習】知能の意味を調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。また、最終テストに向けて総復習を始める。	180分
第13回	性格の理論。性格形成の要因(遺伝と環境の要因)。親の養育態度が性格に与える影響。きょうだい関係が性格に与える影響。	
	【予習】性格形成の要因について調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。テストの正答を確認する。また、最終テストに向けて総復習を始める。	180分
第14回	欲求について。欲求階層説。ホメオスタシスとは何か。生理的適応と行動的適応。欲求不満耐性。	
	【予習】マズロー、欲求不満について調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。また、最終テストに向けて総復習を始める。	180分
第15回	記憶のしくみ。記憶と忘却。エビングハウスの忘却曲線。長く記憶するための条件。フラッシュバルブ記憶について。テストの説明。	
	【予習】記憶のしくみについて調べる。	420分
	【復習】今回のプリントの内容を復習する。これまでの授業を振り返り、章ごとに重要点をまとめる。	120分

授業科目名	幼児理解と教育相談			科目コード	C121-30				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 心理		担当教員名	山川 賀世子					
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	保育の心理学、保育の心理学		後継科目	幼児理解と教育相談					
関連科目	教育心理学								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	保育の対象となる子どもや保護者を理解し、さまざまな問題が生じている場合にはより良い相談業務を行うために、人間の心の仕組みを理解すること、健康な心の状態と援助を必要とする心の状態を理解すること、各発達段階にある子どもの特徴を知ること、相談を行うための具体的な方法を習得すること、以上の4点について学ぶ。								
学習目標	1. 人間の心の仕組みを理解する 2. 健康な心の状態と援助を必要とする心の状態を理解する 3. 各発達段階にある子どもの特徴を知る 4. 相談を行うための具体的な方法を習得する								
キーワード	幼児理解、教育相談								
テキスト・ 参考書等	適宜、プリントを配布する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	乳幼児及び保護者についての理解と、相談を行うための具体的な方法を知る								
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60			40					100
LO-1	60			40					100
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション	
	【予習】シラバスを見て、授業内容を確認する。	15分
	【復習】オリエンテーション内容を振り返り、半期間の授業予定を確認する。	15分
第2回	環境を認識する際の心の働き	
	【予習】前回作成したプリントを再読する。	10分
	【復習】授業で作成したプリントを再読し整理する。	20分
第3回	人に対していただく偏見	
	【予習】前回作成した自分のプリントを再読する。	10分
	【復習】授業で作成したプリントを再読し整理する。	20分
第4回	人と人との関係	
	【予習】前回作成した自分のプリントを再読する。	10分
	【復習】授業で作成したプリントを再読し整理する。	20分
第5回	自分自身の他者との関わり方の特徴	
	【予習】前回作成した自分のプリントを再読する。	10分
	【復習】授業で作成したプリントを再読し整理する。	20分
第6回	子どもの発達理解と相談・支援	
	【予習】前回作成した自分のプリントを再読する。	10分
	【復習】授業で作成したプリントを再読し整理する。	20分
第7回	保護者への対応・子育て支援	
	【予習】前回作成した自分のプリントを再読する。	10分
	【復習】授業で作成したプリントを再読し整理する。	20分
第8回	気になる子どもとその保護者への対応	
	【予習】前回作成した自分のプリントを再読する。	10分
	【復習】授業で作成したプリントを再読し整理する。	20分
第9回	発達理論とカウンセリング的アプローチ	
	【予習】前回作成した自分のプリントを再読する。	10分
	【復習】授業で作成したプリントを再読し整理する。	20分
第10回	保育場面でのカウンセリング技法	
	【予習】前回作成した自分のプリントを再読する。	10分
	【復習】授業で作成したプリントを再読し整理する。	20分

第11回	専門家との連携	
	【予習】前回作成した自分のプリントを再読する。	10分
	【復習】授業で作成したプリントを再読し整理する。	20分
第12回	写真を使用した子どもの内面の読み取り	
	【予習】なし	0分
	【復習】授業中に配布したプリントを完成させる。	90分
第13回	絵本を使用した子どもの内面の読み取り	
	【予習】なし	0分
	【復習】授業中に配布したプリントを完成させる。	90分
第14回	子どもの観察を通した「ことば」の発達過程の理解	
	【予習】なし	0分
	【復習】授業中に配布したプリントを完成させる。	90分
第15回	子どもの観察を通した「友だち関係」の発達過程の理解	
	【予習】なし	0分
	【復習】授業中に配布したプリントを完成させる。	90分

授業科目名	幼児理解と教育相談			科目コード	C121-31				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 心理	担当教員名	山川 賀世子						
開講時期	2年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	保育の心理学、保育の心理学、幼児理解と教育相談	後継科目							
関連科目	教育心理学								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭2種免許、保育士資格								
授業の概要	教育相談の意義と方法を学ぶと共に、臨床心理学的基礎知識、教育相談の具体例や連携の必要性について学ぶ。								
学習目標	教育相談の意義と方法、教育相談に関わる心理学的な基礎知識、カウンセリングに関する基礎知識と具体例、連携の必要性を理解する。								
キーワード	カウンセリングマインド、教育相談								
テキスト・ 参考書等	随時資料を配布する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	〔知識・理解〕 教育相談の意義や方法、心理学的な基礎知識などを理解している。								
LO-2	〔技能〕 子どもの発達支援および保護者の育児支援に必要な技術を身に付けている。								
LO-3	〔思考力・判断力・表現力〕グループ討議で作成した資料や発表の際の表現が適切に行われている。								
LO-4	〔関心・意欲・態度〕 授業に対する関心・意欲・態度が優れている。								
LO-5	〔社会性・人間性〕 グループ討議や発表を、グループの仲間と協力し合い								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60			20		20			100
LO-1	60								60
LO-2				10					10
LO-3				10					10
LO-4						10			10
LO-5						10			10
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	教育相談とは何か？	
	【予習】なし	0分
	【復習】配布されたプリントの重要点を自分なりにまとめる。	90分
第2回	子どもの問題の理解と対応	
	【予習】なし	0分
	【復習】配布されたプリントの重要点を自分なりにまとめる。	90分
第3回	幼児・児童の精神医学的な基礎	
	【予習】なし	0分
	【復習】配布されたプリントの重要点を自分なりにまとめる。	90分
第4回	不登校・不登園の理解と対応	
	【予習】なし	0分
	【復習】配布されたプリントの重要点を自分なりにまとめる。	90分
第5回	いじめ・神経症的問題の理解と対応	
	【予習】なし	0分
	【復習】配布されたプリントの重要点を自分なりにまとめる。	90分
第6回	連携の重要性	
	【予習】なし	0分
	【復習】配布されたプリントの重要点を自分なりにまとめる。	90分
第7回	事例を用いた気になる子どもへの支援1（グループ討議）	
	【予習】なし	0分
	【復習】自分の考えとグループ討議の結果を、レポートにまとめる。	90分
第8回	事例を用いた気になる子どもへの支援（グループ発表）	
	【予習】発表に向けて、資料をまとめる。	90分
	【復習】なし	0分
第9回	連携が重要となる子どもへの支援（グループ討議）	
	【予習】なし	0分
	【復習】自分の考えとグループ討議の結果を、レポートにまとめる。	90分
第10回	連携が重要となる子どもへの支援（グループ発表）	
	【予習】発表に向けて、資料をまとめる。	90分
	【復習】なし	0分

第11回	保育場面でのカウンセリング技法	
	【予習】なし	0分
	【復習】配布されたプリントの重要点を自分なりにまとめる。	90分
第12回	保育場面でのカウンセリング的関わり：子ども（グループ討議）	
	【予習】なし	0分
	【復習】自分の考えとグループ討議の結果を、レポートにまとめる。	90分
第13回	保育場面でのカウンセリング的関わり：子ども（グループ発表）	
	【予習】発表に向けて、資料をまとめる。	90分
	【復習】なし	0分
第14回	保育場面でのカウンセリング的関わり：保護者（グループ討議）	
	【予習】なし	0分
	【復習】自分の考えとグループ討議の結果を、レポートにまとめる。	90分
第15回	保育場面でのカウンセリング的関わり：保護者（グループ発表）	
	【予習】発表に向けて、資料をまとめる。	90分
	【復習】なし	0分

授業科目名	子どもの保健 -1			科目コード	C123-10				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 保健		担当教員名	松居 紀久子					
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	子どもの保健					
関連科目	子どもの保健 -2								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	子どもの保健のテキストに沿って授業を進める。保育所保育指針に示される子どもの保健の理解を図り、健やかな成長を支援する保育士としての視点を持ち、健康習慣確立の必要性を理解し、その支援方法について学ぶ。								
学習目標	健康とは何かについての理解を深め、健康づくりの手法を学ぶ。 子どもの発育・発達を理解し、健康状態の把握方法について学ぶ。 生命リズムの理解を深め、子どもの生活習慣確立の支援方法を学ぶ。								
キーワード	健康とは 生命リズム 生活習慣 健康づくり 発育・発達								
テキスト・ 参考書等	テキスト 新保育士養成講座第7巻 子どもの保健 改訂2版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	健康とは何かを理解し、子どもの保健を推進するための手法を習得している。								
LO-2	子どもの発育・発達について理解し発育・発達評価できる								
LO-3	現代の社会現象、家庭環境を理解するとともに、健康を増進する生活習慣の確立について考察することができる。								
LO-4	子どもの育ちと子供の育つ環境に関心を持ち、個々のニーズに応じた健康づくりに視点を置き保育支援できるよう自己研鑽に務める。								
LO-5	適切なコミュニケーション技術と態度を身に付け、他者との協働を図ることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100								100
LO-1	20								20
LO-2	20								20
LO-3	20								20
LO-4	20								20
LO-5	20								20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション。子どもの保健の意義と目標。	
	【予習】シラバスを読み、授業内容を把握する。	60分
	【復習】授業の全体像を確認する。	120分
第2回	健康とは、子どもとは。	
	【予習】テキストを読み、不明な部分を把握する。	60分
	【復習】保育における子どもの保健の位置づけを理解する	120分
第3回	地域における保健活動と児童虐待防止。	
	【予習】テキストを読み、不明な部分を把握する	60分
	【復習】板書した内容とテキストを見直し、ポイントを押さえる。	120分
第4回	地域における保健活動と児童虐待防止。	
	【予習】テキストを読み、不明な部分を把握する	60分
	【復習】板書した内容とテキストを見直し、ポイントを押さえる。	120分
第5回	子どもの発育・発達。	
	【予習】テキストを読み、不明な部分を把握する	60分
	【復習】板書した内容とテキストを見直し、ポイントを押さえる。	120分
第6回	生命の特徴。生命リズムの重要性。	
	【予習】テキストを読み、不明な部分を把握する	60分
	【復習】板書した内容とテキストを見直し、ポイントを押さえる。	120分
第7回	母乳哺育。	
	【予習】テキストを読み、不明な部分を把握する	60分
	【復習】板書した内容とテキストを見直し、ポイントを押さえる。	120分
第8回	身体発育と保健。脳の発育。	
	【予習】テキストを読み、不明な部分を把握する	60分
	【復習】板書した内容とテキストを見直し、ポイントを押さえる。	120分
第9回	骨と歯の発育。虫歯予防。	
	【予習】テキストを読み、不明な部分を把握する。	60分
	【復習】板書した内容とテキストを見直し、ポイントを押さえる。	120分
第10回	運動機能の発達と保健。	
	【予習】テキストを読み、不明な部分を把握する	60分
	【復習】板書した内容とテキストを見直し、ポイントを押さえる。	120分

第11回	精神機能の発達と保健。	
	【予習】テキストを読み、不明な部分を把握する。	60分
	【復習】板書した内容とテキストを見直し、ポイントを押さえる。	120分
第12回	子供の保健と環境。	
	【予習】テキストを読み、不明な部分を把握する。	60分
	【復習】板書した内容とテキストを見直し、ポイントを押さえる。	120分
第13回	子どもの生活習慣と心身の健康。	
	【予習】テキストを読み、不明な部分を把握する。	60分
	【復習】板書した内容とテキストを見直し、ポイントを押さえる。	120分
第14回	事故防止および健康安全管理。乳幼児突然死症候群。	
	【予習】テキストを読み、不明な部分を把握する。	60分
	【復習】板書した内容とテキストを見直し、ポイントを押さえる。	120分
第15回	学習のまとめと評価。	
	【予習】これまでの学習内容を確認し、まとめる。	90分
	【復習】自らの学習達成度を評価し、理解の不十分なところは再度学習する。	120分

授業科目名	子どもの保健 -2			科目コード	C123-11				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 保健	担当教員名	松居 紀久子						
開講時期	1年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)	子どもの保健1-1	後継科目	子どもの保健						
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	子どもの保健の基本的な考え方、保育所などで多く見られる症状や疾病、感染症の原因・症状などについて学ぶ。また、予防接種などによる予防法や生活習慣の重要性についても学ぶ。子どもの健康を維持増進するための関係機関との連携について学ぶ。								
学習目標	保育所などで、日常遭遇する子どもの保健の問題、特にしばしば見られる疾病などについて、実践的に対処できる知識と技術を身につける。								
キーワード	ホメオスタシス 感染症 予防接種 子どもの精神保健 発達支援 スモ - ルステップ 安全教育 福祉・医療・療育・教育の連携								
テキスト・ 参考書等	テキスト：新 保育士養成講座第7巻 子どもの保健 改訂2版 新 保育士養成講座編纂委員会 / 編								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	子どもの保健の本質と目的を理解するとともに、保育所で見られる症状や疾病について専門的知識を習得している。実習等での現場体験と関連して理解できる。								
LO-2	子どもの健康の保持増進に必要な技術を身につけ、活用することができる。								
LO-3	現代的な子どもの保健の課題について、論理的に考察することができる。								
LO-4	子どもの保健の社会のニ - ズに関心を持ち、そのための保育実践力の向上に努めることができる。、								
LO-5	適切なコミュニケーション技術と態度を身につけ、他者との協働を図ることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100								100
LO-1	60								60
LO-2	10								10
LO-3	10								10
LO-4	10								10
LO-5	10								10
備考	保育所実習などを通じての現場体験が重要である。不明な点は積極的に質問してください。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション。 子どもの病気の考え方。ホメオスタシス。	
	【予習】シラバスを読み、学習内容を把握する。	60分
	【復習】授業の全体像を確認する。板書した内容とテキストを見直し、ポイントを押さえる。	120分
第2回	バイタルサインのみかた。子どもに多い症状と訴え・その対応。	
	【予習】テキストを読み、不明な部分を把握する。	60分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、ポイントを押さえる。	120分
第3回	子どもに多い症状と訴え・その対応。	
	【予習】テキストを読み、不明な部分を把握する。	60分
	【復習】板書した内容とテキストを見直し、ポイントを押さえる。	120分
第4回	呼吸器疾患。	
	【予習】テキストを読み、不明な部分を把握する。	60分
	【復習】板書した内容とテキストを見直し、ポイントを押さえる。	120分
第5回	呼吸器疾患。	
	【予習】テキストを読み、不明な部分を把握する。	60分
	【復習】板書した内容とテキストを見直し、ポイントを押さえる。	120分
第6回	感染症。	
	【予習】テキストを読み、不明な部分を把握する。	60分
	【復習】板書した内容とテキストを見直し、ポイントを押さえる。	120分
第7回	感染症。	
	【予習】事前に配布したプリントを読み、不明な部分を把握する。	60分
	【復習】板書した内容とプリントを見直し、ポイントを押さえる。	120分
第8回	感染症の予防と対応。消化器疾患。	
	【予習】テキストを読み、不明な部分を把握する。	60分
	【復習】板書した内容とプリントを見直し、ポイントを押さえる。	120分
第9回	中枢神経系疾患。アレルギーについて。	
	【予習】テキストを読み、不明な部分を把握する。	60分
	【復習】板書した内容とテキストを見直し、ポイントを押さえる。	120分
第10回	循環器疾患。	
	【予習】テキストを読み、不明な部分を把握する。	60分
	【復習】板書した内容とテキストを見直し、ポイントを押さえる。	120分

第11回	子どもの精神保健。子どもの心の健康とその課題。	
	【予習】テキストを読み、不明な部分を把握する。	60分
	【復習】板書した内容とテキストを見直し、ポイントを押さえる。	120分
第12回	障害のある子どもへの適切な対応。	
	【予習】テキストを読み、不明な部分を把握する。	60分
	【復習】板書した内容とテキストを見直し、ポイントを押さえる。	120分
第13回	心と身体の健康問題と地域保健活動。	
	【予習】テキストを読み、不明な部分を把握する。	60分
	【復習】板書した内容とテキストを見直し、ポイントを押さえる。	120分
第14回	健康および安全の実施体制。	
	【予習】テキストを読み、不明な部分を把握する。	60分
	【復習】板書した内容とテキストを見直し、ポイントを押さえる。	120分
第15回	学習のまとめと評価。	
	【予習】これまでの学習内容を確認し、まとめる。	90分
	【復習】自らの学習達成度を評価し、理解の不十分なところは再度学習する。	120分

授業科目名	子どもの保健			科目コード	C123-12				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 保健	担当教員名	松居 紀久子						
開講時期	1年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	子どもの保健 -1、子どもの保健 -2	後継科目							
関連科目									
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	「子どもの保健演習ノート」のテキストに沿って授業を進める。保育所保育指針に示される子どもの保健の理解を図り、健やかな成長を支援する保育士としての視点もち、健康習慣確立の必要性を理解し保育展開できるよう演習を交えながら進める。								
学習目標	子どもの健康及び安全に係る保健活動の計画及び評価について学ぶ。 子どもの健康増進及び心身の発育・発達を促す保健活動や環境を考える。 子どもの疾病とその予防及び適切な対応について具体的に学ぶ。 救急時の対応や事故防止、安全管理について具体的に学ぶ。 現代社会における心の健康問題や地域保健活動等について理解する。								
キーワード	健康とは 生命リズム 生活習慣 健康づくり								
テキスト・ 参考書等	子どもの保健・子供の保健 ・子どもの保健演習ノート								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	子どもの健康及び安全に係る保健活動の計画及び評価ができる。								
LO-2	子どもの疾病を理解しその予防及び症状に応じた適切な対応ができる。								
LO-3	子どもの健康増進及び心身の発育・発達を促す保健活動や環境を考えることができる。								
LO-4	救急時の対応や事故防止、安全管理について具体的に実施できる。								
LO-5	現代社会における心の健康問題や地域保健活動等について理解する。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50					50			100
LO-1	10					10			20
LO-2	10					10			20
LO-3	10					10			20
LO-4	10					10			20
LO-5	10					10			20
備考	その他Aはグループワーク								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション・子どもの保健 の意義と目標	
	【予習】シラバスを読み、授業内容を把握する	20分
	【復習】授業の全体像を確認する	25分
第2回	保健活動の計画及び評価	
	【予習】テキストを読み、不明な部分を把握する	20分
	【復習】保育における保健活動の意義を理解する	25分
第3回	自分の生活習慣について考えてみよう	
	【予習】テキストを読み、不明な部分を把握する	20分
	【復習】自分自身の健康習慣と健康づくりの関係を理解する	25分
第4回	子どもの生活習慣について考えてみよう	
	【予習】テキストを読み、不明な部分を把握する	20分
	【復習】健康と生活習慣の関係を理解する	25分
第5回	子どもの発達を知ろう	
	【予習】テキストを読み、不明な部分を把握する	20分
	【復習】子どもの発達過程を理解する	25分
第6回	子どもの発育を知ろう	
	【予習】テキストを読み、不明な部分を把握する	20分
	【復習】子どもの発育について理解する	25分
第7回	自分の発育・発達を知ろう	
	【予習】周囲の子どもの発育・発達段階を観察する	20分
	【復習】それぞれの発育・発達（個性）があることを理解する	25分
第8回	子どもの健康状態を知ろう	
	【予習】テキストを読み、不明な部分を把握する	20分
	【復習】生命リズムを理解する	25分
第9回	日常における養護の方法	
	【予習】テキストを読み、不明な部分を把握する。周囲の子どもに興味を持って接する。	20分
	【復習】子どもの療護の方法を習得する	25分
第10回	子どもの保育環境づくり	
	【予習】テキストを読み、不明な部分を把握する	20分
	【復習】施設環境、日常の健康管理の方法を理解する	25分

第11回	よくかかる病気について知ろう	
	【予習】テキストを読み、不明な部分を把握する	20分
	【復習】子どものよくかかる病気の基礎知識を習得し、その症状の対応について学ぶ	25分
第12回	よく起こる事故について知ろう	
	【予習】子どもの死亡統計統計、事故の特徴を調べる	20分
	【復習】子どもの死亡統計統計、事故の特徴を理解し、安全管理・安全教育について学ぶ	25分
第13回	いざという時の応急処置について知ろう	
	【予習】救急法について予習する	20分
	【復習】子どもの応急処置について習得する	25分
第14回	世界の子どもの保健を眺めてみよう	
	【予習】地域の子どもの保健に関わる事業について調べる	20分
	【復習】世界の子どもの保健の現状を知る	25分
第15回	学習のまとめと評価	
	【予習】これまでの学習内容を確認し、まとめる	20分
	【復習】自らの学習達成度を評価し、理解の不十分なところは再度学習する	25分

授業科目名	子どもの食と栄養			科目コード	C123-20				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 保健		担当教員名	深井 康子					
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	子どもの食と栄養					
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	子どもを取り巻く食の現状と課題を理解し、子ども一人ひとりの心身の状態や発達過程を踏まえ、主に乳幼児期の食生活の意義について理解する。さらに栄養と食品に関する基本的知識を身につける。								
学習目標	子どもの食と栄養に関する基本的知識を理解する 乳幼児期の食事が果たす役割の大切さを習得する								
キーワード	子どもの食と栄養 発達過程 乳幼児 食生活の意義 栄養の基本的知識								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『改訂 子どもの食と栄養』 岡崎光子編著 光生館								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	保育の対象となる子どもの食と栄養に関する専門的な知識を習得し、子どもの育ちと乳幼児が育つ食環境を的確に把握し、社会のニーズに応じた食事に関わる実践力を備えている。								
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5	出席カードの質問、感想の内容など授業への積極的な授業態度がみられる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	80					20			100
LO-1	80								80
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5						20			20
備考	その他：Aは、出席カードの質問、感想や授業態度などを総合して評価する。 前期末試験について誤答が多かった設問については模範解答を行って解説を行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	子どもの食と栄養の概要説明をし、子どもの健康と食生活の意義について解説する	
	【予習】テキストp.1～13を読んで要点を理解する	20分
	【復習】【演習課題】 p.13を解いて授業内容を整理し、最近の子どもを取り巻く現状について考えてみる	30分
第2回	栄養に関する基本的知識、炭水化物について解説する	
	【予習】テキストp.15～18を読んで要点を理解する	20分
	【復習】テキストとプリントにより要点を整理する	30分
第3回	脂質の種類と機能について解説する	
	【予習】テキストp.18～20を読んで要点を理解する	20分
	【復習】テキストとプリントにより要点を整理する	30分
第4回	たんぱく質の種類と機能について解説する	
	【予習】テキストp.20～21を読んで要点を理解する	20分
	【復習】テキストとプリントにより要点を整理する	30分
第5回	ビタミン、ミネラルと水分の機能について解説する	
	【予習】テキストp.21～24を読んで要点を理解する	20分
	【復習】テキストとプリントにより要点を整理する	30分
第6回	栄養素の消化と吸収について説明する	
	【予習】テキストp.24～26を読んで要点を理解する	20分
	【復習】テキストとプリントにより要点整理する	30分
第7回	日本人の食事摂取基準の意義とその活用、食事バランスガイドについて解説する	
	【予習】テキストp.26～29、p.186～202を読んで要点を理解する	20分
	【復習】テキストとプリントにより要点を整理する	30分
第8回	子どもの発育・発達と食生活について解説する	
	【予習】テキストp.33～41を読んで要点を理解する	20分
	【復習】【演習課題】 p.41を解いて授業内容を整理する	30分
第9回	妊娠・授乳期の食生活について解説する	
	【予習】テキストp.43～58を読んで要点を理解する	30分
	【復習】【演習課題】 p.58を解いて授業内容を整理する	30分
第10回	乳児期の食生活について解説する	
	【予習】テキストp.59～68を読んで要点を理解する	20分
	【復習】教科書とプリントにより要点を整理する	30分

第11回	離乳期の栄養について理解する	
	【予習】テキストp.77～93を読んで要点を理解する	30分
	【復習】【演習課題】 p.92を解いて授業内容を整理する	30分
第12回	幼児期の心身と食生活の特徴について解説する	
	【予習】テキストp.95～106を読んで要点を理解する	20分
	【復習】テキストとプリントにより要点を整理する	30分
第13回	幼児期の間食の意義と栄養上の問題について解説する	
	【予習】テキストp.107～117を読んで要点を理解する	30分
	【復習】【演習課題】 p.119を解いて授業内容を整理する	30分
第14回	学童期・思春期の食生活について解説する	
	【予習】テキストp.121～133を読んで要点を理解する	30分
	【復習】【演習課題】 p.133を解いて授業内容を整理する	30分
第15回	これまでの学習まとめと期末試験について解説する	
	【予習】テキストで期末試験範囲を読み、学習内容の問題点を考えておく	60分
	【復習】期末試験範囲の内容について十分理解し、ノートを整理する	120分

授業科目名	子どもの食と栄養			科目コード	C123-21				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 保健		担当教員名	大掛 恵美子					
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	子どもの食と栄養		後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	保育士資格 幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	「子どもの食と栄養」で学んだ食と栄養に関する基本的知識に基づき、発育・発達時期の異なる食事や調理、食育の重要性、子どもの家庭における栄養指導について学ぶ。さらに食にかかわる保育実践や子ども集団全体の食事と栄養について理解を深め、柔軟に活用できる実践力を身につける。								
学習目標	子どもの食事活動を計画し、保育実践の場で活かせる指導力を育むこと。 調理の実習では身支度をしっかり整え、安全面や衛生面に気をつけて行うこと。 毎回のまとめとしてレポートを必ず提出すること。								
キーワード	発達・発育時期の食事 調理 食育 栄養								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『改訂 子どもの食と栄養』 岡崎光子編著 光生館								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	保育の対象となる子どもの食と栄養に関する専門的な知識を習得している								
LO-2	子どもの発達支援に必要な保育の表現技術を身につけており、家庭支援においてもその技術を応用できる								
LO-3	レポートから論理的な考察が見られ、自らを省察し、実践的に問題解決方法を見極めることができる								
LO-4	子どもの育ちと乳幼児が育つ食環境を的確に把握し、社会のニーズに応じた食事に関わる保育実践力を備えている								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60		30			10			100
LO-1	60								60
LO-2			15						15
LO-3			15						15
LO-4						10			10
LO-5									
備考	その他：Aは、授業時の積極性、質問や授業態度などを総合して評価する								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業の全体概要について説明する 調理実習の実習心得と調理の基本について解説する 育児用粉乳の調乳・授乳方法を実際に体験する	
	【予習】テキストの「献立作成と調理の基本」p.28～31、「人工栄養」p.69～77を読んで要点を理解する	20分
	【復習】テキストを参考にして配布プリントの考察などを仕上げる	30分
第2回	離乳食の実習(1) 離乳時期(離乳形態)の異なるベビーフードを味わい、栄養成分の違いから特徴を比較する	
	【予習】テキストの「ベビーフード」p.90～92を読んで要点を理解する	20分
	【復習】テキストとプリントにより要点を整理する	30分
第3回	離乳食の実習(2) 離乳食を実習する	
	【予習】テキストの「離乳食の栄養」p.77～90を読んで要点を理解する	20分
	【復習】テキストを参考にして配布プリントの考察などを仕上げる	30分
第4回	幼児期の実習(1) 幼児期の昼食を実習し、幼児一人分の目安量を実際に理解する	
	【予習】テキストの「幼児期の食生活」p.97～106を読んで要点を理解する	20分
	【復習】テキストを参考にして配布プリントの考察などを仕上げる	30分
第5回	保育実習を終えてブレインストーミングの手法を用いて「乳幼児の食」についてグループで意見を出し合い、討議する	
	【予習】2週間の保育実習を終えて「乳幼児の食」について体験したことを書き出してみる	20分
	【復習】テキストを参考にして配布プリントの考察などを仕上げる	30分
第6回	幼児期の実習(2) 子どもと一緒に楽しむ間食(おやつ)を各班で実習する	
	【予習】テキストの「間食の意義とその実践」p.107～110を読んで要点を理解する	20分
	【復習】配布プリントの各項目をテキストを参考に仕上げる	30分
第7回	食育基本法と第3次食育推進基本計画の概要を解説し、保育所・幼稚園・学校における食育の目的、内容を考えてみる	
	【予習】テキストの「食育の基本と内容」p.135～142を読んで要点を理解する	20分
	【復習】学習内容を理解してまとめ、ノートに整理する	30分
第8回	食育のための環境づくり、食を通じた保護者への支援について解説する	
	【予習】テキストp.142～148を読んで要点を理解する	20分
	【復習】【演習課題】p.148を解いて授業内容を整理する	30分
第9回	食育媒体(食育カルタなど)を各班で作成する	
	【予習】図工セットを持参する	20分
	【復習】富山県内市町村の保育所における食育の取組について調べてみる	30分
第10回	家庭や児童福祉施設における食事と栄養について説明し、そのなかで保育士の果たす役割について考える 食中毒について解説する	
	【予習】テキストの「児童福祉施設における食生活」p.149～155、「食中毒」p.156を読んで要点を理解する	20分
	【復習】【演習課題】p.156を解いて授業内容を整理する	30分

第11回	正月料理の起こりや材料の縁起について解説し、正月料理を実習する	
	【予習】我が家の正月料理や雑煮について家族に聞いておく。	20分
	【復習】正月料理を実際に作ってみる	30分
第12回	妊娠期の昼食を実習し、一人分の目安量を理解する	
	【予習】テキストの「妊娠期の食生活」p.46～53を読んで要点を理解する	30分
	【復習】配布プリントの妊娠期の栄養と食生活における留意点についてテキストを参考に仕上げる	30分
第13回	子どもの疾病と障がいのある子どもの食生活について解説する	
	【予習】テキストの「子どもの疾病と食生活」p.159～176、「障がいのある子どもの食生活」p.177～179を読んで要点を理解する	20分
	【復習】【演習課題】p.175とp.179を解いて授業内容を整理する	30分
第14回	富山の郷土料理を実習し、地域の伝統食を知る。	
	【予習】富山の郷土料理にはどのような料理があるか調べてみる	30分
	【復習】家庭で実際に郷土料理を作り、その他の伝統食について調べる	30分
第15回	郷土料理や和食の特徴について最近の情報から解説する これまでの学習まとめと期末試験について解説する	
	【予習】学習してきた内容について振り返り、問題点を考えておく	60分
	【復習】期末試験範囲の内容について十分理解し、ノートを整理する	120分

授業科目名	家庭支援論			科目コード	C125-10				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 家庭支援	担当教員名	石動 瑞代						
開講時期	2年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)		後継科目							
関連科目	相談援助 保育相談支援 臨床心理学 ・								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	保育所や幼稚園等における家庭支援の意義や必要性をふまえ、具体的内容を学んでいきます。事例課題を通して、子どもと家庭、社会環境との関係をとらえる力や援助方法考察し、家庭支援に必要な視点及び援助方法を身につけていきます。								
学習目標	<p>子育て家庭を取り巻く社会状況を知り、保育所等による支援の必要性を理解する。</p> <p>子育て家庭への支援における、基本的な視点や援助方法を習得する。</p> <p>多様な子育て家庭のニーズに応えるための、具体的支援方法と関係機関との連携について理解する。</p>								
キーワード	子育て支援 保育所等の特性を生かした支援 地域 社会資源 連携								
テキスト・ 参考書等	<p>テキスト：『保育と家庭支援』 側垣順子編(みらい)</p> <p>『保育所保育指針解説書』 厚生労働省編(フレーベル館)、『幼稚園教育要領解説』 文部科学省(フレーベル館)</p>								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 家庭の機能や意義及び子育て家庭を支援する際の基本原理について理解し、説明することができる。								
LO-2	【技能】 保育所・幼稚園等の特性を生かした家庭支援技術を身につける。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】子育て家庭が抱える現代的課題をふまえて、必要な家庭支援について論理的に考察し、説明することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 子育て家庭をめぐる社会資源についての確に把握し、子育て家庭に対する支援方法を具体的に検討することができる。								
LO-5	【社会性・人間性】 事例研究・グループワークを通して、自分の意見を他者にわかりやすく伝えると同時に、他者の意見を受容し、自己覚知や自らの意見形成に反映させることができる。また、子育て家庭における保護者の心情等を共感的に理								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		40			10			100
LO-1	20								20
LO-2	10		20						30
LO-3	10		10						20
LO-4	10		10						20
LO-5						10			10
備考	その他 A は、授業中の課題への取り組み態度とする。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	現代の社会状況と家族の実態	
	【予習】現代社会における家族像について、自分の意見をまとめておく。	40分
	【復習】教科書第1章、2章の内容を読み、講義内容とあわせて、ノートにまとめる。	100分
第2回	子どもの発達と家族の発達 - 家庭支援の視点	
	【予習】教科書第3章 - 第5章の内容を読む。	50分
	【復習】講義内容と教科書の内容を関連づけて、ノートに整理する。	100分
第3回	保育所等における家庭支援の実際 - 保育所の特性をいかす	
	【予習】教科書第9章の内容を、一読する。	40分
	【復習】保育所の特性をいかした援助技術についてまとめる。	120分
第4回	保育所等における家庭支援の実際 - 連絡帳のポイント	
	【予習】課題プリントを仕上げてくる。	80分
	【復習】講義内容をノートにまとめる。 講義中に配布された課題プリントを仕上げる。	120分
第5回	保育所等における家庭支援の実際 - 保育参加・懇談会・おたより	
	【予習】教科書第9章の該当部分を一読する。	40分
	【復習】課題プリント（おたより）を仕上げる。	120分
第6回	保育所における家庭支援の実際 - トラブルをめぐって	
	【予習】配布プリントを読んでおく。	40分
	【復習】家庭支援における「トラブル対処」と「発生予防」で重要なポイントを、ノートにまとめてくる。	100分
第7回	子どもの発達と地域社会のかかわり - 多様な子育て支援	
	【予習】自分が居住する地域の、子育て支援施策について調べる。 教科書第7章、第10章を読んでおく。	120分
	【復習】課題プリントを仕上げる。	100分
第8回	親子支援活動の計画	
	【予習】あらかじめ親子活動の案を考えてくる。	80分
	【復習】グループで決めた親子活動案の詳細を検討する。 担当する役割を確認し、必要な準備をする。	150分
第9回	親子支援の実際 - 行事を通しての親子・地域支援	
	【予習】リハーサルを実施する。	60分
	【復習】行事における親子活動(模擬)について、振り返りシートを完成させる。	60分
第10回	親子支援の実際 - 子育て支援センターでの親子活動	
	【予習】グループ内で、打ち合わせやリハーサルを行う。	80分
	【復習】子育て支援センター等での親子活動(模擬)について、振り返りシートを完成させる。	60分

第11回	家庭支援の留意点 - 価値観・倫理観	
	【予習】配布プリントを参考に、自分の価値観・倫理観について考える。	40分
	【復習】事例の課題プリントを完成する。	100分
第12回	家族との個別面接における基本態度 - 基本的配慮事項	
	【予習】これまで学んだ面接技術について、確認しておく	60分
	【復習】個別面接の基本的態度をノートにまとめる。	100分
第13回	事例研究 児童虐待・障害が疑われる事例	
	【予習】事例の課題プリントを完成する。	60分
	【復習】特別な配慮を要する家庭への支援についてポイントをまとめる。	100分
第14回	事例研究 異文化の家族に対する援助事例	
	【予習】課題プリントを仕上げてくる。	60分
	【復習】異文化の家族支援について、配慮のポイントをまとめる。	100分
第15回	保育士等が行う家庭支援のまとめ	
	【予習】これまで学んだ家庭支援の内容を整理する。	180分
	【復習】定期試験に向けて、学習する。	240分

授業科目名	保育課程論			科目コード	C131-10				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育方法		担当教員名	石動 瑞代					
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	保育原理		後継科目	なし					
関連科目	保育内容総論、教育方法論								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	保育の計画及び評価についての基本的事項をおさえながら、できるだけ具体例を用いて<計画、実践、省察、評価、改善>のプロセスを動的にとらえていきます。自ら考えること、他者と語り合うことを取り入れながら、保育をデザインする視点を身につけていきたいと思います。								
学習目標	保育計画の種類・内容やその特徴について理解する。 保育を、計画・実践・評価・改善の一連の過程としてとらえ、保育の質の向上と関連づけて理解する。 保育の計画の作成・展開における基本的事項を知る。								
キーワード	カリキュラム 保育課程と指導計画 評価 省察 保育の質の向上								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『保育の指導計画と実践演習ブック』 門谷真希・山中早苗編著（ミネルヴァ書房） 『保育所保育指針解説書』 厚生労働省編（フレーベル館）、『幼稚園教育要領解説』 文部科学省（フレーベル館）『幼								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 保育所保育指針や幼稚園教育要領における保育の計画・評価の内容を理解し、筆記試験で正しく回答することができる。また、カリキュラムの意義についての的確に述べることができる。								
LO-2	【技能】 指導計画の作成手順をふまえて、ねらいと内容を設定することができる。子ども理解につながる保育記録作成に努める。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 保育事例について、一連の保育の過程と関連づけながら理解し、改善案を考えることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 保育課程が、地域社会や家庭・園環境と密接な関連があることを見出す。								
LO-5	【社会性・人間性】 保育事例の討議に積極的に参加する。自らの意見を他者に表明するとともに、他者の意見を受容し、自らの意見に反映させることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50	20	20			10			100
LO-1	30	10							40
LO-2			10						10
LO-3	10	5	10						25
LO-4	10	5							15
LO-5						10			10
備考	その他Aは受講態度とする。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	保育の計画の意義について 保育所保育指針及び幼稚園教育要領における「計画」の位置づけ	
	【予習】保育所保育指針、幼稚園教育要領で「計画」に関する記述部分を読んでおく。	30分
	【復習】講義内容をノートにまとめる。 実践ワークと保育計画の意義との関連を再確認しておく。 指針等の重要語句を覚える。	60分
第2回	保育の計画の種類<保育課程・教育課程、指導計画(長期・短期)>とその内容	
	【予習】教科書第1章「保育実践のサイクルを理解しよう」を読む	40分
	【復習】保育計画の種類とそれぞれの特徴について、整理してまとめる。 教科書の演習課題をまとめる。 指針等の重要語句を覚える。	80分
第3回	保育の流れや意図を理解するための視点について	
	【予習】教科書の演習課題をまとめる。	40分
	【復習】教科書第2章(p18~23)をよく読み、演習課題をふりかえる。 小テストの出題範囲を確認し、十分に学習する。	240分
第4回	発達過程と保育の計画 ~ 発達の姿をとらえる視点 小テスト実施	
	【予習】教科書第2章(p26~33)を読んでおく。	40分
	【復習】小テストの出題内容を再確認する。 発達過程表及び平成11年版保育所保育指針のねらいを覚える。	120分
第5回	保育の過程(計画、実践、省察・評価、改善)について 保育の評価について 記録の重要性	
	【予習】教科書第1章 p12、13を再読する。 教科書第3章(p38~45)を読む。	30分
	【復習】教科書第3章の演習内容をまとめる。 講義内容をノートにまとめる。	90分
第6回	保育の評価について 省察と改善	
	【予習】これまでの実習日誌を読み、自分の記録の課題についてまとめてくる。 これまでの実習日誌から、1日分を選び、再考察を記述する。	120分
	【復習】講義内容をノートにまとめる。 課題プリント(エピソード理解)を仕上げる。	120分
第7回	指導計画の作成と展開 記録からねらいと内容を考える	
	【予習】課題プリント(エピソード理解)を仕上げる	120分
	【復習】教科書p66~73を読み、演習課題を仕上げる。	120分
第8回	指導計画の作成と展開 年間指導計画~月間指導計画へ 月間指導計画~週案へ	
	【予習】教科書第4章 74~107までを読む。	30分
	【復習】教科書の演習課題及び配付された課題プリントを仕上げる。	60分
第9回	指導計画の作成と展開 日案から週案へ 週案から日案へ	
	【予習】教科書第4章p100~108を読む	30分
	【復習】教科書及び講義中の資料について、日案と週案との関連をマーク付けする。 講義内容をノートにまとめる。	90分
第10回	指導計画の作成と展開 多様な指導計画の実際(異年齢、プロジェクト等) 小テスト実施	
	【予習】配布プリントを読んでおく。 小テストの内容を十分に学習する。	40分
	【復習】課題プリントを仕上げる。	120分

第11回	指導計画の変遷・諸外国における保育カリキュラム	
	【予習】配布プリントを読んでおく。	240分
	【復習】講義内容をノートにまとめる。 課題プリントを仕上げる。	120分
第12回	小学校との連携 - 生活と発達の連続性をふまえた計画	
	【予習】保育所保育指針・幼稚園教育要領で、「小学校の連携」に関する記述を読む。	30分
	【復習】講義内容をノートにまとめる。 課題プリントを仕上げる。	80分
第13回	指導計画の作成と展開 実習指導計画の作成 部分・一日	
	【予習】教科書第4章 116から147を読む。	40分
	【復習】実習指導計画を作成する。	80分
第14回	指導計画の作成と展開 指導計画にもとづく模擬保育実践とふりかえり	
	【予習】配布プリントを読んでおく。 実践に必要な準備を整える	120分
	【復習】課題プリントを仕上げる。 自らの指導計画を再構成する。	100分
第15回	これまでの学習のまとめ 実習指導計画を修正する	
	【予習】配布プリントを十分に読んでおく。	40分
	【復習】実習指導計画を完成させる。	240分

授業科目名	教育方法論			科目コード	C131-20				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育方法	担当教員名	高木 三郎						
開講時期	2年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	教育原理	後継科目	なし						
関連科目	保育課程論、保育内容総論								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭2種免許、保育士資格								
授業の概要	幼児期にふさわしい教育の方法について、遊び活動、生活活動、課題活動、行事活動に分けて、事例を取り上げて理解を深める。また、小学校の教育との接続についても考える。								
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 保育の在り方、環境構成、援助の在り方を理解する。</li> <li>2 保育所・幼稚園・小学校の教育方法の在り方について特徴を理解する。</li> <li>3 自分の教育方法を改善していく営みを理解する。</li> </ol>								
キーワード	幼稚園教育要領、保育所保育士指針、小学校学習指導要領、								
テキスト・ 参考書等	テキスト：テキストは使用しない。 参考書：「幼稚園教育要領解説」文部科学省、「保育所保育指針」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	個々の幼児が成長の喜びと充実感をもって経験していけるような保育の方法について考えることができる。また、小学校の教育との接続についても考えることができる。								
LO-2	該当しない								
LO-3	現代の保育所・幼稚園・小学校の教育方法の課題について、その背景などについて多角的に把握し、学びを深めることができる。								
LO-4	「よりよい教育（保育）方法」に関する自己の学習課題を明確にし、課題解明のために継続的に学習に取り組み、保育実践力の向上に努める。								
LO-5	該当しない								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			70			30			100
LO-1			40						40
LO-2									
LO-3						30			30
LO-4			30						30
LO-5									
備考	その他 A は平常点（出席及び受講態度等） 提出を求めるレポートについては、コメントをつけて返却する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 授業の目的、評価などについて 幼児期にふさわしい教育の方法とは	
	【予習】シラバスを読み、授業内容を把握する。	90分
	【復習】授業の全体像を確認する。 幼児期にふさわしい教育方法の基本を整理する。	90分
第2回	遊び活動の指導方法	
	【予習】幼稚園教育要領・保育所保育指針における「総則」部分での遊びに関する記述を調べる。	90分
	【復習】遊びのなかではくまれる学びを整理する。	90分
第3回	生活活動の指導方法	
	【予習】保育実習や教育実習で見られた生活活動を整理する。	90分
	【復習】生活活動の指導方法について整理する	90分
第4回	課題活動の指導方法	
	【予習】保育実習や教育実習で見られた課題活動を整理する。	90分
	【復習】課題活動の指導方法を整理する	90分
第5回	遊具や用具の活用法	
	【予習】保育実践に必要な遊具や用具について考える	90分
	【復習】遊具や用具の活用法について整理する	90分
第6回	行事活動の指導方法	
	【予習】保育所・幼稚園で行う行事活動についてまとめる。	90分
	【復習】行事活動の指導方法を整理する	90分
第7回	幼小接続の考え方と指導方法（その1）	
	【予習】幼小接続の課題を考える	90分
	【復習】幼小接続の考え方と指導方法を整理する	90分
第8回	幼小接続の指導方法（その2） アプローチカリキュラムを考える	
	【予習】接続期に必要なカリキュラムについて考える	90分
	【復習】アプローチカリキュラムについて整理する。	90分

授業科目名	保育内容総論			科目コード	C133-10				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容		担当教員名	梅本 恵					
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	保育内容（健康・、人間関係、環境、言葉・、音楽表現・、造形表現・）					
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	保育内容とは、保育の目標を達成するための具体的な手立てのことであり、保育所や幼稚園での生活と遊びを通して子どもたちが経験する内容のことである。本授業では、保育内容が子どもの遊びや生活として総合的に展開される過程を、具体的な保育実践と結び付けて学び、基本的視点を習得できるようにする。また、現在注目されている多様な保育ニーズとそれに即した保育の内容と方法について理解する。授業は適宜、実習やグループワーク等を取り入れて展開する。								
学習目標	<p>保育の全体構造を理解し、子どもの生活と遊びを通して領域ごとに示された保育内容を総合的にとらえる視点を獲得する。</p> <p>保育の基本を踏まえた保育のねらいと実践、展開方法や形態について基本的視点を獲得する。</p>								
キーワード	ねらいと内容 養護と教育 遊び 生活 環境構成 子ども理解								
テキスト・ 参考書等	参考書：『保育所保育指針解説書』厚生労働省編 フレーベル館 『幼稚園教育要領解説』文部科学省 フレーベル館								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の全体構造を理解し、保育のねらい及び内容について基礎的な知識を身につけている。								
LO-2	【技能】保育内容を総合的に展開するために必要な環境構成の基本的な技術を身につけている。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】多様なニーズにこたえる保育内容について考察し、実践のための基本的な視点を習得している。								
LO-4	【関心・意欲・態度】ノートを作成し、問題意識を広げながら学習を深めることができる。								
LO-5	【人間性・社会性】グループワークなどに積極的に参加し、他者との協働を図ることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		10		10	20	10		100
LO-1	30								30
LO-2	10		10						20
LO-3	10				10				20
LO-4						20			20
LO-5							10		10
備考	A：「ノート」の作成 B：グループワークへの取り組み姿勢 授業で配布されたプリント、資料などを活用し、ノートを作成すること。 『保育所保育指針』、『幼稚園教育要領』、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』を使用する。 提出課題に対しては、口頭及び紙面にてコメントを行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション（授業のねらい、方法、評価等についての説明）	
	【予習】シラバスを読み、授業内容を把握する。	10分
	【復習】授業の全体像を確認する。	10分
第2回	「遊び」からとらえられる保育内容（1） 実際の遊びを体験する（グループワーク）。	
	【予習】遊びの展開を考え、必要な物を準備しておく。	20分
	【復習】ワークシートを完成させる。	30分
第3回	「遊び」からとらえられる保育内容（2） 遊び体験を振り返り、遊びの中で子どもが経験することを考察する。	
	【予習】ワークシートを完成させる。	20分
	【復習】授業で配布された資料を整理し、ノートにまとめる。	40分
第4回	「生活」からとらえられる保育内容 基本的な生活習慣と保育内容について理解する。	
	【予習】実習時の経験から、幼稚園や保育所での子どもの1日の生活の流れを整理する。	30分
	【復習】授業で配布された資料を整理し、ノートにまとめる。	40分
第5回	保育内容と子ども理解（1） 乳幼児期の発達特性と保育内容について理解する。	
	【予習】保育所保育指針第2章を読む（解説も含めて）	20分
	【復習】授業で配布された資料を整理し、ノートにまとめる。	40分
第6回	保育内容と子ども理解（2） 保育における観察・記録の意味と方法を理解する。	
	【予習】事前に配布されたプリント（保育における観察）を読み、不明な部分を把握する。	20分
	【復習】授業で配布された資料を整理し、ノートにまとめる。	40分
第7回	保育の基本と保育内容 『指針』『要領』『教育・保育要領』の基づく保育の基本について理解する。	
	【予習】『指針』『要領』『教育・保育要領』の「総則」を読む。	30分
	【復習】授業で配布された資料を整理し、ノートにまとめる。	60分
第8回	保育内容としての行事（1） 保育内容とねらいから運動会について考察する。	
	【予習】教育実習（9月）での運動会の取り組み過程を振り返り、整理する。	10分
	【復習】授業で配布された資料を整理し、ノートにまとめる。	40分
第9回	保育内容としての行事（2） 運動会を企画し、実践する。	
	【予習】運動会に向けて準備をし、運動会の環境構成について考える。	60分
	【復習】運動会を振り返り、レポートを作成する。	60分
第10回	保育の基本を踏まえた保育内容の展開（1） 遊びを通じた総合的な保育の展開について理解する。	
	【予習】子どもの遊びにはどのようなものがあるか書き出しておく。	10分
	【復習】授業で配布された資料を整理し、ノートにまとめる。	40分

第11回	保育の基本を踏まえた保育内容の展開（2） 養護と教育が一体的に展開する保育実践について考察する。	
	【予習】保育所保育指針の「養護と教育の一体性」について述べている部分を探し、読む。	10分
	【復習】授業で配布された資料を整理し、ノートにまとめる。	40分
第12回	保育の基本を踏まえた保育内容の展開（3） 環境を通して行う保育実践について考察し、環境構成の基本的視点を確認する。	
	【予習】『指針』『要領』『教育・保育要領』の「環境を通じた保育」について述べている部分を探し、読む。	30分
	【復習】テーマに関する文献や資料を探す。	40分
第13回	多様な保育の展開（1） 長時間保育、気になる子どもの保育、多文化共生の保育、地域交流、幼保小の連携等からテーマを選び、グループ討議を行う。	
	【予習】『指針』『要領』『教育・保育要領』から各テーマについて述べている部分を探し、読む。	30分
	【復習】テーマに関する文献や資料に当たる。	60分
第14回	多様な保育の展開（2） テーマについてグループで討議し、まとめる。	
	【予習】テーマに関する文献や資料を探し、読む。	60分
	【復習】発表の準備をする。	30分
第15回	多様な保育の展開（3） 各グループで討議したことを発表し、意見を述べ合う。	
	【予習】発表の準備をする。	30分
	【復習】発表と意見交換をふまえて、テーマについて整理し、まとめる。	30分

授業科目名	保育内容（健康）			科目コード	C133-20				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容	担当教員名	大森 宏一						
開講時期	2年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)	保育内容総論	後継科目	保育内容（健康）						
関連科目	保育課程論								
資格等 取得との関連	保育士資格、幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	領域「健康」のねらいと内容について理解するとともに、子どもの健康な心身の発達と自ら健康で安全な生活を営む力を身につけていくための保育者の役割の基礎を学びます。								
学習目標	乳幼児の心と身体の育ちに関する基礎知識と現状について理解する。乳幼児にとっての運動遊びの意義をとらえる。子どもが自ら健康な生活習慣を形成していくための援助や指導法について学習する。集団援助の方法を学び実践できるようにする。運動遊びのレパートリーを増やし、さまざまなプログラムを指導できるようになる。運動遊びの楽しさを理解できるようになる。								
キーワード	健康 食育 運動発達 運動遊び 基本的な生活習慣 安全 保育者の援助								
テキスト・ 参考書等	テキスト：近藤幹生監修徳安敦編著 「生活事例からはじめる保育内容健康」青踏社 参考書：倉、大森編者「子どもが育つ運動遊び」みらい 保育所保育指針、幼稚園教育要領								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育所保育指針及び幼稚園教育要領に示された領域「健康」のねらい・内容について理解している。幼児期の運動遊びの大切さを理解し説明できる。								
LO-2	【技能・表現】乳幼児の心と体の健やかな育ちに必要な保育を構想し、展開する技術を身につけている。								
LO-3	【思考・判断】保育における現代的な課題(体力の2極化など)を「健康」の関連からとらえ、論理的に考察することができる。模擬保育や実習時の事例の振り返りから実践的な問題解決方法を検討し、学びを深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】子どもの健康と子どもが育つ環境を的確に把握し、社会のニーズに応じた保育実践力の向上に努めることができる。自分自身の健康に対して高い関心を持つことができさらに向上させようとしている。								
LO-5	【社会性・人間性】ディスカッションやグループ活動に積極的に参加し、他者との協働を図ることができる。子どもへの愛情をもって安心安全を前提とした指導計画を企画・立案し仲間と共同して運営することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		40	10		30	20			100
LO-1		30							30
LO-2			10		20				30
LO-3		10			10				20
LO-4						10			10
LO-5						10			10
備考	模擬保育の終了時に反省会を行い発表した学生へ口頭でのコメントを行う。ミニツッパーパーでの内容について授業中にコメントを行う。 その他：A LO-4 ミニツッパーパーによる関心度から考慮する。LO-5 授業態度(グループへの関与)と 企画・立案・運営への参加度とする。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション（授業のねらい、計画、評価、模擬保育等についての説明）、	
	【予習】シラバスを読み、授業の概要を確認する。	15分
	【復習】模擬保育についてグループのメンバーを確認するとともにメンバーとの共同作業の時間を確認する。	30分
第2回	保育内容（健康）のねらいと内容	
	【予習】テキスト第1章、保育所保育指針第3章、幼稚園教育要領第2章を読む。	15分
	【復習】様々な健康についての定義を考え自分なりの健康感を考える。領域「健康」はどのような保育内容を含んでいる領域なのか、具体的に考える。	30分
第3回	子どもの体力および幼児期の発育と発達について	
	【予習】テキスト第3・4章を読む。	15分
	【復習】からだの健康について、整理する。発育発達についてまとめ年齢に応じた運動遊びのプログラムを考える。	30分
第4回	子どもの基本的な生活習慣と具体的な援助方法について	
	【予習】テキスト第5章を読む。	15分
	【復習】子どもの家庭生活と園生活の違いを理解して具体的な援助方法を考える	30分
第5回	子どもの食育活動と健康指導	
	【予習】テキスト第11章を読む	15分
	【復習】食育の意義と大切さについて整理しておく。	30分
第6回	子どもの事故防止と安全管理	
	【予習】テキスト第6・14章を読む。	15分
	【復習】リスクとハザードについて整理しておく。	30分
第7回	具体的な保育内容について（保育活動）と小テスト	
	【予習】第6回までの内容を整理しておく。運動遊びを種類ごとにノートに整理しておく。	30分
	【復習】さまざまな運動遊びを整理しておく	15分
第8回	運動能力を高める具体的な保育内容について 幼児期運動指針について	
	【予習】テキスト第9章を読む	15分
	【復習】幼児期運動指針を理解する。リズム運動遊びの企画立案を行う。	30分
第9回	具体的な保育内容について（3歳以上児の運動遊び）とリズム運動遊びについて	
	【予習】参考書 「子どもが育つ運動遊び」の実技編を読む	15分
	【復習】移動・バランス・操作系の遊びの視点からリズム運動遊びの企画と運営について考える。	30分
第10回	具体的な保育内容について（3歳以上児の運動遊び）とリズム運動遊びの実際と具体的な指導法	
	【予習】リズム運動遊びを実際に行う。遊びのねらいとたのしさを整理しておく。	15分
	【復習】リズム遊びについて実際に行った反省から遊びを再構築する。	30分

第11回	運動遊びの実際と保育者の役割についておよび集団援助の方法について	
	【予習】参考書 「子どもが育つ運動遊び」の実技編を読む	15分
	【復習】集団援助の方法をまとめておく	30分
第12回	運動あそびの実際と保育者の役割 模擬保育	
	【予習】運動遊びの企画、立案、実践、省察、の流れを確認する。役割、準備を行う	15分
	【復習】模擬保育の実践から省察をする。(レポート課題)	30分
第13回	運動あそびの実際と保育者の役割 模擬保育	
	【予習】運動遊びの企画、立案、実践、省察、の流れを確認する。役割、準備を行う	15分
	【復習】模擬保育の実践から省察をする。(レポート課題)	30分
第14回	運動あそびの実際と保育者の役割 模擬保育	
	【予習】運動遊びの企画、立案、実践、省察、の流れを確認する。役割、準備を行う	15分
	【復習】模擬保育の実践から省察をする。(レポート課題)	30分
第15回	まとめ	
	【予習】前期の授業を振り返り、「健康」と保育者の役割についてまとめる。	15分
	【復習】模擬保育の実践、リズム運動遊びについてその意義と学びを整理しておく。	30分

授業科目名	保育内容（健康）			科目コード	C133-21				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容	担当教員名	大森 宏一						
開講時期	2年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	保育内容（健康）	後継科目	なし						
関連科目	保育課程論、保育内容総論								
資格等 取得との関連	保育士資格、幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	乳幼児期の子どもの「健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力」および、「遊びや生活を通して育む保育のあり方」について考えます。運動遊びの模擬保育を実践したり、幼児の生活習慣の形成に役立つ教材について研究するなど、具体的な場面を設定しながら必要な環境の構成や援助等の学びを深めたい。伝承遊びの方法などを演習する。								
学習目標	現代の子どもを取り巻く生活環境の実態や乳幼児期の子どもの発達過程を理解し、それをふまえた運動遊びの指導や生活習慣形成のための環境構成や援助の方法などの実践力を身に付けます。また運動会の企画・立案・運営を通して保育の実践力を身に付けます。さらに伝承遊びの実技ができるようになる。								
キーワード	健康 食育 運動発達 運動遊び 基本的な生活習慣 安全 保育者の援助								
テキスト・ 参考書等	テキスト：近藤幹生監修徳安敦編著 「生活事例からはじめる保育内容健康」青踏社 参考書：倉、大森編者「子どもが育つ運動遊び」みらい 保育所保育指針、幼稚園教育要領								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 幼児期の運動遊びの大切さ運動会の在り方を理解し自分なりの運動遊びの考えを伝えることができる。								
LO-2	【技能・表現】 乳幼児の心と体の健やかな育ちに必要な保育を構想し、展開する技術を身につけている。伝承遊びについて実技を行うことができる。								
LO-3	【思考・判断】 保育における現代的な課題(体力の2極化など)を「健康」の関連からとらえ、論理的に考察することができる。運動会の実践や模擬保育などの実践的な問題解決方法を検討し、学びを深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 子どもの健康と子どもが育つ環境を的確に把握し、社会のニーズに応じた保育実践力の向上に努めることができる。自分自身の健康に対して高い関心を持つことができさらに向上させようとしている。								
LO-5	【社会性・人間性】 ディスカッションやグループ活動に積極的に参加し、他者との協働を図ることができる。子どもへの愛情をもって安心安全を前提とした指導計画を企画・立案し仲間と共同して運営することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		30	10		30	30			100
LO-1		20							20
LO-2			10		20				30
LO-3		10			10				20
LO-4						10			10
LO-5						20			20
備考	模擬保育の終了時に反省会を行い発表した学生へ口頭でのコメントを行う。ミニツッパーパーでの内容について授業中にコメントを行う。 その他：A LO-4 ミニツッパーパーによる関心度から考慮する。LO-5 授業態度(グループへの関与)と 企画・立案・運営への参加度とする。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション（授業のねらい、計画、評価、運動会等についての説明）、	
	【予習】シラバスを読み、授業の概要を確認する。	15分
	【復習】運動会の役割について確認しておく。	30分
第2回	運動遊び・伝承遊び・運動会の実践と保育者の役割（1）	
	【予習】さまざまな鬼ごっこについて調べておく。伝承遊びの技を調べておく。	15分
	【復習】鬼ごっこの進め方と方法を整理しておく。伝承遊びの技を反復練習しできるようになる。運動会の企画を行う。	30分
第3回	投運動について・伝承遊び・運動会の実践と保育者の役割（2）	
	【予習】子どもの運動機能の発達について調べておく(投運動)。伝承遊びの反復練習をする。	15分
	【復習】投運動について整理しておく。伝承遊びの技を反復練習しできるようになる。運動会の企画を行う。	30分
第4回	運動遊び・伝承遊び・運動会の実践と保育者の役割（3）	
	【予習】運動会の役割の確認と運営についてグループで確認しておく。	15分
	【復習】伝承遊びの技を反復練習しできるようになる。運動会の企画を行う。	30分
第5回	運動遊び・伝承遊び・運動会の実践と保育者の役割(4)	
	【予習】担当する運動種目の実施にあたり、進行や自らの役割を確認しておく。	15分
	【復習】伝承遊びの技を反復練習しできるようになる。担当する運動種目の実施にあたり、必要なものを製作・準備する。	30分
第6回	マット運動あそびについて。運動会の実践と保育者の役割（5）プログラム進行の確認、準備	
	【予習】担当する運動種目の実施にあたり、進行や自らの役割を確認しておく。	15分
	【復習】マット運動あそびの補助方法、遊びの種類を整理しておく。担当する運動種目の実施にあたり、改善点に対応し、必要なものを準備する。	30分
第7回	跳び箱運動遊び・運動会の実践と保育者の役割（6）	
	【予習】担当する運動種目の実施にあたり、進行や自らの役割を確認しておく。	15分
	【復習】跳び箱運動遊びの補助方法および内容を整理しておく。運動会の準備をする	30分
第8回	運動会の実践	
	【予習】運動会の意義とあり方について自分の意見をまとめておく。	15分
	【復習】実践した後の反省感想をレポートにまとめる	30分
第9回	運動遊びの教材研究と企画・運営 移動・バランス系	
	【予習】移動・バランス系の遊びの種類を考える	15分
	【復習】実際に行ってみて安全面、教育的効果について考える	30分
第10回	運動遊びの教材研究と実践 移動・バランス系	
	【予習】移動・バランス系の遊びの種類を考える	40分
	【復習】実際に行ってみて安全面、教育的効果について考える	20分

第11回	運動遊びの教材研究と実践 移動・バランス系	
	【予習】移動・バランス系の遊びの種類を考える	40分
	【復習】実際に行ってみて安全面、教育的効果について考える	20分
第12回	運動遊びの教材研究と企画 操作系	
	【予習】身近な道具を使った遊びの種類を考える	40分
	【復習】実際に行ってみて安全面、教育的効果について考える	20分
第13回	運動遊びの教材研究と企画 操作系	
	【予習】身近な道具を使った遊びの種類を考える	15分
	【復習】実際に行ってみて安全面、教育的効果について考える	30分
第14回	運動遊びの教材研究と企画 操作系	
	【予習】身近な道具を使った遊びの種類を考える	15分
	【復習】実際に行ってみて安全面、教育的効果について考える	30分
第15回	まとめ	
	【予習】乳幼児が「健康」であるために、体を動かして遊ぶことや基本的な生活習慣を身につけることの必要性について考えをまとめる。	15分
	【復習】子どもに寄り添い、共感し守り、育てることについてまとめて整理しておく。子どもの健康について、自分なりの考えを整理する	30分

授業科目名	保育内容（人間関係）			科目コード	C133-30				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容	担当教員名	石動 瑞代						
開講時期	2年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)	保育課程論、保育内容総論	後継科目	なし						
関連科目	保育内容（健康 ・ ））、保育内容（環境 ・ ））、保育内容（言葉 ・ ））、保育内容（音楽表現 ・ ））、保育内容（造形表現 ・ ））								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	幼稚園教育要領や保育所保育指針における領域「人間関係」が目ざす内容を理解し、子どもの「人とかかわる力」の育ちを支える保育の内容を考えていきます。保育場面の事例や映像などを利用し、できるだけ具体的に考察することで学びを深めていきます。								
学習目標	乳幼児期における「人とかかわる力」の発達について理解する。 乳幼児期の「人とかかわる力」を育む保育者のかかわりについて考察を深める。 保育の特性を生かして、乳幼児期の「人とかかわる力」を育む保育技術を学び、身につける。								
キーワード	人とかかわる力 共感性 個と集団 規範意識 協同性 遊び 保育者の役割								
テキスト・ 参考書等	テキスト：使用しない。適宜プリントを配布。 参考図書：『幼稚園教育要領解説』文部科学省（フレーベル館）、『保育所保育指針解説書』厚生労働省編（フレーベル館）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 乳幼児期の人とかかわる力の発達を理解し、筆記試験で正しく回答できる。								
LO-2	【技能】 人とかかわりをつくる遊びや言葉がけなどの、実践方法を身につけている。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 社会の状況と幼稚園教育要領・保育所保育指針における領域「人間関係」の内容を、関連づけて考えることができる。保育事例を的確に読みとり、保育者の支援内容や方法を検討することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 現代社会における人との関わりの課題を把握し、乳幼児期に必要な保育の内容・方法について、具体的に考察することができる。								
LO-5	【社会性・人間性】 様々な事例を通して、子どもの思いを尊重し、信頼関係の構築に努めることの重要性を理解し、自らの対人態度の基盤とする。グループワークに積極的に参加し、自らの意見をわかりやすく伝えると同時に、他者の意見を受								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60		30			10			100
LO-1	30								30
LO-2			10						10
LO-3	20		10						30
LO-4	10		5						15
LO-5			5			10			15
備考	その他 A は、授業態度。 提出課題に対しては、口頭及び紙面による								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 自らの人とのかかわりを見つめる	
	【予習】	0分
	【復習】 本日の講義内容をノートにまとめる。 幼児期から現在までの、印象的な人とのかかわりをエピソードでたどる（課題シートの完成）	30分
第2回	現代における人間関係の特徴を捉え、人とかかわる力の育ちについて考える	
	【予習】現代における人間関係の特徴を、3～5個のキーワードで考える。	15分
	【復習】現代社会の人間関係とその背景をまとめる。 現代社会の中で「人とかかわる力」を育むにはどうしたらよいかを文章にまとめてくる。	30分
第3回	領域「人間関係」の変遷を知り、乳幼児に必要とされる保育内容について理解する。	
	【予習】領域「人間関係」の内容を読んでおく。	10分
	【復習】各時期の領域「人間関係」の中で、特に強調している事項について、その時期の社会状況と関連付けて整理する。	20分
第4回	乳児期における人とのかかわり 共感性の発達、集団保育の視点で考える。	
	【予習】保育所保育指針の保育課程によって人間関係の育ちの道筋を確認する。	10分
	【復習】講義やテキストの内容を参考に、レポートを作成する。	40分
第5回	幼児期における人とのかかわり 仲間入り・いざこざ 幼児期における友達とのかかわりの発達過程を理解する。	
	【予習】配付プリントを再読する。 これまれの実習体験から、いざこざに関わった経験をまとめておく。	15分
	【復習】事例について、読み取ったことをまとめる。 仲間入り・いざこざの発達の意味をまとめる。	30分
第6回	幼児期における人とのかかわり 規範意識・協同性	
	【予習】事前課題について、要点をまとめてくる。	15分
	【復習】事例について、読み取ったことをまとめる。 幼児期の規範意識・協同性の発達過程を知る。	30分
第7回	遊びの中で育つ人とのかかわり 遊びを通して育まれる人との関わりの姿を捉え、援助の方法を考える。	
	【予習】テキスト第3章を読んでおく。 配布資料の課題を考えておく。	20分
	【復習】資料の内容を確認し、十分に理解できないところは、次回の質問事項としてまとめておく。	20分
第8回	人とのかかわりを育てる保育の実践 かかわりをつくる	
	【予習】人とのかかわりをつくる“遊び”を考えてくる。	30分
	【復習】人とのかかわりをつくる“遊び”の内容と配慮点を、ノートにまとめる。	30分
第9回	人とのかかわりを育てる保育の実践 個と集団をいかす	
	【予習】保育所保育指針等の中で、個と集団の関係について述べられている部分をさがし、ノートに書きだす。	15分
	【復習】事例についての感想を書く。	30分
第10回	人とのかかわりを育てる保育の実践 地域との交流、行事とおして	
	【予習】地域交流や行事が、人とかかわる力にどのように影響しているのかを考え、文章にまとめておく。 人とかかわる力の発達と保育との関連を考えたいうえでの、疑問点をあげる。	20分
	【復習】課題シートを完成させる。	30分

第11回	人とかかわりを育てる保育者の役割	
	【予習】実習事例をもとに、人とかかわりを育てる保育者の役割を自分なりにあげてみる。 テキスト第3章の4, 6を読む。	20分
	【復習】授業の中で確認した保育者の役割を、実習中のエピソードと関連づけて、課題シートを完成する。	30分
第12回	人とかかわりが難しい子への支援 事例研究（実習における事例をもとに話し合う）	
	【予習】実習の中で出会った人とかかわりが難しい子のエピソードメモをつくる。 テキスト第3章の7 を読んでおく。	20分
	【復習】グループで分担し、発表資料をつくる。	20分
第13回	人とかかわりが難しい子への支援 事例研究（事例での学びを発表する）	
	【予習】発表の準備をする。	20分
	【復習】様々なテーマの中で、1～2個のテーマにしぼり、発表内容から学んだことをまとめる。	30分
第14回	職場における保育者の人間関係	
	【予習】 配布資料の課題を考えておく。	20分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。 課題シートを完成させる。	25分
第15回	乳幼児期の人とかかわりを育む保育内容（まとめ）	
	【予習】これまでのノートを整理し、テキストと関連付けながら読んでおく。	20分
	【復習】これまでの学びをふりかえり、課題レポートの作成を行う。	40分

授業科目名	保育内容（環境）			科目コード	C133-40				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容	担当教員名	長尾 順子						
開講時期	2年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)	保育内容総論	後継科目	なし						
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	子どもは「もの・ひと・こと」とのかかわりを通じて成長・発達する。子どもがどのように環境にかかわっているのかを学び、そのかかわりが領域「環境」に示された経験となるためにはどのような環境の構成と援助が必要であるかを考察する。授業においては、直接体験することを重視し、学びを深められるようにすすめる。また、教材研究と指導案作成を通じて保育実践力を習得できるようにする。								
学習目標	子どもと環境とのかかわりと子どもの育ちについて理解する 子どもが周囲の環境に自ら関わるために必要な保育者の援助と保育の方法について習得する								
キーワード	領域「環境」 身近な自然 身近な「もの・ひと・こと」 フィールドワーク								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『事例で学ぶ保育内容 領域環境』 無藤隆・福元真由美 2010 萌文書林 参考書：『保育所保育指針解説書』 厚生労働省編 フレーベル館 『幼稚園教育要領解説』 文部科学省 フレー								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育所保育指針と幼稚園教育要領及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示された領域「環境」のねらい及び内容について、用語を理解し、試験で正しく答えることができる								
LO-2	【技能】保育所や幼稚園において子どもが自ら環境に働きかけられるような保育環境を構成し、保育を展開する技術を習得している								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】子どもが育つために必要な環境について論理的に考察し、保育者の具体的な役割を理解している								
LO-4	【関心・意欲・態度】子どもの育ちと子どもを取り巻く環境を的確に把握し、社会のニーズに応じた保育実践力の向上に努める								
LO-5	【人間性・社会性】ディスカッションやグループワークに積極的に参加し、他者との協働を図ることができる								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60			20		10	10		100
LO-1	30								30
LO-2						10			10
LO-3	30								30
LO-4				20					20
LO-5							10		10
備考	その他：A 「指導案」 B 「グループワークへの取り組み姿勢」 屋外での授業を予定しています。体調を整え、服装など適切なものを準備してください。 提出課題に対しては、口頭及び紙面にてコメントを行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション(授業のねらい、方法、評価の仕方等について)、幼児教育がなぜ大切か	
	【予習】シラバスを読み、授業内容を把握する	10分
	【復習】授業の全体像を確認する	10分
第2回	子どもの育ちと領域「環境」、保育者の役割 子どもが育つために必要な環境とは何か、子どもにとって環境とはどのような意味をもつのかを考える	
	【予習】テキスト25ページから48ページを読み、不明な部分を把握する	15分
	【復習】グループで話し合った内容を振り返り、整理する	30分
第3回	子どもの育ちと環境のかかわり(身近な自然) 子どもにとっての環境の意味と子どもが育つために必要な環境について、グループで話し合ったことを発表する	
	【予習】テキスト48ページから72ページを読み、不明な部分を把握する	15分
	【復習】グループで話し合った内容を振り返り、整理する	30分
第4回	フィールドワーク(ファミリーパーク)の事前学習 グループワーク	
	【予習】	0分
	【復習】自分たちが選択したコースについてより詳しく調べておく	30分
第5回	富山市ファミリーパークでの学外授業 フィールドワークとネイチャーゲーム	
	【予習】学外授業の準備をする	20分
	【復習】	0分
第6回	自然に触れて遊ぶための教材研究	
	【予習】	0分
	【復習】活動を振り返り、教材研究と指導案作成に必要な物を整理しておく	40分
第7回	教材研究・指導案作成	
	【予習】教材研究・指導案作成に必要な物を準備する	0分
	【復習】教材研究・指導案作成を進める	90分
第8回	教材研究・指導案作成を踏まえて模擬保育を行う	
	【予習】教材・指導案を整える	60分
	【復習】模擬保育を振り返り、教材と指導案の手直しをする	40分
第9回	領域「環境」のねらいと内容、改訂のポイント 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の領域「環境」について及び改訂のポイントを理解する	
	【予習】幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の領域「環境」の部分を読み、不明な点を把握する	30分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、必要な用語を覚える	60分
第10回	子どもと環境とのかかわり(ものや道具)	
	【予習】テキスト74ページから100ページを読み、不明な部分を把握する	15分
	【復習】自らの地域の行事について調べ、まとめる	30分

第11回	子どもと環境とのかかわり（文字・数量・図形など）	
	【予習】テキスト101ページから126ページを読み、不明な部分を把握する	15分
	【復習】自らの地域の行事について調べ、まとめる	60分
第12回	好奇心を引き出す遊ぶための教材研究を踏まえて、模擬保育をする。	
	【予習】教材研究・指導案作成に必要な物を準備する	60分
	【復習】模擬保育を振り返り、教材を手直しする	30分
第13回	子どもと環境とのかかわり(身近な情報・地域)	
	【予習】テキスト127ページから154ページを読み、不明な部分を把握する	15分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、ポイントを押さえる	30分
第14回	ユニバーサルデザインの環境、安心・安全な環境 事例を通じて考える	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、ポイントを押さえる	30分
第15回	保育をめぐる現代的課題と領域「環境」	
	【予習】テキストを174ページから190ページを読んで、不明な部分を把握する	30分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、ポイントを押さえる	20分

授業科目名	保育内容（言葉）			科目コード	C133-50				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容	担当教員名	梅本 恵						
開講時期	1年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)	保育内容総論	後継科目	保育内容（言葉）						
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』及び『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』に示された領域「言葉」のねらいと内容について理解する。演習形式で、保育実践事例、実習後のエピソード記述の作成を通じて保育者の援助について考察を行ない、実践的な理解を深める。さらに、絵本や言葉を使った遊びなどの教材研究、模擬保育、パネルシアターの作成・上演など、保育実践力が身に付くようにする。								
学習目標	乳幼児が言葉を獲得していく過程について理解する。 『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』及び『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』に示された領域「言葉」のねらい及び内容を理解し、保育者の援助の基本的視点を獲得する。 発達過程に即した教材を作成し、保育実践に活用できるようになる。								
キーワード	発達と言葉 保育者の援助 ねらいと内容 言葉遊び 絵本 パネルシアター 模擬保育								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『事例で学ぶ保育内容<領域>言葉』 無藤隆 監修/宮里暁美 編 2018 萌文書林 参考書：『保育所保育指針解説書』 厚生労働省編 フレーベル館 『幼稚園教育要領解説』 文部科学省 フレーベ								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』及び『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』に示された領域「言葉」のねらい及び内容について、用語を理解し、試験で正しく答えることができる。								
LO-2	【技能】保育所や幼稚園において乳幼児が豊かな言葉の経験ができるよう、教材を準備し、展開する技術を習得している。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】事例を通じて実践的な問題解決方法を検討し、学びを深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】現代社会における乳幼児の育ちと言語をめぐる課題を把握し、乳幼児期に必要な保育の内容と方法を踏まえた保育実践力の向上に努める。								
LO-5	【人間性・社会性】ディスカッションやグループ討議に積極的に参加し、他者との協働を図る。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60		10	10		10	10		100
LO-1	30								30
LO-2	10			10					20
LO-3	10					10			20
LO-4	10		10						20
LO-5							10		10
備考	A：「エピソード記述」 B：「グループワークなどの取り組み姿勢」 日頃から、『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』及び『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』に立ち返り、読む習慣をつけること。 授業で配布されるプリント・資料を整理しておくこと。図書館などで意識的に絵本に触れておくこと。 提出課題に対しては、口頭及び紙面にてコメントを行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション(授業のねらい、方法、評価等についての説明) 保育実践の中での絵本(1) 保育実践における絵本の役割、選択の仕方学ぶ。	
	【予習】シラバスを読み、授業内容を把握する。	40分
	【復習】授業の全体像を確認する。 授業で配布されたプリントを見直し、ポイントを押さえる。	40分
第2回	射水市大島絵本館での学外授業 絵本の閲覧・絵本リスト作成、ワークショップでの絵本製作を行う。 絵本の原画展示、シアターなどを見る。	
	【予習】絵本館利用の手引きを読み、主体的に活動できるようにしておく。	20分
	【復習】	0分
第3回	射水市大島絵本館での学外授業	
	【予習】	0分
	【復習】絵本リストを完成させる。	60分
第4回	保育実践の中での絵本(2) 模擬保育(グループでの読み聞かせ)。	
	【予習】実習で読みたい絵本を2冊以上準備する。	60分
	【復習】模擬保育を振り返り、改善点を確認する。	20分
第5回	乳幼児の発達と言葉 新生児期から乳児期を中心に、言葉の獲得過程について理解する。	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、ポイントを押さえる。	30分
第6回	豊かな言葉の経験を広げる保育実践(1) 保育実習 -1で最も心に残ったエピソードを記述する。	
	【予習】保育実習 -1を振り返り、エピソード(題目)をあげる。	20分
	【復習】エピソード記述を完成させる。	30分
第7回	豊かな言葉の経験を広げる保育実践(2) エピソード記述を基にグループ討議を行う。	
	【予習】	0分
	【復習】発表資料を作成、完成させる。	30分
第8回	豊かな言葉の経験を広げる保育実践(3) グループ討議の内容を発表する。 乳児がどのような言葉の経験をしているのか、保育者の援助の視点について考察する。	
	【予習】発表準備をする。	20分
	【復習】グループ討議、発表を通じて学んだことをまとめる。	30分
第9回	領域「言葉」のねらいと内容(1) 『指針』に示された乳児及び1歳児から3歳未満児のねらい及び内容、内容の取扱いについて理解する。	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、ポイントを押さえる。	30分
第10回	領域「言葉」のねらいと内容(2) 『指針』『要領』『教育・保育要領』に示された3歳以上児のねらい及び内容、内容の取扱いについて理解する。	
	【予習】テキスト78ページから87ページを読み、不明な点を把握する。	30分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、ポイントを押さえる。	30分

第11回	領域「言葉」からみた乳幼児の遊びの実際 言葉遊び、わらべうた遊びの実習、教材研究を行う。	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、ポイントを押さえる。	30分
第12回	保育実践の中でのパネルシアター（1） 保育実践におけるパネルシアターの役割、作成方法を学ぶ。	
	【予習】	0分
	【復習】パネルシアター作成の準備をする。	30分
第13回	保育実践の中でのパネルシアター（2） パネルシアターについての教材研究を行い、指導案を作成する。	
	【予習】パネルシアターを冬期休業中に作成しておく。	180分
	【復習】指導案を完成させる。	30分
第14回	保育実践の中でのパネルシアター（3） パネルシアターの上演・模擬保育を行う。	
	【予習】模擬保育の準備をする。	60分
	【復習】指摘された意見を基に振り返りを行い、ワークシートを完成させる。	30分
第15回	学習のまとめと評価	
	【予習】これまでの学習内容を確認しまとめる。	60分
	【復習】自らの学習達成度を評価し、理解の不十分なところは再度学習する。	60分

授業科目名	保育内容（言葉）			科目コード	C133-51				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容	担当教員名	梅本 恵						
開講時期	2年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	保育内容総論 保育内容（言葉）	後継科目							
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	改定（訂）された『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』に示された領域「言葉」のねらいと内容についての理解を深める。保育現場で取り組まれている豊かな言葉を育む保育実践について学び、保育者の言葉かけやかかわりについて考察する。さらに、指導案の作成と模擬保育を実施し、保育の実践力を身に付ける。また、言葉をめぐる現代的な課題を通して、保育者の役割についても考察する。								
学習目標	乳幼児が発達過程に合った言葉の経験ができるよう、保育者の言葉かけや援助の方法を身に付ける 乳幼児を取り巻く現代的な言葉の課題をとらえ、保育者の役割についての理解を深める								
キーワード	伝え合う言葉 文字環境 保育者の言葉かけ								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『事例で学ぶ保育内容<領域>言葉』 無藤隆 監修/宮里暁美 編 2018 萌文書林 参考書：『保育所保育指針解説書』 厚生労働省編 フレーベル館 『幼稚園教育要領解説』 文部科学省 フレーベ								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】幼稚園教育要領と保育所保育指針に示された領域「言葉」のねらい及び内容について理解し、発達過程に即して具体化できる								
LO-2	【技能】保育所や幼稚園において乳幼児が豊かな言葉の経験ができるような、保育構想力、展開技術を習得している								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】保育における現代的な課題を領域「言葉」との関連からとらえ、論理的に考察し、適切な言葉で表現できる								
LO-4	【関心・意欲・態度】乳幼児の育ちと言葉をめぐる環境を的確に把握し、社会のニーズに応じた保育実践力の向上に努める								
LO-5	【人間性・社会性】豊かな感受性と共感性をもって、乳幼児への言葉かけができる								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60		20			20			100
LO-1	20								20
LO-2						20			20
LO-3			20						20
LO-4	20								20
LO-5	20								20
備考	その他A：指導案 レポート課題の告知は授業で行う。 提出課題に対しては、口頭及び紙面にてコメントを行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション(授業のねらい、方法、評価の仕方等についての説明) 保育の基本と領域「言葉」	
	【予習】テキスト第1章を読み、不明な部分を把握する。	45分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、ポイントを押さえる。	45分
第2回	乳幼児の言葉の発達をとらえる視点 事例を通して、子どもたちが言葉で伝え合う過程について考察する	
	【予習】テキスト第2章を読み、不明な部分を把握する。	45分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、ポイントを押さえる	45分
第3回	発達過程区分に基づく領域「言葉」のねらいと内容	
	【予習】『保育所保育指針』第2章保育の内容の領域「言葉」に関する部分を読む。	45分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、ポイントを押さえる	45分
第4回	現代社会と言葉をめぐる問題(1) ジェンダーの視点から、言葉かけと保育環境について考える。	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、ポイントを押さえる。	45分
第5回	現代社会と言葉をめぐる問題(2) 幼児期の文字指導について考える。	
	【予習】テキスト第6章を読み、不明な部分を把握する。	45分
	【復習】レポートを作成する。	120分
第6回	領域「言葉」と実践上の留意点	
	【予習】テキスト第6章第1節から第5節を読み、不明な部分を把握する。	45分
	【復習】授業で配布されたプリント見直し、ポイントを押さえる。	45分
第7回	言葉遊び、わらべうた遊びの実践	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	言葉や文字を使った遊びの教材研究 遊びを考案し、必要な教材を作成する。	
	【予習】どのような言葉遊びがあるか等調べる。	45分
	【復習】教材を完成させる。	120分
第9回	言葉や文字を使った遊びの指導案の作成	
	【予習】	0分
	【復習】指導案を完成させる。	45分
第10回	言葉や文字を使った遊びの模擬保育 作成した教材を使用し、指導案に沿って模擬保育を行う。	
	【予習】模擬保育の準備をする。	60分
	【復習】模擬保育を振り返り、考察・反省を記入する。	45分

	子どもと保育者の言葉を視点に、実習時のエピソードを記述する。	
第11回	【予習】 実習日誌等を見直し、エピソードを選んでおく。	20分
	【復習】 エピソード記述を完成させる。	45分
	豊かな言葉の経験を支える保育者の言葉かけ エピソード記述を基にグループで話し合い、保育者の言葉かけについて考察する。	
第12回	【予習】	0分
	【復習】 グループで話し合った内容について振り返る。	30分
	領域「言葉」と保育の総合的な展開（1） 劇遊びのDVDを視聴し、子どもたちが経験することを考察する。	
第13回	【予習】 テキスト第7章を読み、不明な部分を把握する。	45分
	【復習】	0分
	領域「言葉」と保育の総合的な展開（2） 子どもにとっての劇遊びの意義、遊びの展開過程を考える。	
第14回	【予習】 劇遊びにしたい題材を選んでおく。	45分
	【復習】 ワークシートに遊びの展開を記入する。	45分
	領域「言葉」と保育の総合的な展開（3） 劇遊びの指導案を作成する。	
第15回	【予習】	0分
	【復習】 劇遊びの指導案を完成させる。	60分

授業科目名	保育内容（音楽表現）			科目コード	C133-60				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容	担当教員名	難波 純子						
開講時期	1年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)	音楽 - 1、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領	後継科目	保育内容（音楽表現）						
関連科目	音楽 - 2、音楽 - 1、音楽 - 2、保育内容総論、保育内容（造形表現）								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	子どもの表現活動を豊かに展開するために必要な知識や技術を習得することを目的とする。さまざまな表現活動を結びつける教材研究や、表現体験を取り入れることによって、子どもの遊びやイメージを豊かにし、感性を養うための環境構成と保育の展開について学ぶ。								
学習目標	子どもの「表現の芽ばえ」を発見し、表現を読み取りより豊かな表現の育ちを支えられるよう、自らの創造性、感性、表現力を磨く。また、子どもの興味や関心に沿った教材や、環境構成と保育の展開方法を習得する。								
キーワード	子どもの表現 音との出会い 身体表現								
テキスト・ 参考書等	文部科学省『幼稚園教育要領解説』フレーベル館 厚生労働省『保育所保育指針解説書』フレーベル館								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 保育における領域「表現」のねらい及び内容について理解している。								
LO-2	【技能】創意工夫を生かした音楽表現ができる。								
LO-3	(該当しない)								
LO-4	【関心・意欲・態度】 音楽表現に関心をもち、演習や発表などに主体的に取り組もうとする。								
LO-5	【人間性・社会性】グループやペアでの演習などに積極的に参加し、他者とコミュニケーションを図ることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)					100				100
LO-1					30				30
LO-2					30				30
LO-3									
LO-4					20				20
LO-5					20				20
備考	なし								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 保育における領域「表現」について	
	【予習】シラバスを読み、授業内容を把握する。	10分
	【復習】授業の進め方や全体像を確認する。	10分
第2回	音さがし 音を感じよう	
	【予習】生活の中での音リストを作ってくる。	15分
	【復習】音さがしの活動で感じたことや発見したことを振り返り、記録しておく。	10分
第3回	音環境マップづくり	
	【予習】付属みどり野幼稚園で実習した際の、園庭の音環境について振り返っておく。	10分
	【復習】	0分
第4回	0.1.2歳児向けの手遊び・歌遊び	
	【予習】他に、年齢に合った手遊びはどのようなものがあるか調べる。	30分
	【復習】習った手遊びを自分一人で正しい音程で歌いながら再現できるようにする。	20分
第5回	0.1.2歳児向けの手遊び・歌遊び 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の領域「表現」について	
	【予習】他に、年齢に合った手遊びはどのようなものがあるか調べる。	30分
	【復習】習った手遊びを自分一人で正しい音程で歌いながら再現できるようにする。 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の領域「表現」について確認	30分
第6回	言葉と音楽表現（オノマトペ）	
	【予習】	0分
	【復習】気づきや学びをノートにまとめておく。	20分
第7回	絵本と表現遊び（音・色・形とイメージ）	
	【予習】子どものイメージを豊かにする、音・色・形をテーマにした絵本について、どのようなものがあるか調べてくる。	90分
	【復習】	0分
第8回	生活や遊びの中での音楽表現 表現の芽ばえウォッチング（音の探求） 事例紹介	
	【予習】これまでの実習先での子どもの「表現の芽ばえ」を、日誌から拾い上げノートにまとめておく	60分
	【復習】	0分
第9回	生活や遊びの中での音楽表現 表現の芽ばえウォッチング（即興歌唱表現） 事例紹介	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	身近な素材で遊ぼう（造形表現 とのコラボレーション） 音の出る仕組みを知る	
	【予習】音の出る仕組みには、どのようなパターンがあるか調べてくる。	20分
	【復習】	0分

第11回	音をあじわう6つのコツ	
	【予習】	60分
	【復習】	0分
第12回	音で遊ぼう（造形表現 とのコラボレーション） 造形表現で制作した音具を持参して曲づくり	
	【予習】 手作りの音具を使って、どのような曲ができるか考えてくる。	30分
	【復習】	0分
第13回	音で遊ぼう（造形表現 とのコラボレーション） 図形楽譜をもとにグループで曲発表	
	【予習】 図形楽譜について調べておく。	30分
	【復習】	0分
第14回	新入園児のつどいに向けて 未就園児に適した楽しい手遊び・歌あそび	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	まとめ 「子どもの表現において保育者として大切にすべきこと」	
	【予習】 上記テーマについて、自分の考えをまとめておく。	40分
	【復習】	0分

授業科目名	保育内容（音楽表現）			科目コード	C133-61				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容	担当教員名	大村 禎子						
開講時期	2年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	保育内容（音楽表現）	後継科目							
関連科目	音楽 - 1、1 - 2 音楽 - 1								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	人との関わり合う身体表現の経験により、自らの創造性、感性、表現力を磨いていきます。特に、遊びの中で素材や音との出会いから発展していくことを知り、子供の多様な表現に気づき、引きだす方法について表現体験することによって習得していくとともに、音楽を通して心から感動することによって子供たちが感動を自己表現する意欲を育てます。								
学習目標	子供たちは、身体の動きで様々な表現をしています。そのような子供たちの存在を理解し、受け止められることを目標とします。自由で即興的な身体活動などを体験することによって、豊かな身体表現性を身につける。								
キーワード									
テキスト・ 参考書等	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」 その他必要に応じて提示する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】リズム、音程、和声感を理解し、表現する喜びを取得する。								
LO-2	【技能・表現】感じたこと、考えたことを音や身体の動きで表現するための基礎リズムを身につけ、楽器やピアノ・身体でのびのびと表現する。								
LO-3	【思考・判断】楽譜のリズム、音程、和声音を理解し身体の動きと一体化させる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】幼児の表現に関心をもち、身体表現、歌唱に楽しさ・喜びを感じる。								
LO-5	【社会性・人間性】グループでの身体表現を通して協調性を養うとともに表現する喜び楽しさを理解する。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			50			50			100
LO-1									
LO-2			50			50			100
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考	その他Aは、授業への取組み態度とする。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、幼児教育と表現とは	
	【予習】次回課題への準備	30分
	【復習】講義内容のふりかえり	20分
第2回	(1)かけ(カノン) ハンドサイン	
	【予習】次回課題への準備	30分
	【復習】講義内容のふりかえり	20分
第3回	世界中の子供たち、動きの楽しさ、ハンドサイン	
	【予習】次回課題への準備	30分
	【復習】講義内容のふりかえり	20分
第4回	何が見える(和音で遊ぶ)	
	【予習】次回課題への準備	0分
	【復習】講義内容のふりかえり	0分
第5回	キラキラ星の曲で身体表現遊び(フレーズ)	
	【予習】次回課題への準備	30分
	【復習】講義内容のふりかえり	20分
第6回	楽しいリズムの曲で2拍子、3拍子のダンス	
	【予習】次回課題への準備	30分
	【復習】講義内容のふりかえり	20分
第7回	デリシャス お菓子工場で3拍子・4拍子の表現	
	【予習】次回課題への準備	30分
	【復習】講義内容のふりかえり	20分
第8回	音符遊び	
	【予習】次回課題への準備	30分
	【復習】講義内容のふりかえり	20分
第9回	身体表現とボール遊び	
	【予習】次回課題への準備	30分
	【復習】講義内容のふりかえり	20分
第10回	みんなの夢がかなう星でトンチャイム 【発展編】グループでの創作活動	
	【予習】次回課題への準備	30分
	【復習】講義内容のふりかえり	20分

第11回	身体表現遊び作り (1)テーマを決定	
	【予習】次回課題への準備	30分
	【復習】講義内容のふりかえり	20分
第12回	身体表現遊び作り (2)動きのイメージ、構成、音の構成、空間構成	
	【予習】次回課題への準備	30分
	【復習】講義内容のふりかえり	20分
第13回	身体表現遊び作り (3)仕上げ	
	【予習】次回課題への準備	30分
	【復習】講義内容のふりかえり	20分
第14回	身体表現遊び作品発表	
	【予習】次回課題への準備	30分
	【復習】講義内容のふりかえり	20分
第15回	まとめ レポート提出 レポート課題の提示	
	【予習】これまで授業のプリントやノート等を整理する	30分
	【復習】これまでの授業での学びをまとめ、レポートを作成する。	30分

授業科目名	保育内容（造形表現）			科目コード	C133-70				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容	担当教員名	中山 里美						
開講時期	1年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)	図画工作 - 1	後継科目	図画工作 - 2 保育内容（造形表現） 図画工作 - 1、2						
関連科目	保育内容（音楽表現）								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	造形作品の製作と鑑賞活動を中心に行い、体験を通して各自が楽しみながら題材の特性や意義を学びます。幼児の造形表現指導において、発達段階や特性を踏まえ保育者が行う援助の方法や在り方について考えていきます。								
学習目標	幼児の造形表現の発達や特性を理解し、製作活動を通して造形表現指導に必要な基礎的な知識と能力を身につけます。								
キーワード	感性 想像 創造								
テキスト・ 参考書等	「子どもの造形表現」北沢昌代 畠山智宏 中村 光絵 著 開成出版（継続使用） 「保育をひらく造形表現」榎英子著 萌文書林 文部科学省「幼稚園教育要領」 厚生労働省「保育所保育指針」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】子どもの造形表現の発達過程や特徴を理解する。造形表現の意義や活動のねらいと内容について理解する。造形表現に関する基礎的な用語や材料・用具、技法などに関する知識を身につけている。								
LO-2	【技能】素材の特性や用具の扱い方を知り、創造的な造形表現に必要な技能を身につけ、材料や技法などの表現方法を工夫して表す。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】造形表現活動の意義や、作品の良さや美しさを感じ取り、感性や想像力を働かせ、創造的な表現活動や製作を考えることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】造形表現活動や鑑賞に主体的に取り組み、作品を大切にするとともに、活動の楽しさや喜びを味わう。								
LO-5	【人間性・社会性】作品鑑賞やグループでの活動や製作等に意欲的に参加し、各々の良さや美しさを尊重することができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			20	50		30			100
LO-1			10						10
LO-2				20					20
LO-3				20					20
LO-4			10	10		15			35
LO-5						15			15
備考	評価方法：提出課題レポートにはワークシートを含む。その他の項目「A」は、授業に取り組む姿勢、態度。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	幼児の造形表現：発達と特徴 造形活動の発達段階	
	【予習】 幼児が絵を描く姿の観察とその絵を鑑賞し、レポートを作成する。 レポート提出	90分
	【復習】	0分
第2回	幼児の造形表現：発達と特徴 造形表現の特徴・様式。 ワークシート提出	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	鑑賞1 美術館見学（美術館の役割と利用方法、作品鑑賞における心構え・マナー） 3,4回は連続して実施。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	鑑賞1 美術館見学（企画展・常設展 作品鑑賞）	
	【予習】	0分
	【復習】 作品鑑賞についてのレポートを作成する。 レポート提出	90分
第5回	素材と表現：自然素材を使って - 季節の変化と材料 どんぐり、まつぼっくり 作品提出	
	【予習】 遊びや製作に使用する材料を屋外で収集する。	60分
	【復習】 保育実習 - 1で見学した作品や展示方法・環境に関するレポートを作成する。 レポート提出	90分
第6回	素材と表現：自然素材を使って - 季節の変化と材料 落ち葉 作品提出	
	【予習】 拾った落ち葉を新聞紙にはさみ、押し葉を作る。	30分
	【復習】	0分
第7回	素材と表現：自然素材を使って - 季節の変化と材料 落ち葉、小枝、木の実など 作品提出	
	【予習】 製作に使用する追加材料を準備する。	15分
	【復習】 展示された作品を相互鑑賞し、表現活動を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	30分
第8回	表現について考える : 見えないものを描く 聴覚・味覚・嗅覚・触覚・から感じたことを表現する。 作品提出	
	【予習】	0分
	【復習】 振り返りワークシートに取り組む。	30分
第9回	表現について考える : 音をさがす グループ活動 さまざまな素材と関わりながら音を見つける ワークシート提出	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	表現について考える 音を楽しむ音具・オブジェの製作 「音を楽しむ音具の製作」 材料との出会いと音の発見	
	【予習】 音具に使いたい、材料を準備する。	30分
	【復習】	0分

第11回	表現について考える 音を楽しむ音具・オブジェの製作 「音を楽しむ音具の製作」 音具完成 作品は保育内容（音楽表現） で使用する。	
	【予習】身の回りから、素材となるものを探す。 材料の準備	30分
	【復習】	0分
第12回	表現について考える 音を楽しむ音具・オブジェの製作 「音楽表現」授業で作った曲を図形楽譜として表す。	
	【予習】	0分
	【復習】各グループの音具と図形楽譜の鑑賞	0分
第13回	表現について考える 音を楽しむ音具・オブジェ作品の解体とワークシート記入	
	【予習】	0分
	【復習】ワークシート：合同授業での取り組み「表現」について	30分
第14回	素材と表現：コラージュ シフティングによる構成 作品提出	
	【予習】素材として使用する雑誌や印刷物を準備する。	30分
	【復習】展示された作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	30分
第15回	素材と表現：コラージュ デベイズマンによる構成 作品提出	
	【予習】素材として使用する雑誌や印刷物を準備する。	30分
	【復習】展示された作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。保育内容（造形表現） の授業で取り組んだ作品を再度鑑賞したり、学習内容を整理したりし、造形表現活動と学習を振り返る。	60分

授業科目名	保育内容（造形表現）			科目コード	C133-71				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容	担当教員名	中山 里美						
開講時期	2年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	図画工作 - 1、2 保育内容（造形表現）	後継科目	図画工作 - 2						
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	グループによる模擬保育体験と製作活動を中心に行います。造形表現活動を通して、幼児が生き生きと参加できる題材の工夫や展開方法、適切な援助や働きかけについて考えていきます。								
学習目標	幼児の造形表現の発達や特性を踏まえ、製作活動や模擬保育活動を通して造形表現指導の知識と実践力を身につける。創作や鑑賞活動を通して、保育に必要な造形に対する幅広い知識を得るとともに、豊かな感性を養い、表現力の向上を目指します。								
キーワード	感性 想像 創造								
テキスト・ 参考書等	「子どもの造形表現」北沢昌代 畠山智宏 中村 光絵 著 開成出版 (継続使用 「保育をひらく造形表現」榎 英子著 萌文書林(継続使用) 文部科学省「幼稚園教育要領」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】造形表現の意義や活動のねらいと内容について理解し、造形の指導計画を立てることができる。造形表現に関する幅広い用語や材料・用具、技法などに関する知識を身につけている。								
LO-2	【技能】素材の特性や用具の扱い方を知り、創造的な造形表現に必要な技能を身につけ、材料や技法などの表現方法を工夫して表す。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】造形表現活動の意義や、作品の良さや美しさを感じ取り、感性や想像力を働かせ、創造的な表現活動や製作を考えて計画したり、実践したりすることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】造形表現活動・模擬保育や鑑賞に主体的に取り組み、作品を大切にするとともに、活動の楽しさや喜びを味わう。								
LO-5	【人間性・社会性】作品鑑賞やグループでの活動や製作などに意欲的に参加し、各々の良さや美しさを尊重することができる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			20	50		30			100
LO-1			10	10					20
LO-2				20					20
LO-3			10	10					20
LO-4				10		15			25
LO-5						15			15
備考	評価方法：提出課題レポートにはワークシートを含む。その他Aは、授業に取り組む姿勢、態度。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 造形表現指導における保育者の役割	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	模擬保育 指導計画について・活動形態・環境と援助について	
	【予習】「子どもの造形表現」P121～128 「保育をひらく造形表現」P107～138を読み、活動の目的や題材の選定、指導計画や指導案の作成におけるポイントや留意事項を確認する。	30分
	【復習】	0分
第3回	模擬保育 身近な材料を使った造形作品や玩具の製作	
	【予習】	0分
	【復習】製作した作品の材料、製作方法、留意点等をワークシートにまとめる。 ワークシート提出	45分
第4回	模擬保育 指導計画作成と材料や教材の準備 1題材の設定	
	【予習】造形活動の参考となる資料や作品を準備する。	40分
	【復習】	0分
第5回	模擬保育 指導計画作成と材料や教材の準備 2指導計画の作成	
	【予習】	0分
	【復習】グループで検討した指導計画の指導案を作成する。	60分
第6回	模擬保育 指導計画作成と材料や教材の準備 3指導計画の検討と準備	
	【予習】試作のための材料と資料を準備する。	30分
	【復習】	0分
第7回	模擬保育 グループA - 模擬保育	
	【予習】	0分
	【復習】模擬保育実施後の考察や感想をまとめる。 指導案提出	30分
第8回	模擬保育 グループB - 模擬保育	
	【予習】	0分
	【復習】模擬保育実施後の考察や感想をまとめる。 指導案提出	30分
第9回	模擬保育 事後研究 (相互、自己評価)	
	【予習】	0分
	【復習】保育実習 〃 に向け、新たな造形活動の計画を立て、指導案を作成する。	120分
第10回	模擬保育 評価・展示方法について	
	【予習】実習で取り組んだ活動や実習園の作品展示環境等をまとめる。 レポート提出	60分
	【復習】	0分

第11回	行事と造形（七夕）：素材の特性を生かした七夕飾りの製作をする。	
	【予習】	0分
	【復習】オリジナルの七夕飾りを完成させる。展示し、相互鑑賞する。 作品提出	60分
第12回	紙の造形 - 紙工作の技法 切る・ちぎる・折る・曲げる	
	【予習】	0分
	【復習】配布されたプリントを参考にして試作する。	60分
第13回	紙の造形 - メッセージカードの製作 仕掛けづくり	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	紙の造形 - メッセージカードの製作 装飾 作品提出	
	【予習】	0分
	【復習】メッセージカードを相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	30分
第15回	ビニール袋を活用した遊びと製作 ワークシート提出	
	【予習】	0分
	【復習】前期授業で提出した作品やレポートを再度鑑賞・確認して、製作と学習を振り返る。	80分

授業科目名	乳児保育			科目コード	C135-10				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 特別保育		担当教員名	石動 瑞代					
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	乳児保育					
関連科目									
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	乳児保育が社会と密接な関係にあることをふまえ、乳児保育の意義について学びます。また、乳児期の発達の特徴を知り、発達に応じた具体的保育方法について考えます。演習方式で養護技術の体験や支援内容についての討議等を行うことで、基本的な乳児保育の技能を身につけていきます。								
学習目標	乳児保育をめぐる社会状況を理解し、乳児保育の意義について理解する。 乳児期の発達の特徴を理解し、発達に応じた環境や保育方法について考えることができる。 乳児保育における養護技術、環境構成・教材開発力を身につける。								
キーワード	乳児 三歳児神話 発達過程 主体性 生命の保持 情緒の安定 職員の連携								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『見る・考える・創りだす 乳児保育』 CHS子育て文化研究所（萌文書林） 『保育所保育指針解説書』 厚生労働省編（フレーベル館）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 乳児期の発達の特徴について理解し、試験で正しく回答することができる。また、乳児の生活・遊びを支援するために必要な基礎的事項について説明できる。								
LO-2	【技能】 乳児保育に必要な養護技術を身につけている。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 乳児保育をめぐる社会状況をふまえて、乳児保育の意義を自らの視点で考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 乳児をめぐる研究知見や乳児向け用具等の把握に努め、乳児の発達支援技術の向上に努める。								
LO-5	【人間性・社会性】 VTRや事例における乳児の行動から、乳児の思いを読みとり、共感的理解に努める。他者と協働しながら、遊びや生活の生活支援の方法を検討できる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60	10	20			10			100
LO-1	30	10							40
LO-2	10		10						20
LO-3	20								20
LO-4			10						10
LO-5						10			10
備考	その他 A は授業態度とする。 提出課題に対しては、口頭及び紙面によるコメントを行う。小テストは返却、定期試験は模範解答を示す。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 乳児とは	
	【予習】教科書の目次と内容に目を通しておく。	10分
	【復習】講義内容をノートにまとめる。	15分
第2回	乳児保育の社会的役割	
	【予習】前回の講義で提示されたテーマについて、自分の意見をまとめる。	15分
	【復習】乳児保育の社会的役割について、整理してまとめておく。	15分
第3回	乳児の理解 身体発達の特徴	
	【予習】前回の講義で提示されたテーマについて、自分の意見をまとめる。	15分
	【復習】教科書(基礎理論) 5 乳幼児期の心身の発達 1 身体及び運動の発達 を読む。	15分
第4回	乳児の理解 運動発達の特徴	
	【予習】講義ノート及び教科書の該当部分の内容を確認する。	15分
	【復習】乳児期の運動発達の特徴について、整理してまとめる。	30分
第5回	乳児の理解 精神発達の特徴(ことば、情緒)	
	【予習】教科書(基礎理論) 5 乳幼児期の心身の発達 4 言葉とコミュニケーションの発達 を読んでおく。	15分
	【復習】講義内容をノートにまとめる。	30分
第6回	乳児の理解 言葉を育む教材 小テスト実施	
	【予習】小テストに備えて、乳児の発達について学習する。 0～2歳児向けの絵本について調べておく。	50分
	【復習】小テストに出題された内容を、再確認する。 言葉を育む教材のポイントをまとめておく。	15分
第7回	乳児保育の内容と方法(基本的生活を中心に) 抱っことおんぶ	
	【予習】教科書『援助の実際』の該当部分を読んでおく。	15分
	【復習】実習シートを作成する。	30分
第8回	乳児保育の内容と方法(基本的生活を中心に) 排泄の援助	
	【予習】教科書『援助の実際』の該当部分を読んでおく。	15分
	【復習】実習シートを作成する。	30分
第9回	乳児保育の内容と方法(基本的生活を中心に) 食事の援助と衛生管理	
	【予習】教科書『援助の実際』の該当部分を読んでおく。	15分
	【復習】実習シートを作成する。	30分
第10回	乳児保育の内容と方法(基本的生活を中心に) 保育室の環境と安全への配慮	
	【予習】排泄、睡眠などの生活場面での環境構成を考えてくる。	15分
	【復習】実習シートを作成する。	20分

第11回	乳児保育の内容と方法（あそびを中心に） あそびの発達と保育教材	
	【予習】0～2歳児向けの絵本、紙芝居を準備する。	30分
	【復習】発達に応じた教材の扱い方のポイントをまとめる。	20分
第12回	乳児保育の内容と方法（あそびを中心に） あそびの発達と保育環境	
	【予習】0～2歳児向けの玩具について調べておく。	30分
	【復習】発達に応じたおもちゃやあそびの内容を整理する。 演習課題をしあげる。	20分
第13回	乳児保育の内容と方法（あそびを中心に） あそびの指導計画	
	【予習】3歳未満児クラスに合ったあそびの保育活動を考える。	20分
	【復習】3歳未満児クラスを対象としたあそびの指導計画をたてる。	40分
第14回	乳児保育の内容と方法（あそびを中心に） あそびの指導計画（発表）	
	【予習】グループで、個々の考えをふまえた発表内容を整理し、まとめておく。	20分
	【復習】自らのあそびの計画について、良い点や改善点を整理する。	20分
第15回	乳児保育の実際 ディアリープログラムと職員の連携	
	【予習】ディアリープログラムに目を通しておく。	15分
	【復習】これまでの学びをまとめる。定期試験の準備学習をする。	60分

授業科目名	乳児保育			科目コード	C135-11				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 特別保育		担当教員名	石動 瑞代					
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	乳児保育		後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	実習での体験等を中心に、乳児保育における援助の目的や方法、保育者のあり方について、グループワーク中心に考察し、理解を深めていきます。また、親子関係や幼児期以降の発達にも目を向け、乳児保育をテーマ別に深く学んでいきます。								
学習目標	乳児保育の実際を理解する。 実際の保育場面に即した、乳児保育の関わりや方法、配慮について、考察することができる。 発達理論や保護者支援など、多面的な視点で乳児保育を考える。								
キーワード	認知発達と遊びの関係 応答的保育 親子関係 保育実践のふりかえり								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『見る・考える・創りだす 乳児保育』 CHS子育て文化研究所（萌文書林） 『保育所保育指針解説書』 厚生労働省編(フレール館)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 幼児期を見通した乳児の発達を理論的に理解し、筆記試験で正しく回答することができる。								
LO-2	【技能】 乳児保育の知識をふまえ、発達に合わせた教材を製作することができる。乳児への応答的保育の内容を理解し、場面による具体的な応答方法や態度を習得する。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 実習経験と乳児保育に関する知識を関連付けて考察し、適切な保育内容・方法について自ら考えることができる。実習場面における自己を省察し、文章化して評価することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 「親子関係」の視点で、乳児期の保育をとらえ、必要な支援や留意点を考察することができる。								
LO-5	【社会性・人間性】 自らの実習経験を他者に的確に伝えると同時に、他者の経験に耳を傾け、自らの学びにつなげようとする。他者と協働し、互いに学び合った内容を、わかりやすく発表する。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40	10	40			10			100
LO-1	20	10							30
LO-2			20						20
LO-3	10		10						20
LO-4	10								10
LO-5			10			10			20
備考	その他 A は 授業態度 提出課題に対しては口頭及び紙面によるコメントを行う。小テストは返却、定期テストは模範解答を示す。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	乳児保育の教材活用について	
	【予習】前期の授業をふまえて製作した教材の、利用方法をまとめ、発表の準備をする。	10分
	【復習】自分が製作した教材及びその活用法を評価する。他の学生の教材を見て学んだことを文章にまとめる。	30分
第2回	乳児保育の記録 乳児の姿をとらえる、 保育者の意図をとらえる	
	【予習】乳児保育 で学んだ知識及び実習関連の科目で学んだ「記録の方法」に関する知識を、確認しておく。これまでの実習記録で、保育者の意図を捉えた部分を確認しておく。	15分
	【復習】講義ノート（記録の視点）について、まとめる。	20分
第3回	乳児保育の実際 保育環境の構成	
	【予習】自主実習などの経験をふまえて、乳児の保育室の特徴についてまとめる。	20分
	【復習】他者の意見もふまえて、乳児の保育室の環境構成のポイントをまとめる。	20分
第4回	乳児保育の実際 子どもの発達と保育者の援助	
	【予習】自主実習などの経験をふまえて、乳児の発達と保育者の援助についての気づきをまとめる。	20分
	【復習】他者の意見もふまえて、乳児の保育室の環境構成のポイントをまとめる。	20分
第5回	乳児保育の実際 実習のふりかえり（グループワーク）	
	【予習】3歳未満児実習で学んだ内容を、テーマごとにまとめる。	20分
	【復習】グループで話し合いを基にした、発表資料をつくる。	25分
第6回	乳児保育の実際 実習のふりかえり（発表）	
	【予習】グループ発表の準備をする。	30分
	【復習】他のグループの発表を通して、新たに得た気づきをまとめる。質問項目を考えてくる。	15分
第7回	乳児保育の実際 実習のふりかえり（発表のまとめ）	
	【予習】各グループの発表メモに目を通しておく。	10分
	【復習】実習で得た乳児保育についての学びシートを完成させる。	30分
第8回	乳児の発達と保育 発達理論と保育課題（ピアジェ理論との関連）	
	【予習】教科書（基礎理論） 乳幼児期の心身の発達 2 認知の発達 を読んでおく。	15分
	【復習】ピアジェ発達理論の「乳児期～幼児期」にかけての特徴及び内容をまとめる。認知発達と遊びの関係についてまとめる。	30分
第9回	乳児の発達と保育 発達理論と保育課題（発達の最近接領域と足場づくり）	
	【予習】	0分
	【復習】ヴィゴツキーの「発達の最近接領域」と「足場作りのポイント」についてまとめる。課題シートを仕上げる。	30分
第10回	乳児保育における子どもの発達・親の発達 - 愛着をめぐる 小テスト実施	
	【予習】小テストのための学習準備をする。	40分
	【復習】小テストの問題内容を再度、確認しておく。	20分

第11回	乳児保育における子どもの発達・親の発達 - 気質・障害をめぐって	
	【予習】教科書（基礎理論） 乳幼児期の心身の発達 3 人間関係の発達 を読んでおく。	15分
	【復習】講義の内容をノートにまとめる。	20分
第12回	乳児保育における子どもの発達・親の発達 - 親子をつなぐ遊び	
	【予習】家庭ですすめたい乳児の遊びを調べる。	20分
	【復習】発表シートを完成する。	20分
第13回	乳児保育における子どもの発達・親の発達 - 遊びの紹介発表	
	【予習】発表準備を行う（資料作成、印刷等）。	20分
	【復習】親子をつなぐ遊びの概要と、紹介のポイントをまとめる。	20分
第14回	乳児保育における保育者のあり方	
	【予習】乳児保育における保育者のあり方について、自分の意見をまとめる。	20分
	【復習】講義の内容をノートにまとめる。	20分
第15回	乳児保育で大切なこと（まとめ）	
	【予習】これまでのノートの内容を、確認する。	20分
	【復習】これまでの学びの内容をまとめ、定期試験に備える。	30分

授業科目名	障害児保育			科目コード	C135-20				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 特別保育		担当教員名	河崎 美香					
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	障害児保育					
関連科目	乳児保育 乳児保育								
資格等 取得との関連									
授業の概要	障害児保育を支える理念や制度、歴史的変遷を踏まえて、それぞれの障害の種類、原因、主な特性について理解し、障害のある子どもの理解と保育の在り方について考察する。障害児保育に必要な知識の習得を通して、保育者としての資質の向上を目指す。								
学習目標	1 障害児保育を支える理念等について理解する。 2 障害に関する基礎知識を習得する。 3 障害のある子を含めた保育展開における環境設定の工夫や具体的配慮ができる実践力を身につける。								
キーワード	特別支援教育、特別な教育的ニーズ、インクルーシブ教育、障害児保育、特別支援学級、通級による指導、個別の教育支援計画、保護者支援、障害の受容、視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、言語障害、情緒障害、発達障害、自閉症								
テキスト・ 参考書等	テキスト 尾崎康子・小林真・水内豊和・阿部美穂子編「よくわかる障害児保育」第2版 ミネルヴァ書房								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	乳幼児期における様々な障害に関する基礎知識と障害児保育を支える理念や制度等について理解を深め、それを説明することができる。								
LO-2	保育者として情熱をもち、障害のある子どもが保育所・幼稚園で豊かな園生活ができるように、保育を構想し、展開する技術を習得している。								
LO-3	障害のある子どもの保育をめぐる様々な問題について積極的に発見に努め、的確な対応のできる視座を有している。								
LO-4	障害のある子どもの保育に関する自己の学習課題を明確にし、課題解明のために継続的に学習に取り組み、保育実践力の向上に努める。								
LO-5	保育者と障害のある子ども、保育者と保護者、保育者同士などの関係において、豊かな人間関係が築かれるコミュニケーション技術と態度を身につけ、深い愛情と豊かな感性をもって子どもに対応することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		40			10			100
LO-1	30		25						55
LO-2			5						5
LO-3	20		5						25
LO-4			2			8			10
LO-5			3			2			5
備考	その他 A は平常点(受講態度等)								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション(授業のねらい、方法、評価等について説明) 障害児保育を支える理念、障害の概念、障害児保育の歴史の変遷について	
	【予習】シラバスを読み、授業内容を把握する。	60分
	【復習】授業の全体像を確認する。 テキストを読み、授業内容を振り返り、障害児保育の歴史の変遷に伴って障害児保育を支える理念がどのように変容したかについて確認する。	60分
第2回	インクルーシブ保育 インクルーシブ保育という概念と経緯、統合保育とインクルーシブ保育、クラスメイトへの対応、合理的配慮等について	
	【予習】テキストを読み、不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】授業を振り返り、インクルーシブ保育という概念が生まれてきた経緯とインクルーシブ保育とは何かについて確認する。	90分
第3回	乳幼児期の発達課題と障害特性 愛着形成、運動発達、基本的な生活習慣の確立、言語・コミュニケーション等について	
	【予習】テキストを読み、不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】「乳幼児の発達課題と障害特性」についてテキストを読んで、授業を振り返る。	90分
第4回	身体面の支援の必要な子どもの理解と援助 医学的側面、日常生活動作、子ども理解と保育場面における援助等について	
	【予習】テキストを読み、不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】肢体不自由児の特徴や困難さについて確認し、どのようなことに注意して保育を行うかまとめる。	90分
第5回	感覚面の支援の必要な子どもの理解と援助 感覚の種類、聴覚、前庭感覚、触覚、感覚過敏のある子どもの食に関する困難さ、自閉症スペクトラム障害のとらえ方、認知・社会性・行動の特徴と保育現場における援助等について	
	【予習】テキストを読み、不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】感覚面の支援の必要な子どもの困難さ等について確認し、どのようなことに注意して保育を行うかまとめる。	90分
第6回	知的な面の支援の必要な子どもの理解と援助 知的な面の支援が必要な状況、知的障害のとらえ方、スモールステップ、子どもの理解を助ける関わりと環境、子ども同士の関わりの援助	
	【予習】テキストを読み、不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】知的障害の原因や主な特性について確認する。 に遅れのある子どもへの保育の在り方についてまとめる。	知的発達 90分
第7回	愛着・コミュニケーション面の支援の必要な子どもの理解と援助 愛着に課題のある子どもの行動、コミュニケーションの課題、子ども理解と保育現場における援助等について	
	【予習】愛着・コミュニケーション面の支援の必要な子どもとはどんな子どもかを参考文献等で調べる。 学習や生活で困ることとその支援について考える。	90分
	【復習】愛着・コミュニケーション面の支援の必要な子どもの行動や特性、課題について確認し、保育の在り方についてまとめる。	90分
第8回	行動面の支援の必要な子どもの理解と援助 注意欠如・多動性障害のとらえ方、認知・行動の特徴、二次障害、認知の特徴等について	
	【予習】テキストを読み、不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】注意欠如・多動性障害のある子どもの行動や特性、課題について確認し、保育の在り方についてまとめる。	90分
第9回	学習面の支援の必要な子どもの理解と援助 学習障害のとらえ方、保育現場における援助、通級による指導、自立活動、特別支援コーディネーター、関係機関・家庭との連携	
	【予習】テキストを読み、不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】学習障害のある子どもの行動や特性、課題について確認し、保育の在り方についてまとめる。テキストを読み、通級による指導、自立活動等についても確認する。	90分
第10回	情緒面の支援の必要な子どもの理解と援助 情緒障害のとらえ方、場面緘黙、関わりと援助、予防的な取り組み等について	
	【予習】情緒障害について文献等で調べる。	90分
	【復習】情緒障害の原因や主な特性について確認し、保育の在り方についてまとめる。	90分

第11回	視覚面、聴覚面の支援の必要な子どもの理解と援助 視覚障害、聴覚障害のとらえ方、発達上の困難さ、行動の特徴、保育現場における援助、専門機関との連携等について	
	【予習】テキストを読み、不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】視覚障害、聴覚障害の原因や主な特性について確認し、保育の在り方についてまとめる。子どもの発達を支援するために必要な専門機関との連携について整理する。	90分
第12回	個別の指導計画 個別の教育支援計画、個別の指導計画の内容、作成手順、開示と守秘義務	
	【予習】テキストを読み、不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】個別の指導計画の内容や作成手順等について確認し、まとめる。	90分
第13回	子どもの発達を促す生活や遊びの環境 子どもが分かりやすく居心地のよい環境設定、ユニバーサルデザイン、発達支援の技法等について	
	【予習】保育所、幼稚園、通所施設での実習の経験から、子どもの発達を促す生活や遊びの環境について振り返る。	120分
	【復習】子どもにとって「分かりやすい」「居心地がいい」「好きな遊びが楽しめる」環境構成についてまとめる。	120分
第14回	特別な配慮を要する子どものアセスメント 保育におけるアセスメント、保護者からの情報による子ども理解、行動観察による子ども理解等について	
	【予習】テキストを読み、不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	120分
	【復習】	120分
第15回	家族への支援 障害受容、親への支援、親子関係への支援、子育て支援について 学習のまとめ	
	【予習】 これまでの学習内容を確認し、まとめる。	180分
	【復習】保護者、家族に対する理解と支援の在り方をまとめる。 自らの学習達成度を評価し、理解の不十分なところは再度学習する。	180分

授業科目名	障害児保育			科目コード	C135-21				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 特別保育	担当教員名	稲垣 睦子 松居 紀久子						
開講時期	2年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	障害児保育	後継科目							
関連科目									
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	障害児保育に関わるさまざまな課題について富山県内の保育現場での実践に基づいて提起し、それらの解決策をグループによる討議や調べ学修を通して探り、発表する。								
学習目標	1 障害児保育を支える理念や歴史の変遷を知り、障害児保育の重要性を理解する。 2 障害の種類や障害に応じた保育展開への理解を深め、具体的な援助方法、環境設定についての実践力を身につける。 3 子どもの将来を見据えた、保育の記録や計画の立案について理解する。 4 関係機関との連携など、障害児の保育に関する実践的な内容や保護者支援の在り方を理解する。								
キーワード	特別支援教育、特別な教育的ニーズ、障害児保育、特別支援学校、特別支援学級、通級による指導、個別の教育支援計画、個別の指導計画、インクルーシブ教育、保護者支援、障害の受容、発達障害、自閉症スペクトラム、学習障害、注意欠陥多								
テキスト・ 参考書等	随時、資料を配布する。参考書については適宜紹介します								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	乳幼児期における様々な障害に関する基礎知識と障害児保育を支える理念や制度等について理解を深め、それを説明することができる。								
LO-2	保育者として情熱をもち、障害のある子どもが保育園・幼稚園で豊かな園生活ができるように、保育を構想し、展開する技術を習得している。								
LO-3	障害のある子どもの保育をめぐる様々な問題について積極的に発見に努め、的確な対応のできる視座を有している。								
LO-4	障害のある子どもの保育に関する自己の学習課題を明確にし、課題解明のために継続的に学習に取り組み、保育実践力の向上に努める。								
LO-5	保育者と障害のある子ども、保育者と保護者、保育者同士などの関係において、豊かな人間関係が築かれるコミュニケーション技術と態度を身につけ、深い愛情と豊かな感性をもって子どもに対応することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			40			10			50
LO-1			5						5
LO-2			10						10
LO-3			15						15
LO-4			10			5			15
LO-5						5			5
備考	その他 A は平常点(出席及び受講態度等)								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	障害児保育と発達障害と気になる子の姿 稲垣(8回まで)	
	【予習】発達障害について文献で調べる。	30分
	【復習】障害児保育と発達障害について確認する。	40分
第2回	発達障害と気になる子どもの姿とサイン、子どものとらえ方と関わり方、遊びの環境(障害のある子に配慮したおもちゃについて)	
	【予習】保育園や幼稚園実習での経験から障害を抱える子どもの保育の実際を振り返る。	30分
	【復習】幼児教育における障害児保育の現状と課題を整理する。	40分
第3回	発達障害 自閉症スペクトラム、特性に合わせた環境支援	
	【予習】自閉症スペクトラムについて文献等で調べる。	30分
	【復習】自閉症スペクトラムの特性と保育の在り方についてまとめる。	40分
第4回	学習障害(LD)、注意欠陥多動障害(ADHD)、特性に合わせた環境支援	
	【予習】学習障害(LD)、注意欠陥多動障害(ADHD)について文献等で調べる。	30分
	【復習】障害のある子どもの保育の在り方についてまとめる。	40分
第5回	インクルーシブ教育、子ども同士の関わりと育ちあい、保育者の援助の仕方	
	【予習】統合教育とインクルーシブ教育について文献等で調べる。	30分
	【復習】インクルーシブ教育について確認する。	40分
第6回	保育指導計画と幼稚園、保育園での支援体制、個別指導計画の作成	
	【予習】幼稚園、保育園での実習経験から障害をもつ子どもへの保育を考える。	30分
	【復習】個別指導計画、個別支援計画について確認する。	40分
第7回	家庭や関連機関、小学校との連携、保護者支援	
	【予習】保護者支援、関係機関、小学校との連携について文献等で調べる。	30分
	【復習】保育者にできる支援、求められていることについて整理する。	50分
第8回	これまでの学習のまとめと評価	
	【予習】これまでの学習の内容を確認する。	60分
	【復習】自らの学習の達成度を評価し、理解の不十分なところは、再度学習する。	60分
第9回	障害児保育を支える理念:「障害」の概念と歴史の変遷、障害児保育の基本を知る。 9回～松居 全国・富山県における障害児の状況 県内の障害児支援及び支援施設等の現状	
	【予習】保育の理念について、これまでに学修したことを整理しておく。	30分
	【復習】富山県内の障害児保育の現状と課題についてまとめる。	50分
第10回	障害の理解と保育における発達援助 障害の種別による理解と援助 発達障害児の理解と援助	
	【予習】さまざまな障害について、これまでに学修したことを整理しておく。	30分
	【復習】授業で提示された具体的な事例に基づいて障害児の発達援助のあり方の現状と課題についてまとめる。	40分

第11回	障害児保育の実践 障害特性の理解  子どもへの配慮、親への配慮 保育士がまず受止める  障害による個別対応  環境の配慮	
	【予習】保護者への支援について、これまでに学修したことを整理しておく。	30分
	【復習】授業で提示された具体的な実践例に基づき、個別対応のあり方、保護者支援のあり方についての現状と課題をまとめる。	50分
第12回	地域生活の支援 地域で生活する為の工夫、利用できる地域の資源を知る。 障害児支援計画(トータルプラン)と個別支援計画(身近なプラン)について	
	【予習】障害児と地域とのかかわりについて、これまでに学修したことを整理しておく。	30分
	【復習】障害児の地域での生活支援のあり方についての現状と今後の課題をまとめる。	50分
第13回	保護者への支援 共に子どもを育てる  保護者を支える  障害児に関する地域資源の情報提供 虐待への対応	
	【予習】障害児の保護者への支援について、これまで学修したことを整理しておく。	30分
	【復習】障害児の保護者への支援についての現状と今後の課題についてまとめる。	50分
第14回	関係機関との連携 医療・保健・福祉・療育・教育機関との連携  ネットワークの重要性  3歳までの 検診とフォローアップ	
	【予習】関係機関との連携についてこれまでに学修したことを整理しておく。	30分
	【復習】関係機関との連携についての現状と課題についてまとめる。	50分
第15回	「気になる子ども」に関する演習(グルーブトークン) グループ別になり、課題事例について支援方法を検討 1グループ3-5分で発表	
	【予習】「気になる子ども」について、これまでに学修した実践例をまとめておく。	30分
	【復習】障害児保育、保護者支援、地域・機関との連携についてまとめる	100分

授業科目名	社会的養護内容			科目コード	C135-30				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 特別保育	担当教員名	明柴 聡史						
開講時期	2年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	社会的養護	後継科目							
関連科目									
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	子どもの権利擁護について理解を深め、社会的養護児童への理解と支援について考え、児童の心身の成長・発達を保障するための援助技能・知識を習得させ、児童観や倫理観を養う。								
学習目標	保育士として子どもの成長に向けての援助方法を理解する。								
キーワード	「子どもの権利擁護」「社会的養護の理念」「福祉施設の生活」「里親・里子」「心身の成長・発達保障」								
テキスト・ 参考書等	吉田真理編著「児童の福祉を支える社会的養護内容」萌文書林								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	社会的養護の理念を理解し、施設等で生活する子どもに対する支援について学ぶ								
LO-2	成長に向けた援助方法を理解する								
LO-3	施設における児童観・児童福祉施設観を養う								
LO-4	子どもの心身の成長・発達を理解する								
LO-5	社会人としてのリーダー性、協調性、自主性などを考える								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	90					10			100
LO-1	50								50
LO-2	20								20
LO-3	10								10
LO-4	10								10
LO-5						10			10
備考	Aは通常授業の中で評価								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション・教科のねらい、保育士としての教科の意味	
	【予習】テキストを見て、シラバスを読んでくる	30分
	【復習】養護内容の授業の必要性について考えてみる	60分
第2回	子どもの権利擁護について考える	
	【予習】施設実習における感動した事例及び困難を感じた事例について各A4でレポート作成、提出	90分
	【復習】子どもの最善の利益について考える	60分
第3回	社会的養護の理念と原理について考える	
	【予習】厚労省における社会的養護の理念と原理について調べ、A4でレポート作成、提出	90分
	【復習】各実習施設において、社会的養護の理念及び原理が生かされていたか否かを振り返り、A4でレポート作成、提出	90分
第4回	児童相談所について	
	【予習】児童相談所の役割、機能について調べA4でレポート作成提出	60分
	【復習】児童相談所の機能から、相談の流れを考える	60分
第5回	個別援助技術について考える	
	【予習】テキスト「ソーシャルワークに関わる知識・技術とその応用」の1節「ソーシャルワークの技術の活用」	60分
	【復習】支援を行うにあたっての大切なことについて考える	90分
第6回	児童虐待について考える	
	【予習】児童虐待記事から2つ選び、虐待に至った要因について想像し、A4でレポート作成、提出（記事を貼付）	90分
	【復習】児童虐待を防止するため、保育士としての心構えについて考える	60分
第7回	児童虐待について考える	
	【予習】テキスト「心の傷を癒し、心を育むための援助」の2節「虐待された子どもへの支援」3節「虐待への対応」	60分
	【復習】虐待を受けてきた子どもへの支援について考える	60分
第8回	養護施設について考える	
	【予習】テキスト「日常生活支援と諸施設の暮らし」の1節「児童養護施設の暮らし」2節「乳児院と母子生活支援施設の暮らし」	60分
	【復習】施設児童の心情について考える	90分
第9回	養護施設について考える	
	【予習】第2回の施設実習における困難を感じた事例をとおして、問題解決を図るための方法についてA4でレポート作成、提出	90分
	【復習】問題解決を図るための留意点について考える	90分
第10回	児童自立支援計画について考える	
	【予習】テキスト「資料児童自立支援計画書・作成要領・記入上のポイント」	60分
	【復習】個別支援計画作成のポイントについて考える	90分

第11回	障害施設について考える	
	【予習】第2回の施設実習における困難と感じた事例について、支援計画を作成し、A4でレポート作成、提出	90分
	【復習】支援の順位について考える	90分
第12回	児童自立支援施設について考える	
	【予習】テキスト4節「治療的支援と児童自立支援施設・情緒障害児短期治療施設の暮らし」の児童自立支援施設に関する部分	60分
	【復習】児童自立支援施設の課題について考える	90分
第13回	里親制度について考える	
	【予習】テキスト「里親制度とは・里親養育の特徴」	60分
	【復習】里親の悩みについて考える	90分
第14回	倫理綱領と苦情解決について考える	
	【予習】任意の3団体の倫理綱領を調べ、その類似点をA4でレポート作成、提出(綱領を貼付)	60分
	【復習】類似点について考え、苦情解決の仕組みの課題について考える	90分
第15回	まとめ	
	【予習】第1回から第14回までを通して、最も大切な点、重要と感じた点をA4でレポート作成、提出	60分
	【復習】社会的養護の意義について再度考える	60分

授業科目名	保育相談支援			科目コード	C135-40				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 特別保育	担当教員名	明柴 聡史						
開講時期	2年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	相談援助	後継科目							
関連科目	家庭支援論 幼児理解と教育相談 幼児理解と教育相談								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	保育所等児童福祉施設において保育士の専門性を生かした保護者支援を行う上で必要な保育相談支援の「意義」「基本」「内容」「方法と技術」「実際」について理解し、保護者に対する保育指導の力の基礎を養う。								
学習目標	保育相談支援の意義と原則について理解する。 保護者支援の基本を理解する。 保育相談支援の実際について学び、内容や方法を理解する。								
キーワード	子どもの最善の利益、保育ソーシャルワーク、多職種との連携・協働								
テキスト・ 参考書等	テキスト：前田敏雄監修『演習・保育と相談援助』（みらい） 参考書：厚生労働省編『保育所保育指針解説書』（フレーベル館）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 保育相談支援の意義、基本、方法と技術、実際等、保育相談支援の基礎知識を理解している。								
LO-2	【技能】 生活課題や社会資源の把握、相談援助の過程など、保育相談支援に必要なソーシャルワークの基本を身につける。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 ワークや事例検討を通して、保育相談支援の知識や技術について学びを深める。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 保護者に対する保育指導を行う保育士になるための自己課題を把握し、保育指導実践力の向上に努める。								
LO-5	【社会性・人間性】 ワーク等に積極的に参加し、他者との協働を図ることができる。相談援助者に必要な心構えや態度、価値を身につける。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60					40			100
LO-1	50								50
LO-2						10			10
LO-3	10					10			20
LO-4						10			10
LO-5						10			10
備考	その他Aは、授業参加態度及びワーク等の際に提出する「ふりかえりシート」等の評価。 定期試験実施後、模範解答を示し、誤答の多い設問について解説する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「オリエンテーション」：授業方針の説明、「保育相談支援の意義」(1) 本授業の概要を把握し、授業のねらいや授業計画を理解する 保育相談支援の意義	
	【予習】シラバスを読み、本授業内容を把握する / 保育所保育指針第6章を読む	30分
	【復習】授業の全体像を確認する / 保育相談支援の意義について、授業内容を確認し、理解を深める	15分
第2回	「保育相談支援の意義」(2) 保育の特性と保育士の専門性を生かした支援	
	【予習】保育相談支援の意義について、参考文献（特に保育所保育指針第6章）等で確認する	30分
	【復習】保育相談支援の意義について、授業内容を確認し、理解を深める	15分
第3回	「保育相談支援の基本」	
	【予習】保育相談支援の基本について、参考文献（特に保育所保育指針第6章）等で確認する	30分
	【復習】保育相談支援の基本について、授業内容を確認し、理解を深める	15分
第4回	「保育相談支援の方法と技術」(1)：生活課題の把握 生活課題の把握 ワーク 子どもの様子から生活課題を考える	
	【予習】生活課題の把握について、テキスト第8章、参考文献等で確認する	30分
	【復習】生活課題の把握について、授業内容を確認し、理解を深める	15分
第5回	「保育相談支援の方法と技術」(2)：社会資源の把握 社会資源の理解と活用 ワーク 社会資源を導き出そう	
	【予習】社会資源の把握について、テキスト第9章、参考文献等で確認する	30分
	【復習】社会資源の把握について、授業内容を確認し、理解を深める	15分
第6回	「保育相談支援の実践」(1)：面接ロールプレイビデオ 苦情への対応	
	【予習】保育相談支援の実践について、テキストや参考文献等で確認する	15分
	【復習】保育相談支援の実践について、授業内容を確認し、理解を深める	15分
第7回	「保育相談支援の実践」(2)：面接ロールプレイビデオ 保育所の家庭支援	
	【予習】保育相談支援の実践について、テキストや参考文献等で確認する	15分
	【復習】保育相談支援の実践について、授業内容を確認し、理解を深める	15分
第8回	「保育相談支援の実践」(3)：面接ロールプレイビデオ 面接技術の基本	
	【予習】保育相談支援の実践について、テキストや参考文献等で確認する	15分
	【復習】保育相談支援の実践について、授業内容を確認し、理解を深める	15分
第9回	「保育相談支援の進め方」(1)：インタークとアセスメント インタークとアセスメント ワーク 保育事例からインタークとアセスメントを学ぶ	
	【予習】インタークとアセスメントについて、テキスト第10章、参考文献等で確認する	30分
	【復習】インタークとアセスメントについて、授業内容を確認し、理解を深める	30分
第10回	「保育相談支援の進め方」(2)：援助計画 援助計画の意義と視点 ワーク 保育事例から援助計画を作成する	
	【予習】援助計画について、テキスト第11章、参考文献等で確認する	30分
	【復習】援助計画の意義と視点について、授業内容を確認し、理解を深める	30分

第11回	「保育相談支援の進め方」(3)：実施、評価 援助の実施と評価 ワーク さまざまな立場からのふりかえり	
	【予習】相談援助の実施と評価について、テキスト第12章、参考文献等で確認する	30分
	【復習】相談援助の実施と評価について、授業内容を確認し、理解を深める	30分
第12回	「保育所の日常場面における保育相談支援」 日常の保育におけるショート事例の検討	
	【予習】テキスト第14章のショート事例を読んでおく	30分
	【復習】保育所の日常場面における相談支援について、授業内容を確認し、理解を深める	15分
第13回	「保育所における特別な対応を要する家庭への支援」 児童虐待への対応事例	
	【予習】テキスト第15章（児童虐待への対応事例）の事例を読んでおく	30分
	【復習】保育所における特別な対応を要する家庭への支援について、授業内容を確認し、理解を深める	15分
第14回	「児童養護施設等要保護児童の家庭に対する支援」 児童養護施設の事例	
	【予習】テキスト第16章（児童養護施設の事例）の事例を読んでおく	30分
	【復習】児童養護施設等要保護児童の家庭に対する支援について、授業内容を確認し、理解を深める	15分
第15回	「障がい児施設等における保育相談支援」 障がい受容の事例	
	【予習】テキスト第18章（障がい受容の事例）を読んでおく	30分
	【復習】障がい児施設等における保育相談支援について、授業内容を確認し、理解を深める	15分

授業科目名	音楽 -1 (Aグループ)			科目コード	C141-10				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 音楽表現	担当教員名	難波 純子 武藤 憲夫 大村 禎子						
開講時期	1年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)	楽典 (音楽の決まりごと)	後継科目	音楽 -2、音楽 -1、音楽 -2						
関連科目	保育内容 (音楽表現 )、保育内容 (音楽表現 )								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	歌唱や読譜 (楽譜を読む) などの保育に必要な音楽表現の実技演習を中心として、音楽の楽しさにふれながら創造性を養い、保育者としての表現力を高める。子どもの表現を豊かに展開するために必要な音楽の基礎知識と基礎技術を培う。								
学習目標	毎週、ソルフェージュのテキストに沿って歌の課題に取り組み、音程やリズムなどを判断し、読譜力や歌唱力を高めることを目標とする。								
キーワード	ソルフェージュ 歌唱 読譜 器楽 (ピアノ)								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『こどものための音感ソルフェージュ』内藤雅子著 デプロMP 『新・幼児の音楽教育』井口太 編 朝日出版社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】歌唱や楽器演奏をするために必要不可欠な楽典 (音楽の決まり) を理解し、楽譜を読むことができる。								
LO-2	【技能】創意工夫を生かした音楽表現をするために、音符を正しく読みとる基礎技能を身につけ、正確な音程で表情豊かに歌うことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】楽譜から音楽を形づくっている要素を知覚し、音程・リズム・音型の判断をしながら、歌唱につなげることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】音楽に関心をもち、歌唱の学習に主体的に取り組もうとする。								
LO-5	【人間性・社会性】グループやペアでの合唱などに積極的に参加し、他者との関係づくりができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)					80	20			100
LO-1					20				20
LO-2					20				20
LO-3					20				20
LO-4						20			20
LO-5					20				20
備考	この科目は、90分1コマの授業を45分ずつに分け、「ソルフェージュ」と「器楽 (ピアノ等)」・「幼児の歌」のそれぞれを演習します。従って、クラスを半分の人数に分けて前半・後半と入れ替えて実施します。評価については、平素の授業に取り組む姿勢 (20%)、ソルフェージュ (40%)、器楽・幼児の歌 (40%) とし、総合的に評価します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション（授業内容、目的、方法についての説明） アンケート調査を実施し、ピアノ等の未経験者と既経験者の習熟度別に、グループ分けをする。	
	【予習】シラバスを読み、授業内容（練習曲）を把握する。 L: ぶんぶんぶん	10分
	【復習】授業の進め方や、自分のグループなど、全体像を確認する。	10分
第2回	S: 【Cコードをききながらうたう】分散和音唱、分離唱、輪唱「小鳥がうたう」テキストp.4-7 L: ぶんぶんぶん	
	【予習】S: 【Cコードの構成音を階名でうたう】階名唱、輪唱「かえるの合唱」「りんごの木」テキストp.8-14 L: ちょうちょう	30分
	【復習】S: 【Cコードをききながらうたう】分散和音唱、分離唱、輪唱「小鳥がうたう」テキストp.4-7 L: ぶんぶんぶん	20分
第3回	S: 【Cコードの構成音を階名でうたう】階名唱、輪唱「かえるの合唱」「りんごの木」テキストp.8-14 L: ちょうちょう	
	【予習】S: 【Gコードをききながらうたう】分散和音唱、分離唱、カデンツ唱 テキストp.16-19 L: メリーさんの羊	30分
	【復習】S: 【Cコードの構成音を階名でうたう】階名唱、輪唱「かえるの合唱」「りんごの木」テキストp.8-14 L: ちょうちょう	20分
第4回	S: 【Gコードをききながらうたう】分散和音唱、分離唱、カデンツ唱 テキストp.16-19 L: メリーさんの羊	
	【予習】S: 【C,Gコードの構成音を階名でうたう】練習No.1～No.11 テキストp.20-23 L: きらきらぼし	30分
	【復習】S: 【Gコードをききながらうたう】分散和音唱、分離唱、カデンツ唱 テキストp.16-19 L:	20分
第5回	S: 【C,Gコードの構成音を階名でうたう】練習No.1～No.11 テキストp.20-23 L: きらきらぼし	
	【予習】S: 【伴奏に合わせてうたう】「かじやのピーター」「竹馬あそび」「河はよんでる」「タマゴとニワトリ」テキストp.24-33 L: これまでに演習したことを確認する	30分
	【復習】S: 【C,Gコードの構成音を階名でうたう】練習No.1～No.11 テキストp.20-23 L: きらきらぼし	20分
第6回	S: 【伴奏に合わせてうたう】「かじやのピーター」「竹馬あそび」「河はよんでる」「タマゴとニワトリ」テキストp.24-33 L: これまでに演習したことを確認する	
	【予習】【Fコードをききながらうたう】分散和音唱、分離唱、カデンツ唱 テキストp.34-37 L: ちゅうりっぷ	30分
	【復習】【伴奏に合わせてうたう】「かじやのピーター」「竹馬あそび」「河はよんでる」「タマゴとニワトリ」テキストp.24-33 L: これまでに演習したことを確認する	20分
第7回	S: 【Fコードをききながらうたう】分散和音唱、分離唱、カデンツ唱 テキストp.34-37 L: ちゅうりっぷ	
	【予習】S: 【C,G,Fコードの構成音を階名でうたう】練習No.1～No.10 テキストp.38-41 L: ぞうさん	30分
	【復習】S: 【Fコードをききながらうたう】分散和音唱、分離唱、カデンツ唱 テキストp.34-37 L: ちゅうりっぷ	20分
第8回	S: 【C,G,Fコードの構成音を階名でうたう】練習No.1～No.10 テキストp.38-41 L: ぞうさん	
	【予習】S: 【伴奏に合わせてうたう】「ぞうさんとくもの巣」「たまご」テキストp.42-43 L: これまでに演習したことを確認する	30分
	【復習】S: 【C,G,Fコードの構成音を階名でうたう】練習No.1～No.10 テキストp.38-41 L: ぞうさん	20分
第9回	S: 【伴奏に合わせてうたう】「ぞうさんとくもの巣」「たまご」テキストp.42-43 L: これまでに演習したことを確認する	
	【予習】S: 【伴奏に合わせてうたう】「アマリリス」「こぎつね」テキストp.44-46 L: おはながわらった	30分
	【復習】S: 【伴奏に合わせてうたう】「ぞうさんとくもの巣」「たまご」テキストp.42-43 L: これまでに演習したことを確認する	20分
第10回	S: 【伴奏に合わせてうたう】「アマリリス」「こぎつね」テキストp.44-46 L: おはながわらった	
	【予習】S: 【G7コードをききながらうたう】分散和音唱、分離唱、カデンツ唱 テキストp.52-55 L: おつかいありさん	30分
	【復習】S: 【伴奏に合わせてうたう】「アマリリス」「こぎつね」テキストp.44-46 L: おはながわらった	20分

第11回	S:【G7コードをききながらうたう】分散和音唱、分離唱、カデンツ唱 テキストp.52-55 L:おつかいありさん	
	【予習】S:【C,G,F,G7コードの構成音を階名でうたう】練習No.1～No.11 テキストp.56-59 L:これまでに演習したことを確認する	30分
	【復習】S:【G7コードをききながらうたう】分散和音唱、分離唱、カデンツ唱 テキストp.52-55 L:おつかいありさん	20分
第12回	S:【C,G,F,G7コードの構成音を階名でうたう】練習No.1～No.11 テキストp.56-59 L:これまでに演習したことを確認する	
	【予習】S:【伴奏に合わせてうたう】「なかよしマーチ」「あわてんぼうの歌」「山のボルカ」 テキストp.62-67 L:タンプリンのわ	30分
	【復習】S:【C,G,F,G7コードの構成音を階名でうたう】練習No.1～No.11 テキストp.56-59 L:これまでに演習したことを確認する	20分
第13回	S:【伴奏に合わせてうたう】「なかよしマーチ」「あわてんぼうの歌」「山のボルカ」 テキストp.62-67 L:タンプリンのわ	
	【予習】S:これまでに演習した内容を確認しておく。 L:これまでに演習したことを確認する	20分
	【復習】S:【伴奏に合わせてうたう】「なかよしマーチ」「あわてんぼうの歌」「山のボルカ」 テキストp.62-67 L:タンプリンのわ	20分
第14回	S:「授業のまとめ」 テキストに基づいて、これまでに演習した内容を確認する。 L:これまでに演習したことを確認する	
	【予習】S:実技発表に向け、指定されたペアで合唱の練習をする。 L:実技発表に向け、課題曲を練習する。	20分
	【復習】S:これまでに演習した内容を確認する。 L:これまでに演習したことを確認する	20分
第15回	S:実技発表(指定されたペア) L:実技発表	
	【予習】これまでの演習内容を確認し、楽典(音楽の決まりごと)について再度学習し、今後の器楽演奏にもつなげていくため、理解を深めておく。	15分
	【復習】S:自らの理解度・達成度を評価し、不十分なところは再度学習し理解を深めておく。 L:これまでに演習したことを確認する	10分

授業科目名	音楽 -1 (Bグループ)			科目コード	C141-10				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 音楽表現	担当教員名	難波 純子 武岡 真知子 大林 規子						
開講時期	1年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)	楽典 (音楽の決まりごと)	後継科目	音楽 -2、音楽 -1、音楽 -2						
関連科目	保育内容 (音楽表現 )、保育内容 (音楽表現 )								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	歌唱や読譜 (楽譜を読む) などの保育に必要な音楽表現の実技演習を中心として、音楽の楽しさにふれながら創造性を養い、保育者としての表現力を高める。子どもの表現を豊かに展開するために必要な音楽の基礎知識と基礎技術を培う。								
学習目標	毎週、ソルフェージュのテキストに沿って歌の課題に取り組み、音程やリズムなどを判断し、読譜力や歌唱力を高めることを目標とする。								
キーワード	ソルフェージュ 歌唱 読譜 器楽 (ピアノ)								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『こどものための音感ソルフェージュ』内藤雅子著 デプロMP 『新・幼児の音楽教育』井口太 編 朝日出版社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】歌唱や楽器演奏をするために必要不可欠な楽典 (音楽の決まり) を理解し、楽譜を読むことができる。								
LO-2	【技能】創意工夫を生かした音楽表現をするために、音符を正しく読みとる基礎技能を身につけ、正確な音程で表情豊かに歌うことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】楽譜から音楽を形づくっている要素を知覚し、音程・リズム・音型の判断をしながら、歌唱につなげることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】音楽に関心をもち、歌唱の学習に主体的に取り組もうとする。								
LO-5	【人間性・社会性】グループやペアでの合唱などに積極的に参加し、他者との関係づくりができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)					80	20			100
LO-1					20				20
LO-2					20				20
LO-3					20				20
LO-4						20			20
LO-5					20				20
備考	この科目は、90分1コマの授業を45分ずつに分け、「ソルフェージュ」と「器楽 (ピアノ等)」・「幼児の歌」のそれぞれを演習します。従って、クラスを半分の人数に分けて前半・後半と入れ替えて実施します。評価については、平素の授業に取り組む姿勢 (20%)、ソルフェージュ (40%)、器楽・幼児の歌 (40%) とし、総合的に評価します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション(授業内容、目的、方法についての説明) アンケート調査を実施し、ピアノ等の未経験者と既経験者の習熟度別に、グループ分けをする。	
	【予習】シラバスを読み、授業内容(練習曲)を把握する。 L: おはながわらった テキストp.139	10分
	【復習】授業の進め方や、自分のグループなど、全体像を確認する。	10分
第2回	S: 【Cコードをききながらうたう】分散和音唱、分離唱、輪唱「小鳥がうたう」テキストp.4-7 L: おはながわらった テキストp.139	
	【予習】S: 【Cコードの構成音を階名でうたう】階名唱、輪唱「かえるの合唱」「りんごの木」テキストp.8-14 L: こいのぼり テキストp.152	30分
	【復習】S: 【Cコードをききながらうたう】分散和音唱、分離唱、輪唱「小鳥がうたう」テキストp.4-7 L: おはながわらった テキストp.139	20分
第3回	S: 【Cコードの構成音を階名でうたう】階名唱、輪唱「かえるの合唱」「りんごの木」テキストp.8-14 L: こいのぼり テキストp.152	
	【予習】S: 【Gコードをききながらうたう】分散和音唱、分離唱、カデンツ唱 テキストp.16-19 L: 小鳥の歌 テキストp.152	30分
	【復習】S: 【Cコードの構成音を階名でうたう】階名唱、輪唱「かえるの合唱」「りんごの木」テキストp.8-14 L: こいのぼり テキストp.152	20分
第4回	S: 【Gコードをききながらうたう】分散和音唱、分離唱、カデンツ唱 テキストp.16-19 L: 小鳥の歌 テキストp.152	
	【予習】S: 【C,Gコードの構成音を階名でうたう】練習No.1~No.11 テキストp.20-23 L: ぞうさん テキストp.161	30分
	【復習】S: 【Gコードをききながらうたう】分散和音唱、分離唱、カデンツ唱 テキストp.16-19 L: 小鳥の歌 テキストp.152	20分
第5回	S: 【C,Gコードの構成音を階名でうたう】練習No.1~No.11 テキストp.20-23 L: ぞうさん テキストp.161	
	【予習】S: 【伴奏に合わせてうたう】「かじやのピーター」「竹馬あそび」「河はよんでる」「タマゴとニワトリ」テキストp.24-33 L: にじのむこうに テキストp.176	30分
	【復習】S: 【C,Gコードの構成音を階名でうたう】練習No.1~No.11 テキストp.20-23 L: ぞうさん テキストp.161	20分
第6回	S: 【伴奏に合わせてうたう】「かじやのピーター」「竹馬あそび」「河はよんでる」「タマゴとニワトリ」テキストp.24-33 L: にじのむこうに テキストp.176	
	【予習】【Fコードをききながらうたう】分散和音唱、分離唱、カデンツ唱 テキストp.34-37 L: しゃぼんだま テキストp.158	30分
	【復習】【伴奏に合わせてうたう】「かじやのピーター」「竹馬あそび」「河はよんでる」「タマゴとニワトリ」テキストp.24-33 L: にじのむこうに テキストp.176	20分
第7回	S: 【Fコードをききながらうたう】分散和音唱、分離唱、カデンツ唱 テキストp.34-37 L: しゃぼんだま テキストp.158	
	【予習】S: 【C,G,Fコードの構成音を階名でうたう】練習No.1~No.10 テキストp.38-41 L: うみ テキストp.135	30分
	【復習】S: 【Fコードをききながらうたう】分散和音唱、分離唱、カデンツ唱 テキストp.34-37 L: しゃぼんだま テキストp.158	20分
第8回	S: 【C,G,Fコードの構成音を階名でうたう】練習No.1~No.10 テキストp.38-41 L: うみ テキストp.135	
	【予習】S: 【伴奏に合わせてうたう】「ぞうさんとくもの巣」「たまご」テキストp.42-43 L: とんでったバナナ テキストp.170	30分
	【復習】S: 【C,G,Fコードの構成音を階名でうたう】練習No.1~No.10 テキストp.38-41 L: うみ テキストp.135	20分
第9回	S: 【伴奏に合わせてうたう】「ぞうさんとくもの巣」「たまご」テキストp.42-43 L: とんでったバナナ テキストp.170	
	【予習】S: 【伴奏に合わせてうたう】「アマリリス」「こぎつね」テキストp.44-46 L: サッチャン テキストp.155	30分
	【復習】S: 【伴奏に合わせてうたう】「ぞうさんとくもの巣」「たまご」テキストp.42-43 L: とんでったバナナ テキストp.170	20分
第10回	S: 【伴奏に合わせてうたう】「アマリリス」「こぎつね」テキストp.44-46 L: サッチャン テキストp.155	
	【予習】S: 【G7コードをききながらうたう】分散和音唱、分離唱、カデンツ唱 テキストp.52-55 L: たなばたさま テキストp.165	30分
	【復習】S: 【伴奏に合わせてうたう】「アマリリス」「こぎつね」テキストp.44-46 L: サッチャン テキストp.155	20分

第11回	S:【G7コードをききながらうたう】分散和音唱、分離唱、カデンツ唱 テキストp.52-55 L:たなばたさま テキストp.165	
	【予習】S:【C,G,F,G7コードの構成音を階名でうたう】練習No.1~No.11 テキストp.56-59 L:かわいいかくれんぼ テキストp.149	30分
	【復習】S:【G7コードをききながらうたう】分散和音唱、分離唱、カデンツ唱 テキストp.52-55 L:たなばたさま テキストp.165	20分
第12回	S:【C,G,F,G7コードの構成音を階名でうたう】練習No.1~No.11 テキストp.56-59 L:かわいいかくれんぼ テキストp.149	
	【予習】S:【伴奏に合わせてうたう】「なかよしマーチ」「あわてんぼうの歌」「山のボルカ」 テキストp.62-67 L:山の音楽家 テキストp.187	30分
	【復習】S:【C,G,F,G7コードの構成音を階名でうたう】練習No.1~No.11 テキストp.56-59 L:かわいいかくれんぼ テキストp.149	20分
第13回	S:【伴奏に合わせてうたう】「なかよしマーチ」「あわてんぼうの歌」「山のボルカ」 テキストp.62-67 L:山の音楽家 テキストp.187	
	【予習】S:これまでに演習した内容を確認しておく。 L:おつかいありさん テキストp.141	20分
	【復習】S:【伴奏に合わせてうたう】「なかよしマーチ」「あわてんぼうの歌」「山のボルカ」 テキストp.62-67 L:山の音楽家 テキストp.187	20分
第14回	S:「授業のまとめ」 テキストに基づいて、これまでに演習した内容を確認する。 L:おつかいありさん テキストp.141	
	【予習】S:実技発表に向け、指定されたペアで合唱の練習をする。 L:犬のおまわりさん テキストp.132	20分
	【復習】S:これまでに演習した内容を確認する。 L:おつかいありさん テキストp.141	20分
第15回	S:実技発表(指定されたペア) L:犬のおまわりさん テキストp.132	
	【予習】これまでの演習内容を確認し、楽典(音楽の決まりごと)について再度学習し、今後の器楽演奏にもつなげていくため、理解を深めておく。	15分
	【復習】S:自らの理解度・達成度を評価し、不十分なところは再度学習し理解を深めておく。 L:犬のおまわりさん テキストp.132	10分

授業科目名	音楽 -2 (Aグループ)			科目コード	C141-11				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 音楽表現		担当教員名	難波 純子 武岡 真知子 大林 規子					
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	楽典(音楽の決まりごと)、音楽 -2		後継科目	音楽 -1、音楽 -2					
関連科目	保育内容(音楽表現)、保育内容(音楽表現)								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	「歌あそび」と器楽(ピアノ等)・幼児の歌を1時間ずつ演習します。器楽・幼児の歌においては2つのグループ(A・B)で、それぞれの経験に合わせた学習を行います。さらに保育に必要な音楽基礎技能を、音楽の楽しさにふれながら高めます。器楽・幼児の歌(1時間)は前期同様の形態で行い、さらに内容を深めます。								
学習目標	毎週幼児の歌の課題を練習し、歌唱やピアノなどの音楽表現能力を高めます。また幅広い音楽体験により、多様な表現力を養うことを目標とします。								
キーワード	歌あそび 器楽(ピアノ) 幼児の歌								
テキスト・ 参考書等	テキスト 井口 太 編「新・幼児の音楽教育」朝日出版社(2014) テキスト 小林 美実 編「音楽リズム」東京書籍(1984)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】歌唱や器楽(ピアノ)演奏をするために必要不可欠な楽典(音楽の決まり)を理解し、楽譜を読むことができる。								
LO-2	【技能】創意工夫を生かした音楽表現をするために、音符を正しく読みとる基礎技能を身につけ、正確な音程で表情豊かに歌うことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】楽譜から音楽を形づくっている要素を知覚し、音程・リズム・音型の判断をしながら、歌唱や器楽(ピアノ)演奏につなげることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】幼児の歌に関心をもち、歌唱や器楽(ピアノ)の学習に主体的に取り組もうとする。								
LO-5	【人間性・社会性】グループやペアでの合唱や演奏、歌あそびの発表などに積極的に参加し、他者との関係づくりができる。								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)					80	20			100
LO-1					20				20
LO-2					20				20
LO-3					20				20
LO-4						20			20
LO-5					20				20
備考	この科目は、前期同様、90分1コマの授業を45分ずつに分け、「歌あそび・手あそび」と「器楽(ピアノ等)」・「幼児の歌」のそれぞれを演習します。従って、クラスを半分の人数に分けて前半・後半と入れ替えて実施します。評価については、平素の授業に取り組む姿勢 表のAに該当します(20%)、歌あそび(40%)、器楽・幼児の歌(40%)とし、総合的に評価します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	1年前期の音楽 1での学習をふまえ、後期の授業の目的や内容を説明します。	
	【予習】【歌あそび】 とんぼのめがね テキスト p.172 p.100 【器楽・幼児の歌】 先生とおともだち テキスト p.68、 こおろぎ テキスト p.153 p.111	30分
	【復習】シラバスを読み、授業内容(課題曲)をテキスト(楽譜)と照らし合わせて把握する。	60分
第2回	【歌あそび】 とんぼのめがね テキスト p.172 p.100 【器楽・幼児の歌】 先生とおともだち テキスト p.68、 こおろぎ テキスト p.153 p.111	
	【予習】【歌あそび】 こぶたぬきつねこ テキスト p.36 【器楽・幼児の歌】 もりのくまさん テキスト p.186-187 p.52-53 まつぼっくり テキスト p.182 p.114	20分
	【復習】【歌あそび】 とんぼのめがね テキスト p.172 p.100 【器楽・幼児の歌】 先生とおともだち テキスト p.68、 こおろぎ テキスト p.153 p.111	20分
第3回	【歌あそび】 こぶたぬきつねこ テキスト p.36 【器楽・幼児の歌】 もりのくまさん テキスト p.186-187 p.52-53 まつぼっくり テキスト p.182 p.114	
	【予習】【歌あそび】 おおきなたいこ テキスト p.135 p.31 【器楽・幼児の歌】 おかあさん テキスト p.138 p.62 せかいじゅうのこどもたちが テキスト p.160-161	20分
	【復習】【歌あそび】 こぶたぬきつねこ テキスト p.36 【器楽・幼児の歌】 もりのくまさん テキスト p.186-187 p.52-53 まつぼっくり テキスト p.182 p.114	20分
第4回	【歌あそび】 おおきなたいこ テキスト p.135 p.31 【器楽・幼児の歌】 おかあさん テキスト p.138 p.62 せかいじゅうのこどもたちが テキスト p.160-161	
	【予習】【歌あそび】 いもほりのうた テキスト p.106 【器楽・幼児の歌】 山のワルツ テキスト p.188-189 p.224-225 インディアンがとる テキスト p.137	20分
	【復習】【歌あそび】 おおきなたいこ テキスト p.135 p.31 【器楽・幼児の歌】 おかあさん テキスト p.138 p.62 せかいじゅうのこどもたちが テキスト p.160-161	20分
第5回	【歌あそび】 いもほりのうた テキスト p.106 【器楽・幼児の歌】 山のワルツ テキスト p.188-189 p.224-225 インディアンがとる テキスト p.137	
	【予習】【歌あそび】 ふしぎなポケット テキスト p.180 p.48 【器楽・幼児の歌】 やぎさんゆうびん テキスト p.190 p.223 やきいもグーチーパー テキスト p.189	20分
	【復習】【歌あそび】 いもほりのうた テキスト p.106 【器楽・幼児の歌】 山のワルツ テキスト p.188-189 p.224-225 インディアンがとる テキスト p.137	20分
第6回	【歌あそび】 ふしぎなポケット テキスト p.180 p.48 【器楽・幼児の歌】 やぎさんゆうびん テキスト p.190 p.223 やきいもグーチーパー テキスト p.189	
	【予習】【歌あそび】 カレーライスのうた テキスト p.147 【器楽・幼児の歌】 ガンバリマンのうた テキスト p.150 大きなうた テキスト p.136	20分
	【復習】【歌あそび】 ふしぎなポケット テキスト p.180 p.48 【器楽・幼児の歌】 やぎさんゆうびん テキスト p.190 p.223 やきいもグーチーパー テキスト p.189	20分
第7回	【歌あそび】 カレーライスのうた テキスト p.147 【器楽・幼児の歌】 ガンバリマンのうた テキスト p.150 大きなうた テキスト p.136	
	【予習】【歌あそび】 コンコンクシャンのうた テキスト p.126 【器楽・幼児の歌】 あわてんぼうのサンタクロース テキスト p.130 p.118-119 線路はつづくよどこまでも テキスト p.162	20分
	【復習】【歌あそび】 カレーライスのうた テキスト p.147 【器楽・幼児の歌】 ガンバリマンのうた テキスト p.150 大きなうた テキスト p.136	20分
第8回	【歌あそび】 コンコンクシャンのうた テキスト p.126 【器楽・幼児の歌】 あわてんぼうのサンタクロース テキスト p.130 p.118-119 線路はつづくよどこまでも テキスト p.162	
	【予習】【歌あそび】 おもちゃのチャチャチャ テキスト p.143 【器楽・幼児の歌】 ゴリラのうた テキスト p.153 p.183 ふうせん テキスト p.179	20分
	【復習】【歌あそび】 コンコンクシャンのうた テキスト p.126 【器楽・幼児の歌】 あわてんぼうのサンタクロース テキスト p.130 p.118-119 線路はつづくよどこまでも テキスト p.162	20分
第9回	【歌あそび】 おもちゃのチャチャチャ テキスト p.143 【器楽・幼児の歌】 ゴリラのうた テキスト p.153 p.183 ふうせん テキスト p.179	
	【予習】【歌あそび】 バスごっこ テキスト p.46 【器楽・幼児の歌】 アイアイ テキスト p.124-125 p.132-133 ジングルベル テキスト p.159 p.124	20分
	【復習】【歌あそび】 おもちゃのチャチャチャ テキスト p.143 【器楽・幼児の歌】 ゴリラのうた テキスト p.153 p.183 ふうせん テキスト p.179	20分
第10回	【歌あそび】 バスごっこ テキスト p.46 【器楽・幼児の歌】 アイアイ テキスト p.124-125 p.132-133 ジングルベル テキスト p.159 p.124	
	【予習】【歌あそび】 にじのむこうに テキスト p.176 【器楽・幼児の歌】 手のひらを太陽に テキスト p.168-169 p.196-198 雪のペンキやさん テキスト p.192 p.130	20分
	【復習】【歌あそび】 バスごっこ テキスト p.46 【器楽・幼児の歌】 アイアイ テキスト p.124-125 p.132-133 ジングルベル テキスト p.159 p.124	20分

第11回	【歌あそび】 にじのむこうに テキスト p.176 【器楽・幼児の歌】 手のひらを太陽に テキスト p.168-169 p.196-198 雪のペンキやさん テキスト p.192 p.130	
	【予習】【歌あそび】 さよならぼくたちのほいくえん テキスト p.156-157 【器楽・幼児の歌】 1年生になったら テキスト p.131 p.120-121 思い出のアルバム テキスト p.146-147	20分
	【復習】【歌あそび】 にじのむこうに テキスト p.176 【器楽・幼児の歌】 手のひらを太陽に テキスト p.168-169 p.196-198 雪のペンキやさん テキスト p.192 p.130	20分
第12回	【歌あそび】 さよならぼくたちのほいくえん テキスト p.156-157 【器楽・幼児の歌】 1年生になったら テキスト p.131 p.120-121 思い出のアルバム テキスト p.146-147	
	【予習】【器楽・幼児の歌】 実技発表にむけて課題曲を練習する。	20分
	【復習】【歌あそび】 さよならぼくたちのほいくえん テキスト p.156-157 【器楽・幼児の歌】 1年生になったら テキスト p.131 p.120-121 思い出のアルバム テキスト p.146-147	20分
第13回	【歌あそび】 まとめ 【器楽・幼児の歌】 実技発表に向けてこれまで習った曲の復習	
	【予習】	0分
	【復習】	20分
第14回	【歌あそび】 まとめ 【器楽・幼児の歌】 実技発表	
	【予習】 卒業演奏会のプログラムを読み、内容を把握してくる。	10分
	【復習】	0分
第15回	2/8 (金) AM卒業演奏会鑑賞 (付属みどり野幼稚園にて、2年生の発表を鑑賞する)	
	【予習】 2年生の発表内容を振り返り、次年度、自分が履修する際のイメージをもつ (器楽合奏、オペレッタの2つの内、1つ選択するもの考えておく)。	10分
	【復習】	0分

授業科目名	音楽 -2 (Bグループ)			科目コード	C141-11				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 音楽表現	担当教員名	難波 純子 武藤 憲夫 大村 禎子						
開講時期	1年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)	楽典(音楽の決まりごと)、音楽 -2	後継科目	音楽 -1、音楽 -2						
関連科目	保育内容(音楽表現)、保育内容(音楽表現)								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	「歌あそび」と器楽(ピアノ等)・幼児の歌を1時間ずつ演習します。器楽・幼児の歌においては2つのグループ(A・B)で、それぞれの経験に合わせた学習を行います。さらに保育に必要な音楽基礎技能を、音楽の楽しさにふれながら高めます。器楽・幼児の歌(1時間)は前期同様の形態で行い、さらに内容を深めます。								
学習目標	毎週幼児の歌の課題を練習し、歌唱やピアノなどの音楽表現能力を高めます。また幅広い音楽体験により、多様な表現力を養うことを目標とします。								
キーワード	歌あそび 器楽(ピアノ) 幼児の歌								
テキスト・ 参考書等	テキスト 井口 太 編「新・幼児の音楽教育」朝日出版社(2014) テキスト 小林 美実 編「音楽リズム」東京書籍(1984)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】歌唱や器楽(ピアノ)演奏をするために必要不可欠な楽典(音楽の決まり)を理解し、楽譜を読むことができる。								
LO-2	【技能】創意工夫を生かした音楽表現をするために、音符を正しく読みとる基礎技能を身につけ、正確な音程で表情豊かに歌うことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】楽譜から音楽を形づくっている要素を知覚し、音程・リズム・音型の判断をしながら、歌唱や器楽(ピアノ)演奏につなげることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】幼児の歌に関心をもち、歌唱や器楽(ピアノ)の学習に主体的に取り組もうとする。								
LO-5	【人間性・社会性】グループやペアでの合唱や演奏、歌あそびの発表などに積極的に参加し、他者との関係づくりができる。								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)					80	20			100
LO-1					20				20
LO-2					20				20
LO-3					20				20
LO-4						20			20
LO-5					20				20
備考	この科目は、前期同様、90分1コマの授業を45分ずつに分け、「歌あそび・手あそび」と「器楽(ピアノ等)」・「幼児の歌」のそれぞれを演習します。従って、クラスを半分の人数に分けて前半・後半と入れ替えて実施します。評価については、平素の授業に取り組む姿勢 表のAに該当します(20%)、歌あそび(40%)、器楽・幼児の歌(40%)とし、総合的に評価します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	1年前期の音楽 1での学習をふまえ、後期の授業の目的や内容を説明します。	
	【予習】【歌あそび】 とんぼのめがね テキスト p.172 p.100 【器楽・幼児の歌】 先生とおともだち テキスト p.68、 こおろぎ テキスト p.153 p.111	30分
	【復習】シラバスを読み、授業内容(課題曲)をテキスト(楽譜)と照らし合わせて把握する。	60分
第2回	【歌あそび】 とんぼのめがね テキスト p.172 p.100 【器楽・幼児の歌】 先生とおともだち テキスト p.68、 こおろぎ テキスト p.153 p.111	
	【予習】【歌あそび】 こぶためきつねこ テキスト p.36 【器楽・幼児の歌】 もりのくまさん テキスト p.186-187 p.52-53 まつぼっくり テキスト p.182 p.114	20分
	【復習】【歌あそび】 とんぼのめがね テキスト p.172 p.100 【器楽・幼児の歌】 先生とおともだち テキスト p.68、 こおろぎ テキスト p.153 p.111	20分
第3回	【歌あそび】 こぶためきつねこ テキスト p.36 【器楽・幼児の歌】 もりのくまさん テキスト p.186-187 p.52-53 まつぼっくり テキスト p.182 p.114	
	【予習】【歌あそび】 おおきなたいこ テキスト p.135 p.31 【器楽・幼児の歌】 おかあさん テキスト p.138 p.62 せかいじゅうのこどもたちが テキスト p.160-161	20分
	【復習】【歌あそび】 こぶためきつねこ テキスト p.36 【器楽・幼児の歌】 もりのくまさん テキスト p.186-187 p.52-53 まつぼっくり テキスト p.182 p.114	20分
第4回	【歌あそび】 おおきなたいこ テキスト p.135 p.31 【器楽・幼児の歌】 おかあさん テキスト p.138 p.62 せかいじゅうのこどもたちが テキスト p.160-161	
	【予習】【歌あそび】 いもほりのうた テキスト p.106 【器楽・幼児の歌】 山のワルツ テキスト p.188-189 p.224-225 インディアンがとる テキスト p.137	20分
	【復習】【歌あそび】 おおきなたいこ テキスト p.135 p.31 【器楽・幼児の歌】 おかあさん テキスト p.138 p.62 せかいじゅうのこどもたちが テキスト p.160-161	20分
第5回	【歌あそび】 いもほりのうた テキスト p.106 【器楽・幼児の歌】 山のワルツ テキスト p.188-189 p.224-225 インディアンがとる テキスト p.137	
	【予習】【歌あそび】 ふしぎなポケット テキスト p.180 p.48 【器楽・幼児の歌】 やぎさんゆうびん テキスト p.190 p.223 やきいもグーチーパー テキスト p.189	20分
	【復習】【歌あそび】 いもほりのうた テキスト p.106 【器楽・幼児の歌】 山のワルツ テキスト p.188-189 p.224-225 インディアンがとる テキスト p.137	20分
第6回	【歌あそび】 ふしぎなポケット テキスト p.180 p.48 【器楽・幼児の歌】 やぎさんゆうびん テキスト p.190 p.223 やきいもグーチーパー テキスト p.189	
	【予習】【歌あそび】 カレーライスのうた テキスト p.147 【器楽・幼児の歌】 ガンバリマンのうた テキスト p.150 大きなうた テキスト p.136	20分
	【復習】【歌あそび】 ふしぎなポケット テキスト p.180 p.48 【器楽・幼児の歌】 やぎさんゆうびん テキスト p.190 p.223 やきいもグーチーパー テキスト p.189	20分
第7回	【歌あそび】 カレーライスのうた テキスト p.147 【器楽・幼児の歌】 ガンバリマンのうた テキスト p.150 大きなうた テキスト p.136	
	【予習】【歌あそび】 コンコンクシャンのうた テキスト p.126 【器楽・幼児の歌】 あわてんぼうのサンタクロース テキスト p.130 p.118-119 線路はつづくよどこまでも テキスト p.162	20分
	【復習】【歌あそび】 カレーライスのうた テキスト p.147 【器楽・幼児の歌】 ガンバリマンのうた テキスト p.150 大きなうた テキスト p.136	20分
第8回	【歌あそび】 コンコンクシャンのうた テキスト p.126 【器楽・幼児の歌】 あわてんぼうのサンタクロース テキスト p.130 p.118-119 線路はつづくよどこまでも テキスト p.162	
	【予習】【歌あそび】 おもちゃのチャチャチャ テキスト p.143 【器楽・幼児の歌】 ゴリラのうた テキスト p.153 p.183 ふうせん テキスト p.179	20分
	【復習】【歌あそび】 コンコンクシャンのうた テキスト p.126 【器楽・幼児の歌】 あわてんぼうのサンタクロース テキスト p.130 p.118-119 線路はつづくよどこまでも テキスト p.162	20分
第9回	【歌あそび】 おもちゃのチャチャチャ テキスト p.143 【器楽・幼児の歌】 ゴリラのうた テキスト p.153 p.183 ふうせん テキスト p.179	
	【予習】【歌あそび】 バスごっこ テキスト p.46 【器楽・幼児の歌】 アイアイ テキスト p.124-125 p.132-133 ジングルベル テキスト p.159 p.124	20分
	【復習】【歌あそび】 おもちゃのチャチャチャ テキスト p.143 【器楽・幼児の歌】 ゴリラのうた テキスト p.153 p.183 ふうせん テキスト p.179	20分
第10回	【歌あそび】 バスごっこ テキスト p.46 【器楽・幼児の歌】 アイアイ テキスト p.124-125 p.132-133 ジングルベル テキスト p.159 p.124	
	【予習】【歌あそび】 にじのむこうに テキスト p.176 【器楽・幼児の歌】 手のひらを太陽に テキスト p.168-169 p.196-198 雪のペンキやさん テキスト p.192 p.130	20分
	【復習】【歌あそび】 バスごっこ テキスト p.46 【器楽・幼児の歌】 アイアイ テキスト p.124-125 p.132-133 ジングルベル テキスト p.159 p.124	20分

第11回	【歌あそび】 にじのむこうに テキスト p.176 【器楽・幼児の歌】 手のひらを太陽に テキスト p.168-169 p.196-198 雪のペンキやさん テキスト p.192 p.130	
	【予習】【歌あそび】 さよならぼくたちのほいくえん テキスト p.156-157 【器楽・幼児の歌】 1年生になったら テキスト p.131 p.120-121 思い出のアルバム テキスト p.146-147	20分
	【復習】【歌あそび】 にじのむこうに テキスト p.176 【器楽・幼児の歌】 手のひらを太陽に テキスト p.168-169 p.196-198 雪のペンキやさん テキスト p.192 p.130	20分
第12回	【歌あそび】 さよならぼくたちのほいくえん テキスト p.156-157 【器楽・幼児の歌】 1年生になったら テキスト p.131 p.120-121 思い出のアルバム テキスト p.146-147	
	【予習】【器楽・幼児の歌】 実技発表にむけて課題曲を練習する。	20分
	【復習】【歌あそび】 さよならぼくたちのほいくえん テキスト p.156-157 【器楽・幼児の歌】 1年生になったら テキスト p.131 p.120-121 思い出のアルバム テキスト p.146-147	20分
第13回	【歌あそび】 まとめ 【器楽・幼児の歌】 実技発表に向けてこれまでに習った曲を復習する。	
	【予習】	30分
	【復習】	20分
第14回	まとめ・実技発表	
	【予習】	10分
	【復習】	0分
第15回	2/8（金）AM卒業演奏会鑑賞（付属みどり野幼稚園にて、2年生の発表を鑑賞する）	
	【予習】2年生の発表内容を振り返り、次年度、自分が履修する際のイメージをもつ（器楽合奏、オペレッタの2つの内、1つ選択するもの考えておく）。	10分
	【復習】	0分

授業科目名	音楽 -1 (Aグループ)			科目コード	C141-12				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 音楽表現		担当教員名	難波 純子 堀江 英一 大村 禎子 大林 規子					
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	音楽 -1、音楽 -2		後継科目	音楽 -2					
関連科目	保育内容(音楽表現)、保育内容(音楽表現)、保育内容(言葉)、保育内容(造形表現)								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	楽器基礎演奏・オペレッタと器楽(ピアノなど)・幼児の歌の表現を1時間ずつ演習します。器楽・幼児の歌においては2つのグループ(A・B)で、それぞれの経験に合わせた学習を行います。								
学習目標	幼児の音楽表現活動や教材について学び、多様な音楽表現に取り組むことを目標とします。								
キーワード	楽器基礎演奏 オペレッタ 器楽(ピアノなど) 幼児の歌								
テキスト・ 参考書等	テキスト 井口 太 編「新・幼児の音楽教育」朝日出版社(2014) テキスト 小林 美実 編「音楽リズム」東京書籍(1984)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 歌唱や楽器演奏をするために必要不可欠な楽典(音楽の決まり)を理解し、楽譜を読むことができる。								
LO-2	【技能】創意工夫を生かした音楽表現をするために、音符を正しく読みとる基礎技能を身につけ、正確な音程で表情豊かに歌うことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】楽譜から音楽を形づくっている要素を知覚し、音程・リズム・音型の判断をしながら、歌唱や楽器演奏につなげることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 幼児の表現に関心をもち、歌唱や楽器演奏の学習に主体的に取り組もうとする。								
LO-5	【人間性・社会性】グループでの楽器演奏、オペレッタの創作・発表などに積極的に参加し、他者との協働を図ることができる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)					80	20			100
LO-1					20				20
LO-2					20				20
LO-3					20				20
LO-4						20			20
LO-5					20				20
備考	平素の授業に取り組む姿勢(20%)、器楽演奏発表・オペレッタの制作作品(40%)、器楽(ピアノ)・幼児の歌・指揮法(40%)とし、総合的に評価します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	音楽 の学習をふまえ、2年次ではさらに幅広く音楽経験を行う授業の目的や内容を説明します。	
	【予習】レッスン： しあわせならてをたたこう テキスト p.37	30分
	【復習】シラバスを読み、前期の授業内容（課題曲）をテキスト（楽譜）と照らし合わせて把握する。	60分
第2回	楽器：こどもと楽器の活動 楽器あそび レッスン： しあわせならてをたたこう テキスト p.37	
	【予習】レッスン： そうだったらいいのにな テキスト p.192-193	20分
	【復習】レッスン： しあわせならてをたたこう テキスト p.37	20分
第3回	楽器：楽器の指導法 レッスン： そうだったらいいのにな テキスト p.192-193	
	【予習】レッスン： 小鳥の歌 テキスト p.152	20分
	【復習】レッスン： そうだったらいいのにな テキスト p.192-193	20分
第4回	楽器：楽器指導の段階と奏法 レッスン： 小鳥の歌 テキスト p.152	
	【予習】レッスン： おかあさん テキスト p.138	20分
	【復習】レッスン： 小鳥の歌 テキスト p.152	20分
第5回	楽器：様々な楽器によるグループ演奏を体験し、編曲や演奏法などを学ぶ レッスン： おかあさん テキスト p.138	
	【予習】レッスン： おもちゃのマーチ テキスト p.167	20分
	【復習】レッスン： おかあさん テキスト p.138	20分
第6回	楽器：様々な楽器によるグループ演奏を体験し、編曲や演奏法などを学ぶ レッスン： おもちゃのマーチ テキスト p.167	
	【予習】レッスン： あめふりくまのこ テキスト p.126-127	20分
	【復習】レッスン： おもちゃのマーチ テキスト p.167	20分
第7回	楽器：様々な楽器によるグループ演奏を体験し、編曲や演奏法などを学ぶ レッスン： あめふりくまのこ テキスト p.126-127	
	【予習】レッスン： 海の底には青いうち テキスト p.94-95	20分
	【復習】レッスン： あめふりくまのこ テキスト p.126-127	20分
第8回	楽器：グループ器楽演奏発表・鑑賞 レッスン： 海の底には青いうち テキスト p.94-95	
	【予習】レッスン： とんでったバナナ テキスト p.170-171	20分
	【復習】レッスン： 海の底には青いうち テキスト p.94-95	20分
第9回	オペレッタ：歌とリズムと劇的表現 幼児とオペレッタ レッスン： とんでったバナナ テキスト p.170-171	
	【予習】レッスン： 大きなたいこ テキスト p.135	20分
	【復習】レッスン： とんでったバナナ テキスト p.170-171	20分
第10回	オペレッタ：情景を表現する音楽と動き レッスン： 大きなたいこ テキスト p.135	
	【予習】レッスン： たなばたさま テキスト p.165	20分
	【復習】レッスン： 大きなたいこ テキスト p.135	20分

第11回	オペレッタ：製作作品の具体例（VTR） レッスン： たなばたさま テキスト p.165	
	【予習】レッスン： 水あそび テキスト p.182	20分
	【復習】レッスン： たなばたさま テキスト p.165	20分
第12回	オペレッタ：創作（ストーリー・歌・踊り・効果音） レッスン： 水あそび テキスト p.182	
	【予習】レッスン： うみ テキスト p.135	20分
	【復習】レッスン： 水あそび テキスト p.182	20分
第13回	オペレッタ：創作 レッスン： うみ テキスト p.135	
	【予習】レッスン： 大きなくりの木の下で テキスト p.136	20分
	【復習】レッスン： うみ テキスト p.135	20分
第14回	オペレッタ：創作 レッスン： 大きなくりの木の下で テキスト p.136	
	【予習】レッスン： 実技発表に向けて とんぼのめがね テキスト p.172を練習してくる。	85分
	【復習】レッスン： 大きなくりの木の下で テキスト p.136	20分
第15回	オペレッタ：作品の仕上げと発表 レッスン： とんぼのめがね テキスト p.172 実技発表	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	音楽 -1 (Bグループ)			科目コード	C141-12				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 音楽表現	担当教員名	難波 純子 堀江 英一 大村 禎子 大林 規子						
開講時期	2年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	音楽 - 1、音楽 - 2	後継科目	音楽 - 2						
関連科目	保育内容(音楽表現)、保育内容(音楽表現)								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	より豊かな音楽表現をめざして音楽表現活動や教材について学び、多様な表現活動に取り組む。子どもの音楽表現活動の内容や方法について理解し、保育者としての音楽的資質を高める。								
学習目標	幼児の音楽表現活動や教材について学び、表現の育ちを支えるためのピアノ伴奏や、弾きながら歌う力を身につける。								
キーワード	幼児の歌 保育のピアノ伴奏 弾き歌い								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『新・幼児の音楽教育』井口太 編 朝日出版社 『音楽リズム - 幼児のうた楽譜集 - 』小林美実 編								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 歌唱や楽器演奏をするために必要不可欠な楽典(音楽の決まり)を理解し、楽譜を読むことができる。								
LO-2	【技能】創意工夫を生かした音楽表現をするために、音符を正しく読みとる基礎技能を身につけ、正確な音程で表情豊かに歌うことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】楽譜から音楽を形づくっている要素を知覚し、音程・リズム・音型の判断をしながら、歌唱や楽器演奏につなげることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 幼児の表現に関心をもち、歌唱や楽器演奏の学習に主体的に取り組もうとする。								
LO-5	【人間性・社会性】グループでの楽器演奏、オペレッタの創作・発表などに積極的に参加し、他者との協働を図ることができる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)					80	20			100
LO-1					20				20
LO-2					20				20
LO-3					20				20
LO-4						20			20
LO-5					20				20
備考	毎授業ごとの課題曲は、予習・復習が不可欠です。この科目は、90分1コマの授業を45分ずつに分け、「楽器基礎演奏・オペレッタ」と「器楽(ピアノ等)」、「幼児の歌」のそれぞれを演習します。従って、クラスを半分の人数に分けて前半・後半と入れ替えて実施します。評価については、平素の授業に取り組む姿勢(20%)、器楽演奏発表・オペレッタ(40%)、器楽(ピアノ)・幼児の歌(40%)とし、総合的に評価します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション(授業内容、目的、方法についての説明)	
	【予習】シラバスを読み、授業内容(練習曲)を把握する。	10分
	【復習】授業の進め方や、自分のグループなど、全体像を確認する。	10分
第2回	楽器：こどもと楽器の活動 楽器あそび ピアノ伴奏：「ありさんのおはなし」テキスト p.76	
	【予習】ピアノ弾き歌い：「みんなの広場」	30分
	【復習】ピアノ伴奏：「ありさんのおはなし」	20分
第3回	楽器：楽器の指導法 ピアノ弾き歌い：「みんなの広場」 プリント配付	
	【予習】ピアノ弾き歌い：「かめのえんそく」	30分
	【復習】ピアノ弾き歌い：「みんなの広場」	20分
第4回	楽器：楽器指導の段階と奏法 ピアノ弾き歌い：「かめのえんそく」 プリント配付	
	【予習】ピアノ伴奏：「あめふりくまのこ」	30分
	【復習】ピアノ弾き歌い：「かめのえんそく」	20分
第5回	楽器：様々な楽器によるグループ演奏を体験し、編曲や演奏法などを学ぶ ピアノ伴奏：「あめふりくまのこ」テキスト p.126 pp.134-135	
	【予習】ピアノ弾き歌い：「たなばたさま」	30分
	【復習】ピアノ伴奏：「あめふりくまのこ」	20分
第6回	楽器：様々な楽器によるグループ演奏を体験し、編曲や演奏法などを学ぶ ピアノ弾き歌い：「たなばたさま」テキスト p.165 p.70	
	【予習】ピアノ伴奏：「うみ」	30分
	【復習】ピアノ弾き歌い：「たなばたさま」	20分
第7回	楽器：様々な楽器によるグループ演奏を体験し、編曲や演奏法などを学ぶ ピアノ伴奏：「うみ」(ペア学習)テキスト p.135 ペア学習用のプリントも配付	
	【予習】ピアノ伴奏：「ふしぎなポケット」	30分
	【復習】ピアノ伴奏：「うみ」	20分
第8回	楽器：グループ器楽演奏発表・鑑賞 ピアノ伴奏：「ふしぎなポケット」テキスト p.180 pp.48-49	
	【予習】ピアノ弾き歌い：「おおきなたいこ」	30分
	【復習】ピアノ伴奏：「ふしぎなポケット」	20分
第9回	オペレッタ：歌とリズムと劇的表現 幼児とオペレッタ ピアノ弾き歌い：「おおきなたいこ」テキスト p.135 p.31	
	【予習】ピアノ伴奏：「にじのむこうに」	30分
	【復習】ピアノ弾き歌い：「おおきなたいこ」	20分
第10回	オペレッタ：情景を表現する音楽と動き ピアノ伴奏：「にじのむこうに」テキスト p.176	
	【予習】ピアノ伴奏：「小さな世界」	30分
	【復習】ピアノ伴奏：「にじのむこうに」	20分

第11回	オペレッタ：製作作品の具体例（VTR） ピアノ伴奏：「小さな世界」 プリント配付	
	【予習】ピアノ伴奏：「たのしいね」	30分
	【復習】ピアノ伴奏：「小さな世界」	20分
第12回	オペレッタ：創作（ストーリー・歌・踊り・効果音） ピアノ伴奏：「たのしいね」 プリント配付	
	【予習】ピアノ弾き歌い：「とんぼのめがね」	30分
	【復習】ピアノ伴奏：「たのしいね」	20分
第13回	オペレッタ：創作 ピアノ弾き歌い：「とんぼのめがね」テキスト p.172 p.100	
	【予習】ピアノ伴奏：「ハッピー・バースディ」	30分
	【復習】ピアノ弾き歌い：「とんぼのめがね」	20分
第14回	オペレッタ：創作 ピアノ伴奏：「ハッピー・バースディ」 プリント配付	
	【予習】ピアノ弾き歌い：「友だち賛歌」	30分
	【復習】ピアノ伴奏：「ハッピー・バースディ」	20分
第15回	オペレッタ：作品の仕上げと発表 【実技発表】ピアノ弾き歌い：「友だち賛歌」テキスト pp.166-167	
	【予習】	0分
	【復習】ピアノ弾き歌い：「友だち賛歌」	15分

授業科目名	音楽 -2 (器楽・声楽)			科目コード	C141-13				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 音楽表現	担当教員名	大林 規子						
開講時期	2年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	音楽 - 1、音楽 - 2、音楽 - 1	後継科目	なし						
関連科目	保育内容 (音楽表現 )、保育内容 (音楽表現 )								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	器楽・声楽 (独奏・連弾・二重奏・二重唱など) オペレッタ 器楽合奏の3コースに分かれ、卒業演奏会として発表します。このシラバスは の選択者です。この体験を通して幼児の音楽表現を支える保育者としての資質を高めます。								
学習目標	2年間で履修した音楽の成果を、卒業演奏会で、学生や教職員の前で発表することを目的とします。								
キーワード	器楽合奏 卒業演奏会								
テキスト・ 参考書等	必要に応じて授業中に資料を配付								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】楽器演奏をするために必要不可欠な楽典 (音楽のきまり) を理解し、正確に楽譜を読み取ることができる。								
LO-2	【技能・表現】担当する楽器の表現技能を身に付け、イメージをもってアンサンブルをすることができる。								
LO-3									
LO-4	【関心・意欲・態度】楽器の組み合わせによる多彩な表現に関心を持ち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組むことができる。								
LO-5	【人間性・社会性・コミュニケーション力】担当楽器の演奏に責任を持ち、アンサンブルを行う中で他者との協働を図ることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)					80	20			100
LO-1					5				5
LO-2					60				60
LO-3									
LO-4					10	20			30
LO-5					5				5
備考	平素の授業に取り組む姿勢と実技試験 (卒業演奏会) によって総合的に評価します。授業時間外での自己学習が大切です。学内のレッスン室を有効に活用し、各自で個人練習時間をしっかり確保してください。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	希望調査を基に のいずれかのコースを決め、卒業演奏会の目的や内容を説明します。	
	【予習】 シラバスを読み、授業内容を把握する。 器楽・声楽（独奏・独唱・二重奏・二重唱など） オベレッタ 器楽合奏から1つを選択するので、どのコースにするか考えておく。 の場合、どの楽器にするか考えておく。	10分
	【復習】	0分
第2回	担当楽器を決める。	
	【予習】	0分
	【復習】 担当楽器の楽譜をよく読み、イメージをつかむ。	10分
第3回	演奏曲 の個人練習及び合奏練習 1。	
	【予習】 担当楽器の奏法をよく理解しておく。	10分
	【復習】 不十分な箇所について、補充練習を行う。	30分
第4回	演奏曲 の個人練習及び合奏練習 1	
	【予習】 担当楽器の楽譜をよく読み、イメージをつかむ。	10分
	【復習】 不十分な箇所について、補充練習を行う。	30分
第5回	演奏曲 の個人練習及び合奏練習 2	
	【予習】 担当楽器の楽譜をよく読み、イメージをつかむ。	10分
	【復習】 不十分な箇所について、補充練習を行う。	30分
第6回	演奏曲 の個人練習及び合奏練習 2	
	【予習】 担当楽器の楽譜をよく読み、イメージをつかむ。	10分
	【復習】 不十分な箇所について、補充練習を行う。	30分
第7回	演奏曲 の個人練習及び合奏練習 3	
	【予習】 担当楽器の楽譜をよく読み、イメージをつかむ。	10分
	【復習】 不十分な箇所について、補充練習を行う。	30分
第8回	演奏曲 の個人練習及び合奏練習 3	
	【予習】 担当楽器の楽譜をよく読み、イメージをつかむ。	10分
	【復習】 不十分な箇所について、補充練習を行う。	30分
第9回	演奏曲 の個人練習及び合奏練習 4	
	【予習】 担当楽器の楽譜をよく読み、イメージをつかむ。	10分
	【復習】 不十分な箇所について、補充練習を行う。	30分
第10回	演奏曲 の個人練習及び合奏練習 4	
	【予習】 担当楽器の楽譜をよく読み、イメージをつかむ。	10分
	【復習】 不十分な箇所について、補充練習を行う。	30分

第11回	演奏曲 全体の練習 1	
	【予習】担当楽器の楽譜をよく読み、イメージをつかむ。	10分
	【復習】不十分な箇所について、補充練習を行う。	30分
第12回	演奏曲 全体の練習 2	
	【予習】担当楽器の楽譜をよく読み、イメージをつかむ。	10分
	【復習】不十分な箇所について、補充練習を行う。	30分
第13回	演奏曲 全体の練習 3	
	【予習】担当楽器の楽譜をよく読み、イメージをつかむ。	10分
	【復習】不十分な箇所について、補充練習を行う。	30分
第14回	演奏曲 全体の練習 4	
	【予習】担当楽器の楽譜をよく読み、イメージをつかむ。	10分
	【復習】不十分な箇所について、補充練習を行う。	30分
第15回	卒業演奏会本番 付属みどり野幼稚園にて、プログラムに沿って発表する。	
	【予習】楽譜の裏打ち、段取りの確認を行う。	20分
	【復習】	0分

授業科目名	音楽 -2 (オペレッタ)			科目コード	C141-13				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 音楽表現		担当教員名	難波 純子 大村 禎子					
開講時期	2年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	音楽 - 1、音楽 - 2、音楽 - 1		後継科目	なし					
関連科目	保育内容(音楽表現)、保育内容(音楽表現)								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	ピアノレッスン オペレッタ 器楽合奏の3コースに分かれ、卒業演奏会として発表します。このシラバスは の選択者です。この体験を通して幼児の音楽表現を支える保育者としての資質を高めます。								
学習目標	2年間で履修した音楽表現・言語表現・造形表現の成果を、卒業演奏会で、学生や教職員の前で発表することを目的とします。								
キーワード	オペレッタ 卒業演奏会 こどものための音楽会								
テキスト・ 参考書等	必要に応じて授業中に資料を配布。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1									
LO-2	【技能】イメージをもって音楽表現や身体表現をするために必要な歌唱やリズム、発声などの技能を身につけ、創造的に表現することができる。								
LO-3									
LO-4	【関心・意欲・態度】ステージに立って表現することに関心をもち、学習に主体的に取り組もうとしている。								
LO-5	【人間性・社会性】台本づくりや、大道具・小道具、衣装などオペレッタに必要なものの準備段階から積極的に参加したり、台詞合わせ、舞台稽古など、他者との協働を図ることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)					80	20			100
LO-1									
LO-2					30	20			50
LO-3									
LO-4					20				20
LO-5					30				30
備考	平素の授業に取り組む姿勢と実技(卒業演奏会)によって総合的に評価します。 授業時間外で、準備や練習をすることが多くなります。また、卒業演奏会以外にも、こどものための音楽会(本学主催)、うれしい1年生のつどい(北日本新聞社主催)など、大きなホールのステージで発表する機会がたくさんあります。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	希望調査を基に のいずれかのコースを決め、卒業演奏会の目的や内容を説明します。	
	【予習】シラバスを読み、授業内容を把握する。 ピアノレッスン オペレッタ 器楽合奏の3コースから1つを選択するので、どのコースにするか考えておく。	0分
	【復習】	0分
第2回	あらすじと場面構成について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	台本完成、テーマ曲決定	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	配役について（人数割り）、テーマ曲練習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	台本読み合わせ、音楽挿入場所の決定	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	配役の決定、曲、ダンスの創作	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	伴奏者の決定、歌、ダンスの練習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	台詞おぼえ、場面練習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	場面練習（ここまで形にする）、大道具・小道具・衣装打合せ	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	場面練習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回	場面練習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	台本なしの通し練習、最終台本の決定	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	台本なしの通し練習、効果音・照明入れる	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	台本なしの通し練習、効果音・照明入れる	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	幼稚園でリハーサル	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	音楽 -2 (器楽合奏)			科目コード	C141-13				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 音楽表現		担当教員名	堀江 英一					
開講時期	2年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	音楽 - 1、音楽 - 2、音楽 - 1		後継科目	なし					
関連科目	保育内容 (音楽表現 )、保育内容 (音楽表現 )								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	器楽・声楽(独奏・連弾・二重奏・二重唱など) オペレッタ 器楽合奏の3コースに分かれ、卒業演奏会として発表します。このシラバスは の選択者です。この体験を通して幼児の音楽表現を支える保育者としての資質を高めます。								
学習目標	2年間で履修した音楽の成果を、卒業演奏会で、学生や教職員の前で発表することを目的とします。								
キーワード	器楽合奏 卒業演奏会								
テキスト・ 参考書等	必要に応じて授業中に資料を配付								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】楽器演奏をするために必要不可欠な楽典(音楽のきまり)を理解し、正確に楽譜を読み取ることができる。								
LO-2	【技能・表現】担当する楽器の表現技能を身に付け、イメージをもってアンサンブルをすることができる。								
LO-3									
LO-4	【関心・意欲・態度】楽器の組み合わせによる多彩な表現に関心を持ち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組むことができる。								
LO-5	【人間性・社会性・コミュニケーション力】担当楽器の演奏に責任を持ち、アンサンブルを行う中で他者との協働を図ることができる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)					80	20			100
LO-1					5				5
LO-2					60				60
LO-3									
LO-4					10	20			30
LO-5					5				5
備考	平素の授業に取り組む姿勢と実技試験(卒業演奏会)によって総合的に評価します。授業時間外での自己学習が大切です。学内のレッスン室を有効に活用し、各自で個人練習時間をしっかり確保してください。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	希望調査を基に のいずれかのコースを決め、卒業演奏会の目的や内容を説明します。	
	【予習】 シラバスを読み、授業内容を把握する。 器楽・声楽（独奏・独唱・二重奏・二重唱など） オベレッタ 器楽合奏から1つを選択するので、どのコースにするか考えておく。 の場合、どの楽器にするか考えておく。	10分
	【復習】	0分
第2回	担当楽器を決める。	
	【予習】	0分
	【復習】 担当楽器の楽譜をよく読み、イメージをつかむ。	10分
第3回	演奏曲 の個人練習及び合奏練習 1。	
	【予習】 担当楽器の奏法をよく理解しておく。	10分
	【復習】 不十分な箇所について、補充練習を行う。	30分
第4回	演奏曲 の個人練習及び合奏練習 1	
	【予習】 担当楽器の楽譜をよく読み、イメージをつかむ。	10分
	【復習】 不十分な箇所について、補充練習を行う。	30分
第5回	演奏曲 の個人練習及び合奏練習 2	
	【予習】 担当楽器の楽譜をよく読み、イメージをつかむ。	10分
	【復習】 不十分な箇所について、補充練習を行う。	30分
第6回	演奏曲 の個人練習及び合奏練習 2	
	【予習】 担当楽器の楽譜をよく読み、イメージをつかむ。	10分
	【復習】 不十分な箇所について、補充練習を行う。	30分
第7回	演奏曲 の個人練習及び合奏練習 3	
	【予習】 担当楽器の楽譜をよく読み、イメージをつかむ。	10分
	【復習】 不十分な箇所について、補充練習を行う。	30分
第8回	演奏曲 の個人練習及び合奏練習 3	
	【予習】 担当楽器の楽譜をよく読み、イメージをつかむ。	10分
	【復習】 不十分な箇所について、補充練習を行う。	30分
第9回	演奏曲 の個人練習及び合奏練習 4	
	【予習】 担当楽器の楽譜をよく読み、イメージをつかむ。	10分
	【復習】 不十分な箇所について、補充練習を行う。	30分
第10回	演奏曲 の個人練習及び合奏練習 4	
	【予習】 担当楽器の楽譜をよく読み、イメージをつかむ。	10分
	【復習】 不十分な箇所について、補充練習を行う。	30分

第11回	演奏曲 全体の全体練習 1	
	【予習】担当楽器の楽譜をよく読み、イメージをつかむ。	10分
	【復習】不十分な箇所について、補充練習を行う。	30分
第12回	演奏曲 全体の全体練習 2	
	【予習】担当楽器の楽譜をよく読み、イメージをつかむ。	10分
	【復習】不十分な箇所について、補充練習を行う。	30分
第13回	演奏曲 全体の全体練習 3	
	【予習】担当楽器の楽譜をよく読み、イメージをつかむ。	10分
	【復習】不十分な箇所について、補充練習を行う。	30分
第14回	演奏曲 全体の全体練習 4	
	【予習】担当楽器の楽譜をよく読み、イメージをつかむ。	10分
	【復習】不十分な箇所について、補充練習を行う。	30分
第15回	卒業演奏会本番 付属みどり野幼稚園にて、プログラムに沿って発表する。	
	【予習】楽譜の裏打ち、段取りの確認を行う。	20分
	【復習】	0分

授業科目名	図画工作 -1			科目コード	C143-10				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 造形表現		担当教員名	中山 里美					
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	図画工作 - 2 保育内容(造形表現) 、 図画工作 - 1、2					
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	造形表現の特性やねらいを知るため、実技演習を中心に行い、表現することや創造することの価値を察知し、基本的な知識と豊かな感性や技術を身につけます。								
学習目標	造形表現活動の意義を理解するとともに、各自の創作や鑑賞活動を通して、保育に必要な造形に対する基本的な知識を得るとともに、豊かな感性を養い、表現力の向上を目指します。								
キーワード	表現 感性 想像 創造								
テキスト・ 参考書等	「子どもの造形表現」北沢昌代 畠山智宏 中村 光絵 著 開成出版 文部科学省「幼稚園教育要領」 厚生労働省「保育所保育指針」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】造形表現の意義や活動のねらいと内容について理解する。造形表現に関する基礎的な用語や材料・用具、技法などに関する知識を身に付けている。								
LO-2	【技能】素材の特性や用具の扱い方を知り、創造的な造形表現に必要な技能を身に付け、材料や技法などの表現方法を工夫して表す。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】造形表現活動の意義や、作品の良さや美しさを感じ取り、感性や想像力を働かせ、創造的な表現活動や製作を考えることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】造形表現活動や鑑賞に主体的に取り組み、作品を大切にするとともに、活動の楽しさや喜びを味わう。								
LO-5	【人間性・社会性】作品鑑賞やグループでの活動や製作等に意欲的に参加し、各々の良さや美しさを尊重することができる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			10	60		30			100
LO-1			10	10					20
LO-2				20					20
LO-3				20					20
LO-4				10		15			25
LO-5						15			15
備考	評価方法：提出課題レポートにはワークシートを含む。その他の項目「A」は、授業に取り組む姿勢、態度。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 造形表現の意義 材料や用具の扱い方について	
	【予習】教科書に目を通し、学習内容を大まかに把握する。	30分
	【復習】	0分
第2回	色彩と形体： 色と形、構成の基礎 色の三属性と分類	
	【予習】	0分
	【復習】教科書とプリントで色の属性や分類について確認する。	30分
第3回	色彩と形体： 色と形、構成の基礎 色や形の心理、調和	
	【予習】画面構成の種類やパターンについてプリントで再度確認する。	30分
	【復習】色の視認性を効果的に表現した配色を考える。 ワークシート提出	60分
第4回	色彩と形体： 色水あそび ワークシート提出	
	【予習】	0分
	【復習】プリントで「造形遊び」のねらいや意義について確認する。	30分
第5回	素材の種類と特性 基底材（紙について） ワークシート提出	
	【予習】いろいろな紙を探し、持参する。	30分
	【復習】	0分
第6回	素材の種類と特性 描画材 ワークシート提出	
	【予習】教科書P20～26を読み、描く道具に関する特性を知る。	30分
	【復習】絵具や着色用画材で描いた用紙を綴じ、描画材ノートとしてまとめる。	60分
第7回	素材の種類と特性 絵具あそび1 . えのぐをあそぶ ワークシート提出	
	【予習】絵具が作れる素材を探し、持参する。	30分
	【復習】	0分
第8回	素材の種類と特性 絵具あそび2 . 製本：ことばで表す ワークシート提出	
	【予習】	0分
	【復習】各ページから受け取った感じや感覚を言葉（オノマトペ）で書きこむ。 完成作品（絵本）提出。	60分
第9回	モダンテクニック にじみ・ぼかし・ローリング等	
	【予習】教科書を読み、使用する材料・用具と作り方を確認する。	20分
	【復習】	0分
第10回	モダンテクニック スクラッチ・マーブリング等	
	【予習】教科書を読み、使用する材料・用具と作り方を確認する。	20分
	【復習】	0分

第11回	モダンテクニック スパッタリング・ウォッシング等	
	【予習】教科書を読み、使用する材料・用具と作り方を確認する。	30分
	【復習】	0分
第12回	モダンテクニック まとめ技法ノート作成 作品技法ノート提出	
	【予習】	0分
	【復習】作成したノートを相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	30分
第13回	構成表現： 色と形、構成の基礎 「イメージと表現」色と形、構成の基礎 アイデアスケッチ・配色計画	
	【予習】季節のイメージに関する資料の収集。12か月別の自然の変化や行事を比較するワークシートの記入。	80分
	【復習】選択した構成に色鉛筆を塗り、配色を考える。	50分
第14回	構成表現： 色と形、構成の基礎 「イメージと表現」色と形、構成の基礎 下描き・着色・その他	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	構成表現： 色と形、構成の基礎 「イメージと表現」色と形、構成の基礎 作品完成 ワークシート・作品提出	
	【予習】	0分
	【復習】色彩構成作品を仕上げる。（授業時間内未完成作品） 展示された作品を相互鑑賞し、制作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	50分

授業科目名	図画工作 -2			科目コード	C143-11				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 造形表現		担当教員名	中山 里美					
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	図画工作 - 1		後継科目	保育内容(造形表現)、 工作 - 1、2 図画					
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	材料の特性を生かした多面的な製作活動に取り組み、保育現場における「表現者」「鑑賞者」「援助者」としての心構えや在り方を学びます。								
学習目標	さまざまな製作活動を通して、表現や鑑賞の楽しさや喜びを味わい、保育活動における造形表現に対する理解を深めるとともに、豊かな感性を伸ばし、表現力の向上を目指します。								
キーワード	表現 感性 想像 創造								
テキスト・ 参考書等	「子どもの造形表現」北沢昌代 畠山智宏 中村 光絵 著 開成出版(継続使用) 「保育をひらく造形表現」榎英子著 萌文書林 文部科学省「幼稚園教育要領」 厚生労働省「保育所保育指針」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】子どもの造形表現の発達過程や特徴を理解する。造形表現の意義や活動のねらいと内容について理解する。造形表現に関する基礎的な用語や材料・用具、技法などに関する知識を身につけている。								
LO-2	【技能】素材の特性や用具の扱い方を知り、創造的な造形表現に必要な技能を身につけ、材料や技法などの表現方法を工夫して表す。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】造形表現活動の意義や、作品の良さや美しさを感じ取り、感性や想像力を働かせ、創造的な表現活動や製作を考えることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】造形表現活動や鑑賞に主体的に取り組み、作品を大切にするとともに、活動の楽しさや喜びを味わう。								
LO-5	【人間性・社会性】作品鑑賞やグループでの活動や製作などに意欲的に参加し、各々の良さや美しさを尊重することができる。								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			10	60		30			100
LO-1			10	10					20
LO-2				20					20
LO-3				20					20
LO-4				10		15			25
LO-5						15			15
備考	評価方法：提出課題レポートにはワークシートを含む。その他の欄「A」は、授業に取り組む姿勢、態度。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	土粘土 粘土あそび 粘土づくりと種類や特性	
	【予習】「子どもの造形表現」P36、37を読み、粘土の種類や扱い方について大まかに把握する。	20分
	【復習】グループで作った作品を写真に撮り、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	20分
第2回	土粘土 陶芸 製作工程と技法、デザインの決定と成形	
	【予習】製作したい数種類のデザインをワークシートに描く。「保育をひろく造形表現」P40、41を読み、テラコッタの製作工程を大まかに把握する。	60分
	【復習】	0分
第3回	0～2歳児の造形遊び：身近な材料で作る玩具	
	【予習】実習で使える折り紙作品の作り、台紙に貼る。 作品提出	120分
	【復習】保育実習 - 1 で使える玩具を作る。玩具や造形遊びでの幼児の様子を観察し、レポートにまとめる。 レポート提出	120分
第4回	土粘土 陶芸 成形	
	【予習】	0分
	【復習】 保育実習 - 1 中に焼成	0分
第5回	土粘土 陶芸 地塗りと彩色	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	土粘土 陶芸 彩色と鑑賞 作品提出	
	【予習】	0分
	【復習】展示された作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	30分
第7回	樹脂粘土 製作工程と技法、デザインの決定と成形 作品提出	
	【予習】身の回りから、素材となるものを探す。 材料の準備	30分
	【復習】展示された作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	20分
第8回	小麦粉・片栗粉粘土 感触を楽しむ ワークシート提出	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	版画 ローラー遊び 版画の種類と特性について 版画インクの扱い方	
	【予習】「子どもの造形表現」P41、88「保育をひろく造形表現」P42～44を読み、版画の種類や作り方について大まかに把握する。	30分
	【復習】	0分
第10回	版画 ローラープリントの紙を使って - 紙バッグの製作	
	【予習】	0分
	【復習】展示された作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	20分

第11回	版画 スチレン版画 版の製作	
	【予習】身の回りから、素材となるものを探す。 材料の準備	15分
	【復習】	0分
第12回	版画 スチレン版画・モノプリント 刷り 作品提出	
	【予習】	0分
	【復習】展示された作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	30分
第13回	版画 スタンピング/ステンシル - いろいろな素材とダンボールを使ったスタンプ作りとステンシル技法	
	【予習】身の回りから、素材となるものを探す。 材料の準備	30分
	【復習】展示された作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	20分
第14回	版画 スタンピング - いろいろな素材とダンボールで作るスタンプにステンシル技法を組み合わせた版画を刷る。 作品提出	
	【予習】	0分
	【復習】展示された作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	30分
第15回	素材と表現方法：パステル コンテやパステルを使った技法と製作。 作品提出	
	【予習】	0分
	【復習】授業で製作した作品を再度鑑賞したり、学習内容をポートフォリオに整理したりし、製作と学習を振り返る。	80分

授業科目名	図画工作 -1			科目コード	C143-12				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 造形表現		担当教員名	中山 里美					
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	図画工作 - 1、2 保育内容(造形表現)		後継科目	図画工作 - 2					
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	「図画工作」の内容をさらに深めます。多様な創作活動を経験することにより、表現の幅を広げながら、表現の楽しさ・喜びを味わい、幼児の豊かな造形表現を導くことのできる能力を身につけます。								
学習目標	造形美術活動全般にわたって理解を高めるとともに、幅広い創作活動を通して、より個性的で豊かな感性を磨き、美術の能力の向上を目指します。								
キーワード	感性 想像 創造								
テキスト・ 参考書等	「子どもの造形表現」北沢昌代 畠山智宏 中村 光絵 著 開成出版 (継続使用) 「保育をひらく造形表現」榎 英子著 萌文書林								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】造形表現の意義や活動のねらいと内容について理解し、造形の指導計画を立てることができる。造形表現に関する幅広い用語や材料・用具、技法などに関する知識を身につけている。								
LO-2	【技能】素材の特性や用具の扱い方を知り、創造的な造形表現に必要な技能を身につけ、材料や技法などの表現方法を工夫して表す。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】造形表現活動の意義や、作品の良さや美しさを感じ取り、感性や想像力を働かせ、創造的な表現活動や製作を考えたり、計画したりすることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】造形表現活動や鑑賞に主体的に取り組み、作品を大切にするとともに、活動の楽しさや喜びを味わう。								
LO-5	【人間性・社会性】作品鑑賞やグループでの活動や製作などに意欲的に参加し、各々の良さや美しさを尊重することができる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			10	60		30			100
LO-1				20					20
LO-2				20					20
LO-3			10	10					20
LO-4				10		15			25
LO-5						15			15
備考	評価方法：提出課題レポートにはワークシートを含む。その他の欄「A」は、授業に取り組む姿勢、態度。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	環境と造形：壁面構成 子ども参加の空間デザイン デザインと材料の準備	
	【予習】	0分
	【復習】造形活動の参考となる資料や作品を準備する。	45分
第2回	環境と造形：壁面構成 季節感や思い出を飾る。 役割分担と製作	
	【予習】製作に使用するさまざまな素材を収集する。	20分
	【復習】造形活動の参考となる資料や作品を準備する。	20分
第3回	環境と造形：壁面構成 季節感や思い出を飾る。 製作	
	【予習】製作に使用するさまざまな素材を収集する。	20分
	【復習】造形活動の参考となる資料や作品を準備する。	20分
第4回	環境と造形：壁面構成 季節感や思い出を飾る。 製作と材料・準備の確認	
	【予習】	0分
	【復習】作品の進行状況をグループ内で確認し、次時に向けて各自の準備等を確認する。	20分
第5回	環境と造形：壁面構成 季節感や思い出を飾る。 製作と完成及び展示	
	【予習】	0分
	【復習】作品を相互鑑賞し、製作した作品の材料、製作方法、留意点、感想等をレポートにまとめる。 レポート提出	60分
第6回	アニメーション：アニメーションの種類・成り立ち、赤青アニメーションの製作 作品提出	
	【予習】	0分
	【復習】作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	20分
第7回	自然素材を使って：石や砂を木を使った遊びと造形 「並べる・積み上げる・組み合わせる」	
	【予習】製作に使用する石や砂、木片や枝等を、収集する。	45分
	【復習】作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	20分
第8回	自然素材を使って：石や砂を木を使った遊びと造形 「石や木片を使ったオブジェの製作」 作品提出	
	【予習】	0分
	【復習】作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	20分
第9回	自然素材を使って：石や砂を木を使った遊びと造形 「自然素材と人工素材を組み合わせたオブジェの製作」 作品提出	
	【予習】製作に使用する自然素材や人工素材、収集する。	45分
	【復習】作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	20分
第10回	色・形・感触を楽しむ：スライム作り 振り返りシート提出	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回	風・空間を利用した造形：モビールを作る モビールの仕組みとワイヤーの特性を生かしてデザインを考える。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	風・空間を利用した造形：モビールを作る 作成したパーツを糸でワイヤーにくくりつけ完成させる。	
	【予習】	0分
	【復習】 作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	20分
第13回	紙を染める たたみ染め、絞り染め	
	【予習】	0分
	【復習】 作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	20分
第14回	紙を染める いろいろな製本の仕方と染め紙を使ったアコーディオンアルバムの製作 作品提出	
	【予習】	0分
	【復習】 夏期休業中に、アルバムの台紙に写真やイラスト、言葉を入れてアルバムを完成させる。 作品提出 作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	180分
第15回	共同制作 - 大学祭で幼児の遊びを引き出す造形作品 グループでの話し合い	
	【予習】	0分
	【復習】 前期授業で提出した作品やレポートを再度鑑賞・確認して、製作と学習を振り返る。 後期の製作に向け、作品のデザインを考える。	80分

授業科目名	図画工作 -2			科目コード	C143-13				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 造形表現		担当教員名	中山 里美					
開講時期	2年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	図画工作 - 1、2 保育内容(造形表現) 、 図画工作 - 1		後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	多様な創作活動の中で、「環境」に目を向けて、空間の活用や装飾、行事等に関わる製作に取り組みます。現場での実習を通して学んだ視点を生かして、幼児がより創造的な生活をすすす手立てを考えます。								
学習目標	造形表現活動をより広い視野から捉え、幅広い創作を通して幼児の保育や表現活動を計画・実践する力と感性を磨きます。								
キーワード	感性 想像 創造								
テキスト・ 参考書等	「子どもの造形表現」北沢昌代 畠山智宏 中村 光絵 著 開成出版 (継続使用) 「保育をひらく造形表現」榎 英子著 萌文書林								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】造形表現の意義や活動のねらいと内容について理解し、造形の指導計画を立てることができる。造形表現に関する幅広い用語や材料・用具、技法などに関する知識を身につけている。								
LO-2	【技能】素材の特性や用具の扱い方を知り、創造的な造形表現に必要な技能を身につけ、材料や技法などの表現方法を工夫して表す。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】造形表現活動の意義や、作品の良さや美しさを感じ取り、感性や想像力を働かせ、創造的な表現活動や製作を考えたり、計画したりすることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】造形表現活動や鑑賞に主体的に取り組み、製作過程を大切にするとともに、活動の楽しさや喜びを味わう。								
LO-5	【人間性・社会性】作品鑑賞やグループでの活動や製作などに意欲的に参加し、各々の良さや美しさを尊重することができる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			10	60		30			100
LO-1				20					20
LO-2				20					20
LO-3			10	10					20
LO-4				10		15			25
LO-5						15			15
備考	評価方法：提出課題レポートにはワークシートを含む。その他Aは、授業に取り組む姿勢、態度。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	空間・立体造形：段ボールを使った幼児の遊びを引き出す遊具や立体の製作 構想・意見交換	
	【予習】ワークシートにアイデアをスケッチする。	45分
	【復習】活動の参考となる資料や作品を準備する。	45分
第2回	空間・立体造形：段ボールを使った幼児の遊びを引き出す遊具や立体の製作 材料の組み立て	
	【予習】製作に参考となる資料や使用するダンボールやさまざまな素材を収集する。	45分
	【復習】	0分
第3回	空間・立体造形：段ボールを使った幼児の遊びを引き出す遊具や立体の製作 材料の組み立て・加工	
	【予習】製作に使用するさまざまな素材を収集する。	20分
	【復習】	20分
第4回	空間・立体造形：段ボールを使った幼児の遊びを引き出す遊具や立体の製作 完成・展示（大学祭） ワークシート提出	
	【予習】	0分
	【復習】 作品を展示会場に設置。幼児が作品で遊ぶ様子を観察したり、アンケート調査を行ったりする。 観察やデータを基に分析・考察する。 展示作品を相互鑑賞し、製作を振り返る。	100分
第5回	空間・立体造形：段ボールを使った幼児の遊びを引き出す遊具や立体の製作 ドキュメンテーションの作成・展示	
	【予習】	0分
	【復習】各グループのドキュメンテーションを相互鑑賞し、意見交換する。	50分
第6回	張り子技法を使って - 和紙や紐の下準備と貼り付け	
	【予習】製作に使用するさまざまな紙や紐を収集する。	20分
	【復習】	0分
第7回	張り子技法を使って - 和紙や紐の貼り付け・彩色・完成提出	
	【予習】製作に使用するさまざまな紙や紐を収集する。	20分
	【復習】作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	20分
第8回	織る・編む - いろいろな織り方、編み方（リリアン編み、指編み等）	
	【予習】製作に使用するさまざまな紐や毛糸を準備する。	20分
	【復習】	0分
第9回	織る・編む - ダンボールを使った織機の製作 作品提出	
	【予習】製作に使用するさまざまな紐や毛糸を準備する。	20分
	【復習】	0分
第10回	総合表現について / ステージ発表における衣装や大道具・小道具の役割と扱い方	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回	オペレッタ：衣装・大道具小道具製作 担当グループ分け	
	【予習】台本を読み、場面や情景をイメージする。	40分
	【復習】アイデアスケッチを相互鑑賞し、評価し合う。	20分
第12回	オペレッタ：衣装・大道具小道具製作 グループ内でデザインを検討し、計画を立てる。	
	【予習】各自のアイデアを用紙に記入する。	30分
	【復習】担当する部門に必要な材料や用具を確認する。	20分
第13回	オペレッタ：衣装・大道具小道具製作 グループごとに製作。	
	【予習】製作に使用する材料や用具を準備する。	40分
	【復習】	0分
第14回	オペレッタ：衣装・大道具小道具製作 出演学生と相談しながら、グループごとに製作。	
	【予習】製作に使用する材料や用具を準備する。	20分
	【復習】	0分
第15回	オペレッタ：衣装・大道具小道具製作 全体のイメージを統一し完成する。	
	【予習】	0分
	【復習】 オペレッタを鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの製作や活動を評価し合う。 2年間の授業で提出した作品やレポートを整理し、再度鑑賞・確認して、製作と学習を振り返る。 レポート提出	80分

授業科目名	体育			科目コード	C145-10				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 身体表現		担当教員名	大森 宏一					
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	体育					
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭2種免許 保育士資格								
授業の概要	保育に必要な運動の基礎技能を養います。また、さまざまな子どもの運動遊びの体験を通して、乳幼児期の運動遊びに関する専門的技能を身につけていきます。								
学習目標	運動遊びの企画、立案・実践・省察の流れをとうして、子どもの運動遊びを行う時の援助の方法を学び理解することを目指します。集団援助を行う際に必要な技能を身に付けます。								
キーワード	運動発達 運動遊び 安全 基本の運動 バランス・移動・操作								
テキスト・ 参考書等	倉・大森編 「子どもが育つ運動遊び」 みらい 2016年								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】乳幼児の発育発達の特徴をふまえ、保育の場での運動遊びの援助のあり方や、幼児期における運動遊びの意義を理解する								
LO-2	【技能】子どもの心身の発育発達を保障し、基本的な運動を基に遊びを構想・展開する技術を身につけている。自らが基本的な運動動作を習得し、指導にいかすことができる								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】乳幼児の発育発達を促す「運動遊び」について、運動発達段階に応じた身体活動や遊びの内容を考えたり、指導上の配慮について実践的に理解している。								
LO-4	【関心・意欲・態度】現代の子どもの育ちと子どもが育つ環境を的確に把握し、現状に応じた運動遊びのあり方についての考えを深め、実践にいかそうと努めている。								
LO-5	【人間性・社会性】ペアやグループでの活動に積極的に参加している。子どもへの愛情をもって安心安全を前提とした指導計画を企画・立案し仲間と共同して運営することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		10	10		40	40			100
LO-1						10			10
LO-2			10		30				40
LO-3		10			10				20
LO-4						10			10
LO-5						20			20
備考	模擬保育の終了時に反省会を行い発表した学生へ口頭でのコメントを行う。ミニツッパーパーでの内容について授業中にコメントを行う。 その他：A LO-1・LO-4 ミニツッパーパーによる関心度から考慮する。 LO-2 レポートは模擬保育の指導計画および指導後レポートの提出から判断する。 LO-3 LO-5 子どもの運動遊びの企画立案において子どもの発達を視野に入れた内容となっているかを判断する。 授業態度(グループへの関与)と模擬保育などの企画・立案・運営への参加度とする。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション（授業計画、内容、評価、進め方など） 模擬保育の方法とグループについて	
	【予習】シラバスを読んでおくこと。	0分
	【復習】模擬保育のグループについて確認すること。メンバーとの打ち合わせなど確認すること。	0分
第2回	運動遊びのとらえ方、運動遊びの実践	
	【予習】テキスト第1章 2章を読むこと。	15分
	【復習】子どもにとっての運動遊びのについて、自分なりの考え方を整理すること。	30分
第3回	運動遊びの実際 ささまざまな鬼ごっこの実践	
	【予習】テキスト の実践編についてさまざまな鬼ごっこを読んでおくこと。	15分
	【復習】運動遊びが実践できるように進め方や言葉がけを考える。	30分
第4回	運動遊びの実際 かけっこ遊びやまねっこ遊びの実践	
	【予習】テキスト の実践編について読んでおくこと。（まねっこ遊び・かけっこする遊び）	15分
	【復習】運動遊びが実践できるように進め方や言葉がけを考える。本日の内容を年齢別にアレンジする方法を考える。	30分
第5回	ボール運動の実際 投運動についての実践	
	【予習】テキスト の実践編について読んでおくこと。（ボール運動）	15分
	【復習】運動遊びが実践できるように進め方や言葉がけを考える。本日の内容を年齢別にアレンジする方法を考える。	30分
第6回	ボール運動の実際 蹴る キャッチするボール運動の実践	
	【予習】テキスト の実践編について読んでおくこと。（ボール運動）	15分
	【復習】運動遊びが実践できるように進め方や言葉がけを考える。本日の内容を年齢別にアレンジする方法を考える。ボール運動を行う際の安全の配慮について考える。	30分
第7回	バラバルーンを使った運動の実践 基本の動き	
	【予習】テキスト の実践編について読んでおくこと。（バラバルーン）	15分
	【復習】バラバルーンを使った運動のねらいや期待される効果について整理する。	30分
第8回	バラバルーンを使った運動の実践 曲を選んで基本の動きを組み合わせで構成する	
	【予習】基本の動きを確認する。	15分
	【復習】発表に向けて準備する（曲、流れ、構成、役割）	30分
第9回	バラバルーンを使った運動の実践 グループごとに発表する	
	【予習】発表に向けて準備する（曲、流れ、構成、役割）	15分
	【復習】発表したことについて省察する。	30分
第10回	運動遊びの模擬保育 ボール運動	
	【予習】模擬保育にあたり指導計画を作成する。実践にあたりグループでの役割と準備物について確認する。	15分
	【復習】まとめ（評価と省察、次回に向けた課題を考える）レポートの作成	30分

第11回	運動遊びの模擬保育      ボール運動（投運動）	
	【予習】模擬保育にあたり指導計画を作成する。実践にあたりグループでの役割と準備物について確認する。	15分
	【復習】まとめ（評価と省察、次回に向けた課題を考える）レポートの作成	30分
第12回	運動遊びの模擬保育      ごっこ遊び	
	【予習】模擬保育にあたり指導計画を作成する。実践にあたりグループでの役割と準備物について確認する。	15分
	【復習】まとめ（評価と省察、次回に向けた課題を考える）レポートの作成	30分
第13回	運動遊びの模擬保育      かけっこ遊び	
	【予習】模擬保育にあたり指導計画を作成する。実践にあたりグループでの役割と準備物について確認する。	15分
	【復習】まとめ（評価と省察、次回に向けた課題を考える）レポートの作成	30分
第14回	運動遊びの模擬保育      簡単な道具を用いた遊び	
	【予習】模擬保育にあたり指導計画を作成する。実践にあたりグループでの役割と準備物について確認する。	15分
	【復習】まとめ（評価と省察、次回に向けた課題を考える）レポートの作成	30分
第15回	まとめ      レポートの作成	
	【予習】模擬保育を通して子どもの運動遊びについてその意義を考える。	15分
	【復習】まとめ      レポートを提出する	30分

授業科目名	体育			科目コード	C145-11				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 身体表現		担当教員名	大森 宏一					
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	体育		後継科目						
関連科目	保育内容(健康 )、保育内容(健康 )								
資格等 取得との関連	保育士資格、幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	保育に必要な運動の基礎技能を養います。また、子どもの運動遊びの体験を通して、乳幼児期の運動遊びに関する専門的技術を身につけていきます。特に、輪やボールなど運動遊具を用いた動きづくりや遊びについて発達段階に応じた内容や展開の仕方について実践的に学びます。様々な運動を組み合わせ、音楽に合わせて全身的なリズム体操を創作します。模擬保育での運動遊びの実践を通して協調性の大切さを学びます。								
学習目標	乳幼児期の運動発達を理解し、体系的に運動遊びを実践することや適切な援助の方法について理解することを目標とします。また、リズム体操の創作を通して、より全身的でリズムカルな動きを身につけ、身体表現力を豊かに向上させることを目標とします。さらに仲間と協力して活動ができることを目指します。								
キーワード	運動発達 運動遊び 安全 リズム体操 運動遊具 運動会の遊び								
テキスト・ 参考書等	倉・大森編 「子どもが育つ運動遊び」 みらい 2016年								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	運動を遊びの中で楽しみながら運動経験することの重要性を理解する。操作性の運動を中心に、遊具や遊び、リズム体操の特徴や意義を理解している。								
LO-2	対象者の運動能力に合わせて、音楽を用いたリズム体操を、より全身的な動き・リズムカルで滑らかな動きで構成できる。幼児期に多様な動きの経験ができるような運動遊びの具体的内容とその展開や援助を工夫し、実践することができる。								
LO-3	様々な運動・動作を基に集団遊びを実践し、対象者の興味関心や技能レベルに合わせてその展開方法を工夫することができる。また模擬保育を通して自らの課題を見出し省察することにより新しい保育方法を考えることができる。								
LO-4	乳幼児に必要な運動経験について理解し、生活や運動遊びの中に取り入れる方法を具体的に考えて実践にいかそうと努めている。								
LO-5	ペアやグループでの活動に積極的に参加している。仲間と協調しながら安全に楽しく活動に取り組める。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30			30	40		100
LO-1			10			5	5		20
LO-2						10	20		30
LO-3			10			5	5		20
LO-4			10			5	5		20
LO-5						5	5		10
備考	その他A：実技課題(個人) その他B：実技課題(グループ活動)								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション（授業のねらい、計画、評価等についての説明）グループ分け	
	【予習】シラバスに目を通し、授業内容を把握する。	15分
	【復習】グループのメンバーを確認すること。	15分
第2回	リズム遊びの実際	
	【予習】幼稚園・保育所などで行っているリズム遊びについて調べておくこと。	15分
	【復習】安全で楽しいリズム遊びの援助方法について考える。	25分
第3回	リズム体操 発達に応じたリズム体操の実際	
	【予習】リズム体操について、曲の選択を行う	0分
	【復習】リズム体操の内容を記録しておくこと	0分
第4回	リズム体操 グループでのリズム体操の実際	
	【予習】リズム体操について、曲の選択を行う	0分
	【復習】リズム体操の内容を記録しておくこと	0分
第5回	リズム体操 季節の違いによるリズム体操の実際	
	【予習】リズム体操について、曲の選択を行う	0分
	【復習】リズム体操の内容を記録しておくこと	0分
第6回	なわを使った運動遊びの実際	
	【予習】短縄・長縄の基本的な跳び方を練習すること	0分
	【復習】子どもの発達に合わせた縄遊びの方法をレポートしておくこと	0分
第7回	競技の実際と企画運営について	
	【予習】歴史的背景などを調べること	0分
	【復習】企画運営および種目の練習を確認しておくこと	0分
第8回	ボール運動遊びのの実際と企画運営について 実際の運動遊びを企画運営する	
	【予習】運動会の役割や種目の練習をすること	0分
	【復習】今後の課題をはっきりとさせること	0分
第9回	模擬保育に向けた指導計画の立て方と実際	
	【予習】テキスト第4章を読んでおくこと	0分
	【復習】指導計画を書く（レポート課題）	0分
第10回	リズム体操の模擬保育の実際 おおむね3歳児対象としたもの	
	【予習】模擬保育に向けた準備をする（役割・準備物・流れを確認しシミュレーションしておくこと）	0分
	【復習】反省と次回への課題をレポートする。	0分

第11回	リズム体操の模擬保育の実践 おおむね4歳児対象としたもの	
	【予習】模擬保育に向けた準備をする(役割・準備物・流れを確認しシュミレーションしておくこと)	0分
	【復習】反省と次回への課題をレポートする。	0分
第12回	リズム体操の模擬保育の実践 おおむね5歳児対象としたもの	
	【予習】模擬保育に向けた準備をする(役割・準備物・流れを確認しシュミレーションしておくこと)	0分
	【復習】反省と次回への課題をレポートする。	0分
第13回	なわを使った運動遊びの模擬保育の実践	
	【予習】模擬保育に向けた準備をする(役割・準備物・流れを確認しシュミレーションしておくこと)	0分
	【復習】反省と次回への課題をレポートする。	0分
第14回	マット鉄棒などを使った模擬保育の実践	
	【予習】模擬保育に向けた準備をする(役割・準備物・流れを確認しシュミレーションしておくこと)	0分
	【復習】反省と次回への課題をレポートする。	0分
第15回	まとめ	
	【予習】これまでの模擬保育の振り返りをしておくこと	0分
	【復習】自らの課題を見出し、現場での実践に向けてのやるべき内容をレポートする。	0分

授業科目名	国語表現			科目コード	C147-10				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 国語表現		担当教員名	奥野 美友紀					
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	国語表現					
関連科目	保育内容(言葉、言葉) 音楽表現 造形表現 身体表現								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な言語活動の場面を想定し、それに即した実践的かつ総合的な表現能力を身につけるよう演習する。</li> <li>・班やグループ活動による相互評価・意見交換・共同作業を通して、コミュニケーションスキルの伸長を図る。</li> <li>・自らの言語感覚を豊かに養うとともに、保育現場での言語生活や子どもの言語発達に結びつく授業内容とする。</li> </ul>								
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの言語表現に寄り添い、その発達をうながすことができる。</li> <li>・他者と協働していくための適切なコミュニケーションスキルを身につける。</li> <li>・客観的な視点をもって考え、自ら分析・判断することができる。</li> <li>・言語表現を通して、豊かな感性と高い知性を身につける。</li> </ul>								
キーワード	コミュニケーションスキル、言語・非言語、リテラシー、発達、自己評価・相互評価、発達								
テキスト・ 参考書等	渡辺弥生・平山佑一朗・藤枝静暁編著『保育系学生のための日本語表現トレーニング』（三省堂、2013） 随時、プリントを用意する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ことば遊びや絵本の読み聞かせなど、子どもの言語活動をうながす方法についての知識を持っている。</li> <li>・新聞や書物などに述べられている、幼児教育に関わる課題を把握できる。</li> </ul>								
LO-2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育に関わる諸課題を分析的にとらえ、論理的にわかりやすく表現することができる。</li> <li>・保育現場で想定される言語活動について習熟している。</li> </ul>								
LO-3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語表現について、論理的・客観的に読み取り（聞き取り）、書く（話す）ことができる。</li> <li>・場面や相手を意識した、適切な社会活動を行うことができる。</li> </ul>								
LO-4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語表現を通して、自己評価・相互評価をそれぞれ習慣づけるとともに、自らのありようや生きかたについて考えることができる。</li> </ul>								
LO-5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループによる協議・発表・作業に積極的にかかわり、自らを表現すると同時に他者との協働を図ることができる。</li> <li>・社会生活における他者への共感性を身につけている。</li> </ul>								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			20	60		20			100
LO-1				20					20
LO-2			10	20					30
LO-3			10	20					30
LO-4						10			10
LO-5						10			10
備考	Aは、グループワークへの参加・発表態度。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション(授業のねらい、方法、評価、グループワーク等についての説明) アンケート記入 幼児教育と国語表現(国語表現の意義、保育とのかかわりについて理解を深める)	アンケ
	【予習】シラバスを読み、授業内容を理解する。 自分の言語生活を振り返る。	20分
	【復習】授業の全体像の確認。 国語表現を学ぶ目的についてまとめる。	40分
第2回	教科書 ソーシャルスキル編 「第1章 あいさつをする」 口言葉や短文朗読の練習を通して、滑らかな発音と心のこもった音声表現の技法を身につける。 また、さまざまなあいさつの場面を想定し、効果的なあいさつやあいさつの意義についてまとめる。	早
	【予習】教科書p.40-p.41「ソーシャルスキルの学び方」、同p.42-p.45を読み、内容を整理する。 課題	40分
	【復習】トレーニングシートp.20「あいさつをする」をまとめる。	50分
第3回	教科書 ソーシャルスキル編 第2章「話すスキルと聴くスキル」 さまざまな場面を想定した役割演技を通して、互いにつながるための技法を身につける。 また、自己紹介のための下書きメモを作成し、他者に伝える練習をする。	さ
	【予習】教科書p.46-p.50を読み、内容を整理する。 課題	30分
	【復習】トレーニングシートp.22「話すスキルと聴くスキル」をまとめる。	50分
第4回	教科書 スタディスキル編 第7章「子どもとの対話を支える表現」 に対する言葉のかけ方について、具体的事例を通して考える。子どもの言語表現の特性と、保育者が心がけるべき点について学ぶ。	子ども
	【予習】教科書30～34P「子どもとの対話を支える表現」を読み、内容を整理する。 課題	50分
	【復習】班内で意見交換し、「子どもとの対話を支える」ための表現上の留意点を400字程度にまとめる。	40分
第5回	保育遊び・保育教材としての言語表現 絵本について、選び方とその意義を学び、効果的な読み方について理解を深める(発表を行う)。	
	【予習】印象に残っている絵本について、ふりかえっておく。 課題 絵本の選書と小レポート	50分
	【復習】絵本についての考えをまとめる。	40分
第6回	教科書 ソーシャルスキル編 第3章「援助を要請する」 さまざまな場面での頼み方や断り方をロールプレイすることにより、上手な頼み方や断り方の技術を身につける。	さま
	【予習】教科書p.51-p.52「援助を要請する」、p.55-p.56「上手に断る」を読み、内容を整理する。 課題	50分
	【復習】トレーニングシートp.26「上手に断る」をまとめる。	40分
第7回	適切な日本語と敬語表現 かなづかい、表記法、敬語法について理解を深める(プリントを用意する)。	
	【予習】配布プリントを仕上げておく。	40分
	【復習】プリントで間違えたところについて習熟する。	20分
第8回	教科書 スタディスキル編 第4章「クリティカルに読む」 情報を客観的に捉え、物事を多面的な視点から捉えることの重要性を学ぶ。また、意見や主張の根拠を吟味して、自ら検証することに習熟する。	
	【予習】教科書p.16～p.19を読み、内容を整理しておく。	20分
	【復習】課題	50分
第9回	教科書 スタディスキル編 第5章「説明する」 抽象的な伝達内容を例に、音声で相手に伝える際に注意すべき点について考える。また、保育園での「お知らせ」を例に、その内容と目的について考察するとともに、効果的な表現について学ぶ。	
	【予習】話しことばでうまく説明できた・できなかった経験について例を挙げ、その理由についてまとめておく。	40分
	【復習】トレーニングシートp.10「運動会のお知らせ」を仕上げる。	40分
第10回	引用・要約する 教科書 スタディスキル編 第3章「要約する」および配布プリントでの学習を通して、要約・引用する技術を身につける。	
	【予習】教科書p.12pを読んで内容を整理する。また、配布プリントをまとめる。	50分
	【復習】トレーニングシートp.6で60字に要約した文章を引用しながら、400字程度の意見文を書く。	50分

第11回	志望動機・自己アピール文の書き方 自分を客観的にふりかえり、その特徴をPR文にする。自分の保育観をまとめ、志望動機に反映させる。	
	【予習】自分史年表をつくり、PRできるできごと、そのキャッチコピーを考える。 配布プリントをまとめておく。	50分
	【復習】相互批評に基づいて志望動機書を清書する。	40分
第12回	教科書 スタディスキル編 第6章「連絡する」 職場での情報伝達・共有・相談を意識する。具体的な事例を通して音声での連絡やメールでの連絡について考察し、その効果的な表現について習熟する。	
	【予習】教科書p.24-p.26「相手の立場に立ちながら連絡する」を読んで、挙げられている事例について考察する。	40分
	【復習】トレーニングシートp.11-p.12「事故の連絡」を仕上げる。	50分
第13回	教科書 スタディスキル編 第8章「保育の営みを表現する」 や保育園だよりの内容について考察し、その理想的な表現について考える。連絡帳	
	【予習】保育園・幼稚園の連絡帳があれば、その主だった記事を書き写す。 教科書p.35-p.36「真実を伝えようとする姿勢でクラスだよりを」を読み、クラスだよりのあり方についてまとめる。	50分
	【復習】トレーニングシートp.17-p.18「保育の営みを表現する」を仕上げる。	50分
第14回	就職用小論文を書く 効果的な文章の組み立て方(序論・本論・結論)について学ぶ。	
	【予習】新聞の社説を段落わけし、それぞれがどんな文から構成されているかを考える。 配布プリントをまとめておく。	50分
	【復習】効果的な序(書き出し、導入部分)を書く。	40分
第15回	就職用小論文を書く 前時の学習を踏まえて就職用小論文を書く。また、参考プリントに基づいて推敲する。	
	【予習】本論に相当する具体例を考えておく。	30分
	【復習】小論文を完成させる。	90分

授業科目名	国語表現			科目コード	C147-11				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 国語表現		担当教員名	梅本 恵					
開講時期	2年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	国語表現		後継科目						
関連科目	保育内容(言葉、言葉) 音楽表現 造形表現 身体表現								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な言語活動の場面を想定し、それに即した実践的かつ総合的な表現能力を身につけるよう演習する。</li> <li>・班構成をおこない、相互評価、意見交換、共同作業をとおしてもコミュニケーション能力の伸長を図る。</li> <li>・子どもの豊かな言語生活や言語発達に結びつく授業内容とする。</li> </ul>								
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 子どもの言語表現に寄りそい、その発達をうながすことができること。</li> <li>2 他者と協働していくための適切なコミュニケーション能力を身につけること。</li> <li>3 言語表現をとおして豊かな感性と高い知性を身につけること。</li> </ol>								
キーワード	コミュニケーション 発達 言語・非言語 自己評価・相互評価								
テキスト・ 参考書等	随時プリントを配布する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	・ことは遊び、絵本など子どもの言語活動をうながす方法についての知識を持っている。								
LO-2	・保育に関わる諸課題を分かりやすく言葉で表現する技術を有している。								
LO-3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習した知識・技術を総合して、論理的に課題解決をはかることができる。</li> <li>・保育現場を想定した、実践的な言語活動ができる。</li> </ul>								
LO-4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語表現としての自己評価・相互評価をとおして、自らの在り方、生き方について考えることができる。</li> <li>・新聞、書物などの読書、資料収集をとおして、主体的に生きる</li> </ul>								
LO-5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・班別の協議、発表、作業に積極的にかかわり、自らを表現することにより、他者との協働を図ることができる。</li> <li>・社会生活における他者への共感性を身につけている。</li> </ul>								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30	60		10			100
LO-1			10	20					30
LO-2			10	20					30
LO-3			10	20					30
LO-4						5			5
LO-5						5			5
備考	<p>(新聞切り抜きおよび授業中の作業シート) ファイルを作品とする。</p> <p>Aは班別作業での発表。</p> <p>提出物、レポートは評価を付して返却する。解答例、解説を配布する場合もある。</p>								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	絵の分析 分析と子どもの発達にかかわる理論を理解する。	
	【予習】参考プリントを読んで、絵の分析技法について確認する。	20分
	【復習】分析によって気づいたことをまとめる。	30分
第2回	絵の分析 演習：班内で相互に質問者、回答者になって分析を行う。	
	【予習】参考プリントを読んで、子どもへの問いかけ方を理解する。	30分
	【復習】絵の分析の効果についてまとめる。	40分
第3回	絵の分析 物語への変換。絵に基づいて物語を作る。	
	【予習】物語の視点や時制についてこれまで詠んだ物語から考える。	30分
	【復習】創作した物語を推敲する。	50分
第4回	昔話の分析 遠野物語から「お月お星」の語りを聴き、物語の特性について考える。	
	【予習】知っている昔話の概略をまとめる。	40分
	【復習】昔話と子どもとのかかわりについてまとめる。	30分
第5回	昔話の分析 用意した昔話の中から一つを選び、その展開を知るとともにあらすじを覚える。	
	【予習】富山県の民話を調べる。	30分
	【復習】選んだ昔話を素話できるように練習する。	40分
第6回	素話の発表会 演習：班ごとに覚えた昔話を語り合い、評価し合う。	
	【予習】選んだ昔話を素話できるように練習する。	40分
	【復習】素話の効果についてまとめる。	40分
第7回	唱歌・童謡の分析 「たきび」を中心に童謡の歌詞を分析する。童謡の成立・受容について知る。	
	【予習】どんな唱歌・童謡を知っているかのアンケートに答える。	20分
	【復習】「たきび」を物語化する。	40分
第8回	唱歌・童謡の分析 演習：提示した童謡・唱歌を分析し、その内容を発表し合う。	
	【予習】美智子妃の短歌を読む。（『現代短歌』より、解説文を読む）	20分
	【復習】新美南吉「でんでん虫のかなしみ」を読む。	20分
第9回	新美南吉の童話を読み、その物語性と主題をとらえ保護者向けの紹介文を書く。	
	【予習】配布したプリントの作品を読む。	50分
	【復習】気に入った作品を音読する。班内での評価を確認する。	30分
第10回	童話を創作する。（主人公・状況設定、話の展開あらすじを考える。視点、表現効果を意識する。）	
	【予習】これまで授業で読んだ童話の主人公、展開を確認する。	30分
	【復習】童話を作成しレポートする。	300分

第11回	童話の発表会（創作した童話を語り聞かせる。）	
	【予習】これまで授業で読んだ童話の主人公、展開を確認する。	30分
	【復習】童話の効果的な音読を考え、読む練習をする。	50分
第12回	かるたを楽しむ（ゲームを通していろは歌、五十音図をおさえ、いろは歌、いろはかるたの意味内容を知る）	
	【予習】いろはうたを調べる	30分
	【復習】いろはかるたの意味を覚える	50分
第13回	いろはかるたを創作する。（保育に関わる警句をかるたにし、発表し合う。）	
	【予習】テーマに沿った読み札の案を考える。	30分
	【復習】取り札を仕上げる。	30分
第14回	社会に向けて意見・思いを発信する。（投書）	
	【予習】新聞を読んで、気に入った投書を探し、その構成について考える。	50分
	【復習】依頼文を作成し、新聞に投稿する。	40分
第15回	未来への手紙（社会人になるにあたって、10年後の自分に向けた便りを書く）	
	【予習】手紙の形式を調べる。	30分
	【復習】封に入れ保管する。	30分

授業科目名	教育実習			科目コード	C151-10				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 教育実習		担当教員名	難波 純子 山川 賀世子 松居 紀久子 石動 瑞代					
開講時期	1年前期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	幼稚園教育要領		後継科目	教育実習、教育実習指導					
関連科目	専門科目の全て								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	<p>本学付属みどり野幼稚園で実習を行う(ただし、学内で日誌や指導案の書き方等を学ぶ講義日もあり)。前期の授業時間では観察・参加実習を中心に、9月は指導案ありの参加実習を中心に実施する。観察・参加実習においては、実習後の幼稚園教員との反省会や、実習日誌での振り返りを通して子どもの内面を読み取り、環境の構成、保育のあり方などを学ぶ。さらに実習研究では、実習記録、指導案を実際に作成し検討することによって実践的な力を身につける。</p>								
学習目標	<p>この実習では、付属幼稚園と本学科の教員との連携協力に基づく指導を通して、幼児の発達の特徴や、幼稚園教育のねらい・内容・方法、幼稚園の機能と社会的役割、教師の基本的な職務内容や役割についての基礎的理解を深める。</p>								
キーワード	<p>付属みどり野幼稚園 観察実習 参加実習 実習記録 指導案</p>								
テキスト・ 参考書等	<p>幼児教育学科作成テキスト「教育実習 ハンドブック」、付属みどり野幼稚園作成資料「教育実習 実習資料」 開仁志編著『実習日誌の書き方』一藝社、開仁志編著『指導案大百科事典』一藝社</p>								
学修成果	<p>学生が獲得するべき具体的な成果</p>								
LO-1	<p>【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる幼児の発達・生活・遊びについて理解している。</p>								
LO-2	<p>【技能】子どもの前に立って、分かりやすく話したり、手遊びをしたり表現する技術を身につけている。</p>								
LO-3	<p>【思考力・判断力・表現力】実習記録を丁寧に書くことによって論理的に考察し、自らを省察することができる。</p>								
LO-4	<p>【関心・意欲・態度】時間や規則を守り、基本的なマナーや言葉づかいができる。幼稚園での実習反省会では、積極的に担当教員に指導、助言を求める態度が身につけている。</p>								
LO-5	<p>【人間性・社会性】グループで実習を行うので、適切なコミュニケーション技術と態度を身につけ、他者との協働を図ることができる。また、深い愛情と豊かな感受性・共感性をもって、子どもに対応することができる。</p>								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	<p>幼稚園教員による実習評価80点と、本学科教員による実習日誌の評価20点の100点満点で評価します。</p>								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	学科主催オリエンテーション	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	幼稚園主催オリエンテーション	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	実習研究 記録の書き方を理解する	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	観察実習(1)	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	観察実習(2)	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	観察実習(3)	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	観察実習(4)	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	A・B班 参加実習(幼稚園) C・D班 講義(学内)	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	C・D班 参加実習(幼稚園) A・B班 講義(学内)	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	実習研究 参加実習の反省会	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回	実習研究 指導案の書き方	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	実習研究 指導案の書き方	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	実習研究 指導案の書き方	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	【夏季休業中9月】参加実習（指導案あり） 連続4日間	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	実習反省会 9月に実習した指導案を見直し、振り返りを行う。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	教育実習			科目コード	C151-11				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 教育実習		担当教員名	山川 賀世子 難波 純子					
開講時期	2年前期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	教育実習 教育実習指導		後継科目	教育実習指導					
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	幼稚園での10日間の実習に加えて、事前・事後学習を行う。								
学習目標	幼稚園で生活する幼児の発達の特徴や幼稚園教育の内容・方法、幼稚園の機能と社会的役割、教師の基本的職務内容や役割についての具体的理解を深める。								
キーワード	参加実習 担任実習 指導計画								
テキスト・ 参考書等	「実習日誌の書き方」開仁志編著 一藝社 「指導案大百科事典」 開仁志編著 一藝社 「実習の記録と指導案」田中亨宣胤監修、山本淳子編著 ひかりのくに 「幼稚園教育要領」文部科学省								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】「幼児の発達や興味・関心」「教育課程・指導計画」「保育内容や方法」等に関する知識を習得している。								
LO-2	【技能】幼児と親和的にかかわり、臨機応変な対応や措置を行う。集団や個々の幼児へのかかわり方を工夫して参加実習や担任実習に取り組むことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】環境設定や保健・安全面に配慮しながら、創意工夫して保育計画を立案し、準備、実施、評価することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】参加実習や担任実習に主体的に取り組み、的確な観察による考察や自己課題を日誌に記入できる。指導・助言を受け止め、向上心をもって積極的に実習に取り組む意欲をもつ。								
LO-5	【人間性・社会性】マナーや正しい言葉遣いを心掛け、職員や保護者、来客と対応することができる。時間や規則を守り、施設や備品の取り扱いに配慮することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						80	20		100
LO-1						10			10
LO-2						20			20
LO-3						20	10		30
LO-4						20	10		30
LO-5						10			10
備考	その他：(A)実習先幼稚園による評価80% (B)学科教員による実習日誌の評価20%								

授業科目名	<b>教育実習指導</b>			科目コード	C151-20				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 教育実習		担当教員名	難波 純子 山川 賀世子 梅本 恵 高木 三郎					
開講時期	2年通年		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	教育実習		後継科目	教育実習					
関連科目	専門科目の全て								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	前期は「教育実習」の事後指導および「教育実習」の事前指導とします。後期は「教育実習」の事後指導を中心に行います。教育実習後は自己評価に基づき自己課題を見つけ、その解決に取り組みます。「教育実習」の事前報告および事後報告等では、学科の専任教員全員が担当します。								
学習目標	事前指導では教育実習の意義や目標を理解し、実習の方法や心得などを学習します。事後指導では実習の内容を振り返り、課題の確認や実習成果のまとめを行います。自己課題の改善に向けた具体的な取り組みをします。								
キーワード	実習日誌 指導案 教材作成 実習の事前・事後指導								
テキスト・ 参考書等	開仁志編『実習日誌の書き方』一藝社 開仁志編『保育指導案大百科事典』一藝社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる幼児の発達・生活・遊びについて理解している。また、自己理解し、実習後の省察ができる。								
LO-2	【技能】人前に立って分かりやすく話したり、手遊びやパネルシアターなどを披露したりする表現技術を身につけている。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】子どもの年齢や発達過程を踏まえた上で保育における指導計画(指導案)をたて、「ねらい」と「内容」の違いを理解している。また、その内容に応じた「環境構成」や、「保育者の援助」の方法について自身で思考								
LO-4	【関心・意欲・態度】 保育教材について関心をもち、製作や模擬保育に主体的に取り組もうとする。								
LO-5	(該当しない)								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100						100
LO-1			100						100
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考	「教育実習」および「教育実習」終了後に提出した課題レポートを、各50点満点で評価し、提出期限の遅延に応じて減点となります。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	付属みどり野幼稚園入園準備1日実習 4/1,2のいずれか1日（4回分の授業に相当します） 4/1...3組、4/2...4組	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	付属みどり野幼稚園入園準備1日実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	付属みどり野幼稚園入園準備1日実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	付属みどり野幼稚園入園準備1日実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	教育実習指導オリエンテーション ・日誌の書き方（講義）	
	【予習】テキスト『実習日誌の書き方』p.14-21まで目を通しておき、実習日誌の「流れ記録タイプ」と「エピソード記録タイプ」の違いについて理解しておく。	30分
	【復習】	0分
第6回	日誌の書き方（演習）	
	【予習】テキスト『実習日誌の書き方』第6章 保育所（3歳以上児）p.127-158に目を通しておき、実習日誌を記入するにあたってのポイントをおさえておく。	30分
	【復習】	0分
第7回	指導案の作成について（講義）	
	【予習】テキスト『保育指導案 大百科事典』p.20-50まで、目を通しておき、「ねらい」と「内容」の違いについて把握しておく。	60分
	【復習】	0分
第8回	指導案の作成（演習）	
	【予習】テキスト『実習の記録と指導案』（ひかりのくに）p.59-66 「3歳児の部分実習指導案の例」に目を通しておき、指導案を記入する際のポイントをおさえておく。	60分
	【復習】	0分
第9回	指導案の作成（演習）	
	【予習】テキスト『実習の記録と指導案』（ひかりのくに）p.84-91 「4歳児の部分実習指導案の例」に目を通しておき、指導案を記入する際のポイントをおさえておく。	60分
	【復習】	0分
第10回	教材研究（演習） 教材作成	
	【予習】自分が部分実習で実施してみようと思う内容に沿って、必要な教材について研究し、材料を準備する（例：パネルシアター用のPペーパー、絵の具など）。	30分
	【復習】	0分

第11回	教材研究（演習） 教材作成	
	【予習】	0分
	【復習】授業時間に取り組んでいる教材作成の続きを行うい、完成に近づける。	30分
第12回	教材研究（模擬保育）	
	【予習】模擬保育発表に必要な教材等が、授業時間内に仕上がっていない場合は、必ず完成させてくる。	30分
	【復習】	0分
第13回	「教育実習」事前指導 オリエンテーション	
	【予習】幼児教育学科作成テキスト「学外実習の手引」をよく読み、内容を把握しておくこと。	30分
	【復習】	0分
第14回	「教育実習」事前指導 事前報告	
	【予習】実習先の幼稚園に訪問して、直前のオリエンテーションを受ける。その際に、園で打ち合わせてきた事項に基づいて、事前報告書を作成する。	100分
	【復習】	0分
第15回	【これより後期授業】 教育実習指導（後期）ガイダンス ・後期授業計画内容を確認、見直しを立てる。	
	【予習】シラバスを読み、授業内容を把握しておく。	15分
	【復習】実習先の幼稚園へ、一人一通お礼状を書き、各自で送付する(実習終了後、1週間以内に投函)。	60分
第16回	「教育実習」事後指導 ・担当教員への事後報告	
	【予習】教育実習 を振り返り、事後報告書を作成しておく。	60分
	【復習】教育実習 を終えて、振り返りの課題レポート（A4サイズ原稿用紙2枚分）を仕上げてください。	60分
第17回	事後指導 ・実習を振り返った上で、自己課題を設定する。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第18回	事後指導 担当教員との個別面談により、実習園からの実習評価内容を知る。そこから、自己評価との類似点・相違点などを確認し、今後の自己課題と取り組みの進め方について再検討する。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第19回	事後指導 ・自己課題解決への取り組み 自己点検・評価により確認できた自己課題の課題達成に向けて、具体的に計画を実践する。	
	【予習】次回から自己課題への取り組みで、教材作成をする場合、必要な材料を準備しておく（教材研究）。	20分
	【復習】	0分
第20回	・自己課題への取り組み	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第21回	・自己課題への取り組み	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第22回	・自己課題への取り組み	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第23回	・自己課題への取り組み	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第24回	事後指導 ・自己課題への取り組みのまとめ 各自の課題達成状況について、確認とまとめの意味で、模擬保育発表を行う。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	保育実習指導			科目コード	C152-10				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 保育実習		担当教員名	梅本 恵 中山 里美 大森 宏一 明柴 聡史 松居 紀久子					
開講時期	1年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	保育実習 -1 保育実習 -2								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	「保育実習 -1(保育所)」「保育実習 -2(施設)」の事前事後指導として行う。実習の意義や目標、実習内容、実習に臨む際の基本的な心構えや態度について学習する。実習前のオリエンテーション・特別講義などを通して、自己の実習課題を明らかにし、効果的に実習に取り組めるようにする。実習後は、各自作成のレポートなどを中心に、実習の成果と課題を把握する。実習施設に対する理解を深めるために、県内の児童福祉施設見学も予定している。								
学習目標	実習の意義および目的と実習の方法を理解する 実習日誌の基本的な書き方を習得する 実習に対する心構えや態度を学び、習得する 実習を振り返り、実習内容や自らの課題の達成状況を把握し、今後の学習課題を明らかにする								
キーワード	保育所 幼保連携型認定こども園 児童福祉施設 保育士 実習課題 実習日誌 省察								
テキスト・ 参考書等	『実習日誌の書き方』開仁志編著 一藝社 『指導案大百科事典』開仁志編著 一藝社 『学外実習の手引き』 『保育所保育指針解説書』厚生労働省 フレーベル館 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』内閣府								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育所や児童福祉施設の目的と概要、保育士の職務について理解している								
LO-2	【技能】保育所や児童福祉施設での実習に目標を持って取り組み、実習日誌や指導案を書くことができる								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】保育所や児童福祉施設をめぐる現代的な課題を論理的に考察できる								
LO-4	【関心・意欲・態度】実習施設と入所者、子どもを取り巻く環境に関心を持ち、援助の方法を習得する								
LO-5	【人間性・社会性】実習に対する心構えや態度を習得する								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100						100
LO-1			20						20
LO-2			20						20
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5			20						20
備考	この科目を履修しなければ、保育実習を受けることはできない。「保育実習指導」2単位は、「保育実習 -1」および「保育実習 -2」の単位取得が前提となる。成績評価は施設見学(20%)、保育実習 -1(40%)、保育実習 -2(40%)の各レポートにより評価する。(評価は、2年前期の成績に記載)								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 実習の種類と目的の理解、単位の認定、実習手続、スケジュール等	
	【予習】	0分
	【復習】 保育実習の概要を確認する	45分
第2回	保育所及び保育士の職務内容について（1） 保育所の一般的理解	
	【予習】 保育所保育指針の第1章総則を読む	60分
	【復習】 配布されたプリントを見直し、理解する	60分
第3回	保育所及び保育士の職務内容について（2） 保育士の職務内容の理解、デイリープログラム等	
	【予習】	0分
	【復習】 配布されたプリントと資料を見直し、理解する	60分
第4回	保育所及び保育士の職務内容について（3）	
	【予習】 『学外実習の手引き』を読む	45分
	【復習】 配布されたプリントを見直し、理解する	45分
第5回	実習日誌の基本的な構成とその内容（1） 実習の心構えと態度について	
	【予習】 テキスト『実習日誌の書き方』9ページから32ページを読み、不明な部分を把握する	60分
	【復習】 配布されたプリントを見直し、理解する	45分
第6回	実習日誌の基本的な構成とその内容（2）	
	【予習】 テキスト『実習日誌の書き方』33ページから66ページを読み、不明な部分を把握する	60分
	【復習】 配布されたプリントと資料を見直し、理解する	45分
第7回	保育所以外の児童福祉施設の一般的理解 施設の目的、概要、施設見学準備 施設見学前オリエンテーション	
	【予習】 児童家庭福祉の教科書を読み返す 児童家庭福祉の教科書を持ってくる	0分
	【復習】 配布されたプリントと資料を見直し、理解する	90分
第8回	施設見学準備 「施設見学のしおり」作成	
	【予習】 見学先の施設について調べる	90分
	【復習】 「施設見学のしおり」を完成させる	90分
第9回	施設見学 「施設見学のしおり」作成	
	【予習】 「施設見学のしおり」を熟読する	60分
	【復習】	0分
第10回	施設見学（9回目と併せて行う）	
	【予習】	0分
	【復習】 レポートを作成する	180分

第11回	児童福祉施設等への自主実習について	
	【予習】	0分
	【復習】	180分
第12回	指導案の作成について	
	【予習】テキスト『保育指導案大百科事典』の7ページから28ページを読み、不明な部分を把握する	60分
	【復習】指導案を完成させる	120分
第13回	実習施設の説明と希望調査	
	【予習】レポート用紙 実習に臨むにあたっての自分の問題意識を整理する	45分
	【復習】授業内容を振り返り、希望施設を絞る	45分
第14回	2年生との実習連絡会	
	【予習】	0分
	【復習】連絡会の内容を振り返り、整理する	45分
第15回	学外実習の心構え 自主実習の準備	
	【予習】	0分
	【復習】自主実習の手順について理解し、準備する	60分
第16回	「保育実習 -1」第1回実習オリエンテーション	
	【予習】	0分
	【復習】配布された資料を整理し、熟読する	90分
第17回	「保育実習 -1」第2回実習オリエンテーション	
	【予習】	0分
	【復習】配布された資料を熟読し理解する	90分
第18回	「保育実習 -1」特別講義 2年生からのガイダンス	
	【予習】ガイダンスに向けて、問題意識を整理する	45分
	【復習】特別講義の内容を振り返り、理解を深める	45分
第19回	「保育実習 -1」事前報告	
	【予習】事前指導に向けて、書類を作成する	90分
	【復習】	0分
第20回	事前学習 実習日誌の書き方 レポート作成指導	
	【予習】実習日誌の書き方で不明な部分を把握し、テキストで確認しておく	90分
	【復習】レポート作成の要点を確認する	45分

第21回	「保育実習 -1」事後報告	
	【予習】事後報告に向けて書類を作成する	90分
	【復習】	0分
第22回	「保育実習 -2」第1回実習オリエンテーション	
	【予習】	0分
	【復習】配布された資料を整理し、熟読する	90分
第23回	「保育実習 -2」第2回実習オリエンテーション	
	【予習】	0分
	【復習】配布された資料を熟読し理解する	90分
第24回	特別講義（1）	
	【予習】特別講義で取り上げられる施設について、概要を把握しておく	45分
	【復習】特別講義の内容を振り返り、理解を深める	45分
第25回	特別講義（2）	
	【予習】特別講義で取り上げられる施設について、概要を把握しておく	45分
	【復習】特別講義の内容を振り返り、理解を深める	45分
第26回	授業パワポ資料	
	【予習】特別講義で取り上げられる施設について、概要を把握しておく	45分
	【復習】特別講義の内容を振り返り、理解を深める	45分
第27回	「保育実習 -2」事前指導（1） レポート指導	
	【予習】	0分
	【復習】レポートを作成する	180分
第28回	「保育実習 -2」事前指導（2） 施設別課題学習	
	【予習】	0分
	【復習】実習施設について調べたことをまとめる	45分
第29回	「保育実習 -2」事前指導（3） 施設別課題学習	
	【予習】	0分
	【復習】実習施設について調べたことをまとめる	45分
第30回	「保育実習 -2」事前指導（4） 実習にあたっての留意事項	
	【予習】実習にあたり不明な点がないか確認しておく	15分
	【復習】授業内容を振り返り、確認する	30分

授業科目名	保育実習 -1			科目コード	C152-11				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 保育実習		担当教員名	梅本 恵 中山 里美					
開講時期	1年後期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	保育実習 保育実習指導					
関連科目	保育実習指導								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	保育所における3歳未満児を対象とした10日間の保育所実習である。 3歳未満児の発達の特徴や保育の内容、方法、保育所の機能と社会的役割、保育所保育士の基本的職務内容等について実践的に理解する。								
学習目標	保育所の目的及び機能等について、実地の体験を通して理解する。 保育所における3歳未満児の生活の様子や発達の姿について具体的な理解を深めると共に、必要な養護や教育の基本的内容について実践的に理解する。 保育士の基本的な職務内容や役割について現場保育者からの指導を受けると共に、観察や助手的な経験を通して自ら修得する。								
キーワード	保育所 保育士 3歳未満児								
テキスト・ 参考書等	『保育所保育指針解説書』 厚生労働省編 フレーベル館 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府・文部科学省・厚生労働省 フレーベル館								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 乳幼児の発達と生活、遊びに関する基本的な知識を有している。								
LO-2	【技能】 乳幼児と親和的に関わることができる。また、乳幼児の発達や興味関心を考慮して環境構成や保健・安全面に配慮した保育が行える。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 個々の乳幼児の具体的な理解を基に、適切な援助の方法について考察し、実践する。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 自ら指導・助言を求め、積極的に実習に取り組む。								
LO-5	【人間性・社会性】 基本的なマナーを身につけ、正しい言葉づかいで会話や記録ができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						80	20		100
LO-1						10	5		15
LO-2						10	5		15
LO-3						20	5		25
LO-4						20	5		25
LO-5						20			20
備考	その他A：実習先の保育所(園)からの評価 その他B：実習日誌の評価								

授業科目名	保育実習 -2			科目コード	C152-12				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 保育実習		担当教員名	大森 宏一 明柴 聡史 松居 紀久子					
開講時期	1年後期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	保育実習指導		後継科目	保育実習					
関連科目	社会福祉 児童家庭福祉 社会的養護 社会的養護内容								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	児童福祉施設及び障害者支援施設等での10日間の実習に加えて、事前・事後学習を行う。								
学習目標	施設の目的及び機能等について、実地の体験を通して理解する。 入所児(者)の生活と発達等について、個別的及び集団的関わりを通して理解する。 保育士等の役割及び職務内容、他の職員とのチームワークとうについて体験的に理解する。								
キーワード	参加実習 実習日誌 施設の社会的役割、施設保育士の業務内容								
テキスト・ 参考書等	施設実習パーフェクトガイド(わかば社)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】対象児(者)発達と生活に関する基本的な知識を有している								
LO-2	【技能・表現】対象児(者)に親和的にかかわり、環境設定や保健・安全面に配慮した支援が行える								
LO-3	【思考・判断】個々の対象児(者)に対する具体的理解を深め、適切な援助の方法を考察することができる								
LO-4	【関心・意欲・態度】参加実習に主体的に取り組み、実習日誌に的確に記述できる								
LO-5	【社会性・人間性】時間や規則を守るとともに、マナーや正しい言葉づかいに心がけ、職員等に対応することができる								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						80	20		100
LO-1						10			10
LO-2						20			20
LO-3						20	10		30
LO-4						20	10		30
LO-5						10			10
備考	その他：(A)実習先施設による評価80% (B)学科教員による実習日誌の評価20%								

授業科目名	保育実習指導			科目コード	C152-20				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 保育実習		担当教員名	中山 里美 梅本 恵					
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	保育実習指導 保育実習 - 1		後継科目	なし					
関連科目	保育実習 教育実習指導								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	「保育実習」の事前事後指導として行います。1年次の講義や実習「保育実習 - 1」（保育所3歳未満児）での学びをふまえて、事前指導では3歳以上児を対象とした保育所実習として、								
学習目標	「保育実習」（保育所3歳以上児）の意義・目的を理解し、保育について総合的に学びます。「保育実習 - 1」出の学びや関連科目の学習内容をふまえ、実践力の向上を図ります。また、実習の振り返りによって、課自己課題を明確にし、課題解決に向け取組むことを目標とします。								
キーワード	保育所 保育士 3歳以上児 担任実習 指導案								
テキスト・ 参考書等	1) 関仁志編『実習日誌の書き方』（一藝社） 2) 関仁志編『保育指導案大百科事典』（一藝社）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	[ 知識・理解 ] 保育所の機能や社会的役割、保育士の職務について理解している。								
LO-2	[ 技能 ] 幼児の生活や発達過程をふまえて、指導計画を立案することができる。保育内容や集団・個々の幼児へのかかわりを工夫し								
LO-3	[ 思考力・判断力・表現力 ] 自らの実習経験をとおして、幼児の生活や発達過程をふまえた養護や教育の基本的内容とその実践について考えることがで								
LO-4	[ 関心・意欲・態度 ] 幼児をとりまく生活環境や発達の様子、保育者の役割に関心をもち、基本的な援助の方法を身につける。								
LO-5	[ 人間性・社会性 ] 指導計画の立案や教材研究、模擬保育の実践などの課題に主体的に取り組み、指導を受けて自らの研究を深める。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100						100
LO-1			20						20
LO-2			20						20
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5			20						20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション「保育実習」の意義・目的、保育実習の自己評価と自己課題の設定	
	【予習】「学外実習の手引き」で「保育実習」の目的と内容について確認する。 「保育実習 -1」を実習日誌などで振りかえり、自己課題について考える。	20分
	【復習】	0分
第2回	保育実践力の向上 実習日誌の書き方（観察の視点、記録について）、自己課題解決への取り組み	
	【予習】テキスト1第2章1～5、第6章を読んで理解しておく。	30分
	【復習】実習日誌の書き方に関する課題を仕上げる。	20分
第3回	保育実践力の向上 指導計画の作成（作成の意義とポイント）、自己課題解決への取り組み（まとめ）	
	【予習】テキスト2、テキスト3該当箇所を読み、指導計画作成の意義について確認する。	30分
	【復習】指導計画作成の意義とポイントを確実に理解する。	20分
第4回	保育実践力の向上 指導計画の作成（活動を設定して指導計画を作成する）	
	【予習】部分担任実習の指導案作成を想定して活動内容を検討する。	30分
	【復習】作成途中の指導計画を書き進める。	20分
第5回	実習事前オリエンテーション（実習に関する資料の配布、説明）	
	【予習】[持参するもの]学外実習の手引き、実習ファイル	0分
	【復習】	0分
第6回	保育実践力の向上 指導計画の作成（完成した指導案をチェックして、提出）	
	【予習】全日担任実習の指導案作成のポイント（テキスト2第6章1～2）を読み、理解する。	30分
	【復習】指導計画作成においてチェックされた箇所を確認して修正する。	20分
第7回	保育実践力の向上 教材研究【演習】	
	【予習】教材研究に必要なものを準備する（材料や資料の収集等）。	30分
	【復習】教材作成の続きを行い、完成に近づける。	30分
第8回	保育実践力の向上 教材研究【演習】	
	【予習】教材作成の続きを行い、完成に近づける。	20分
	【復習】作成した教材の実践方法を考え、練習する。	20分
第9回	学外講師による特別講義「指導計画について」	
	【予習】配布資料を読んでおく。	30分
	【復習】講義で学んだ重要なポイントをノートに整理する。	30分
第10回	保育実践力の向上 模擬保育の実践	
	【予習】作成した指導計画や教材などを使用した模擬保育の実践に必要な準備をする。	20分
	【復習】実践の考察をする。	30分

第11回	実習事前報告 [ 個別指導担当教員の指導による ]	
	【予習】実習園を訪問し、事前打ち合わせを行う。 打ち合わせてきた内容に基づいて事前報告書を作成する。	60分
	【復習】	0分
第12回	事後指導 自己評価	
	【予習】実習中に受けた指導を日誌や反省会の記録などから整理し、確認する。	20分
	【復習】実習自己評価も参考に実習事後レポートを作成する。	120分
第13回	事後指導 実習事後報告 [ 個別指導担当教員の指導による ]	
	【予習】実習を振りかえり、事後報告書を作成する。	60分
	【復習】	0分
第14回	事後指導 自己課題の設定と課題解決のためのプラン作成	
	【予習】	0分
	【復習】自己課題解決にとりかかれるよう、必要なものを準備する（参考資料の収集、下調べ、材料の準備等）。	20分
第15回	事後指導 自己課題解決への取り組み	
	【予習】自己課題解決にとりかかれるよう、必要なものを準備する（参考資料の収集、下調べ、材料の準備等）。 自己課題解決に取り組む。	20分
	【復習】自己課題解決に取り組む。	20分

授業科目名	保育実習			科目コード	C152-21				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 保育実習		担当教員名	中山 里美 梅本 恵					
開講時期	2年前期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	保育実習 - 1 保育実習指導		後継科目						
関連科目	保育実習指導								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	保育所における3歳以上児を対象とした10日間の保育所実習である。幼児の発達の特徴や保育の内容、方法、保育所の機能と社会的役割、保育所保育士の基本的職務内容等について実践的に理解する。								
学習目標	保育所保育士の役割についてさらに理解を深める。幼児の発達過程や生活の様子を具体的に理解し、必要な援助や環境の構成を工夫して実践する。担任実習を経験し、指導計画作成とその実践から基本的な援助や指導のあり方を身につける。								
キーワード	保育所 保育士 3歳以上児 担任実習								
テキスト・ 参考書等	厚生労働省「保育所保育指針」 内閣府・文部科学省・厚生労働省「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」レベル								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	[知識・理解] 幼児の発達と生活・遊びに関する基本的な知識を有している。また、指導計画の意義、指導計画作成の基本的な知識を有している。								
LO-2	[技能] 幼児と親和的にかかわることができる。また、子どもの発達や興味関心を考慮した内容の活動を立案し、環境設定や保健・安全面に配慮した保育が行える。								
LO-3	[思考力・判断力・表現力] 個々の幼児への具体的な理解をもとに、適切な援助の方法について実践し、考察することができる。また、クラス全体へのかかわりにおいて、臨機応変に対応する。								
LO-4	[関心・意欲・態度] 自ら指導・助言を求め、積極的に参加実習や担任実習に取り組むことができる。また、指導内容を次の機会にいかして研究を深める態度が身についている。								
LO-5	[人間性・社会性] 基本的なマナーが身についており、正しい言葉づかいで会話や記録ができる。また、職員としての立場を理解して適切な行動をとることができる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						80	20		100
LO-1						10			10
LO-2						10	10		20
LO-3						20			20
LO-4						20	10		30
LO-5						20			20
備考	その他A：実習先の保育所(園)からの評価 その他B：実習日誌等の評価								

授業科目名	保育実習指導			科目コード	C152-30				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 保育実習		担当教員名	大森 宏一 明柴 聡史 松居 紀久子					
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	保育実習 - 2		後継科目						
関連科目	社会福祉 児童家庭福祉 社会的養護								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	保育実習 の事前・事後指導を行います。保育実習 -2での学びをふまえて、保育所以外の社会福祉施設で実習することの意義・目的を理解し、保育士としての専門性について考察していきます。また、実習施設の特性について学び、支援に必要な知識や方法を理解し、実際の支援に活用できることをめざします。								
学習目標	社会福祉施設における意義・目的を、これまでの実習や講義等の学びと関連付けて理解する。 社会福祉施設における具体的支援方法を学び、実践に活用できるようになる。 計画と観察、記録、自己評価に基づく保育(支援)の改善について、実践事例を通して理解する。								
キーワード	施設サービス 生活支援 自立支援 地域 コミュニケーション 計画と評価								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『施設実習パーフェクトガイド』（わかば社） 参考資料を配布します。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 実習施設や利用児者の特性を知り、必要な知識や支援内容について、説明することができる。								
LO-2	【技能・表現】 対象児者の個別的な理解に必要な観察・記録・考察のポイントを理解し、実践で活用できる。ねらいに応じた支援内容や配慮点を設定し、指導計画としてまとめることができる。								
LO-3	【思考・判断】 これまでの実習経験をふまえて、実習施設における適切な支援内容・方法について自ら考えることができる。実習場面における自己を省察し、文章化して評価することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 実習施設や対象児者の現状を的確に把握し、保育者(支援者)の果たす役割及び適切な支援について、実習場面と関連付けながら検討することができる。								
LO-5	【社会性・人間性】 ノンバーバルなコミュニケーションの重要性を理解し、自らのコミュニケーション力を高める。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			70			30			100
LO-1			20						20
LO-2			10			10			20
LO-3			10			10			20
LO-4			20			10			30
LO-5			10						10
備考	その他Aは、課題研究発表や討議の状況								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション「保育実習」の意義・目的	
	【予習】実習 を選択した理由、学びたい内容を文章化しておく。	20分
	【復習】保育実習 2の振り返り事項を再確認し、今回の実習での学習課題が適当であるか、十分に検討する。	20分
第2回	実習施設の機能及び役割の理解	
	【予習】実習施設種別の機能や役割を、教科書等で確認する。 実習施設のHPなどで、施設について調べる。	30分
	【復習】実習施設に関する研究テーマを検討する。	20分
第3回	実習施設における保育士等の業務内容の理解	
	【予習】実習施設についての情報を、HPや友人等から集めておく。	20分
	【復習】実習課題をふまえた、具体的な取組内容を整理し、文章としてまとめる。	40分
第4回	保育実践力の向上 観察の視点	
	【予習】これまでの日誌をふりかえって、観察の視点を確認する。	20分
	【復習】課題を仕上げる。	20分
第5回	保育実践力の向上 記録	
	【予習】これまでの日誌の記録内容を見返し、改善点を見出す。	20分
	【復習】課題を仕上げる。	20分
第6回	保育実践力の向上 指導計画の作成（講義）	
	【予習】指導計画のポイントについて、教科書で確認する。	20分
	【復習】特別講義の内容を、整理してまとめる。	30分
第7回	保育実践力の向上 指導計画の作成（演習）	
	【予習】提示された課題について、自ら指導計画を書いてみる。	30分
	【復習】講義中に受けた助言等を参考に、指導計画を完成する。	30分
第8回	保育実践力の向上 指導計画・評価	
	【予習】指導計画作成のポイントを再確認し、新たな指導計画作成にあたる。	30分
	【復習】助言等を参考に、指導計画を仕上げる。	30分
第9回	保育実践力の向上 教材研究	
	【予習】実習で取り組みたい内容を検討し、そのために必要な準備をする。	30分
	【復習】事前準備として取り組んだ内容を完成させる。	30分
第10回	実習事前打ち合わせ準備	
	【予習】実習打ち合わせで確認すべき事項をまとめる。	15分
	【復習】実習打ち合わせの内容をレポートにまとめる。実習までに、確認すべきことを整理する。	30分

第11回	事前指導 事前報告	
	【予習】実習事前報告用紙を完成する。	15分
	【復習】教員との打ち合わせ内容を確認し、実習事前準備をすすめる。	15分
第12回	事後指導 自己評価（対象者理解、支援技術、支援計画性、学びの態度等）	
	【予習】実習のふりかえりをする。	20分
	【復習】課題レポートを仕上げる。	40分
第13回	事後指導 事後報告 グループワーク	
	【予習】課題レポートに内容を再確認しておく。	10分
	【復習】グループワークでの学びを整理してまとめておく。	15分
第14回	事後指導 自己課題の明確化	
	【予習】保育実習 の実習日誌やグループワークでの学びを整理する。	20分
	【復習】担当教員との対話を通して学んだ内容を整理して記述する。	20分
第15回	事後指導 自己課題解決のためのプラン作成	
	【予習】前回の講義で検討した自己課題について、再確認する。	10分
	【復習】これからの保育者としての学びや就職活動と関連付けて、自己課題解決のためのプランをより具体化しておく。	15分

授業科目名	保育実習			科目コード	C152-31				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 保育実習		担当教員名	大森 宏一 明柴 聡史 松居 紀久子					
開講時期	2年前期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	保育実習 - 2		後継科目						
関連科目	社会福祉 児童家庭福祉 社会的養護 社会的養護内容								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	児童福祉施設及び障害者支援施設等での10日間の実習に加えて、事前・事後学習を行う。								
学習目標	施設の目的及び機能等について、実地の体験を通して理解する。 入所児(者)の生活と発達等について、個別的及び集団的関わりを通して理解する。 保育士等の役割及び職務内容、他の職員とのチームワークとうについて体験的に理解する。								
キーワード	参加実習 実習日誌 施設の社会的役割、施設保育士の業務内容								
テキスト・ 参考書等	施設実習パーフェクトガイド(わかば社)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】対象児(者)発達と生活に関する基本的な知識を有している								
LO-2	【技能・表現】対象児(者)に親和的にかかわり、環境設定や保健・安全面に配慮した支援が行える								
LO-3	【思考・判断】個々の対象児(者)に対する具体的理解を深め、適切な援助の方法を考察することができる								
LO-4	【関心・意欲・態度】参加実習に主体的に取り組み、実習日誌に的確に記述できる								
LO-5	【社会性・人間性】時間や規則を守るとともに、マナーや正しい言葉づかいに心がけ、職員等と対応することができる								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						80	20		100
LO-1						10			10
LO-2						20			20
LO-3						20	10		30
LO-4						20	10		30
LO-5						10			10
備考	その他：(A)実習先施設による評価80% (B)学科教員による実習日誌の評価20%								

授業科目名	総合演習			科目コード	C161-10				
科目区分	専門科目 - 総合演習		担当教員名	高木 三郎					
開講時期	2年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	保育・教職実践演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	<p>【総合演習(教育)】  幼児期の教育に関わるテーマから、自らの問題意識を整理し、関連文献を読み進めることで研究課題を設定する。設定した研究課題について、適切な調査方法を選び、調査・分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を行い、研究結果をまとめ、発表させる。</p>								
学習目標	<p>「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。</p>								
キーワード	研究課題、研究の方法、結果と考察、幼児期の教育								
テキスト・ 参考書等	各班の研究テーマに応じて、その都度指示する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、乳幼児期における教育の意義や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能】研究課題について、適切な研究方法を選び、分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決に向けて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【社会性・人間性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			60		20	20			100
LO-1			20						20
LO-2									
LO-3			20		20				40
LO-4			20						20
LO-5						20			20
備考	<p>自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。  また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見通しを持って計画的に取り組むこと。  提出課題については、適時、個別指導・グループ指導を行う。</p>								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	配属調整	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	オリエンテーション（総合演習全体について）	
	【予習】自らの関心について把握する	15分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える	30分
第3回	○研究課題の検討と設定 教員やゼミメンバーとの議論を通じて、自身の関心を明確化する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	研究課題の検討と設定 教員やゼミメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査等を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第6回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査等を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第7回	○研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	15分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	30分
第8回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	○調査準備をすすめる	
	【予習】	0分
	【復習】調査準備をすすめる	90分
第10回	○調査準備をすすめる	
	【予習】	0分
	【復習】調査準備を完成させる	180分

第11回	○オリエンテーション 中間発表に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	○調査の実施	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	180分
第13回	○調査の実施（継続）	
	【予習】	0分
	【復習】 調査実施を継続する	90分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果の整理を進める	180分
第15回	○調査の実施 中間発表に向けて、ポスター発表に準備を進める	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表の準備を進める	180分
第16回		
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを制作する	90分
第17回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを完成させる	90分
第18回	○中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	45分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果をまとめる	135分
第20回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる	135分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミメンバーと検討する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第25回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】	0分
	【復習】調査協力者への報告準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	90分
第29回	○発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	総合演習			科目コード	C161-10				
科目区分	専門科目 - 総合演習		担当教員名	石動 瑞代					
開講時期	2年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	保育・教職実践演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	【総合演習（保育）】 保育実習や短大での講義、日常生活場面で感じた、保育や子育てについての疑問や問題意識を整理し、子どもの育ちや親子関係についての関連文献を読み進めることで研究課題を設定する。設定した研究課題について、適切な調査方法を選び、調査・分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を行い、研究結果をまとめ、発表させる。保育現場での実践に役立つ内容の研究とすることを基本とする。								
学習目標	「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等	各班の研究テーマに応じて、その都度、指示する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能・表現】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考・判断】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【社会性・人間性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			60		20	20			100
LO-1			20						20
LO-2									
LO-3			20		20				40
LO-4			20						20
LO-5						20			20
備考	<p>自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。  また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見通しを持って計画に取り組むこと。  提出課題に対しては口頭及び紙面によるコメントのほか、対話を通して、さらなる探究に結びつけるようにする。</p>								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	配属調整	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	○オリエンテーション 総合演習全体について	
	【予習】自らの関心について把握する	15分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える	30分
第3回	○研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を明確化する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	○研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	○研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画の構想を描く	15分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	30分
第8回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	○調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
第10回	○調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	○オリエンテーション 「中間発表」に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	○調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	180分
第13回	○調査の実施 調査を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	90分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果を整理する	180分
第15回	○調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを制作する	90分
第17回	○中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを完成させる	90分
第18回	○中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	45分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】	0分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	○発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する。	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	総合演習			科目コード	C161-10				
科目区分	専門科目 - 総合演習		担当教員名	望月 健一					
開講時期	2年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	保育・教職実践演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	<p>【総合演習（外国の児童文化）】          自らの問題意識を整理し、関連文献を読み進めることで研究課題を設定する。設定した研究課題について、適切な調査方法を選び、調査・分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を行い、研究結果をまとめ、発表させる。          本ゼミナールでは、外国の児童文化・保育・教育、外国の伝承童謡・童話・児童文学・ファンタジー等の分野を扱う。研究テーマに基き班分けを行った後、班ごとに学生・教員間で意見交換を行いながら研究を進める。</p>								
学習目標	「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等	当ゼミナールの共通参考文献・ウェブサイトは、以下の通り。また、各班の研究テーマに応じて、その都度、指示する。 ・外務省ホームページ < <a href="http://www.mofa.go.jp/mofaj">www.mofa.go.jp/mofaj</a> >								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】研究課題について、設定期由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			60		20	20			100
LO-1			20						20
LO-2									
LO-3			20		20				40
LO-4			20						20
LO-5						20			20
備考	自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。 また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見直しを持って計画に取り組むこと。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	配属調整	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	○オリエンテーション 総合演習全体について	
	【予習】自らの関心について把握する	15分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える	30分
第3回	○研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を明確化する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	○研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	○研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画の構想を描く	15分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	30分
第8回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	○調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
第10回	○調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	○オリエンテーション 「中間発表」に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	○調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	180分
第13回	○調査の実施 調査を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	90分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果を整理する	180分
第15回	○調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを制作する	90分
第17回	○中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを完成させる	90分
第18回	○中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	45分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】	0分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	○発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する。	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	総合演習			科目コード	C161-10				
科目区分	専門科目 - 総合演習		担当教員名	梅本 恵					
開講時期	2年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	保育・教職実践演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	【総合演習：保育・教育】 自らの問題意識を整理し、関連文献を読み進めることで研究課題を設定する。設定した研究課題について、適切な調査方法を選び、調査・分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を受け、研究結果をまとめ、発表する。								
学習目標	「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等	各班のテーマに応じてその都度指示する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している								
LO-2	【技能・表現】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる								
LO-3	【思考・判断】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる								
LO-5	【社会性・人間性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			60		20	20			100
LO-1			20						20
LO-2					20				20
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5						20			20
備考	自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること 研究内容に応じた研究計画を立案し、見直しを持って計画的に取り組むこと								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	配属調整	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	オリエンテーション 総合演習全体について	
	【予習】自らの関心について把握する	15分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える	30分
第3回	研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーと議論を通じて、自身の関心を明確化する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査等を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画を描く	15分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	30分
第8回	研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
第10回	調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	オリエンテーション 中間発表に関するオリエンテーションを行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	180分
第13回	調査の実施 調査を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	90分
第14回	調査の実施 調査の実施と並行として、結果の整理を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果を整理する	180分
第15回	調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを制作する	90分
第17回	中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを完成させる	90分
第18回	中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	45分
第19回	結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第21回	結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第22回	記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第23回	記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第24回	記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する。	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】	0分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	総合演習			科目コード	C161-10				
科目区分	専門科目 - 総合演習		担当教員名	中山 里美					
開講時期	2年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	保育・教職実践演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	造形表現：自らの問題意識を整理し、造形表現に関連する研究課題を設定する。設定した研究課題に応じて、制作や実践、調査活動に取り組み分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を行い、研究結果をまとめ、発表させる。								
学習目標	「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等	各班の研究テーマに応じて、その都度、指示する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			60		20	20			100
LO-1			20						20
LO-2									
LO-3			20		20				40
LO-4			20						20
LO-5						20			20
備考	自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。 また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見直しを持って計画に取り組むこと。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	配属調整	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	○オリエンテーション 総合演習全体について	
	【予習】自らの関心について把握する	15分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える	30分
第3回	○研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を明確化する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	○研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	○研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画の構想を描く	15分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	30分
第8回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	○調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
第10回	○調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	○オリエンテーション 「中間発表」に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	○調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	180分
第13回	○調査の実施 調査を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	90分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果を整理する	180分
第15回	○調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを制作する	90分
第17回	○中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを完成させる	90分
第18回	○中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	45分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】	0分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	○発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する。	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	総合演習			科目コード	C161-10				
科目区分	専門科目 - 総合演習		担当教員名	難波 純子					
開講時期	2年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	保育内容(音楽表現、)		後継科目						
関連科目	保育・教職実践演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	【総合演習：音楽表現】 自らの問題意識を整理し、関連文献を読み進めることで研究課題を設定する。設定した研究課題について、適切な調査方法を選び、調査・分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を受け、研究結果をまとめ、発表する。								
学習目標	「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等	各班のテーマに応じてその都度指示する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している								
LO-2	【技能】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる								
LO-5	【人間性・社会性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			60		20	20			100
LO-1			20						20
LO-2					20				20
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5						20			20
備考	自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること 研究内容に応じた研究計画を立案し、見直しを持って計画的に取り組むこと								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	配属調整	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	オリエンテーション 総合演習全体について	
	【予習】自らの関心について把握する	15分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える	30分
第3回	研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーと議論を通じて、自身の関心を明確化する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査等を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画を描く	15分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	30分
第8回	研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
第10回	調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	オリエンテーション 中間発表に関するオリエンテーションを行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	180分
第13回	調査の実施 調査を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	90分
第14回	調査の実施 調査の実施と並行として、結果の整理を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果を整理する	180分
第15回	調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを制作する	90分
第17回	中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを完成させる	90分
第18回	中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	45分
第19回	結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第21回	結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第22回	記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】 記録集原稿を執筆する	90分
第23回	記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】 記録集原稿を執筆する	90分
第24回	記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する。	
	【予習】	0分
	【復習】 記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】 記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】	0分
	【復習】 調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】 プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】	0分
	【復習】 プレゼンテーション資料を作成する	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】 プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】	0分
	【復習】 プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	総合演習			科目コード	C161-10				
科目区分	専門科目 - 総合演習		担当教員名	山川 賀世子					
開講時期	2年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	保育・教職実践演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	【心理学】自らの問題意識を整理し、関連文献を読み進めることで研究課題を設定する。設定した研究課題について、適切な調査方法を選び、調査・分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を行い、研究結果をまとめ、発表させる。心理学の分野では、質問紙・実験・観察・面接などから最適な方法を選択し、そこから得られたデータを統計的に処理した後、結果を読み取り、解釈し、考察を行う。								
学習目標	「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等	研究テーマに応じて、その都度、指示する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			60		20	20			100
LO-1			20						20
LO-2									
LO-3			20		20				40
LO-4			20						20
LO-5						20			20
備考	自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。 また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見直しを持って計画に取り組むこと。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	配属調整	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	○オリエンテーション 総合演習全体について	
	【予習】自らの関心について把握する	15分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える	30分
第3回	○研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を明確化する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	○研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	○研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画の構想を描く	15分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	30分
第8回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	○調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
第10回	○調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	○オリエンテーション 「中間発表」に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	○調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	180分
第13回	○調査の実施 調査を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	90分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果を整理する	180分
第15回	○調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを制作する	90分
第17回	○中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを完成させる	90分
第18回	○中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	45分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】	0分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	○発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する。	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	総合演習			科目コード	C161-10				
科目区分	専門科目 - 総合演習		担当教員名	大森 宏一					
開講時期	2年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	保育・教職実践演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	【総合演習（体育・健康）】 自らの問題意識を整理し、関連文献を読み進めることで研究課題を設定する。設定した研究課題について、適切な調査方法を選び、調査・分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を行い、研究結果をまとめ、発表させる。								
学習目標	「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等	各班の研究テーマに応じて、その都度、指示する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能・表現】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考・判断】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【社会性・人間性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			60		20	20			100
LO-1			20						20
LO-2									
LO-3			20		20				40
LO-4			20						20
LO-5						20			20
備考	自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。 また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見直しを持って計画に取り組むこと。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	配属調整	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	○オリエンテーション 総合演習全体について	
	【予習】自らの関心について把握する	15分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える	30分
第3回	○研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を明確化する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	○研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	○研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画の構想を描く	15分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	30分
第8回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	○調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
第10回	○調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	○オリエンテーション 「中間発表」に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	○調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	180分
第13回	○調査の実施 調査を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	90分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果を整理する	180分
第15回	○調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを制作する	90分
第17回	○中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを完成させる	90分
第18回	○中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	45分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】	0分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	○発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する。	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	総合演習			科目コード	C161-10				
科目区分	専門科目 - 総合演習		担当教員名	松居 紀久子					
開講時期	2年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	保育内容(音楽表現、)		後継科目						
関連科目	保育・教職実践演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	<p>【 総合演習 保健 】</p> <p>自らの問題意識を整理し、関連文献を読み進めることで研究課題を設定する。設定した研究課題について、適切な調査方法を選び、調査・分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を行い、研究結果をまとめ、発表させる。本ゼミナールでは、子どもの保健、病気等の分野を扱う。研究テーマに基づき班分けを行った後、班ごとに学生・教員間で意見交換を行いながら研究を進める。</p>								
学習目標	<p>「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。</p>								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等	各班のテーマに応じてその都度指示する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している								
LO-2	【技能・表現】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる								
LO-3	【思考・判断】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる								
LO-5	【社会性・人間性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			60		20	20			100
LO-1			20						20
LO-2					20				20
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5						20			20
備考	<p>自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること 研究内容に応じた研究計画を立案し、見直しを持って計画的に取り組むこと</p>								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	配属調整	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	オリエンテーション 総合演習全体について	
	【予習】自らの関心について把握する	15分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える	30分
第3回	研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーと議論を通じて、自身の関心を明確化する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査等を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画を描く	15分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	30分
第8回	研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
第10回	調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	オリエンテーション 中間発表に関するオリエンテーションを行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	180分
第13回	調査の実施 調査を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	90分
第14回	調査の実施 調査の実施と並行として、結果の整理を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果を整理する	180分
第15回	調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを制作する	90分
第17回	中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを完成させる	90分
第18回	中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	45分
第19回	結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第21回	結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第22回	記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】 記録集原稿を執筆する	90分
第23回	記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】 記録集原稿を執筆する	90分
第24回	記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する。	
	【予習】	0分
	【復習】 記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】 記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】	0分
	【復習】 調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】 プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】	0分
	【復習】 プレゼンテーション資料を作成する	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】 プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】	0分
	【復習】 プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	総合演習			科目コード	C161-10				
科目区分	専門科目 - 総合演習		担当教員名	明柴 聡史					
開講時期	2年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	<p>【総合演習（福祉）】 福祉の理念・制度・方法にかかわるテーマから、自らの問題意識を整理し、関連文献を読み進めることで研究課題を設定する。設定した研究課題について、適切な調査方法を選び、調査・分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を行い、研究結果をまとめ、発表させる。</p>								
学習目標	<p>「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。</p>								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等	各班の研究テーマに応じて、その都度、指示する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【社会性・人間性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			60		20	20			100
LO-1			20						20
LO-2									
LO-3			20		20				40
LO-4			20						20
LO-5						20			20
備考	<p>自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。 また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見直しを持って計画に取り組むこと。 提出課題については、適時、個別指導・グループ指導を行う。</p>								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	配属調整、授業概要のガイダンス	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	○オリエンテーション 総合演習全体について	
	【予習】自らの関心について把握する 新聞やメディアから児童家庭福祉の課題に疑問を持つ	15分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える	30分
第3回	○研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を明確化する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	○研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	○研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画の構想を描く	15分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	30分
第8回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	○調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
第10回	○調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	○オリエンテーション 「中間発表」に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	○調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	180分
第13回	○調査の実施 調査を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	90分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果を整理する	180分
第15回	○調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを制作する	90分
第17回	○中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを完成させる	90分
第18回	○中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	45分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】	0分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	○発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する。	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	保育・教職実践演習			科目コード	C161-20				
科目区分	専門科目 - 総合演習	担当教員名	梅本 恵 山川 賀世子 高木 三郎 明柴 聡史						
開講時期	2年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)		後継科目	なし						
関連科目	総合演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	幼稚園教諭・保育士に求められる資質能力について、現場職員による講義やグループ討論、保育内容の構想・実践等を通して、具体的に学びます。また、幼稚園教諭二種免許及び保育士資格関連科目の履修状況や、保育・教育実習等を通しての学びをふまえ、必要な資質能力が自らに統合・形成されているかを、確認していきます。								
学習目標	保育者（幼稚園教諭・保育士）に必要な資質能力について、「遊びの広場」活動実践を通じて具体的に理解する。自らのこれまでの学びを振り返り、必要に資質能力が身についているか確認する。必要な資質能力を身につけるための自己課題を見出し、改善のための方法を検討する。								
キーワード	社会性・対人関係能力 乳幼児理解とクラス経営 保育内容等の指導力 使命感・責任感 教育的愛情と感性 「遊びの広場」活動実践								
テキスト・ 参考書等	『幼稚園教育要領解説』 文部科学省 フレーベル館 『保育所保育指針解説書』 厚生労働省 フレーベル館 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府・文部科学省・厚生労働省 フレーベル館								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 乳幼児期の保育・教育全般及び子どもの発達や心理等に関する知識を習得し、活用することができる。「使命感・責任感、教育的愛情と感性」「社会性・対人関係能力」「乳幼児理解やクラス経営」「保育内容等の指導力」の具								
LO-2	【技能・表現】 保育環境や教材を分析し、「保育のねらいと子どもの姿に応じた保育」を構想する力を身につけている。また、保育を行う上での基本的な表現技術を身につけている。								
LO-3	【思考・判断】 現代的な保育課題に関心を持ち、考察することができる。また、自らを省察し、必要な力が身についているかを確認するとともに、自己課題を見だし、その解決法を検討することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 子どもの状況に応じた保育実践をめざして、保育の現状や自らの保育を振り返り、適切な評価を行えるよう努めている。教育的愛情と感性を深めることを意識し、努力しようとする。								
LO-5	【社会性・人間性】 自らの意見をもち、他者に的確に伝えると同時に、他者の意見に耳を傾け、協力して課題に取り組むことができる。また、グループ内での役割を適切に遂行することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30		50	20			100
LO-1			30						30
LO-2					20				20
LO-3					20				20
LO-4					10				10
LO-5						20			20
備考	その他Aは、グループワークの取り組み姿勢								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 授業内容の説明 「遊びの広場」活動の進め方	
	【予習】	50分
	【復習】	60分
第2回	乳幼児理解と保育内容の構想 「遊びの広場」活動を計画する 遊びの内容と役割分担	
	【予習】	0分
	【復習】 取り組む遊びに関する資料を集める。	60分
第3回	乳幼児理解と保育内容の構想 「遊びの広場」のテーマ、遊びの内容を考える	
	【予習】 「遊びの広場」のテーマに合わせた遊びを考えておく	80分
	【復習】 担当する遊びについて、教材を準備する	100分
第4回	乳幼児理解と保育内容の構想 「遊びの広場」活動の準備をする	
	【予習】 全体のイメージと自分の担当を整理し、必要な教材を準備しておく	70分
	【復習】 遊びの展開過程を考えておく	70分
第5回	乳幼児理解と保育内容の構想 遊びの展開過程を考え、指導案を作成する	
	【予習】 担当する遊びのねらいと展開の方法を考えておく	50分
	【復習】 指導案を完成させる	120分
第6回	乳幼児理解と保育内容の構想 リハーサルを行い、環境を再構成する	
	【予習】 担当する遊びがスムーズに展開できるよう準備しておく	120分
	【復習】 リハーサルを踏まえ、必要な準備と環境構成を行う	180分
第7回	保育展開と表現技術 「遊びの広場」活動の実践（Aグループ）	
	【予習】 実践に向けた準備を行う	120分
	【復習】 保育実践記録を作成する	120分
第8回	保育展開と表現技術 「遊びの広場」活動の実践（Bグループ）	
	【予習】 実践に向けた準備を行う	120分
	【復習】 保育実践記録を作成する	120分
第9回	保育展開と表現技術 「遊びの広場」活動の実践（Cグループ）	
	【予習】 実践に向けた準備を行う	120分
	【復習】 保育実践記録を作成する	120分
第10回	他者との協力と課題探究 「遊びの広場」活動ドキュメンテーションの作成	
	【予習】 取り組み方を振り返り、伝えたいことを整理しておく	80分
	【復習】 ドキュメンテーションを完成させる	180分

第11回	他者との協力と課題探究 「遊びの広場」活動実践過程の振り返りと自己課題の把握	
	【予習】	0分
	【復習】発表準備をしておく	120分
第12回	他者との協力と課題探究 グループ討議の内容発表とまとめ 履修カルテの確認	
	【予習】発表の準備と分担をしておく	120分
	【復習】自己課題を再度確認しておく	60分
第13回	使命感・責任感、教育的愛情と感性 小学校現職教諭による講義	
	【予習】これまでの授業や実習における、使命感・責任感、教育的愛情と感性についての学びを整理しておく。	50分
	【復習】講義内容をまとめ、自分なりの考えを整理する。	100分
第14回	使命感・責任感、教育的愛情と感性 設定課題についてのグループ討議	
	【予習】第13回の講義内容を確認し、これまでの学びとあわせて、使命感・責任感、教育的愛情と感性の内容について考える。	60分
	【復習】グループ討議でた意見をまとめ、発表資料をしあげる。	120分
第15回	使命感・責任感、教育的愛情と感性 討議課題についてのグループ発表	
	【予習】発表資料を確認し、わかりやすく、説得力のある発表内容を工夫する。	80分
	【復習】使命感・責任感、教育的愛情と感性についての学びと、自己課題をまとめる（レポート作成）。	180分

授業科目名	日本国憲法			科目コード	C511-11				
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 人文・社会科学系		担当教員名	彼谷 環					
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	日本国憲法の制定史をたどりながら、人権主体の多様化について具体的事例を紹介するとともに、人権を守るべき統治機構の仕組みや権能について理解を深めていく。								
学習目標	主権者として人権の重要性について理解するとともに、統治機構の役割と権限に関して知識を深める。憲法が国民と権力担当者との契約であることを認識する。								
キーワード	基本的人権 国民主権 平和主義 多文化主義 子どもの権利条約								
テキスト・ 参考書等	水島朝穂『18歳からはじめる憲法[第2版]』（法律文化社）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1									
LO-2									
LO-3	子どもの権利の確立と現代的課題について認識するとともに、主権者 = 国民としても人権の重要性について理解することができる。								
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60					40			100
LO-1									
LO-2									
LO-3	60					40			100
LO-4									
LO-5									
備考	出席カードに、最近の社会的事象について感想を書く課題を毎回設定する。授業の冒頭でその週起きた憲法的事件を解説する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	憲法とはなにか 私たちの暮らしのなかの憲法	
	【予習】新聞を読む	60分
	【復習】テキストを読みノートをとめる	120分
第2回	人権のカタログ 法人、外国人にも人権は保障されるの？	
	【予習】新聞を読む	60分
	【復習】テキストを読みノートをとめる	120分
第3回	法の下での平等 4つの平等と合理的区別	
	【予習】新聞を読む	60分
	【復習】テキストを読みノートをとめる	120分
第4回	思想・良心の自由	
	【予習】新聞を読む	60分
	【復習】テキストを読みノートをとめる	120分
第5回	信教の自由と政教分離原則	
	【予習】新聞を読む	60分
	【復習】テキストを読みノートをとめる	120分
第6回	報道の自由と報道被害	
	【予習】新聞を読む	60分
	【復習】テキストを読みノートをとめる	120分
第7回	被疑者・被告人の人権	
	【予習】新聞を読む	60分
	【復習】テキストを読みノートをとめる	120分
第8回	教育を受ける権利	
	【予習】新聞を読む	60分
	【復習】テキストを読みノートをとめる	120分
第9回	「子どもの貧困」と生存権	
	【予習】新聞を読む	60分
	【復習】テキストを読みノートをとめる	120分
第10回	国民主権と選挙制度	
	【予習】新聞を読む	60分
	【復習】テキストを読みノートをとめる	120分

第11回	議院内閣制と大統領制の違い	
	【予習】新聞を読む	60分
	【復習】テキストを読みノートをまとめる	120分
第12回	司法権の独立と裁判員制度	
	【予習】新聞を読む	60分
	【復習】テキストを読みノートをまとめる	120分
第13回	地方自治を「子どもの権利条約」から考える	
	【予習】新聞を読む	60分
	【復習】テキストを読みノートをまとめる	120分
第14回	平和主義 最近の憲法改正論議をふまえて	
	【予習】新聞を読む	60分
	【復習】テキストを読みノートをまとめる	120分
第15回	憲法と国際法の関係	
	【予習】テキスト・ノートを確認する	60分
	【復習】授業で取り上げたテーマのうち最も関心あるものに関する文献を読む	120分

授業科目名	国際情勢			科目コード	C511-12				
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 人文・社会科学系		担当教員名	才田 春夫					
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許(選必) 保育士資格(選必)								
授業の概要	国際問題に関する基礎的知識を学びながら、世界の動向を理解するための教養を身につけましょう。本講座では、人類共通の解決すべき地球規模の課題、現在の政治・外交問題も視野に入れつつ、先進国のみならず発展途上国が抱えている課題についても学びます。そのうえで国際社会の一員として成すべき国際協力について考える力をつけていきます。								
学習目標	1. 国際問題に関する基礎的知識を習得する。 2. 世界の今日的課題について考える力を養う。 3. 国際協力について理解する。								
キーワード	国際関係、国際紛争、ASEAN、発展途上国、国際協力、								
テキスト・ 参考書等	池上彰の「知らないと恥をかく世界の大大問題5どうする世界のリーダー?~新たな東西冷戦~」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】日本と国際社会との関係を理解するうえで必要な知識を習得している。また、世界の子どもたちの教育事情を理解する。								
LO-2									
LO-3	【思考・判断】世界の紛争や貧困を事例として、問題解決手法を学び、論点整理ができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】世界における幼児教育、特に発展途上国における教育事情に関心を持ち、教育の質向上に努める。								
LO-5	【社会性・人間性】グループワークを通して社会性・協働力を磨く。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			60		40				100
LO-1			10		10				20
LO-2									
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5			10		30				40
備考	毎回、新聞を読んでくること。毎回、質問又は意見を言うこと。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション・いま世界で何が起こっているのか(政治的側面から)	
	【予習】今週の新聞記事、特に国際面を読むこと	60分
	【復習】新しく学んだ用語や知識の整理	30分
第2回	いま世界で何が起こっているのか2	
	【予習】今週の新聞記事、特に国際面を読むこと(経済的側面から)	60分
	【復習】新しく学んだ用語や知識の整理	30分
第3回	いま世界で何が起こっているのか(幼児教育について考える)	
	【予習】世界の教育について調べてくる	60分
	【復習】教育事情の整理	30分
第4回	ワークショップ1：世界の紛争について1	
	【予習】世界の紛争について調べてくること	60分
	【復習】論点の整理	30分
第5回	ワークショップ1：世界の紛争について発表準備	
	【予習】世界の紛争について調べてくること	60分
	【復習】論点の整理	30分
第6回	ワークショップ2：世界の紛争について発表	
	【予習】発表資料の整理とまとめ	60分
	【復習】他者の発表に対する評価のまとめ	30分
第7回	人間の安全保障 日本と世界の食糧事情と農業生産	
	【予習】食糧自給について調べてくる	60分
	【復習】日本の食糧自給率について自分の考えをまとめる	30分
第8回	世界の水事情について考える：バーチャルウォーター	
	【予習】バーチャルウォーターについて調べる	60分
	【復習】世界の水問題についてまとめる	30分
第9回	日本と世界のエネルギーについて考える	
	【予習】環境に関する新聞記事を調べてくる	60分
	【復習】日本のエネルギー事情についてまとめる	30分
第10回	ワークショップ2-1：世界と日本の環境問題について議論する	
	【予習】環境に関する新聞記事を調べてまとめ、それを持参する	60分
	【復習】環境問題の論点整理	30分

第11回	ワークショップ2 - 2 : 世界と日本の環境問題について発表準備	
	【予習】環境に関する新聞記事を調べてまとめ、それを持参する	60分
	【復習】発表に必要な資料作成	30分
第12回	ワークショップ2 - 2 : 世界と日本の環境問題について発表	
	【予習】発表用資料のまとめ	60分
	【復習】他者の発表に対する評価のまとめ	30分
第13回	世界の経済格差について考える：先進国と発展途上国	
	【予習】発展途上国について調べてくる	60分
	【復習】格差の整理とまとめ	30分
第14回	国際協力について考える	
	【予習】JICAと青年海外協力隊について調べる	60分
	【復習】国際協力の実態についてまとめる	30分
第15回	学生の立場で国際協力は可能か	
	【予習】NGO・海外ボランティア事例を調べる	60分
	【復習】国際協力・教育支援についてまとめる	30分

授業科目名	コミュニケーションと情報			科目コード	C511-13				
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 人文・社会科学系	担当教員名	吉牟田 裕						
開講時期	2年前期	授業の方法	講義						
必修・選択	必修	単位数	2単位						
前提科目(知識)		後継科目							
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要	情報システムの基礎について学ぶとともに、情報伝達や情報活用に関する技能を習得します。具体的には、ワープロや表計算、プレゼンテーションと、情報社会を生きるためのセキュリティの知識とモラルについても身につけることを目指します。								
学習目標	Windows、インターネット、オフィスツールの基本操作方法を習得するとともに、情報を取り扱ううえで必要なセキュリティと情報モラルを身につけます。								
キーワード	パソコン、ワープロ、表計算、プレゼンテーション、インターネット								
テキスト・ 参考書等	「イチからしっかり学ぶ! Office 基礎と情報モラル」noa出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	パソコン操作とセキュリティに関する基礎知識を身につける。								
LO-2	パソコンにより、効率的なドキュメント・スプレッドシートを作成し、プレゼンテーションをすることができる。								
LO-3									
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		20		60	20				100
LO-1		20							20
LO-2				60	20				80
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業の進め方、学習の目標、パソコン教室の使い方、タッチタイピング	
	【予習】	0分
	【復習】 タッチタイピングの練習	45分
第2回	パソコンを起動しよう	
	【予習】 教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】 ウィンドウの操作を復習する	25分
第3回	基本編 Word チラシを作成しましょう 次の「説明動画」にアクセスし、お気に入りに登録してください。	
	【予習】 教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】 ファイルとフォルダの操作に習熟する	25分
第4回	ワープロの基礎	
	【予習】 教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第5回	文書の作成の基本	
	【予習】 教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】 文書の作成を完了する	25分
第6回	社外文書の作成	
	【予習】 教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】 ワープロの課題を完成させる	25分
第7回	インターネットの活用	
	【予習】 教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第8回	表計算の基礎	
	【予習】 教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第9回	表の作成	
	【予習】 教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】 練習問題の回答を作成する	25分
第10回	グラフ・図形の作成	
	【予習】 教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】 表計算の課題を完成させる	25分

第11回	プレゼンテーションの基礎	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第12回	プレゼンテーションの作成	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】基本的なプレゼンテーションを作成する	25分
第13回	図表およびアニメーションを利用したプレゼンテーション	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】プレゼンテーション課題を完成させる	25分
第14回	情報のセキュリティ 被害者にならないために	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第15回	情報モラル 加害者にならないために	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】情報セキュリティ・モラルについて、レポートを作成する	25分

授業科目名	生活と科学			科目コード	C514-10				
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 自然科学系			担当教員名	石塚 盈代				
開講時期	2年後期			授業の方法	講義				
必修・選択	選択			単位数	2単位				
前提科目(知識)	なし			後継科目	なし				
関連科目	なし								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格 A・B・C 3科目の中から2科目以上を選択する科目のBとして開講								
授業の概要	生活の環境や様々な物質の検討から、安全・健康な暮らしの実践につなげてほしい。授業は区切りごとのレポート提出やオーラル発表で進める。								
学習目標	幼児の抱く科学的興味や環境への疑問に答えること、自分自身と周囲の人の健康・安全とについて考え、実行してほしいと思う。								
キーワード	生活習慣、食、環境、健康、統合医療								
テキスト・ 参考書等	プリント集「生活と科学」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】自分・園児・保護者の健康や安全に関する知識を身につける。また、幼児の抱く科学的興味や環境への疑問に答えることができる。								
LO-2	【技能・表現】自分・園児・保護者の健康や安全に関する知識に基づき、保育の現場において実践あるいは指導にあたる能力を身につける。								
LO-3	【思考・判断】新聞やインターネット上の記事を通じて、現代における生活習慣、食、環境、健康に関する課題について考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】現代における生活習慣、食、環境、健康に関する諸問題に関心を持ち、保育の実践に生かそうとする姿勢や意欲が見られる。								
LO-5	【社会性・人間性】自分自身と周囲の人の健康・安全とについて考え、実行する姿勢を身につける。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			75		25				100
LO-1			15		5				20
LO-2			15		5				20
LO-3			15		5				20
LO-4			15		5				20
LO-5			15		5				20
備考	レポート(75%程度)、平常点(25%程度)とし、総合評価します。なお、平常点の内容は随時のオーラル発表とする。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「生活と科学」 プロローグ	
	【予習】 新聞やインターネット等を通じて、自分の身のまわりの生活習慣、食、環境、健康に関する情報に目を向ける。	40分
	【復習】 授業で学んだことを生かして、身のまわりの生活習慣、食、環境、健康に関する情報を収集し、自分なりに分析し、考察を加える。	60分
第2回	生活習慣について(1)	
	【予習】 前回の授業で学んだことを生かして、身のまわりの生活習慣、食、環境、健康に関する情報を収集する。自分なりに分析・考察を加え、授業でのオール発表に備える。	60分
	【復習】 授業で紹介されたデータを自分にあてはめて比較して分析し、考察を加える。	60分
第3回	生活習慣について(2) 生活の基盤	
	【予習】 前回の授業で学んだことを生かして、身のまわりの生活習慣、食、環境、健康に関する情報を収集する。自分なりに分析・考察を加え、授業でのオール発表に備える。	60分
	【復習】 授業で紹介されたデータを自分にあてはめて比較して分析し、考察を加える。	60分
第4回	生活習慣について(3) 「健康日本21」「健やか親子21」	
	【予習】 前回の授業で学んだことを生かして、身のまわりの生活習慣、食、環境、健康に関する情報を収集する。自分なりに分析・考察を加え、授業でのオール発表に備える。	60分
	【復習】 授業で紹介されたデータを自分にあてはめて比較して分析し、考察を加える。	60分
第5回	生活と安全、第1回レポート	
	【予習】 身のまわりで健康を阻害する要因となる事柄として、どのようなものが挙げられるか考えてみる。第1回レポート作成・自分で集めた資料、授業で得た知識をもとにレポートを作成する。	120分
	【復習】 テレビやビデオの観すぎ、外食などが食生活や健康に与える影響について考えてみる。	60分
第6回	食環境と健康(1)	
	【予習】 自分・園児・保護者の食生活・食環境で望ましいこと、望ましくないことはどのような事柄か考えてみる。	60分
	【復習】 授業で学んだ知識に基づき、食物栄養、食物アレルギー、食品衛生などについて、また、それらが健康に及ぼす影響に関する情報を収集し、分析・考察を加える。	60分
第7回	食環境と健康(2) 栄養素・サプリメント	
	【予習】 前回の授業で学んだ知識に基づき、食物栄養、食物アレルギー、食品衛生などについて、また、それらが健康に及ぼす影響に関する情報を収集し、授業でのオール発表に備える。	60分
	【復習】 授業で学んだ知識に基づき、食物栄養、サプリメントなどについて、また、それらが健康に及ぼす影響に関する情報を収集し、分析・考察を加える。	60分
第8回	食環境と健康(3) 食の安全性 - 1	
	【予習】 前回の授業で学んだ知識に基づき、食物栄養、食物アレルギー、食品衛生などについて、また、それらが健康に及ぼす影響に関する情報を収集し、授業でのオール発表に備える。	60分
	【復習】 授業で学んだ知識に基づき、食物栄養、食物アレルギー、食品衛生などについて、また、それらが健康に及ぼす影響に関する情報を収集し、分析・考察を加える。	60分
第9回	食環境と健康(4) 食の安全性 - 2	
	【予習】 前回の授業で学んだ知識に基づき、食物栄養、食物アレルギー、食品衛生などについて、また、それらが健康に及ぼす影響に関する情報を収集し、授業でのオール発表に備える。	60分
	【復習】 授業で学んだ知識に基づき、食物栄養、食物アレルギー、食品衛生などについて、また、それらが健康に及ぼす影響に関する情報を収集し、分析・考察を加える。	60分
第10回	食環境と健康(5) 食の安全性 - 3、第2回レポート	
	【予習】 前回の授業で学んだ知識に基づき、食物栄養、食物アレルギー、食品衛生などについて、また、それらが健康に及ぼす影響に関する情報を収集し、分析・考察を加える。第2回レポート作成・自分で集めた資料、授業で得た知識をもとにレポートを作成する。	120分
	【復習】 授業で学んだ知識に基づき、食物栄養、食物アレルギー、食品衛生などについて、また、それらが健康に及ぼす影響に関する情報を収集し、分析・考察を加える。	60分

第11回	環境 - 1	
	【予習】 自分・園児・保護者の生活環境で望ましいこと、望ましくないことはどのような事柄が考えてみる。	60分
	【復習】 授業で学んだ知識に基づき、保育の現場に必要な生活環境作りに役立つ情報を収集し、分析・考察を加える。	60分
第12回	環境 - 2	
	【予習】 前回の授業で学んだ知識に基づき、保育の現場に必要な生活環境作りに役立つ情報を収集し、分析・考察を加え、授業でのオーラル発表に備える。	60分
	【復習】 授業で学んだ知識に基づき、保育の現場に必要な生活環境作りに役立つ情報を収集し、分析・考察を加える。	60分
第13回	統合医療 - 1	
	【予習】 医療方法にはどのようなものがあるか、調べてみる。	60分
	【復習】 西洋医学と伝統医学について、さらに学習を進める。前者が医薬分析的であるのに対して、後者はカウンセリングの面を含むことを理解する。	60分
第14回	統合医療 - 2	
	【予習】 授業で得た知識に基づいて、西洋医学と伝統医学について、さらに学習を進める。	60分
	【復習】 西洋医学と伝統医学について、さらに学習を進める。前者が分析的であるのに対して、後者は統合的な性格が強いことを理解する。	60分
第15回	発表、第3回レポート	
	【予習】 これまでに授業で学習した事柄を生かしたオーラル発表を行う準備に取り組む。 第3回レポート作成・自分で集めた資料、授業で得た知識をもとにレポートを作成する。	120分
	【復習】 講義ノートを最初から最後まで読み返して、これまでに学んだことを整理する。	120分

授業科目名	自然と人間			科目コード	C514-20				
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 自然科学系		担当教員名	岩坪 美兼					
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	高校で生物基礎・生物を履修していることが望ましい。		後継科目	自然と人間					
関連科目									
資格等 取得との関連	A・B・C、3科目の中から2科目以上を選択する科目のCとして開講。 幼稚園教諭二種免許および保育士資格取得希望者の選択必修科目。								
授業の概要	植物のかたちを正しく理解し保育教材に活かすことができるとともに、日頃目にする動物についても理解を深め、身近な動植物のかたちや種類について説明できるようになる。そのために、1. 身近な植物の葉・花の観察と教科書・プリントを用いた学習によって植物のかたちを学ぶ。2. 多様なかたちの葉・花の基本型を理解する。3. 果物・野菜の基本構造を理解する。4. 様々な植物を保育教材に活かす力を養う。5. ヒトを含めた動物の理解と、動植物に多様性が生じたしくみ及びその意義を理解する。								
学習目標	1. 身近に生える植物の葉、花、果実、それに野菜と果物のつくり(構造)を理解し、それらを保育活動に活かすことができること。2. 危険な植物や動物についての知識を深めて、それらから身を守る方法を保育活動のなかで実践できること。3. 動物と植物において多様性が生じるしくみとその進化的積極的意義を理解していること。4. ヒトの多様性が人類の幸せを築き上げるうえで重要であることを理解できていること。5. 多様な幼児の個性を伸ばす教育活動に学習した内容を活かすことができる力を修得していること。								
キーワード	身近な植物、葉のかたち、果実の構造、多様性の意義								
テキスト・ 参考書等	岩瀬徹一・大野啓一「写真で見る植物用語」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 身近に生える植物の葉のかたちや野菜・果物の構造を正確に理解していること。								
LO-2	【技能・表現】 身近に生える植物の葉、茎、花、それに野菜・果物を保育に活かす工夫ができること。								
LO-3	【思考・判断】 はじめて見る植物の葉、果実、野菜の構造の基本形を、学んだ知識に基づいて判断できること(植物園実習)。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 身の回りの植物や野菜・果実の構造と生物の多様性について興味感心を持ち、意欲的に学習に取り組むこと。								
LO-5	【社会性・人間性】 生物の多様性が生じる仕組みを理解しており、ヒトに多様性(ダウン症を含む)が生じる意味、そしてヒトの多様性の人類社会における意義を理解していること。								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60		30	10					100
LO-1	30		20						50
LO-2	10		10						20
LO-3				10					10
LO-4	10								10
LO-5	10								10
備考	植物の葉の観察を行い、基本構造を踏まえたスケッチを提出する。基本構造の認識に誤りがある場合は、次の時間に板書で解説する。加えて関わりの深い動物や、幼児が興味を持つ動物について理解を深めるためにプリントを用いた学習も行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション（授業のねらい、方法、評価等についての説明） 植物の学名、和名、種名、品種名を学習する。一枚の葉の構造を理解する。	
	【予習】シラバスを読み、授業内容を把握する。	30分
	【復習】授業の内容全体を確認する。	60分
第2回	植物の根と茎と葉の見分け方、花の構造と葉の構造を理解する(天気が良ければ学内の植物の花や葉を観察しながら理解を深める)。	
	【予習】テキスト8 - 43ページを学習して、植物のおよその構造を理解する。	30分
	【復習】植物のおよその構造を理解する。身近に生えている単葉の植物の葉を数枚採取して、次の授業時に持参する。	60分
第3回	葉の見分け方と野外での危険な動物 I。 1) 単葉から複葉への進化1: 鳥羽単葉、掌状単葉、三行脈の単葉。2) 野外活動で危険から身を守る方法、危険な動物(ハチ、ヘビ、クマ)へ遭遇した際の対処方法。	
	【予習】プリントとテキスト44-57ページを読み、葉の多様性を学習する。	30分
	【復習】葉の多様化の基本的な仕組みを理解する。	60分
第4回	葉の見分け方と野外での危険な動物 II。 2) 単葉から複葉への進化2: 掌状単葉、掌状複葉。2) 危険な動物(ハチ、ヘビ、クマ)への具体的な対処方法。	
	【予習】プリントとテキスト57-61ページを読み、葉の多様性を学習する。	30分
	【復習】掌状単葉から掌状複葉への変化の規則性を理解する。	60分
第5回	葉の見分け方 1) 単葉から複葉への進化。 2) 鳥足状葉のでき方(天気が良ければ学内の植物の葉を観察しながら、学習を深める)。	
	【予習】プリントを学習して、複雑な葉の多様性を理解する。	30分
	【復習】単葉から複葉への変化を理解するとともに鳥足状葉が形成される仕組みを習得する。	60分
第6回	茎・果実・葉の付き方を理解する(偽茎、互生・対生・輪生、葉縁のかたち、単葉から複葉への変化)。	
	【予習】プリントとテキストから、葉の多様性を理解する。	30分
	【復習】葉の付き方と規則性を習得する。	60分
第7回	植物園で葉や実を使った工作、および葉の多様性について学習する(2コマの授業を土曜日に実施(第7回と第8回)する)。	
	【予習】葉の多様性についてプリントと教科書で学習する。	90分
	【復習】植物園を園児が利用する際の工夫について考える。	90分
第8回	(植物園で7、8回を連続して実施)	
	【予習】葉の多様性についてプリントと教科書で学習する(天気が良ければ学内の植物の葉(落ち葉を含む)を観察しながら、かたちの多様性、黄葉(紅葉)のしくみ、落葉と常緑の葉の構造の違いについて理解を深める)。	60分
	【復習】植物園および身近に生える植物を園児が理解できるようにする工夫について考える。	60分
第9回	植物の茎の多様性	
	【予習】テキストを読み、茎の構造を理解する。	30分
	【復習】茎の多様性を把握する。	30分
第10回	果実の構造 果実の構造を実際に観察する。	
	【予習】プリントとテキストを読み、果実の多様性を理解する。	45分
	【復習】果実はどのような構造からなっているかを習得する。	45分

第11回	野菜の構造 野菜の構造を観察する。	
	【予習】プリントとテキストを読み、野菜の多様性を理解する。	30分
	【復習】野菜として食べている部分は植物のどの部位かを把握する。	60分
第12回	性決定の多様性 1.性染色体をもつ生物の性決定方法	
	【予習】プリントで学習する。	60分
	【復習】性染色体を持つ生物の性決定のしくみを復習する。	60分
第13回	性決定の多様性 2.自然環境や社会環境により性が決まる生物の性決定方法	
	【予習】プリントで学習する。	60分
	【復習】自然環境、社会環境によって性が決定したり、性が変わる生物の性決定のしくみを復習する。	60分
第14回	減数分裂の異常がもたらす生物の多様性	
	【予習】減数分裂のしくみを配布プリントで学習する。	60分
	【復習】減数分裂について、その仕組みを復習する。	60分
第15回	植物の多様性とヒトの多様性	
	【予習】これまで学習した植物の葉・果実・花の多様性全般について学習する。	60分
	【復習】植物やヒトに多様性が存在する意義を考える。	60分

授業科目名	体育講義			科目コード	C515-11				
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 健康・スポーツ		担当教員名	大森 宏一					
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	生涯スポーツ								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	体育講義では、健康な生活を送るための身体と心の発達やトレーニングの方法について学びます。また初年次前期の講義であるためグループワークを通して協調性などを学びます								
学習目標	現代社会におけるスポーツ・健康に関する問題を捉えることができる。 運動処方の方法を理解する。 共に豊かに健康的に生きることについて理解し実践できるようにする。								
キーワード	健康、体力、運動、運動処方								
テキスト・ 参考書等	参考：倉・大森編 「子どもが育つ運動遊び」 みらい 2016年								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】生涯にわたって健康を維持するための身体活動・運動の必要性を理解している。健康診断、体力・運動能力、形態を客観的に評価する方法、目的にあわせた運動処方の理論と方法について理解している。								
LO-2	【技能】個人の健康・体力づくりに必要な情報を適切に評価し、自らの運動処方を行うことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】現代的なスポーツ・健康に関する問題を捉え、その実践的な問題解決の方法を主に身体活動・運動の視点から考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】自分の身体についての関心を高めさらに向上させようとすることができる。								
LO-5	【人間性・社会性】グループでのディスカッションなど仲間と共に活動することができる								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		70	30						100
LO-1		20	20						40
LO-2		30							30
LO-3		20							20
LO-4			10						10
LO-5									
備考	ミニツトペーパーでの内容について授業中にコメントを行う。 その他：A LO-1・LO-4 ミニツトペーパーによる関心度から考慮する。 LO-5 授業態度(グループへの関与)の参加度とする。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、「健康」「体力」の概念、現代社会における健康と体力に関する諸問題について	
	【予習】シラバスを読み、授業内容を把握する。現代における健康や体力に関する問題について調べる。	60分
	【復習】「健康」、「体力」の概念について理解する。現代における健康に関する問題を整理する。	90分
第2回	勝利至上主義と現代のスポーツの問題について。	
	【予習】スポーツにおける勝利至上主義とはどのようなものか考える。	90分
	【復習】勝利至上主義のスポーツについて自分の考えを整理しておく。	90分
第3回	粗協調の発生と定着・精協調の発生と定着・運動の自動化について	
	【予習】参考テキスト理論編を読んでおくこと。	0分
	【復習】粗協調の発生と定着・精協調の発生と定着・運動の自動化について整理しておく	0分
第4回	運動の3局面について	
	【予習】参考テキスト理論編を読んでおくこと。	0分
	【復習】運動の3局面について整理しておくこと	0分
第5回	体力について	
	【予習】体力の構成要素について自分なりに調べておくこと。	60分
	【復習】様々な体力要素について整理し、自分の体力について自己分析しておくこと。	90分
第6回	飲酒・薬物・喫煙と健康について	
	【予習】大学生の急性アルコール中毒について調べておく。	60分
	【復習】身体に悪影響を及ぼす薬物等について理解する	90分
第7回	子どものこころとからだの発達	
	【予習】子どもの発達をこころとからだから考えておく	60分
	【復習】子どもの成長を見守ることの重要性を理解する	90分
第8回	理解度についてのテストとする	
	【予習】これまでの講義を整理すること。	0分
	【復習】理解不足のところを整理すること。	0分

授業科目名	生涯スポーツ			科目コード	C515-12				
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 健康・スポーツ		担当教員名	大門 信吾 立島 真					
開講時期	1年前期		授業の方法	実技					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	体育 体育 体育講義								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	基本ストローク（サービス、クリアー、ヘアピン、ドライブ、ドロップショット、スマッシュ）の技術の向上を図るとともに、バドミントンのゲームを楽しめ、審判もできるといったレベルを目指します。これまでの運動経験から受講生の技術に差があると予想されますが、レベル別のグルーピングや課題を設ける予定です。スポーツが苦手な人でも実践の中で大切な役割があるものです。お互いのレベルを認め合い、「皆で楽しむ」ことをテーマに工夫する能力も養いたいと思います。								
学習目標	生涯スポーツに結びつくようなスポーツの実践を通して、そのスポーツの技術特性、練習方法、身体への影響を理解するとともに、健康の維持・増進や体力・運動技術の向上を図り、将来において充実した運動生活を送る上での有用な知識と技術を高めます。								
キーワード	生涯スポーツ、バドミントン								
テキスト・ 参考書等	特に使用しない。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	バドミントンのルールや審判法を理解し、一人でゲームを進行できる。バドミントンの歴史やルールについてレポートできる。								
LO-2	バドミントンの基本ストローク（サービス、クリアー、ヘアピン、ドライブ、ドロップショット、スマッシュ）が一通りできる。								
LO-3	自らの基本ストロークの技能レベルを分析し、ゲームやラリー、ペアとのコンビネーションなど状況に応じた対応ができる。								
LO-4	健康の維持・増進や体力の向上に関心が高く、バドミントンに必要な技術の獲得に意欲的に取り組むことができる。安全やマナーに留意して練習・ゲーム等を行う態度がみられる。備品や用具の整理・整頓に協力的である。								
LO-5	グループ活動において人の気持ちを思いやり共感しながら活動できる。仲間と協調し安全で楽しい活動に取組める。バドミントンに必要な技術を教え、教わるなど仲間と切磋琢磨できる関係を持つことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			10			90			100
LO-1			10			10			20
LO-2						30			30
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						10			10
備考	LO1（期末レポートとルール審判法の理解）、LO2・LO3（基礎技能及びその応用パフォーマンス）、LO4・LO5（グループ活動における意欲や態度、仲間との協力） 期末レポートの評価等フィードバックについては個別に担当教員に問い合わせること。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス、シラバスの説明、健康状況調査、班編成、ストレッチ、トレーニング、ラケット・シャトルの扱い	
	【予習】シラバスを読み授業の流れと評価方法を調べる。	30分
	【復習】授業の到達目標と評価方法を理解する。	30分
第2回	基本ストローク（サービス、クリアー、ヘアピン、ドライブ、ドロップショット、スマッシュ）	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間のトレーニングを計画する。	30分
	【復習】	0分
第3回	基本ストローク半コートシングルスゲーム	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】	0分
第4回	ダブルスゲームと審判方法	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】	0分
第5回	チーム対抗団体戦（ダブルス）	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】	0分
第6回	チーム対抗団体戦（ダブルス）	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】	0分
第7回	チーム対抗団体戦（ダブルス）	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】	0分
第8回	チーム対抗団体戦（ダブルス）	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】	0分
第9回	チーム対抗団体戦（ダブルス）	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】	0分
第10回	シングルのゲームとレベル別班編成	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】	0分

第11回	レベル別班編成とダブルスゲーム	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】	0分
第12回	レベル別班編成とダブルスゲーム	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】	0分
第13回	レベル別班編成とダブルスゲーム	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】	0分
第14回	レベル別班編成とダブルスゲーム	
	【予習】バドミントンの歴史やルールに関するレポートを作成する。	60分
	【復習】バドミントンの歴史やルールに関するレポートを作成する。	60分
第15回	レベル別班編成とダブルスゲーム	
	【予習】バドミントンの歴史やルールに関するレポートを作成する。	60分
	【復習】バドミントンの歴史やルールに関するレポートを最終授業時に提出する。	0分

授業科目名	生涯スポーツ（ゴルフ）			科目コード	C515-12				
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 健康・スポーツ		担当教員名	大門 信吾 立島 真					
開講時期	1年前期		授業の方法	実技					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要	ゴルフに関心のある学生を対象とし、基礎レッスン、ルール、マナーの講義や実習を通して、生涯スポーツとしてゴルフを楽しめるための基礎的能力を養います。授業は主に学外のゴルフ練習場で行い、移動の際は原則大学のバスを利用します。まとめとしてゴルフコースでのラウンド実習を行う予定です。授業経費8,000円程度は自己負担となります。								
学習目標	生涯スポーツに結びつくようなスポーツの実践を通して、そのスポーツの技術特性、練習方法、身体への影響を理解するとともに、健康の維持・増進や体力・運動技術の向上を図り、将来において充実した運動生活を送る上での有用な知識と技術を高めます。								
キーワード	生涯スポーツ、集中授業、ゴルフ								
テキスト・ 参考書等	特に使用しない。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	コースのラウンドを進行するためのルールやマナーを理解している。								
LO-2	ショートアイアンでの基本的ショットができる。								
LO-3	自らのスイングを分析し、用意されたクラブを一通り使うことができる。								
LO-4	ゴルフに必要な技術の獲得に意欲的に取り組むことができる。安全やマナーに留意してレッスンを行う態度がみられる。備品や用具の整理・整頓に協力的である。								
LO-5	レッスンやコースラウンドにおいて人の気持ちを思いやり共感しながら活動できる。仲間と協調し、安全で楽しい活動に取組める。ゴルフに必要な技術を教え、教わるなど仲間と切磋琢磨できる関係を持つことができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	LO1（ルール、マナーの理解）、LO2・LO3（基礎技能と応用パフォーマンス）、LO4・LO5（授業における意欲・態度や仲間との協力）								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス、シラバスの説明、健康状況調査（学内教室）	
	【予習】シラバスを読み授業の流れと評価方法を調べる。	30分
	【復習】授業の到達目標と評価方法を理解する。	30分
第2回	スイング理論とショートアイアのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】レッスン内容について確認する。	30分
第3回	スイング理論とショートアイアのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第4回	スイング理論とショートアイアのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第5回	スイング理論とミドルアイアのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第6回	スイング理論とミドルアイアのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第7回	スイング理論とウッドクラブのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第8回	スイング理論とウッドクラブのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第9回	スイング理論と総合レッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第10回	スイング理論と総合レッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×実習までの10日間） レッスン内容について確認する。	130分

第11回	ゴルフのマナーとルール、安全上の注意とラウンド予定（学内教室）	
	【予習】ゴルフのルール、マナーについて確認する	40分
	【復習】	0分
第12回	コースでの実践ラウンドに挑戦（小杉カントリー）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】	0分
第13回	コースでの実践ラウンドに挑戦（小杉カントリー）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	コースでの実践ラウンドに挑戦（小杉カントリー）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	コースでの実践ラウンドに挑戦（小杉カントリー）	
	【予習】	0分
	【復習】スコアカードの提出とともに、初ラウンドを振り返る。用具を確認し、返却する。	60分

授業科目名	生涯スポーツ(スノースポーツ)			科目コード	C515-12				
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 健康・スポーツ		担当教員名	大門 信吾 立島 真					
開講時期	1年後期		授業の方法	実技					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	生涯スポーツ(テニスコース) 生涯スポーツ(ゴルフコース) 体育講義								
資格等 取得との関連									
授業の概要	スノースポーツに関心のある学生を対象として、スキー・スノーボードの基礎レッスンや講義を通して、生涯スポーツとしてスノースポーツを楽しめるための基礎的能力を養います。授業は二泊三日の集中授業で長野県・梅池高原スキー場で行います。授業に関わる経費20,000円程度(宿泊費・食費・交通費)とレンタル料、リフト代は自己負担となります。								
学習目標	生涯スポーツに結びつくようなスポーツの実践を通して、そのスポーツの技術特性、練習方法、身体への影響を理解するとともに、健康の維持・増進や体力・運動技術の向上を図り、将来において充実した運動生活を送る上での有用な知識と技術を高めます。								
キーワード	生涯スポーツ    スキー    スノーボード    集中授業								
テキスト・ 参考書等	特に使用しない								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	用具の安全管理やゲレンデにおけるマナーを理解している。								
LO-2	滑降に関する基本的な技能ができる。								
LO-3	自らの実習中に獲得した技能を分析し、滑降や斜面に応用して安全で楽しい滑降ができる。								
LO-4	スノースポーツに必要な技術の獲得、安全性やマナーなどに意欲的に取り組むことができる。								
LO-5	グループ活動において、人の気持ちを思いやり仲間と協調して活動に取り組める。スノースポーツに必要な技術を教え、教わるなど仲間と切磋琢磨できる関係を持つことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	LO1 (ルール、マナーの理解)、LO2・LO3 (基礎技能と応用パフォーマンス)、LO4・LO5 (授業における意欲・態度や仲間との協力)								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス、実習の説明、健康状況調査、事前トレーニングについて	
	【予習】シラバスを読み授業の流れと評価方法を調べる。	30分
	【復習】授業の到達目標と評価方法を理解する。	30分
第2回	滑走能力と班編成(講義)	
	【予習】2泊3日の実習に備えて事前トレーニングを行う。(スキー場での事前滑降を推奨する)	240分
	【復習】	0分
第3回	スキー場の危険性とマナー、装備や用具の重要性について(講義)	
	【予習】	0分
	【復習】レンタル用具及び自分の用具・装備を確認する。	60分
第4回	開校式、 班別での基本滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】	0分
第5回	班別での基本滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】班別ミーティングにおいて、レッスン内容や翌日の予定、怪我・体調管理を確認する。	30分
第6回	「楽しく安全なスノースポーツ」(講義)	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】講義内容を再確認する。	20分
第7回	班別での基本滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第8回	班別での基本滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第9回	班別での応用滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第10回	班別での応用滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】班別ミーティングにおいて、レッスン内容や翌日の予定、怪我・体調管理を確認する。	30分

第11回	「楽しく安全なスノースポーツ」(講義)	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】講義内容を再確認する。	20分
第12回	班別での応用滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第13回	班別での総合滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第14回	班別での総合滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第15回	班別での総合滑降、閉講式	
	【予習】	0分
	【復習】レンタル用具やヘルメット、ゼッケンなどを確認し、返却する。	60分

授業科目名	英語			科目コード	C531-10				
科目区分	教養科目 - 外国語科目 - 英語		担当教員名	望月 健一					
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	英語					
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	保育や幼児教育、児童福祉を学ぶ学生のために作成されたテキストに沿って授業を進める。世界の子どもたちが集まる架空の保育園で、保育実習生が遭遇する、さまざまな場面で使用される英語の表現を、リスニング、会話練習、英文解釈、英作文、マザー・グースの歌を使った聞き取り・発音練習など、多彩な活動を通して学ぶ。								
学習目標	総合的な英語力の向上を目指す。主に保育、幼児教育、児童福祉の分野で使われる表現を学ぶ。								
キーワード	保育の場面で使われる英語の語彙、会話表現、文章、作文、コミュニケーション								
テキスト・ 参考書等	Children's Garden 『保育英語』赤松直子(成美堂) ¥2,400(税別)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育、幼児教育、児童福祉の分野で使われる英語の語彙を習得している。また、短くて易しい英語の会話表現や文章を理解できる。								
LO-2	【技能】保育、幼児教育、児童福祉のトピックについて簡単な英文を作ることができる。また、易しい英語の問いに答えることができる。								
LO-3									
LO-4	【関心・意欲・態度】保育・幼児教育の分野で使われる英語の語彙や表現に関心を持つことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】伝えたいことを英語で表現し、他者とコミュニケーションを図ることができる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40	40				20			100
LO-1	20	20							40
LO-2	20	20							40
LO-3									
LO-4						10			10
LO-5						10			10
備考	<b>【成績評価方法】</b> 中間試験(40%程度)、最終試験(40%程度)、授業への参加・予習状況(20%程度)[その他、A]とする。 *試験については、採点后答案を返却し、解説を行う。 <b>【履修上の注意点等】</b> 毎回テキストと辞書を持参すること。必ず予習した上で出席すること。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業オリエンテーション、英語実力診断テスト	
	【予習】 なし。	0分
	【復習】 英語実力診断テスト問題の正解を確認し、理解する。	40分
第2回	Chapter 1 Children's Garden こども園保育園(1) - 1-1 Judging from Pictures (イラストを見て質問に答える), 1-2 Listening Comprehension (保育の場面の会話: リスニング), 1-3 Advice for the Internship (実習のためのアドバイス)	
	【予習】 1-1 Judging from Pictures の英語の問いに英語で答えられるようにしておく。また、1-3 Advice for the Internship の英文和訳、語句整序問題の答えを教科書に書き込む、またはノートに書く。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第3回	Chapter 1 Children's Garden こども園保育園(2) - 1-4 Conversation (保育の場面の会話: 会話練習), 1-5 Reading and Listening (日誌を読む), 1-6 Good Time with Nursery Rhymes (マザーグースの歌・手遊び歌)	
	【予習】 1-4 Conversation の会話文で正しい語を選び、会話の内容の理解に努める。また、1-5 Reading and Listening の英文に出てくる語や語句の意味を確認し、英文の意味や設問の答えを考えておく。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第4回	Chapter 2 The First Day of the Internship 実習初日(1) - 2-1 Judging from Pictures, 2-2 Listening Comprehension, 2-3 Advice for the Internship	
	【予習】 2-1 Judging from Pictures の英語の問いに英語で答えられるようにしておく。また、2-3 Advice for the Internship の英文和訳、語句整序問題の答えを教科書に書き込む、またはノートに書く。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第5回	Chapter 2 The First Day of the Internship 実習初日(2) - 2-4 Conversation, 2-5 Reading and Listening, 2-6 Good Time with Nursery Rhymes	
	【予習】 2-4 Conversation の会話文で正しい語を選び、会話の内容の理解に努める。また、2-5 Reading and Listening の英文に出てくる語や語句の意味を確認し、英文の意味や設問の答えを考えておく。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第6回	Chapter 3 Out We Go! さあ、出かけましょう! (1) - 3-1 Judging from Pictures, 3-2 Listening Comprehension, 3-3 Advice for the Internship	
	【予習】 3-1 Judging from Pictures の英語の問いに英語で答えられるようにしておく。また、3-3 Advice for the Internship の英文和訳、語句整序問題の答えを教科書に書き込む、またはノートに書く。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第7回	Chapter 3 Out We Go! さあ、出かけましょう! (2) - 2-4 Conversation, 2-5 Reading and Listening, 2-6 Good Time with Nursery Rhymes	
	【予習】 3-4 Conversation の会話文で正しい語を選び、会話の内容の理解に努める。また、3-5 Reading and Listening の英文に出てくる語や語句の意味を確認し、英文の意味や設問の答えを考えておく。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。また、中間試験に向けて、教科書 Chapter 1 - 3 の総復習を行う。	120分
第8回	中間試験、Chapter 4 Splish, Splash バシャバシャ、水しぶき(1) - 4-1 Judging from Pictures	
	【予習】 4-1 Judging from Pictures の英語の問いに英語で答えられるようにしておく。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第9回	Chapter 4 Splish, Splash バシャバシャ、水しぶき(2) - 4-2 Listening Comprehension, 4-3 Advice for the Internship, 4-4 Conversation	
	【予習】 4-3 Advice for the Internship の英文和訳、語句整序問題の答えを教科書に書き込む、またはノートに書く。また、4-4 Conversation の会話文で正しい語を選び、会話の内容の理解に努める。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第10回	Chapter 4 Splish, Splash バシャバシャ、水しぶき(3) - 4-5 Reading and Listening, 4-6 Good Time with Nursery Rhymes	
	【予習】 4-5 Reading and Listening の英文に出てくる語や語句の意味を確認し、英文の意味や設問の答えを考えておく。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分

第11回	Chapter 5 Pancake Day ホットケーキの日(1) - 5-1 Judging from Pictures, 5-2 Listening Comprehension, 5-3 Advice for the Internship	
	【予習】 5-1 Judging from Pictures の英語の問いに英語で答えられるようにしておく。また、5-3 Advice for the Internship の英文和訳、語句整序問題の答えを教科書に書き込む、またはノートに書く。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第12回	Chapter 5 Pancake Day ホットケーキの日(2) - 5-4 Conversation, 5-5 Reading and Listening, 5-6 Good Time with Nursery Rhymes	
	【予習】 5-4 Conversation の会話文で正しい語を選び、会話の内容の理解に努める。また、5-5 Reading and Listening の英文に出てくる語や語句の意味を確認し、英文の意味や設問の答えを考えておく。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第13回	Chapter 6 Read Me, Tell Me Stories 本を読んで、お話を聞かせて(1) - 6-1 Judging from Pictures, 6-2 Listening Comprehension, 6-3 Advice for the Internship	
	【予習】 6-1 Judging from Pictures の英語の問いに英語で答えられるようにしておく。また、6-3 Advice for the Internship の英文和訳、語句整序問題の答えを教科書に書き込む、またはノートに書く。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第14回	Chapter 6 Read Me, Tell Me Stories 本を読んで、お話を聞かせて(2) - 6-4 Conversation, 6-5 Reading and Listening, 6-6 Good Time with Nursery Rhymes	
	【予習】 6-4 Conversation の会話文で正しい語を選び、会話の内容の理解に努める。また、6-5 Reading and Listening の英文に出てくる語や語句の意味を確認し、英文の意味や設問の答えを考えておく。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第15回	学習のまとめ	
	【予習】 なし	0分
	【復習】 最終試験に向けて、教科書 Chapter 4 Splish, Splash, Chapter 5 Pancake Day, Chapter 6 Read Me, Tell Me Stories の復習を行う。	120分

授業科目名	英語			科目コード	C531-11				
科目区分	教養科目 - 外国語科目 - 英語		担当教員名	望月 健一 シェリー・スキャンラン					
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	英語		後継科目	なし。					
関連科目	なし。								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	<p>望月：保育や幼児教育の場面で使用される表現の習得に重点を置く。1年次後期に使用したテキスト Children's Garden の後半の章を取り上げる。</p> <p>Scanlan：Each week students will learn new vocabulary and grammatical patterns in stories. Students will practice their reading skills by reading books aloud to each other. Finally, with the final project, students will be expected to put their new vocabulary and grammar skills to work when they write their own original book.</p>								
学習目標	<p>望月：総合的な英語力の向上を目指す。主に保育の分野で使われる表現を学ぶ。</p> <p>Scanlan：This class helps students improve their English by analysing fairy tales. Additionally, students work to think critically as they analyse characters in stories. Finally, students write their own story with illustrations to present to the class.</p> <p>(この授業では、学生がおとぎ話を分析することによって英語力を伸ばすことを支援する。また、学生はおとぎ話に出てくる登場人物・動物の性格を分析しながら批判的に考える作業に取り組む。最後に学生は、挿絵入りの自作のおとぎ話を創</p>								
キーワード	保育、幼児教育の分野、おとぎ話、絵本で使われる英語の語彙、表現								
テキスト・ 参考書等	Children's Garden 『保育英語』赤松直子(成美堂) ¥2,400(税別)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育・幼児教育の分野で使われる英語の語彙や表現を習得している。また、短くて易しい英語の会話や文章を理解できる。								
LO-2	【技能】短い文章やおとぎ話を書くことができる。また、簡単な英語の問いに答えることができる。								
LO-3									
LO-4	【関心・意欲・態度】保育・幼児教育の分野で使われる英語の語彙や表現に関心を持つことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】適切にコミュニケーションをはかる意欲と能力があり、授業での活動において他の学生と協力することができる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	30			40		30			100
LO-1	30					10			40
LO-2				20					20
LO-3									
LO-4						10			10
LO-5				20		10			30
備考	<p>【成績評価方法】</p> <p>望月：最終試験(60%程度)、授業への参加・予習状況[その他、A](40%程度)とする。</p> <p>Scanlan：Grades will be based on 20% class participation (including attendance) [A] and 80% on the final book.</p> <p>(成績評価は、授業への参加20%[その他、A]、最後に提出する絵本80%により行う。)</p>								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Chapter 7 Activities with Watermelons すいかで遊ぼう(1) - 7-1 Judging from pictures, 7-2 Listening Comprehension	
	【予習】 7-1 Judging from Pictures の英語の問いに英語で答えられるようにしておく。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第2回	Chapter 7 Activities with Watermelons すいかで遊ぼう(2) - 7-3 Advice for the Internship, 7-4 Conversation	
	【予習】 7-3 Advice for the Internship の英文和訳、語句整序問題の答えを教科書に書き込む、またはノートに書く。また、7-4 Conversation の会話文で正しい語を選び、会話の内容の理解に努める。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第3回	Chapter 7 Activities with Watermelons すいかで遊ぼう(3) - 7-5 Reading and Listening, 7-6 Fun Times with Nursery Rhymes	
	【予習】 7-5 Reading and Listening の英文に出てくる語や語句の意味を確認し、英文の意味や設問の答えを考えておく。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第4回	Chapter 8 Happy Birthday お誕生日おめでとう(1) - 8-1 Judging from pictures, 8-2 Listening Comprehension, 8-3 Advice for the Internship	
	【予習】 8-1 Judging from Pictures の英語の問いに英語で答えられるようにしておく。また、8-3 Advice for the Internship の英文和訳、語句整序問題の答えを教科書に書き込む、またはノートに書く。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第5回	Chapter 8 Happy Birthday お誕生日おめでとう(2) - 8-4 Conversation, 8-5 Reading and Listening, 8-6 Fun Times with Nursery Rhymes	
	【予習】 8-4 Conversation の会話文で正しい語を選び、会話の内容の理解に努める。また、8-5 Reading and Listening の英文に出てくる語や語句の意味を確認し、英文の意味や設問の答えを考えておく。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第6回	Chapter 9 Children at Play 子どもと遊び(1) - 9-1 Judging from pictures, 9-2 Listening Comprehension, 9-3 Advice for the Internship	
	【予習】 9-1 Judging from Pictures の英語の問いに英語で答えられるようにしておく。また、9-3 Advice for the Internship の英文和訳、語句整序問題の答えを教科書に書き込む、またはノートに書く。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第7回	Chapter 9 Children at Play 子どもと遊び(2) - 9-4 Conversation, 9-5 Reading and Listening, 9-6 Fun Times with Nursery Rhymes	
	【予習】 9-4 Conversation の会話文で正しい語を選び、会話の内容の理解に努める。また、9-5 Reading and Listening の英文に出てくる語や語句の意味を確認し、英文の意味や設問の答えを考えておく。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第8回	Introduction to class/practice reading (イントロダクション / 読む練習)	
	【予習】 None (なし)	0分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson (授業で学んだ語彙や表現の復習)	20分
第9回	New vocabulary/character analysis (1) (新しい語彙 / 登場人物・動物の性格分析(1))	
	【予習】 Work on the homework assigned in the last lesson (前回の授業で出された宿題に取り組む)	40分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson (授業で学んだ語彙や表現の復習)	20分
第10回	New vocabulary/character analysis (2) (新しい語彙 / 登場人物・動物の性格分析(2))	
	【予習】 Work on the homework assigned in the last lesson	40分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson	20分

第11回	New vocabulary/character analysis (3) (新しい語彙 / 登場人物・動物の性格分析(3))	
	【予習】 Work on the homework assigned in the last lesson	40分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson	20分
第12回	original story writing (1) (オリジナルのストーリーを書く(1))	
	【予習】 Work on original story books with illustrations (挿絵の入ったオリジナルの絵本を製作する)	60分
	【復習】 Work on original story books with illustrations	60分
第13回	original story writing (2) (オリジナルのストーリーを書く(2))	
	【予習】 Work on original story books with illustrations	60分
	【復習】 Work on original story books with illustrations	60分
第14回	Final presentation to the class (教室で最終プレゼンテーションを行う)	
	【予習】 prepare for the final presentation (最終プレゼンテーションの準備を行う)	60分
	【復習】 feedback of the presentation (プレゼンテーションのフィードバックを行う)	30分
第15回	学習のまとめ	
	【予習】 なし	0分
	【復習】 最終試験に向けて、教科書 Chapter 5-5, 6 Pancake Day, Chapter 6 Read Me, Tell Me Stories, Chapter 7 Activities with Watermelons の総復習を行う。	120分

授業科目名	基礎演習			科目コード	C551-10				
科目区分	教養科目 - 基礎演習		担当教員名	高木 三郎					
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	生活と科学 自然と人間 コミュニケーションと情報 現代社会と人間								
資格等 取得との関連									
授業の概要	学びのための学び。幼児教育学を学ぶために必要な話す・聞く・読む・書く・調べる・考えるの6つの基礎力を中心に、感性の磨き方から、プレゼンテーションの方法まで、学びの基礎的な知識、技能に習熟する。								
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に学ぶ姿勢を持ち続ける。</li> <li>学びに必要な表現・コミュニケーション・思考に関わる技能を身につける。</li> <li>保育をめぐる事象に関心を持ち、課題を設定することができる。</li> <li>課題解決のための基本的な方法技術を身につける。</li> </ul>								
キーワード	学び スタディースキル 表現・コミュニケーション クリティカルシンキング								
テキスト・ 参考書等	・特になし。各回の講義ごとにプリントを配布する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育について学ぶことへの構えを持っている。</li> <li>教授内容を理解し、まとめる言語能力を持っている。</li> </ul>								
LO-2	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えや感情を的確に文章や音声に表現できる技術を身につけている。</li> <li>他者との望ましい人間関係を築くための技法を身につけている。</li> </ul>								
LO-3	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育に関わる課題を論理的にとらえ、的確に表現することができる。</li> <li>情報を批判的にとらえ、主体的に判断することができる。</li> </ul>								
LO-4	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価、相互評価をとおして、自らの成長に生かすことができる。</li> <li>新聞、書物などの読書、資料収集をとおして、保育者としての生き方を深めることができる。</li> </ul>								
LO-5	<ul style="list-style-type: none"> <li>班別の協議、発表、作業に積極的にに関わり、自らを表現することにより、他者との協働を図ることができる。</li> <li>他者との共感性をもって関わることができる。</li> </ul>								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			35	35	20	10			100
LO-1			15	15					30
LO-2			10	10	10				30
LO-3			10	10	10				30
LO-4						5			5
LO-5						5			5
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>その他Aは班別作業への参加。</li> <li>成果発表については、コメントを返す。</li> <li>提出されたレポートや作品については、優秀なものを学生に提示する。</li> </ul>								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	・授業の概要説明 ・保育者に必要な感性について説明する。	
	【予習】シラバスに目を通しておく	10分
	【復習】・保育者に必要な感性についてまとめておく。	10分
第2回	・聞く技術 感性を磨く方法として、リフレーミングと傾聴の技法を説明し、練習する。 ノートのとり方を説明する。	
	【予習】・自分の聞き方の個性を整理しておく	10分
	【復習】リフレーミングと傾聴の技法について、整理しておく。 ノートのとり方を整理しておく。	20分
第3回	・説明の基本 ・コミュニケーションスタイルにレポートトークとラポールトークがあることを説明し、その使い分けができるようにする。 わかりやすい説明の順序を説明し、練習する。	
	【予習】自分のコミュニケーションスタイルの個性を整理しておく	20分
	【復習】・レポートトークとラポールトークの違いを整理しておく。 ・わかりやすい説明の順序を整理しておく。	20分
第4回	・説明の基本 新聞記事を利用して、伝えたい内容を、わかりやすく、正確に、要領よく伝える方法を説明し、練習する。	
	【予習】授業で使用する新聞記事を選ぶ	20分
	【復習】次回発表に備え、まとめておく。	20分
第5回	野鳥観察を通して、感性を磨き、わかりやすい報告にまとめる。	
	【予習】観察場所について、下調べをしておく。	30分
	【復習】報告書としてまとめる	20分
第6回	・話す技術 先生や学生に向かって、伝えたい内容を、わかりやすく、正確に、要領よく話す練習をする。 内容は、自己紹介、野鳥観察記録、新聞記事紹介	
	【予習】発表する内容を整理し、事前練習をしておく	30分
	【復習】講義中での評価を整理し、自己の課題を整理しておく	20分
第7回	・書く技術 絵本紹介レジユムの作成をとおして、伝えたい内容を、わかりやすく、正確に、要領よくまとめる練習をする。	
	【予習】・自分が親しんできた絵本を思い出す。	10分
	【復習】・レジユムを完成させる	30分
第8回	・話す技術 絵本紹介ゲームの実践をとおして、相手の興味関心を高めるような話し方を練習する。 非言語コミュニケーションの重要性について説明し、練習する。	
	【予習】講義中で話す内容を整理しておく	20分
	【復習】講義中での評価を整理し、自己の課題を整理しておく	20分
第9回	・考える技術 批判的思考の必要性を説明し、新聞記事を利用して練習する。	
	【予習】講義中の課題にふさわしい新聞記事を選ぶ。	30分
	【復習】次回の発表に備え、課題を整理する	20分
第10回	・話す技術、考える技術 先生や学生に向かって、本や新聞記事の内容を紹介する。また、他の学生の発表を聞いて、批判的思考を鍛える練習をする。	
	【予習】発表内容を整理し、事前練習をしておく	30分
	【復習】講義中での評価を整理し、自己の課題を整理しておく	20分

第11回	・読む技術、書く技術 「はじめに」「おわりに」、目次を利用して、本の概要を知る方法を説明し、本の概要レジュメの作成を通して、要領よくまとめる練習をする。	
	【予習】自分の本の読み方の個性を振り返る	10分
	【復習】レジュメ作成を完成させる	30分
第12回	・調べる技術 メディアの利用方法とメディア・リテラシーについて説明する、論文の探し方、アブストラクトによる概要把握の方法について説明し、実際に探してみる。	
	【予習】自分のメディアとの関わりを整理しておく	10分
	【復習】課題をまとめ、整理しておく	30分
第13回	・書く技術 レポートを書くための基本的なルールを説明する。各自、テーマを決めて報告型レポートを書く準備をする。	
	【予習】大学におけるレポートの位置づけについて、考えておく	10分
	【復習】レポートの作成を進める	30分
第14回	・書く技術 レポート作成を進める。	
	【予習】レポートの進捗状況を確認し、今後の日程を考える	40分
	【復習】レポートを完成させる	40分
第15回	・話す技術、まとめる技術 先生や学生に向かってレポート内容を説明し、お互いに評価し合う。	
	【予習】レポートの発表の仕方を考え、事前練習しておく	40分
	【復習】講義中での評価を整理し、自己の課題を整理しておく 講義内容を整理しておく	25分

授業科目名	現代社会と人間			科目コード	X511-10				
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 人文科学系		担当教員名	梅本 恵 高木 綾子					
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	なし								
授業の概要	各学科教員・外部講師が各回の講義を担当し、目的について共通理解を図りつつ、オムニバス形式で開講する。詳細は教養総合科目現代社会と人間を参照のこと。								
学習目標	総合短期大学である本学の特徴を活かし、現代社会における地域課題と密接につながる「食と健康」、「保育と育児」、「情報と経営」、「福祉と介護」の各分野、その他現代社会と地域を理解するのに役立つ幅広い事柄を自らの専攻とは異なる学生と共に学習することによって、地域を理解し、地域について自ら考えられる幅広い視野と豊かな人間性を養うことを目的とする。								
キーワード	現代を生きる - よりよい富山のために -								
テキスト・ 参考書等	講師によっては、授業前に資料を配付する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	現代社会と地域を理解し、地域について自ら考えられる幅広い視野と豊かな人間性を養うための方法を身につけている。								
LO-2	現代社会と地域を理解し、地域について自ら考えられる幅広い視野と豊かな人間性を養うための技能を身につけている。								
LO-3	現代社会と地域を理解し、地域について自ら考えられる幅広い思考力・判断力・表現力を持ち、実践的な展開や課題解決することが出来る。								
LO-4	地域について自ら考えようとする意欲があり、実践的な展開や課題解決方法について主体的に学びを深めることが出来る。								
LO-5	地域社会の一員であることの自覚を持ち、他者を尊重し、協力・協働を図る人間性を有している。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100						100
LO-1			20						20
LO-2			20						20
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5			20						20
備考	毎回の振り返りシート(40%程度)、最終回のパネルディスカッションに関するレポート(60%程度)の内容を、LO1・LO2・LO3・LO4・LO5それぞれの観点で総合的に評価する。尚、追再試験は実施しない。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	学長 宮田 伸朗・富山国際大学 子ども育成学部教授 大藪 敏宏・富山近代史研究会会員舟竹 孝 「富山短期大学のDNAを探る - 「聖地」老田地区願海寺・野々上と「父祖」南原繁 - 」	
	【予習】タイトルに関連があると思われる新聞記事・雑誌等を読んでおく。	0分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	0分
第2回	富山短期大学 食物栄養学科 教授 田淵 英一 「人生の勝ち組と負け組について考えよう」(ディベート)	
	【予習】講師についてプロフィール等をしらべ、関連しそうな新聞記事・雑誌等を読んでおく。	0分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	0分
第3回	富山短期大学 経営情報学科 准教授 高木 綾子 「相手の心に寄り添うおもてなしとは」	
	【予習】タイトルに関連があると思われる新聞記事・雑誌等を読んでおく。	0分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	0分
第4回	富山短期大学 福祉学科 准教授 井上 理絵 「触れるケアの効果」	
	【予習】講師についてプロフィール等をしらべ、関連しそうな新聞記事・雑誌等を読んでおく。	0分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	0分
第5回	富山県美術館 館長 雪山 行二 「美術館に何が可能か」	
	【予習】講師についてプロフィール等をしらべ、関連しそうな新聞記事・雑誌等を読んでおく。	0分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	0分
第6回	富山短期大学 幼児教育学科 准教授 山川 賀世子 「子どもの心の発達」	
	【予習】タイトルに関連があると思われる新聞記事・雑誌等を読んでおく。	0分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	0分
第7回	舟橋村長 金森 勝雄 「日本一ちいさな村から発信する「子育て共助のまちづくり」」	
	【予習】タイトルに関連があると思われる新聞記事・雑誌等を読んでおく。	0分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	0分
第8回	学内講師によるパネルディスカッション	
	【予習】タイトルに関連があると思われる新聞記事・雑誌等を読んでおく。	0分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	0分